

島根県安来市

地球温暖化と家庭の省エネ取り組みに関するアンケート調査結果

2021年3月

安来市

島根県地球温暖化防止活動推進センター

有限会社ひのでやエコライフ研究所

目次

1. アンケートの概要	4
1.1. 目的	4
1.2. 実施内容	4
1.3. 概要版の作成	4
2. 質問の構成	5
2.1. アンケート項目	5
2.2. アンケートの集計・分析	6
3. 単純集計	7
3.1. 基本属性に関する質問	7
3.2. 考え方・知識に関する質問	14
3.3. 現在の行動について	22
3.4. 今後の行動	26
3.5. 地域の取り組み	32
3.6. 情報源	40
3.7. 地球温暖化対策のために取り組んでいること（自由記述）	41
3.8. 地球温暖化対策について今後どうしたらいいと思いますか（自由記述）	54
4. 基本属性とのクロス集計	70
4.1. 基本属性間の関係	70
4.2. 環境問題の深刻さと基本属性	78
4.3. 環境問題の影響への不安と基本属性	82
4.4. 言葉の知識と基本属性	84
4.5. 地球温暖化対策による生活の質や地域の豊かさの向上と基本属性	87
4.6. 現在の行動と基本属性	90
4.7. 今後の行動と基本属性	95
4.8. 安来市内に再生可能エネルギー設備を作るべきと思うかと基本属性	107
4.9. 再生可能エネルギーの導入をしてほしくない理由と基本属性	112
4.10. 安来市が優先的に対策すべきことと基本属性	114
4.11. 情報源と基本属性	116
5. 考え方や知識とのクロス集計	118
5.1. 考え方や知識の中の関連	118
5.2. 考え方や知識と行動	123
5.3. 考え方や知識と地域の対策	128
5.4. 考え方や知識と情報源の関連	131
6. 行動と地域の対策	132
6.1. 「行動」と再生可能エネルギー施設を安来市内に作るべきかどうか	132

6.2.	「行動」と安来市が優先的に対策すべきこと	137
6.3.	「行動」と安来市が CO2 ゼロ宣言をすることについて	139
7.	行動と情報に関するクロス集計	143

1. アンケートの概要

1.1. 目的

2015年12月に開催された気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）にてパリ協定が採択された。日本は約束草案として2030年には温室効果ガスの排出量を26%削減（2013年比）する目標を掲げ、その中で家庭部門は、40%削減することを目標に設定し、対策を進めている。

島根県では、平成27年9月に「再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進に関する基本計画」が定められ、家庭や事業所で重点的に取り組むべき省エネの行動目標が設定されている。安来市では、平成25年3月に「安来市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」が定められ、現在その見直しが進められている。

このアンケート調査では、地球温暖化問題や省エネの取り組みに対する県民意識や行動について現状を把握し、島根県内の市町村が効果的な施策を打ち出すための基礎資料として取りまとめることを目的とする。

1.2. 実施内容

県民における地球温暖化問題や省エネの取り組みに関する状況を把握するため、アンケート調査を実施した。

表 1 アンケート実施の概要

項目	内容
調査対象	安来市内の世帯
抽出方法	住民基本台帳をもとに無作為抽出
調査方法	郵送法
調査期間	令和2年9月-10月
発送数	1,800件
回収数(有効回答率)	977(54.3%)

1.3. 概要版の作成

アンケート調査結果の概要版としてとりまとめ、周知をした。なお、概要版データは資料編に掲載した。

2. 質問の構成

大きく 20 問の質問に分けて尋ねた。これらの質問はさらに大きく、「基本属性」、「考え方・知識」、「現在の行動」、「今後の行動」、「地域の対策」、「情報源」に整理されており、最後に自由記述において意見や思いを回答いただいた。

2.1. アンケート項目

(基本属性)

1. あなたのお住まいや家族について

(考え方・知識)

2. 環境問題についてどれだけ深刻だと思えますか。
3. 地球温暖化の影響についてどうお考えですか
4. 地球温暖化を防ぐ取り組み（省エネ行政や省エネ設備・再生可能エネルギー導入など）の仕方について以下の言葉を知っていますか。
5. 地球温暖化を防ぐ取り組みと、あなたの暮らしや地域の豊かさとの関わりについて、どのようにお考えですか。

(現在の行動)

6. あなたは省エネにどの程度取り組んでいますか。
7. あなたは、省エネとしてどのような行動に取り組んでいますか。
8. あなたのご自宅で、省エネ型の設備や仕組みをすでに導入していますか。

(今後の行動)

9. 次回買い替えるときには、省エネ性能を重視して選びたいですか。
10. 今後の自家用車の購入・買い替えについてどのようにお考えですか
11. 今後、住宅を建て替えるとき、省エネや再生可能エネルギーの導入などを実施したいと思えますか。
12. 壁や窓、屋根など住宅の省エネについて、取り組もうと考える理由は何ですか。
13. 太陽光発電などの設置について、取り組もうと考える理由は何ですか。

(地域の対策)

14. 地球温暖化を防ぐ取り組みとして、石油などの化石燃料から、再生可能エネルギーの利用へと替えていくことが、有効な手法とされています。以下のものについて、安来市内に作るべきだと思いますか。
15. 地域での再生可能エネルギー導入拡大について、してほしくないと思う理由はありますか。
16. 地球温暖化により引き起こされると予想されている以下の影響のうち、安来市が優先的に対策すべきものはどれですか。
17. 全国の自治体で、「2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」にすることを宣言する例がふえていま

す。安来市として宣言をするかどうかについて、どう思いますか。

(情報源)

18. 地球温暖化や省エネの方法に関する情報をどこから得ていますか。

(自由記述)

19. 地球温暖化対策のために、どんな取り組みをしていますか。よろしければ教えてください。

20. 地球温暖化対策について今後どうしたらいいと思いますか、自由にご意見をお書きください。

なお具体的な設問・選択肢については、巻末に示す。

2.2. アンケートの集計・分析

まずは、基本集計を行い、平均的な世帯の傾向を整理した。

その上で、クロス集計では、基本属性を中心に傾向を探るが、「行動」や「地域の対策」については、「考え方・知識」についても関連があることが予想される。また、情報の伝え方と行動の関連などについても探った。

こうした分析を踏まえて、政策へ反映するための基礎情報として取りまとめた。

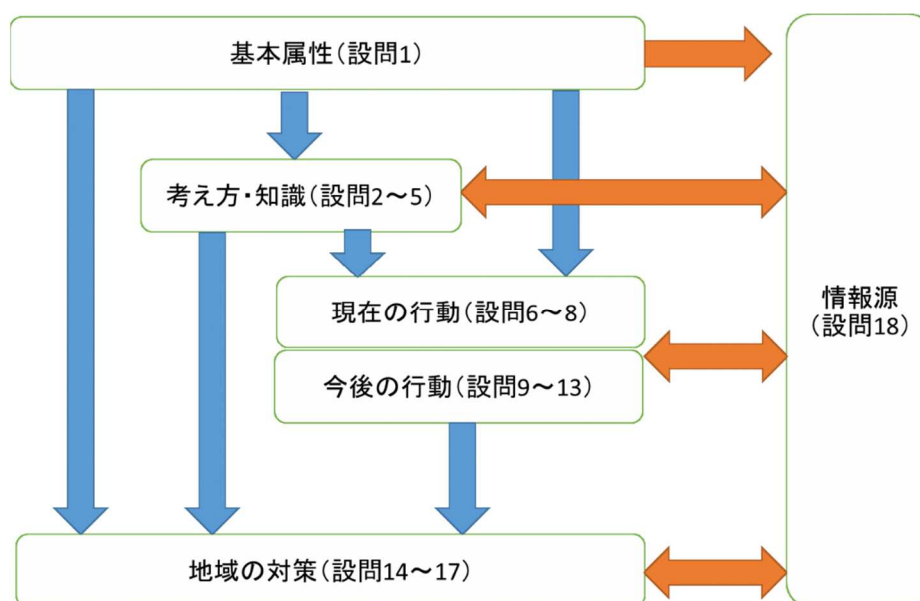


図 1 本アンケートにおける設問の分類と関連

3. 単純集計

3.1. 基本属性に関する質問

(主な集計結果)

- ・年齢層は高めで、60歳代以上が43.3%であった。
- ・持ち家の戸建て住宅が87.9%と高い割合となっている。
- ・築年数が40年以上になる住宅が37.5%と多い。
- ・冬季の1ヶ月の光熱費は1.5万円から3万円程度かかっている。

(1) あなたの年齢

10歳代から70歳以上まで幅広く分布しているが、比較的高年齢の方が多く、60歳代以上から43.3%の回答があった。

表 2 あなたの年齢

合計	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
977	22	72	125	146	185	201	222	4
100.0%	2.3%	7.4%	12.8%	14.9%	18.9%	20.6%	22.7%	0.4%

(上段回答数、下段割合)

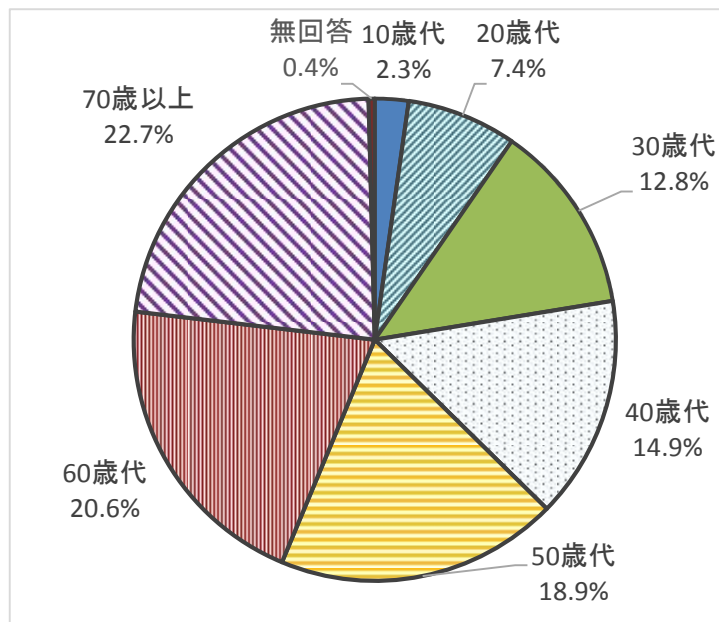


図 2 あなたの年齢

(2) あなたの性別

性別での回答数に大きな差はなかった。

表 3 あなたの性別

合計	男性	女性	無回答
977	460	507	10
100.0%	47.1%	51.9%	1.0%

(上段回答数、下段割合)

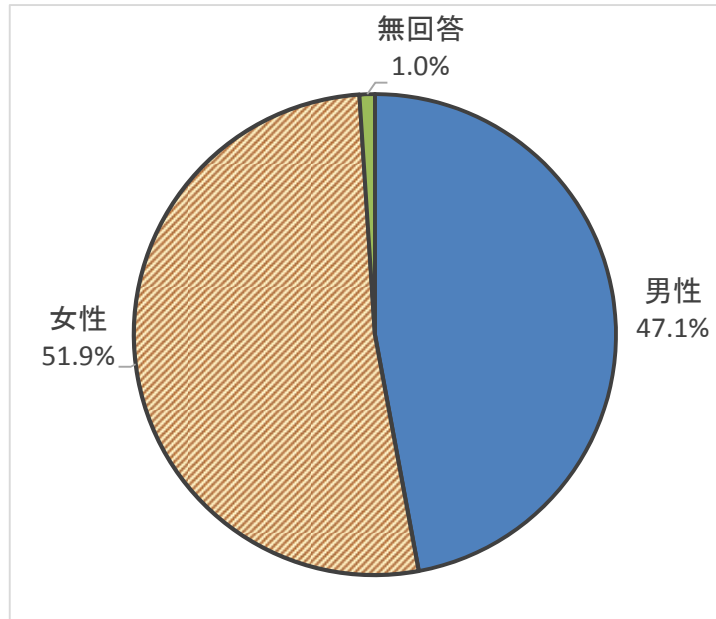


図 3 あなたの性別

(3) あなたのお住まいの地域

安来地域からの回答が多かったが、おおむね居住者数に対応した回答数となっている。

表 4 あなたのお住まいの地域

合計	安来地域	広瀬地域	伯太地域	無回答
977	679	177	109	12
100.0%	69.5%	18.1%	11.2%	1.2%

(上段回答数、下段割合)

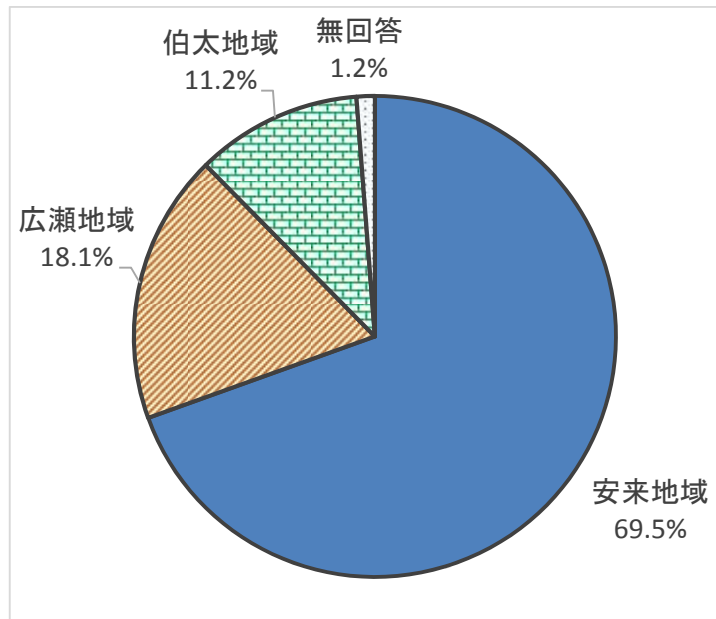


図 4 あなたのお住まいの地域

(4) あなたを含めた同居人数

同居人数としては 3 人世帯が最も多く 24.5%あった。6 人以上世帯も 13.6%あり、日本全体と比較して多人数世帯が多い傾向がみられる。

表 5 あなたを含めた同居人数

合計	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
977	89	203	239	195	109	133	9
100.0%	9.1%	20.8%	24.5%	20.0%	11.2%	13.6%	0.9%

(上段回答数、下段割合)

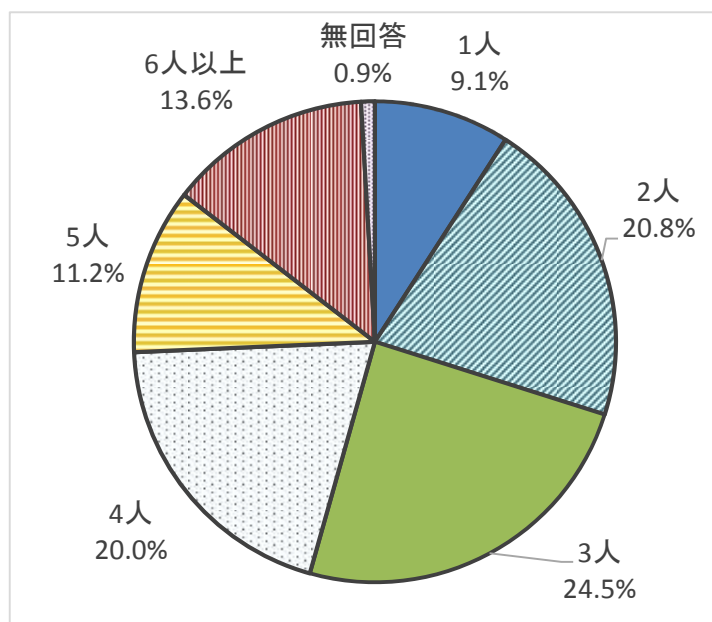


図 5 あなたを含めた同居人数

(5) 子ども（18歳未満）、高齢者（65歳以上）の同居

子ども（18歳未満）の同居がある世帯は、29.7%であった一方、高齢者と同居している世帯は55.5%であった。

表 6 子ども（18歳未満）の同居

合計	あり	なし	無回答
977	290	664	23
100.0%	29.7%	68.0%	2.4%

表 7 高齢者（65歳以上）の同居

合計	あり	なし	無回答
977	542	414	21
100.0%	55.5%	42.4%	2.1%

(上段回答数、下段割合)

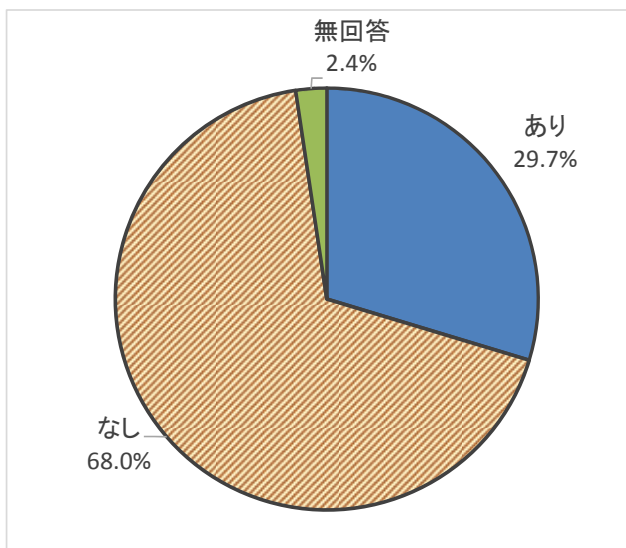


図 6 子ども（18歳未満）の同居

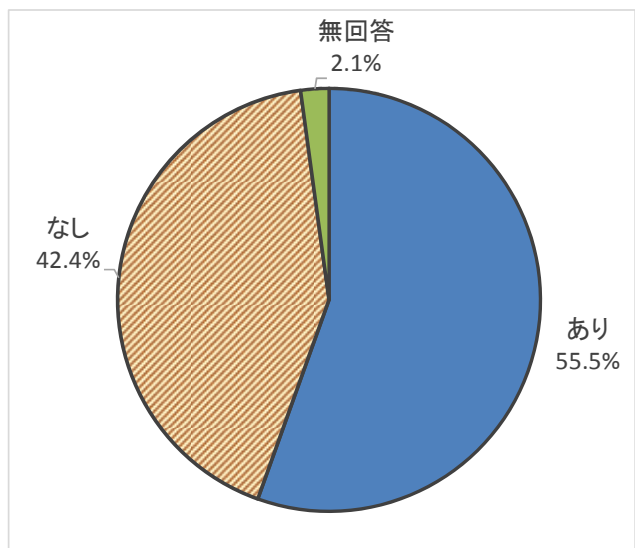


図 7 高齢者（65歳以上）の同居

(6) お住まい

お住まいについては、持ち家の戸建て住宅が87.9%と大部分を占めた。賃貸については、戸建てより集合住宅のほうが多くなっている。

集計すると、戸建ては90.7%、集合住宅は8.9%であった。また、持ち家は88.3%、賃貸は11.3%であった。

表 8 お住まい

合計	持ち家の戸建て住宅	持ち家の集合住宅	賃貸の戸建て住宅	賃貸の集合住宅	無回答
977	859	4	27	83	4
100.0%	87.9%	0.4%	2.8%	8.5%	0.4%

(上段回答数、下段割合)

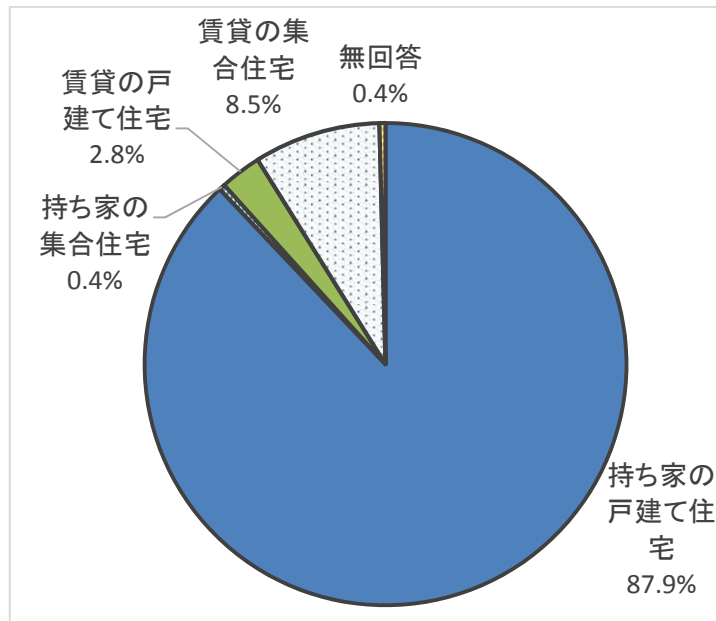


図 8 お住まい

(7) お住まいの築年数

築年数については、10年未満から50年以上まで幅広く分布する結果となった。

表 9 お住まいの築年数

合計	10年未満	10～20年未満	20～30年未満	30～40年未満	40～50年未満	50年以上	わからない	無回答
977	115	146	144	131	151	215	57	18
100.0%	11.8%	14.9%	14.7%	13.4%	15.5%	22.0%	5.8%	1.8%

(上段回答数、下段割合)

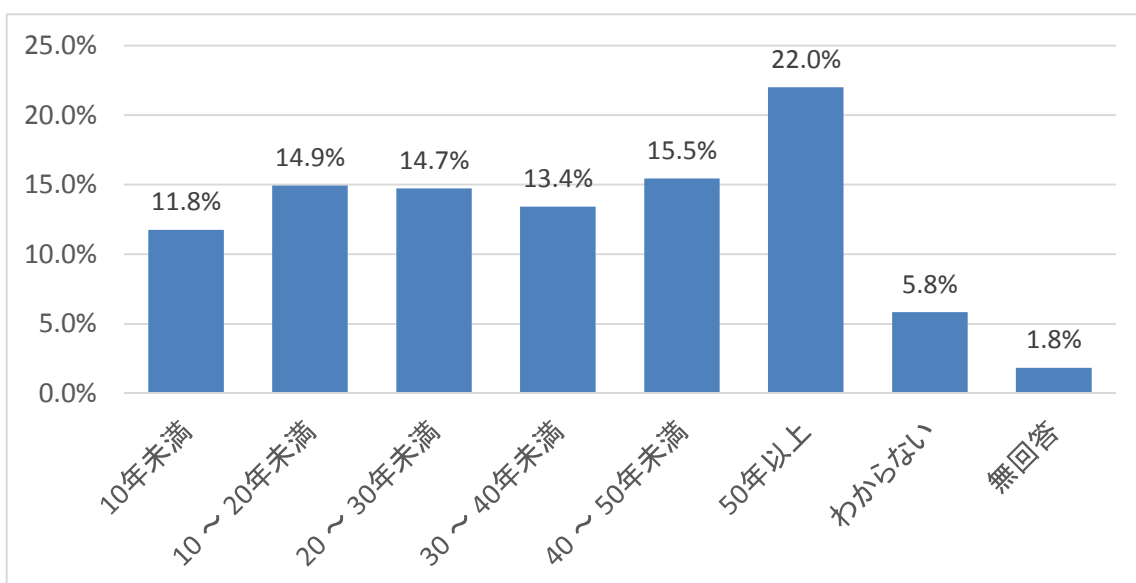


図 9 お住まいの築年数

(8) あなたのお仕事

会社員が最も多く 34.9%、続いて無職 19.9%、パート・アルバイト 13.6%の順となった。

表 10 あなたのお仕事

合計	会社員	自営業	公務員	パート・アルバイト	主婦(主夫)	学生	無職	その他	無回答
977	341	83	54	133	89	30	194	43	10
100.0%	34.9%	8.5%	5.5%	13.6%	9.1%	3.1%	19.9%	4.4%	1.0%

(上段回答数、下段割合)

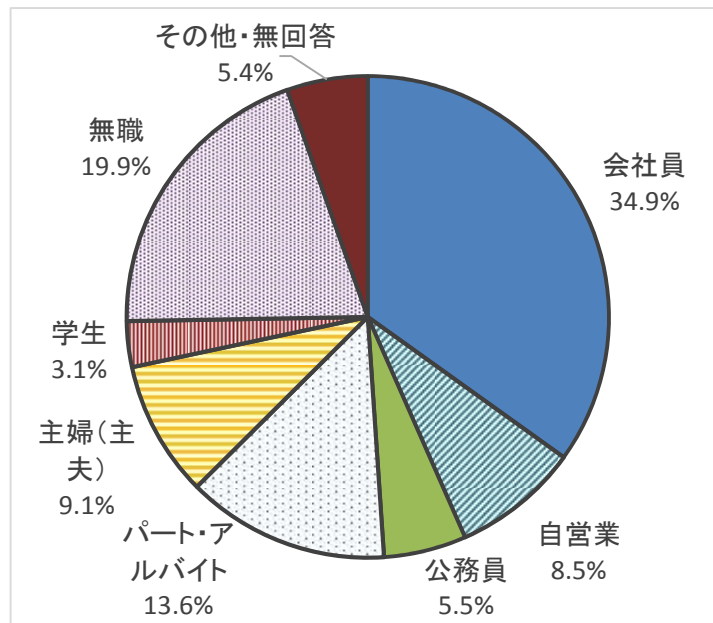


図 10 あなたのお仕事

(9) 冬季の1ヶ月のおおよその光熱費（電気、ガス、灯油）

冬季の光熱費については、1ヶ月あたり2～3万円程度支払っている家庭が最も多く、25.2%となった。各範囲の中央値をとり、1万円未満は7,500円、5万円以上は55,000円として、回答者の平均値をとったところ、24,089円となった。

表 11 冬季の1ヶ月のおおよその光熱費（電気、ガス、灯油）

合計	1万円未満	1～1.5万円	1.5～2万円	2～3万円	3～4万円	4～5万円	5万円以上	わからない	無回答
977	41	153	214	246	133	47	39	71	33
100.0%	4.2%	15.7%	21.9%	25.2%	13.6%	4.8%	4.0%	7.3%	3.4%

(上段回答数、下段割合)

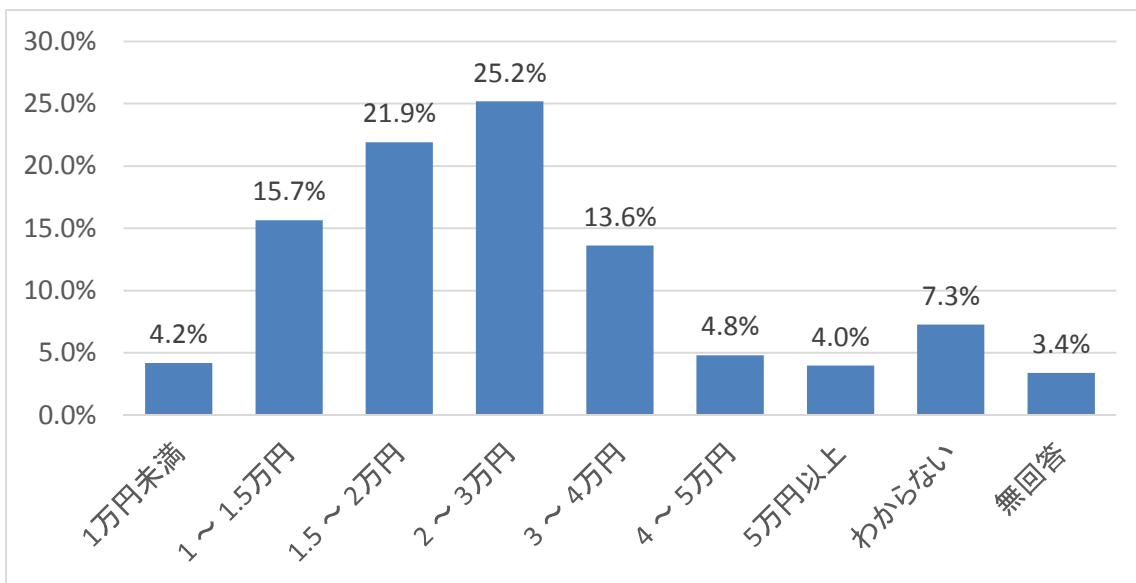


図 11 冬季の1ヶ月のおおよその光熱費（電気、ガス、灯油）

3.2. 考え方・知識に関する質問

(主な集計結果)

- ・地球環境問題や廃棄物問題については深刻と考える回答が7～9割に達するが、安来市内の自然環境や汚染については、あまり深刻でないと考えて人が多い。
- ・地球温暖化の影響に不安を感じる人の割合が88.8%と多く、特に「洪水・土砂災害の増加」に対して不安に感じている。
- ・国民運動の「クールチョイス」を知っている割合が9.1%と低いなど、呼びかけが定着していない。
- ・地球温暖化を防ぐ取り組みが、地域の豊かさの向上、暮らしの質の向上につながると考える人が、それぞれ7割近くあった。

(1) 環境問題についてどれだけ深刻だと思いますか

地球温暖化などの地球環境問題、食品ロスの問題については、深刻だと考えている人の割合が高く、「深刻である」「やや深刻である」を合わせると73.9%～91.0%に達する。一方で、「安来市内の自然環境や汚染」については、「深刻である」とする回答は11.4%と少なく、「あまり深刻でない」「全く深刻でない」を合わせると36.6%に達した。

表 12 環境問題についてどれだけ深刻だと思いますか

	合計	深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻でない	わからない	無回答
地球温暖化とその影響	977 100.0%	658 67.3%	232 23.7%	33 3.4%	5 0.5%	37 3.8%	12 1.2%
プラスチックなど海洋汚染	977 100.0%	602 61.6%	285 29.2%	29 3.0%	4 0.4%	39 4.0%	18 1.8%
食品ロスなど廃棄物問題	977 100.0%	486 49.7%	379 38.8%	51 5.2%	5 0.5%	32 3.3%	24 2.5%
石油などの地下資源の枯渇	977 100.0%	346 35.4%	376 38.5%	106 10.8%	23 2.4%	101 10.3%	25 2.6%
森林破壊や砂漠化	977 100.0%	441 45.1%	359 36.7%	66 6.8%	12 1.2%	75 7.7%	24 2.5%
安来市内の自然環境や汚染	977 100.0%	111 11.4%	335 34.3%	329 33.7%	28 2.9%	148 15.1%	26 2.7%

(上段回答数、下段割合)

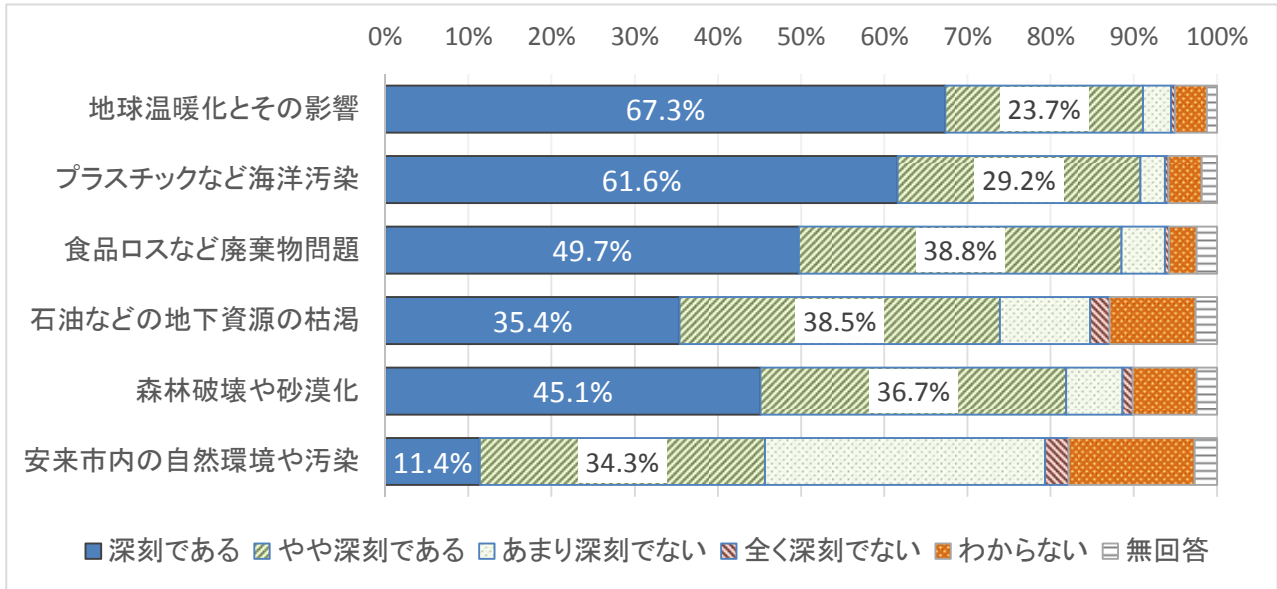


図 12 環境問題についてどれだけ深刻だと思いますか

(2) 地球温暖化の影響：生活に及ぼす影響について不安を感じていますか

地球温暖化の影響について、まず「生活に及ぼす影響」について不安を感じているか尋ねた。「不安を感じている」人が 56.9%あり、「どちらかといえば不安を感じる」人を含めると、88.8%の人が不安を感じる回答となった。

表 13 地球温暖化の影響：生活に及ぼす影響について不安を感じていますか

合計	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	わからない	無回答
977	556	312	53	12	17	16	11
100.0%	56.9%	31.9%	5.4%	1.2%	1.7%	1.6%	1.1%

(上段回答数、下段割合)

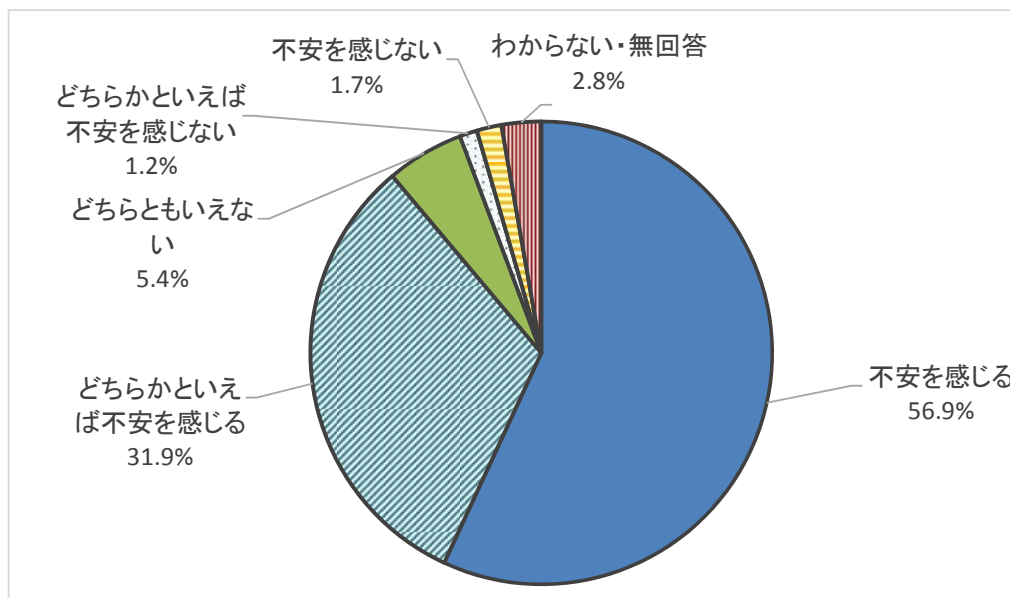


図 13 地球温暖化の影響：生活に及ぼす影響について不安を感じていますか

(3) 地球温暖化の影響：一番不安に感じる影響は何ですか

地球温暖化の影響で一番不安に感じるものとしては、「洪水・土砂災害の増加」であり、44.8%の回答があった。そのほか、「農作物や水産物など食料生産への影響」が21.2%、「生態系への影響、熱中症の増加」が18.0%と高かった。

表 14 地球温暖化の影響：一番不安に感じる影響は何ですか

	洪水・土砂災害の増加	農作物や水産物など食料生産への影響	水環境・水資源（湧水、水質保全）	生態系への影響、熱中症の増加	感染症（デング熱等）の増加	観光・レジャーへの影響	特に不安に感じることはない	その他	無回答
合計	977	207	53	176	32	4	9	6	52
	100.0%	21.2%	5.4%	18.0%	3.3%	0.4%	0.9%	0.6%	5.3%

(上段回答数、下段割合)

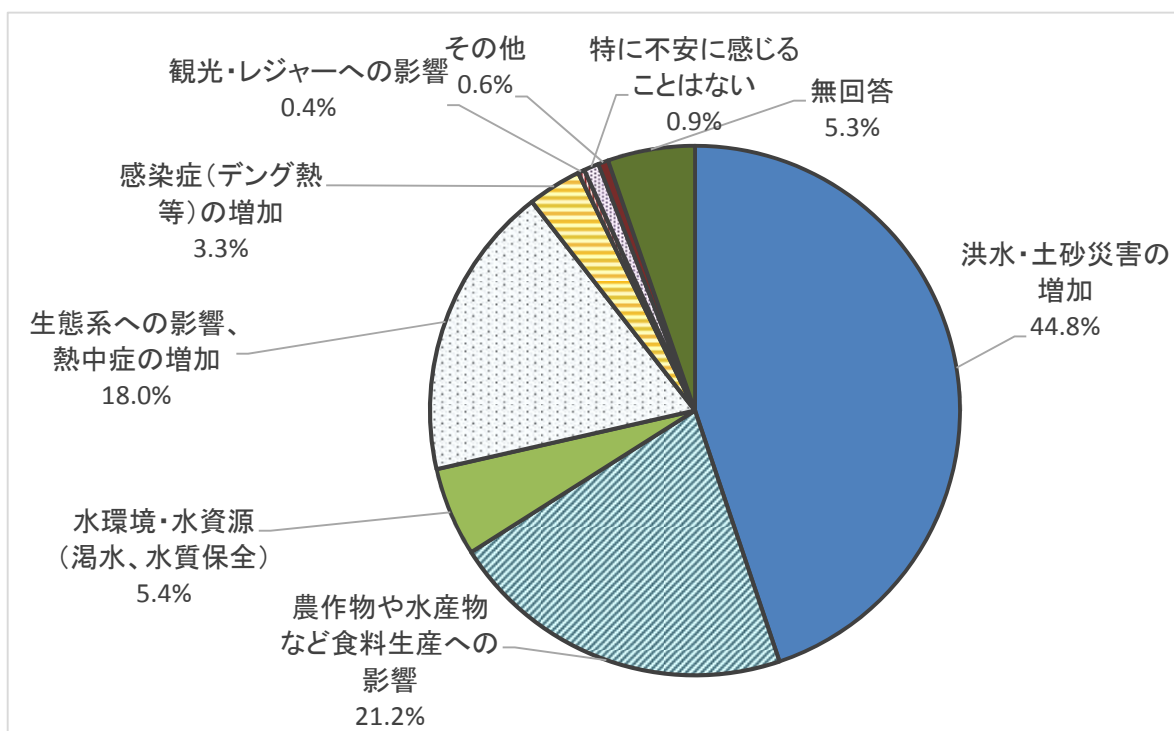


図 14 地球温暖化の影響：一番不安に感じる影響は何ですか

(4) 地球温暖化の影響：影響が現れるのはどのくらい先だと思いますか
 すでに地球温暖化の影響が現れているとする人が 79.1%と大部分を占めた。

表 15 地球温暖化の影響：影響が現れるのはどのくらい先だと思いますか

	すでに影 響が現れ ている	影響は現 れない	10年先	20年先	30年先	40年先	わからな い	無回答
合計	977 100.0%	773 79.1%	11 1.1%	42 4.3%	14 1.4%	13 1.3%	4 0.4%	108 11.1%

(上段回答数、下段割合)

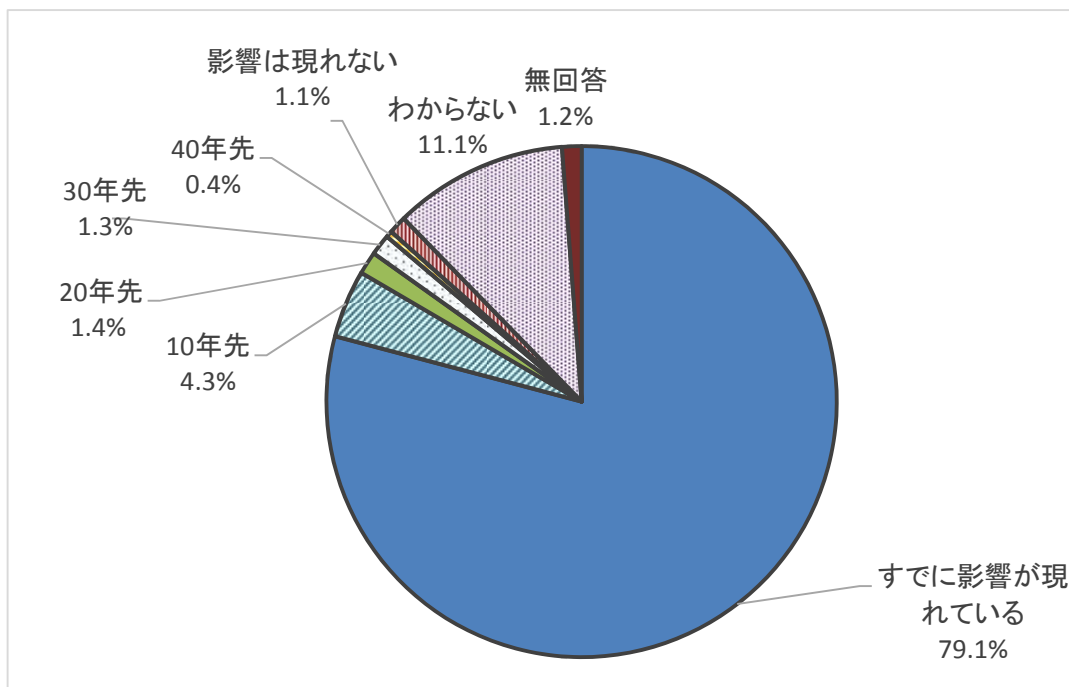


図 15 地球温暖化の影響：影響が現れるのはどのくらい先だと思いますか

(5) 地球温暖化を防ぐ取り組み（省エネ行政や省エネ設備・再生可能エネルギー導入など）の仕方について以下の言葉を知っていますか

取り組みの仕方の言葉については、LED について知っている人が 70.2%と多かったが、そのほかは半分以下であった。国民運動として推進されている「クールシェア・ウォームシェア」は 18.5%、「クールチョイス」については 9.1%であった。「適応策」や「SDGs」についても、浸透しているとは言い難い。

表 16 地球温暖化を防ぐ取り組みの仕方についての言葉を知っていますか

	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
クールシェア・ウォームシェア	181 18.5%	203 20.8%	531 54.4%	62 6.3%
クールチョイス	89 9.1%	171 17.5%	643 65.8%	74 7.6%
省エネラベル	224 22.9%	288 29.5%	400 40.9%	65 6.7%
LED(エルイーディー)	686 70.2%	64 6.6%	171 17.5%	56 5.7%
ZEH(ゼッチ)	62 6.3%	78 8.0%	749 76.7%	88 9.0%
メガソーラー	470 48.1%	286 29.3%	167 17.1%	54 5.5%
洋上風力発電	413 42.3%	220 22.5%	287 29.4%	57 5.8%
パリ協定	370 37.9%	339 34.7%	212 21.7%	56 5.7%
適応策	65 6.7%	226 23.1%	605 61.9%	81 8.3%
SDGs(エスディーゼーズ)	76 7.8%	114 11.7%	715 73.2%	72 7.4%

(上段回答数、下段割合)

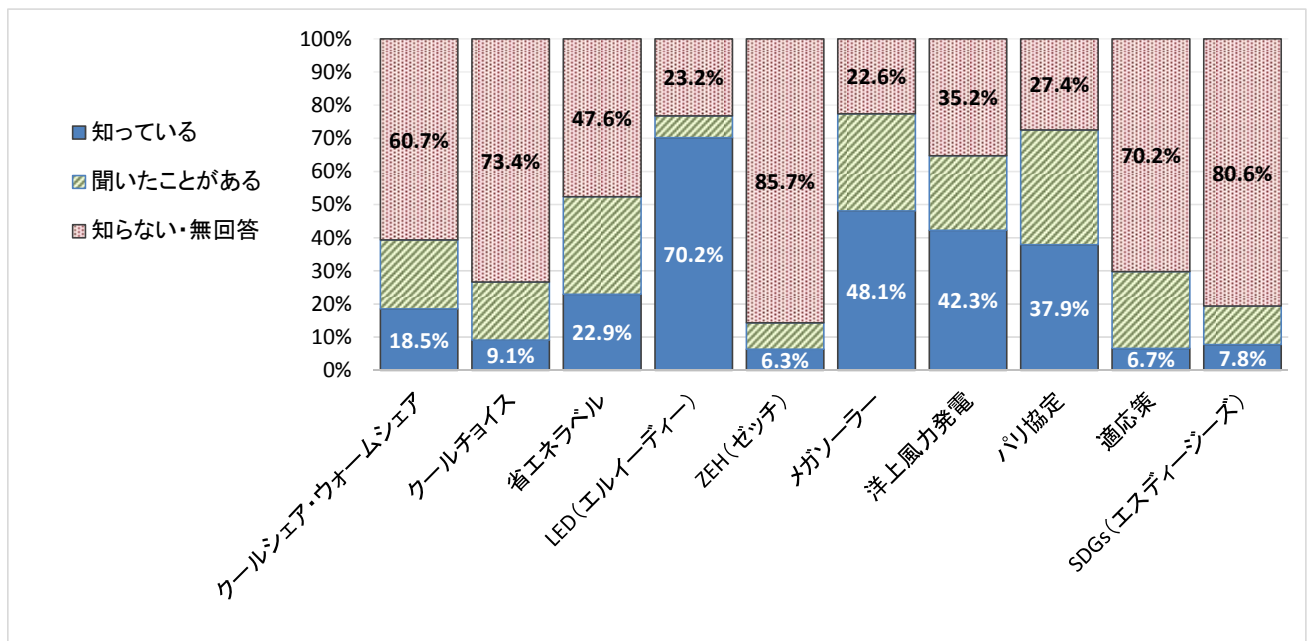


図 16 地球温暖化を防ぐ取り組みの仕方についての言葉を知っていますか

(6) 地球温暖化を防ぐ取り組み：暮らしの質の向上につながると思いますか

地球温暖化対策の取り組みが「暮らしの質の向上」につながるかどうかについて、「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した割合は、あわせて 69.4%と大きな割合を占めた。「そう思わない」「どちらかというと思わない」を合わせると 11.9%であり、全般的に暮らしの質の向上につながっていると認識されている結果となった。

表 17 地球温暖化を防ぐ取り組み：暮らしの質の向上につながると思いますか

	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない	わからない	無回答
合計	977	316	66	50	154	29
	100.0%	32.3%	6.8%	5.1%	15.8%	3.0%

(上段回答数、下段割合)

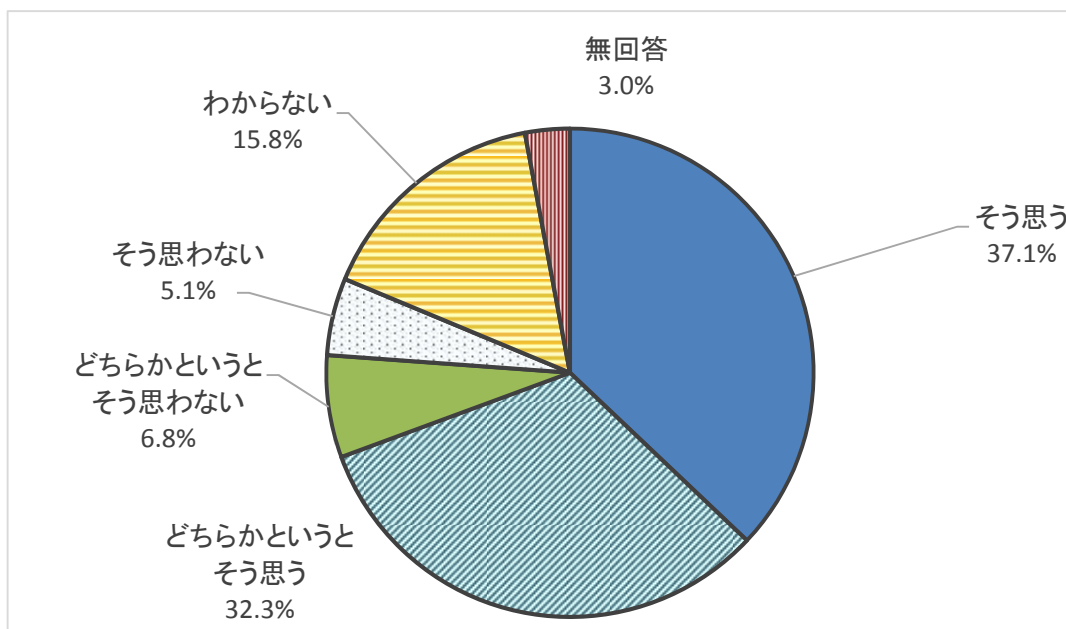


図 17 地球温暖化を防ぐ取り組み：暮らしの質の向上につながると思いますか

(7) 地球温暖化を防ぐ取り組み：地域の豊かさの向上につながると思えますか

同様に、地球温暖化対策の取り組みが「地域の豊かさの向上」につながるかどうかについて、「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した割合は、あわせて73.6%と大きな割合を占めた。先ほどの質問と比較すると「暮らしの質」より「地域の豊かさ」につながると考える人の割合が高くなっている。

表 18 地球温暖化を防ぐ取り組み：地域の豊かさの向上につながると思えますか

	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない	わからない	無回答
合計	977	271	50	42	124	42
	100.0%	27.7%	5.1%	4.3%	12.7%	4.3%

(上段回答数、下段割合)

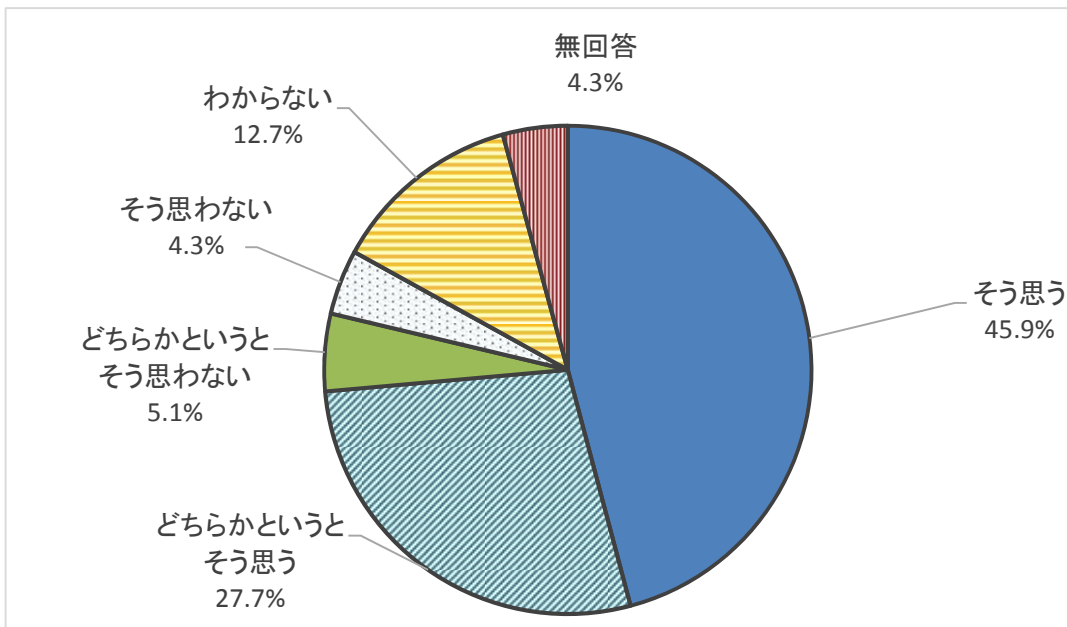


図 18 地球温暖化を防ぐ取り組み：地域の豊かさの向上につながると思えますか

3.3. 現在の行動について

(主な集計結果)

- ・「必要のない照明をこまめに消している」人は 88.5%、「冷蔵庫の開け閉めの時間を短く気を付けている」人は 86.3%とおおむね省エネ行動が定着している。
- ・「緑のカーテン」や「打ち水」など涼しく過ごす工夫については、余地が大きい。
- ・家庭では、省エネ家電や省エネ照明（LED）などの導入をしている人が約 6 割となっている一方、住宅の断熱や太陽光、CO2 排出の少ない電気の実施については今後の余地が大きい。

(1) 省エネにどの程度取り組んでいますか

「十分に取り組んでいる」という回答は 1.9%と少なかったが、「ある程度は取り組んでいる」という回答が 62.5%と多かった。これは、実際に取り組んでいる程度というより、今後より省エネが求められる時代になる中で「十分」という評価ができなかったためと推測される。

個別の取り組みでは、次の質問で、ほとんどの人が実行している項目も多く、決して「取り組んでいない」わけではない。

表 19 省エネにどの程度取り組んでいますか

	十分取り組んでいる	ある程度取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答
合計	977	19	611	273	16
	100.0%	1.9%	62.5%	27.9%	1.6%
					58
					5.9%

(上段回答数、下段割合)

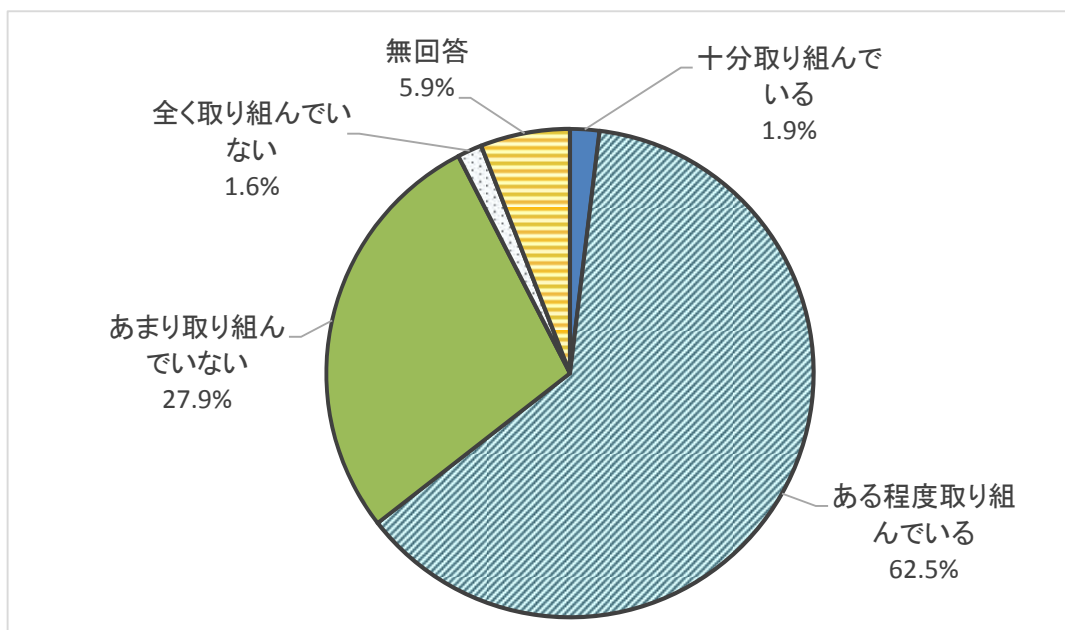


図 19 省エネにどの程度取り組んでいますか

(2) あなたは、省エネとしてどのような行動に取り組んでいますか

「いつもしている」「時々している」を合わせると、適応策としての「夏場は水分補給にこまめに気を付ける」は91.6%、省エネの「必要のない照明をこまめに消している」は88.5%、「冷蔵庫の開け閉めの時間を短く気を付けている」は86.3%など、大部分の人がしており、行動として定着していることがうかがえる。

冷暖房時の室温設定については、回答時期より冷房を想定して回答していると思われるが、熱中症対策としてエアコンの使用が呼びかけられており、取り組みとしては比較的低くとどまっている。「使わない」ようにするのではなく「温度設定」であること、また「緑のカーテン」や「打ち水」といった涼しく過ごす工夫も行動率が低く、啓発の余地は残されている。

表 20 あなたは、省エネとしてどのような行動に取り組んでいますか

	いつもしている	時々している	今後したい	していない	わからない	無回答
冷房28℃以上、暖房20℃以下の室温	204 20.9%	393 40.2%	77 7.9%	235 24.1%	21 2.1%	47 4.8%
シャワーを使う時間を短くするようにしている	392 40.1%	305 31.2%	79 8.1%	130 13.3%	22 2.3%	49 5.0%
浴槽にお湯を少なくするよう気を付けている	362 37.1%	233 23.8%	90 9.2%	211 21.6%	36 3.7%	45 4.6%
必要のない照明をこまめに消している	607 62.1%	258 26.4%	28 2.9%	49 5.0%	4 0.4%	31 3.2%
冷蔵庫の開け閉めの時間を短く気を付けている	558 57.1%	285 29.2%	36 3.7%	53 5.4%	9 0.9%	36 3.7%
エコドライブを心がけている	421 43.1%	283 29.0%	55 5.6%	94 9.6%	60 6.1%	64 6.6%
外出時には水筒(マイボトル)を持ち歩いている	335 34.3%	304 31.1%	56 5.7%	236 24.2%	5 0.5%	41 4.2%
夏場は水分補給にこまめに気を付ける	691 70.7%	204 20.9%	15 1.5%	25 2.6%	3 0.3%	39 4.0%
暑さ指数や、熱中症の注意報などを参考に	466 47.7%	308 31.5%	53 5.4%	103 10.5%	7 0.7%	40 4.1%
つる性の植物で「緑のカーテン」を育てている	98 10.0%	92 9.4%	92 9.4%	649 66.4%	4 0.4%	42 4.3%
打ち水を行っている	58 5.9%	216 22.1%	52 5.3%	605 61.9%	7 0.7%	39 4.0%

(上段回答数、下段割合)

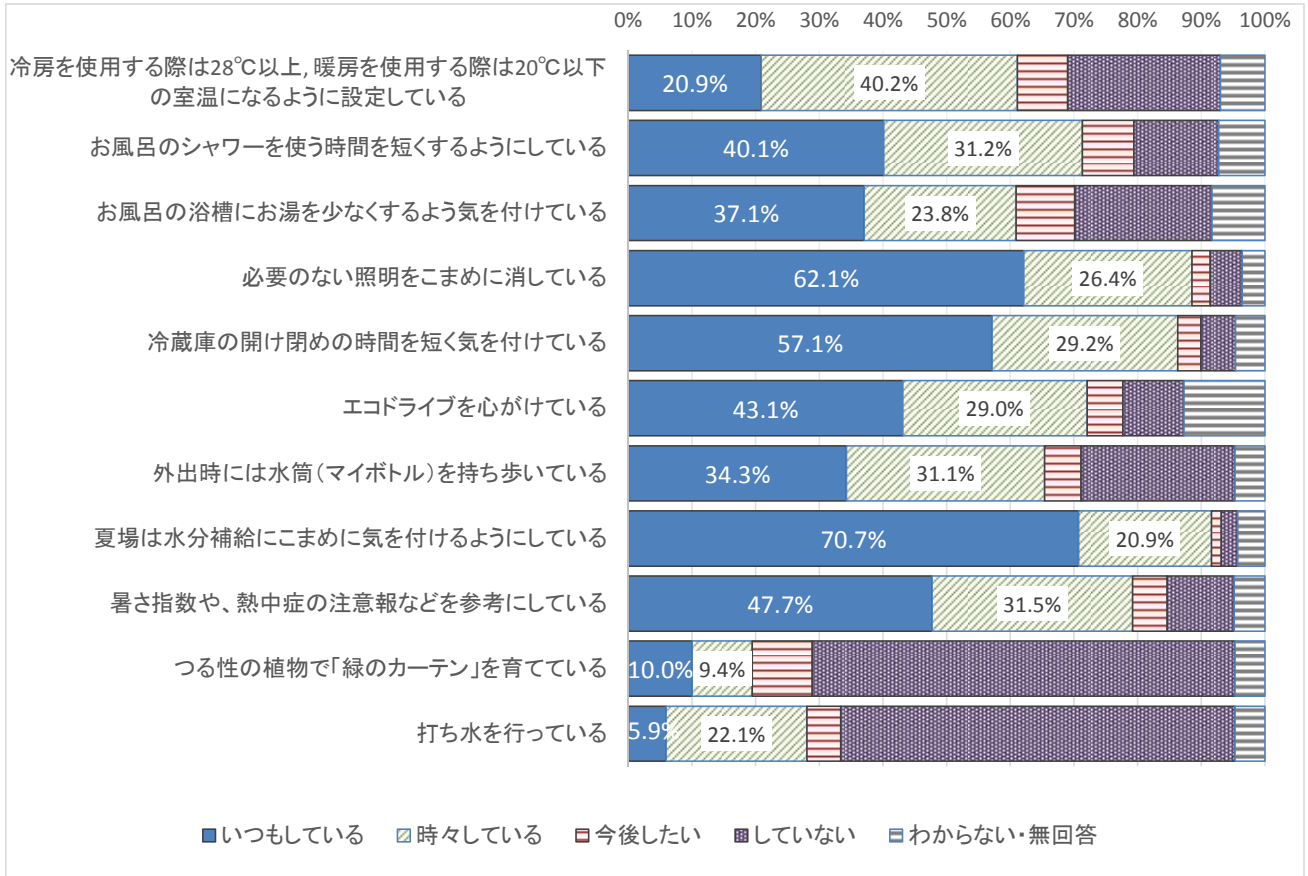


図 20 あなたは、省エネとしてどのような行動に取り組んでいますか

(3) あなたのご自宅で、省エネ型の設備や仕組みをすでに導入していますか

エアコン・冷蔵庫などの家電製品については省エネ型が 67.0%導入され、「居間の照明は LED」の家庭もすでに 59.4%と高くなっており、省エネ型給湯器も 48.7%と続いている。

一方で、太陽光発電の設置、建物の断熱性能は低く、CO2 排出の少ない電気小売事業者は 4.9%と特に小さい結果となった。

表 21 あなたのご自宅で、省エネ型の設備や仕組みをすでに導入していますか

	はい	いいえ	わからない	無回答
居間の照明はLED	580 59.4%	309 31.6%	49 5.0%	39 4.0%
エアコン・冷蔵庫などは省エネ型	655 67.0%	155 15.9%	126 12.9%	41 4.2%
給湯器は省エネ型	476 48.7%	227 23.2%	218 22.3%	56 5.7%
自宅に太陽光発電を設置した	169 17.3%	736 75.3%	30 3.1%	42 4.3%
自宅の建設時に省エネを考慮した	181 18.5%	554 56.7%	184 18.8%	58 5.9%
窓ガラスやサッシは断熱タイプ	278 28.5%	578 59.2%	76 7.8%	45 4.6%
CO2排出が少ない電気小売事業者	48 4.9%	510 52.2%	374 38.3%	45 4.6%

(上段回答数、下段割合)

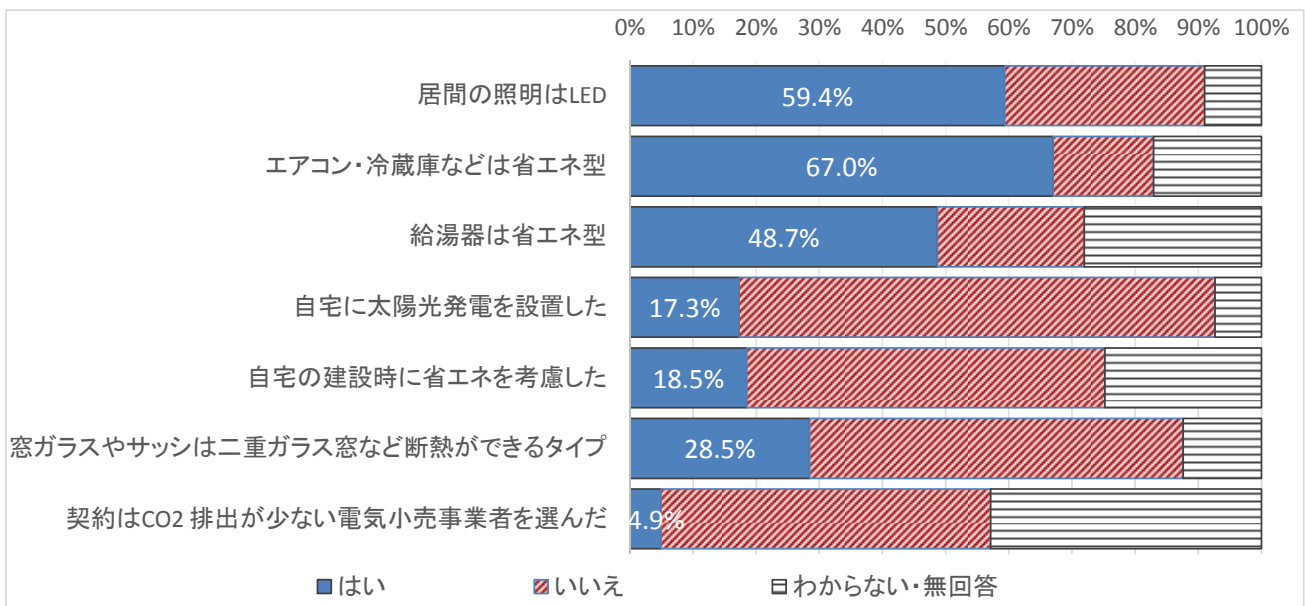


図 21 あなたのご自宅で、省エネ型の設備や仕組みをすでに導入していますか

3.4. 今後の行動

(主な集計結果)

- ・次回買い替えるときに省エネ性能を重視する割合は高く、家電製品で 80.5%、給湯器で 69.1%、自家用車で 54.0%となっている。
- ・自家用車の今後の購入では、ハイブリッド車を選びたいとする人が 34.0%、電気自動車が 6.1%のほか、自動車を持たないことを選ぶ人も 4.8%ある。
- ・住宅の建て替えなどにおいて、断熱を考えたいとする人は 6 割近くに達する。暑さ寒さの改善と、光熱費の削減が大きな理由となっている。
- ・太陽光発電や薪ストーブなど再生可能エネルギーの導入は、考えたいとする人は 2~3 割程度となっている。光熱費削減が大きな理由だが、災害時の利用、環境にいいという理由を掲げる人も少なくない。

(1) あなたは、省エネとしてどのような行動に取り組んでいますか (今後したい)

現在の行動についての質問の中で「今後したい」と回答があったものについて集計を行った。一般的に 1 割以下ではあるものの、その中では「緑のカーテン」が 9.4%と最も高い割合となった。

表 22 あなたは、省エネとしてどのような行動に取り組んでいますか (今後したいこと)

	合計	冷房28℃以上、暖房20℃以下の室温	シャワーを使う時間を短くしている	浴槽にお湯を少なくするよう気をつけている	必要のない照明をこまめに消している	冷蔵庫の開け閉めの時間を短く気をつけている	エコドライブを心がけている	外出時には水筒(マイボトル)を持ち歩いている	夏場は水分補給にこまめに気をつける	暑さ指数や、熱中症の注意報などを参考に	つる性の植物で「緑のカーテン」を育てている	打ち水を行っている
今後したい	977 100.0%	77 7.9%	79 8.1%	90 9.2%	28 2.9%	36 3.7%	55 5.6%	56 5.7%	15 1.5%	53 5.4%	92 9.4%	52 5.3%

(上段回答数、下段割合)

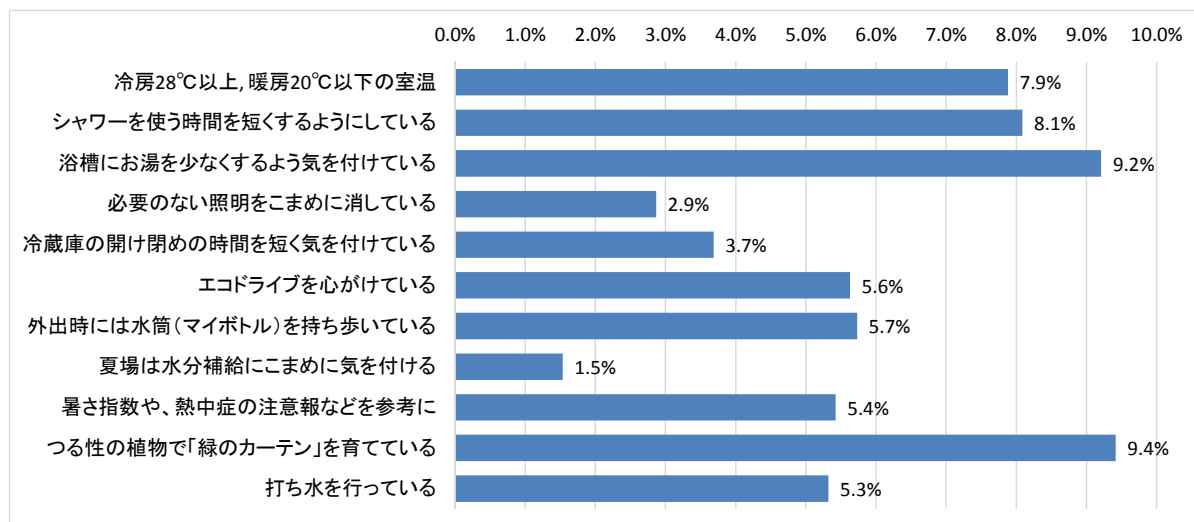


図 22 あなたは、省エネとしてどのような行動に取り組んでいますか (今後したいこと)

(2) 次回買い替えるときには、省エネ性能を重視して選びたいですか

家電、照明、給湯器、自家用車については、いずれも購入時に省エネ性能を重視することは、おおむね定着している。「重視しない」という回答はほとんどみられなかった。

表 23 次回買い替えるときには、省エネ性能を重視して選びたいですか

	重視する	少し重視する	あまり重視しない	重視しない	わからない	無回答
照明器具	718 73.5%	171 17.5%	29 3.0%	9 0.9%	16 1.6%	34 3.5%
家電製品(エアコン、冷蔵庫など)	786 80.5%	123 12.6%	16 1.6%	6 0.6%	15 1.5%	31 3.2%
給湯器	675 69.1%	163 16.7%	35 3.6%	11 1.1%	49 5.0%	44 4.5%
自家用車	528 54.0%	254 26.0%	57 5.8%	26 2.7%	64 6.6%	48 4.9%

(上段回答数、下段割合)

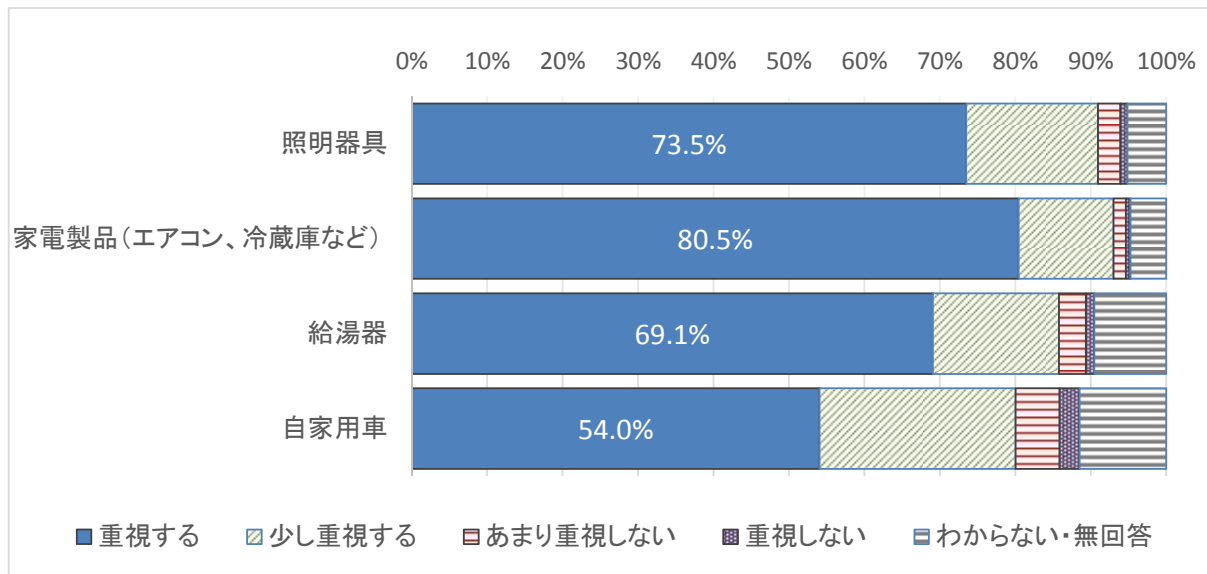


図 23 次回買い替えるときには、省エネ性能を重視して選びたいですか

(3) 今後の自家用車の購入・買い替えについて

自家用車については、「ハイブリッド自動車・プラグインハイブリッド自動車を選びたい」という選択が34.0%と最も多く、「ガソリン車を選びたい」とする16.3%を大きく上回った。電気自動車はまだ多くはないが、自家用車を持たないという回答も見られた。

表 24 今後の自家用車の購入・買い替えについて

	ガソリン車を選びたい	ハイブリッド自動車・プラグインハイブリッド自動車を選びたい	ディーゼル(軽油)車を選びたい	電気自動車を選びたい	燃料電池自動車(FCV)を選びたい	自家用車は持たず主にカーシェアリングを使いたい	自家用車は持たず主に公共交通機関を使いたい	特に考えていない	無回答
合計	977	332	16	60	8	6	41	295	60
	100.0%	34.0%	1.6%	6.1%	0.8%	0.6%	4.2%	30.2%	6.1%

(上段回答数、下段割合)

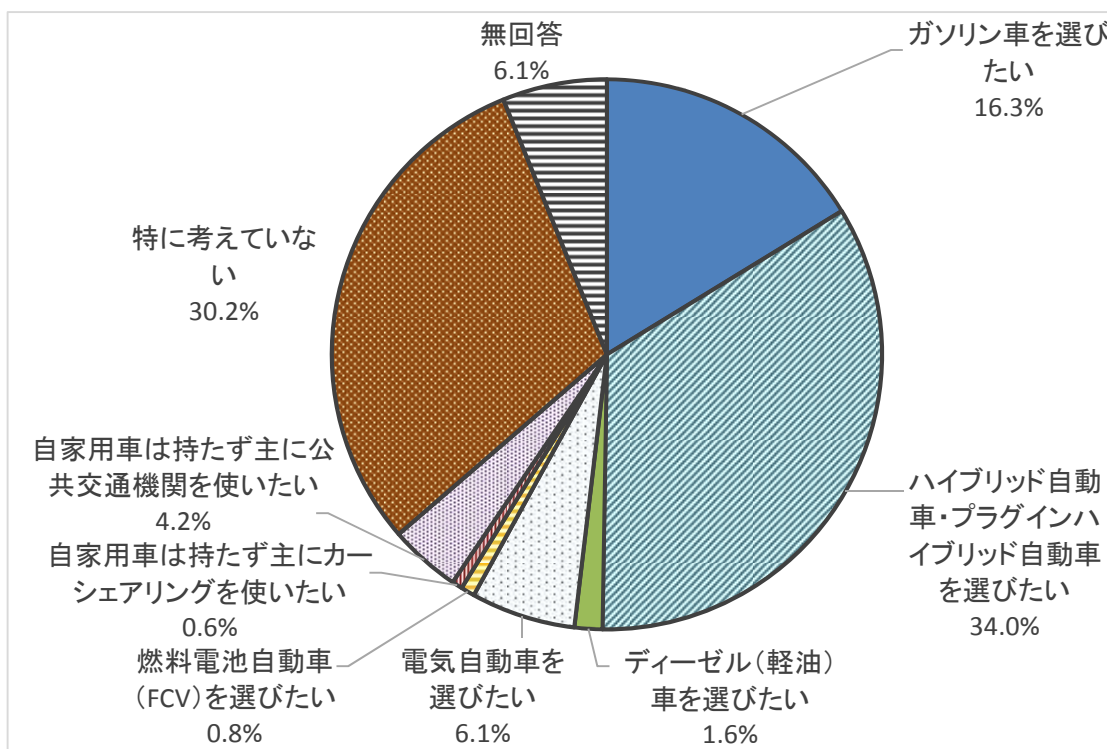


図 24 今後の自家用車の購入・買い替えについて

(4) 今後、住宅を建て替えるとき、省エネや再生可能エネルギーの導入などを実施したいと思いますか

住宅の建て替え等の対策としては、「窓の断熱」、「壁や屋根・床の断熱」に取り組みたいとする回答が比較的多く、「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」を合わせると4割程度に達している。

表 25 今後、住宅を建て替えるとき、省エネや再生可能エネルギーの導入などを実施したいと思いますか

	早く実施したい	費用をみながら検討したい	いずれは導入したい	考えていない	わからない	無回答
窓の断熱	127 13.0%	264 27.0%	195 20.0%	201 20.6%	104 10.6%	86 8.8%
壁や屋根・床の断熱	126 12.9%	259 26.5%	191 19.5%	213 21.8%	101 10.3%	87 8.9%
太陽光発電の設置	62 6.3%	165 16.9%	122 12.5%	412 42.2%	106 10.8%	110 11.3%
太陽熱温水器の設置	62 6.3%	160 16.4%	119 12.2%	411 42.1%	124 12.7%	101 10.3%
薪ストーブやペレットストーブの設置	29 3.0%	101 10.3%	70 7.2%	564 57.7%	117 12.0%	96 9.8%
CO2排出が少ない電気小売事業者	34 3.5%	142 14.5%	117 12.0%	314 32.1%	253 25.9%	117 12.0%

(上段回答数、下段割合)

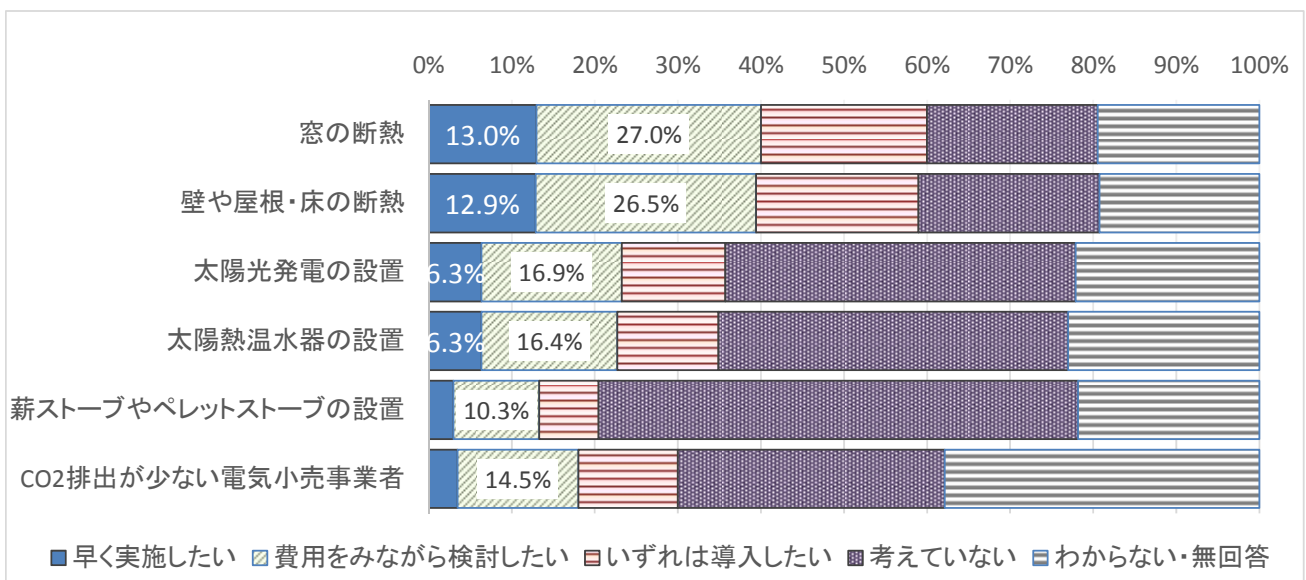


図 25 今後、住宅を建て替えるとき、省エネや再生可能エネルギーの導入などを実施したいと思いますか

(5) 壁や窓、屋根など住宅の省エネについて、取り組もうと考える理由は何ですか

壁や窓、屋根など住宅の省エネについて、先ほどの質問で「早く実施したい」もしくは「費用をみながら検討したい」と回答した人に、その理由を尋ねた。質問対象者数は 409 人。

対象者に占める割合で示すと、「夏の暑さや冬の寒さを改善したい」が 68.0%、「光熱費を下げたい」が 55.7%と高い割合だった。

表 26 壁や窓、屋根など住宅の省エネについて、取り組もうと考える理由は何ですか

	回答数	割合
夏の暑さや冬の寒さを改善したい	278	68.0%
光熱費を下げたい	228	55.7%
健康に過ごしたい	119	29.1%
高齢になったときの準備のため	76	18.6%
現状で、すきま風や雨漏りなど不具合がある	76	18.6%
感染症対策として換気機能を改善したい	25	6.1%
リフォーム(介護用/部屋の間取り変更)の予定がある	15	3.7%
ほかの家に比べて見劣りするから	8	2.0%
その他	19	4.6%

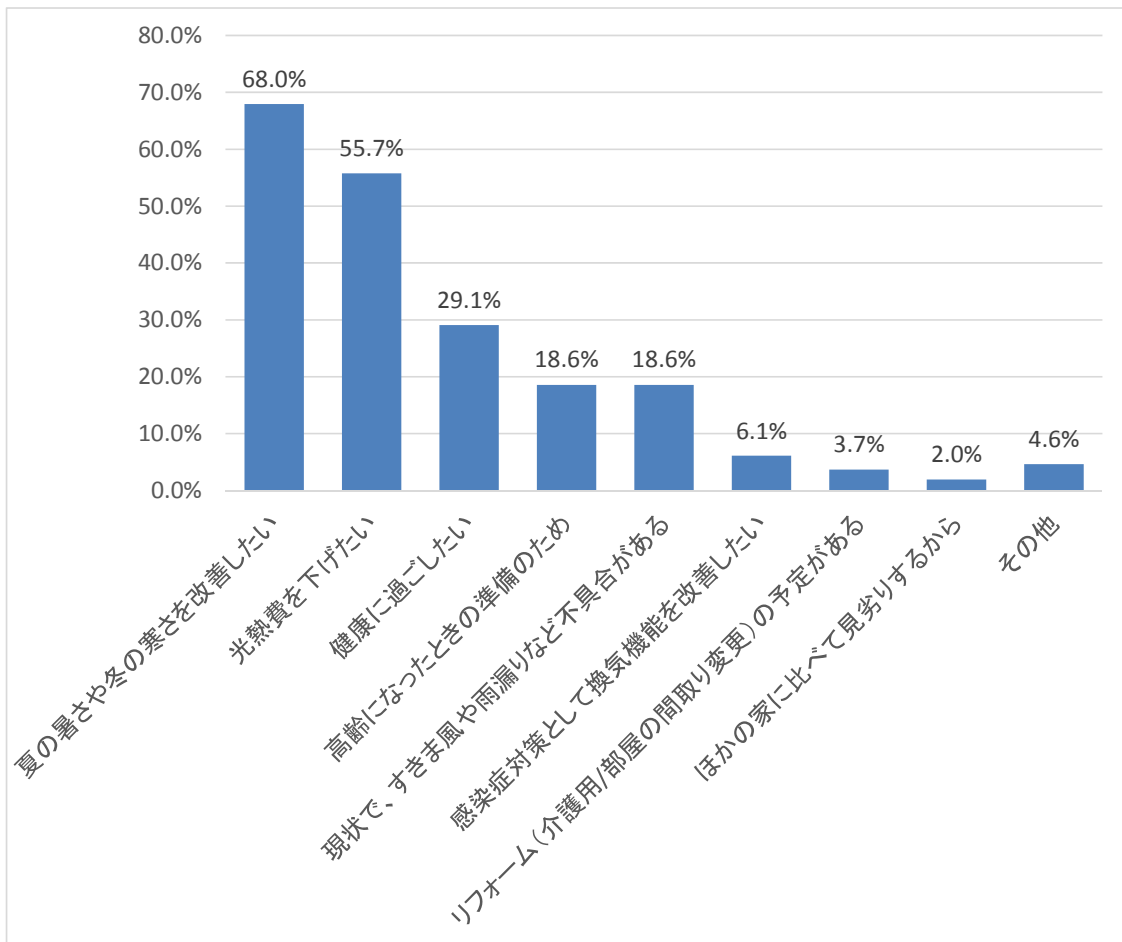


図 26 壁や窓、屋根など住宅の省エネについて、取り組もうと考える理由は何ですか

その他の自由記述

その他の回答としては、「結露を防ぐ」が 2 件（40 代女性、70 代女性）あった。

(6) 太陽光発電などの設置について、取り組もうと考える理由は何ですか

太陽光発電や太陽熱温水器、薪・ペレットストーブなど再生可能エネルギーについて、先ほどの質問で「早く実施したい」もしくは「費用をみながら検討したい」と回答した人に、その理由を尋ねた。質問対象者数は280人。

「光熱費を安くしたい。電気を売って得をしたい」が57.9%と大きな割合を占めたが、災害時対応も36.4%あるほか、環境にいい生活ができる、これからの時代に必要だから、自然エネルギーで暮らしたいなど、環境面での評価がいずれの回答も3割を超えており、一定に重視されていることがうかがえる。

表 27 太陽光発電などの設置について、取り組もうと考える理由は何ですか

	回答数	割合
光熱費を安くしたい。電気を売って得をしたい	162	57.9%
災害時にも電源・熱源として利用できる	102	36.4%
環境にいい生活ができる	93	33.2%
これからの時代に必要だから	92	32.9%
自然のエネルギーで暮らしたい	91	32.5%
子どもたちの世代のことを考えて	55	19.6%
周りで取り組んでいる家があるから	11	3.9%
その他	10	3.6%

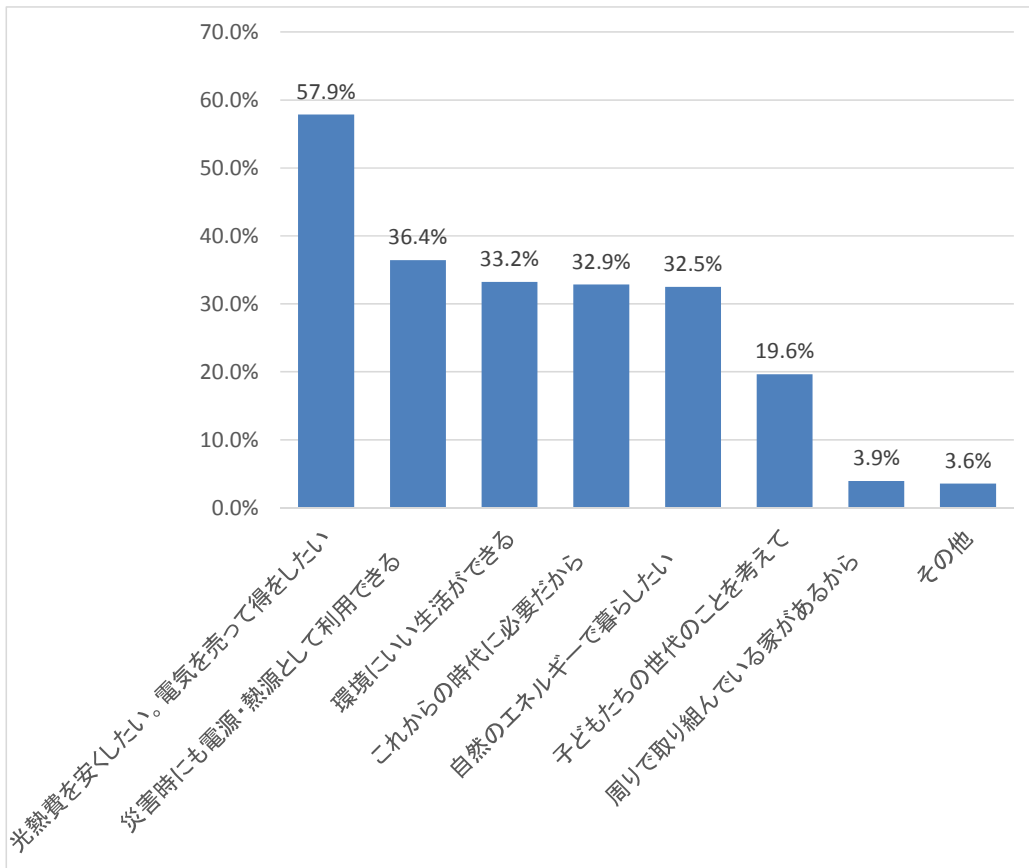


図 27 太陽光発電などの設置について、取り組もうと考える理由は何ですか

その他の自由回答

その他としては「夜間電力が高くなってきたから」（60代男性）があった。

3.5. 地域の取り組み

(主な集計結果)

- ・地域で導入・拡大すべきとする再生可能エネルギーの中では、「巨大な太陽光発電」が最も多く 31.7% の人から回答があった。一方いずれの項目でも、「わからない」という回答も多く、今後の話し合いが求められる。
- ・再生可能エネルギー導入でしてほしくない理由（複数回答）としては、「費用がかかって、地域に回るお金が少なくなる」ことが 40.7% と最も多くあげられた。
- ・安来市が優先的に対策すべきこととして、「洪水・土砂災害の増加」への対応を求める回答が 52.2% と最も多かった。
- ・安来市として「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」の宣言をするかどうかについて、「足並みをそろえて」を含めると、69.5% の人が宣言してもよいと回答となった。

(1) 再生可能エネルギーに関して以下のものについて、安来市内に作るべきだと思いますか

今後、再生可能エネルギーを基盤とした社会を構築していくことが求められる中で、それぞれの地域で再生可能エネルギーが受け入れられるかは重要な要素となる。ただし、例示した選択肢の中で、「風力発電（高さ 10m 程度の風車群）」は効率が悪い実用的でなく、「水力発電（山間部のダム）」も今後立地できる適地はほとんどないとされている。

「導入・拡大すべき」という回答が最も多かったのは「太陽光発電（巨大な太陽光発電所）」であり、31.7% の回答があった。しかしいずれの項目についても「わからない」とする回答が約 3 割あり、今後の話し合いを重ねていく余地が大きい。

表 28 再生可能エネルギーに関して安来市内に作るべきだと思いますか

	導入・拡大すべき	現状維持	導入・拡大してほしくない	わからない	無回答
太陽光発電(巨大な太陽光発電所)	310 31.7%	210 21.5%	88 9.0%	292 29.9%	77 7.9%
太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	213 21.8%	237 24.3%	112 11.5%	314 32.1%	101 10.3%
風力発電(高さ100m以上の巨大風車)	154 15.8%	214 21.9%	164 16.8%	345 35.3%	100 10.2%
風力発電(高さ10m程度の風車群)	209 21.4%	210 21.5%	114 11.7%	344 35.2%	100 10.2%
水力発電(山間部のダム)	250 25.6%	269 27.5%	56 5.7%	314 32.1%	88 9.0%
水力発電(水路や川に設置した水車)	262 26.8%	211 21.6%	49 5.0%	361 36.9%	94 9.6%

(上段回答数、下段割合)

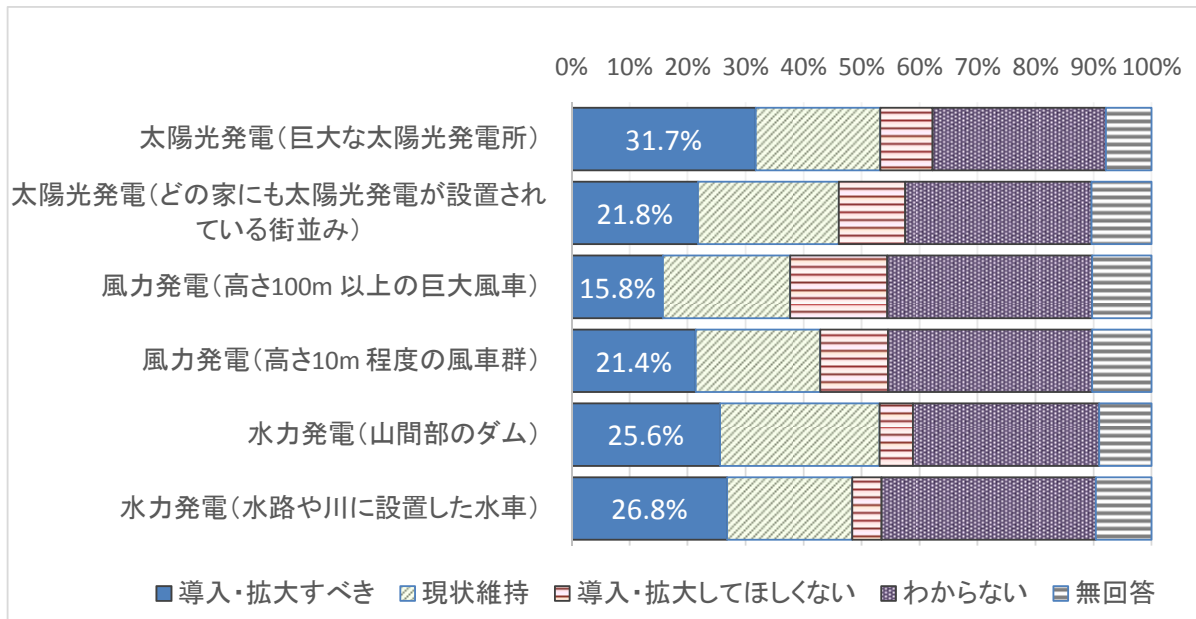


図 28 再生可能エネルギーに関して安来市内に作るべきだと思いますか

(2) 地域での再生可能エネルギー導入拡大について、してほしくないと思う理由はありますか
 最も多かったのが「費用がかかって、地域に回るお金が少なくなる」という心配で 40.7%あった。そのほかの項目も、いずれも 2 割前後の回答があり、今後の話し合いが重要となる。

表 29 地域での再生可能エネルギー導入拡大について、してほしくないと思う理由はありますか (複数回答)

費用がかかって、地域に回るお金が少なくなる	風景や自然が壊されてしまう、目障りになる	農地や山林が減ってしまう	風車の騒音や振動が心配	災害による事故を引き起こしやすくなる	事業者の顔が見えずに、問題があった時など話し合いができない
398 40.7%	215 22.0%	172 17.6%	193 19.8%	207 21.2%	200 20.5%

(上段回答数、下段割合)

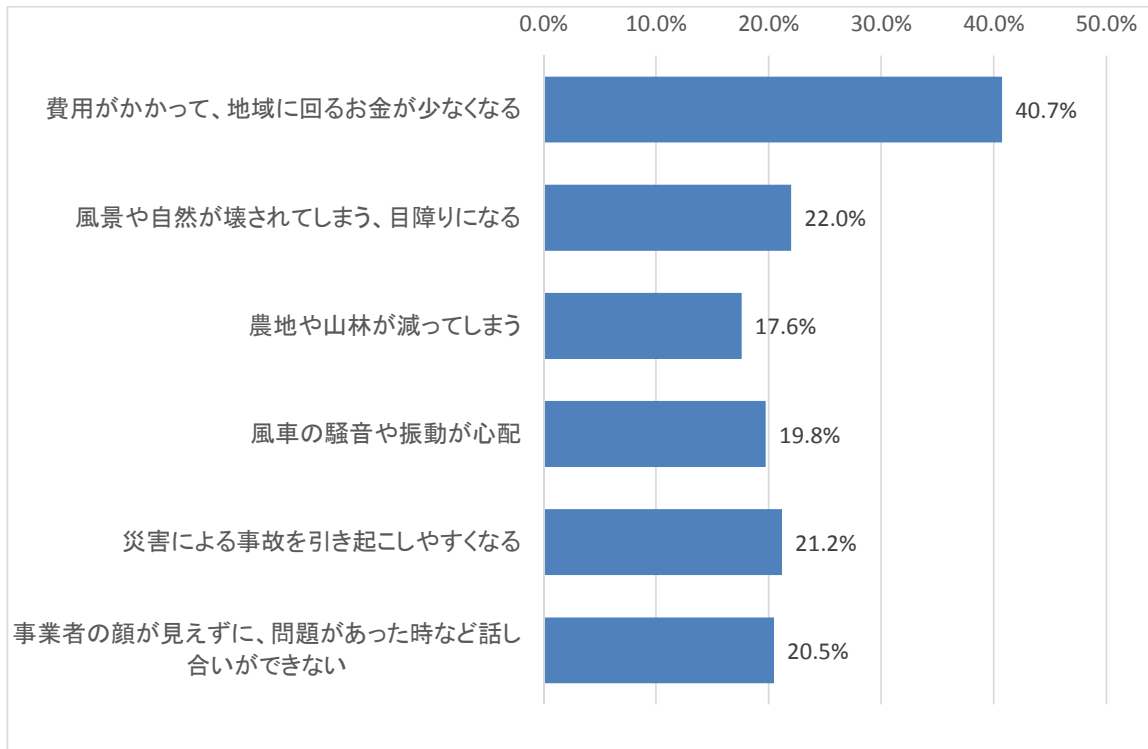


図 29 地域での再生可能エネルギー導入拡大について、してほしくないと思う理由はありますか（複数回答）

(3) 安来市が優先的に対策すべきもの

安来市が優先的に対応するべきものとしては、「洪水・土砂災害の増加」が最も多く 52.2%となった。傾向は、地球温暖化の影響として不安に感じる項目とおおむね一致している。

表 30 安来市が優先的に対策すべきもの

	洪水・土砂災害の増加	農作物や水産物など食料生産への影響	水環境・水資源(湧水、水質保全)	生態系への影響、熱中症の増加	感染症(デング熱等)の増加	観光・レジャーへの影響	特にない	その他	無回答
合計	977	214	60	72	20	14	34	7	46
	100%	21.9%	6.1%	7.4%	2.0%	1.4%	3.5%	0.7%	4.7%

(上段回答数、下段割合)

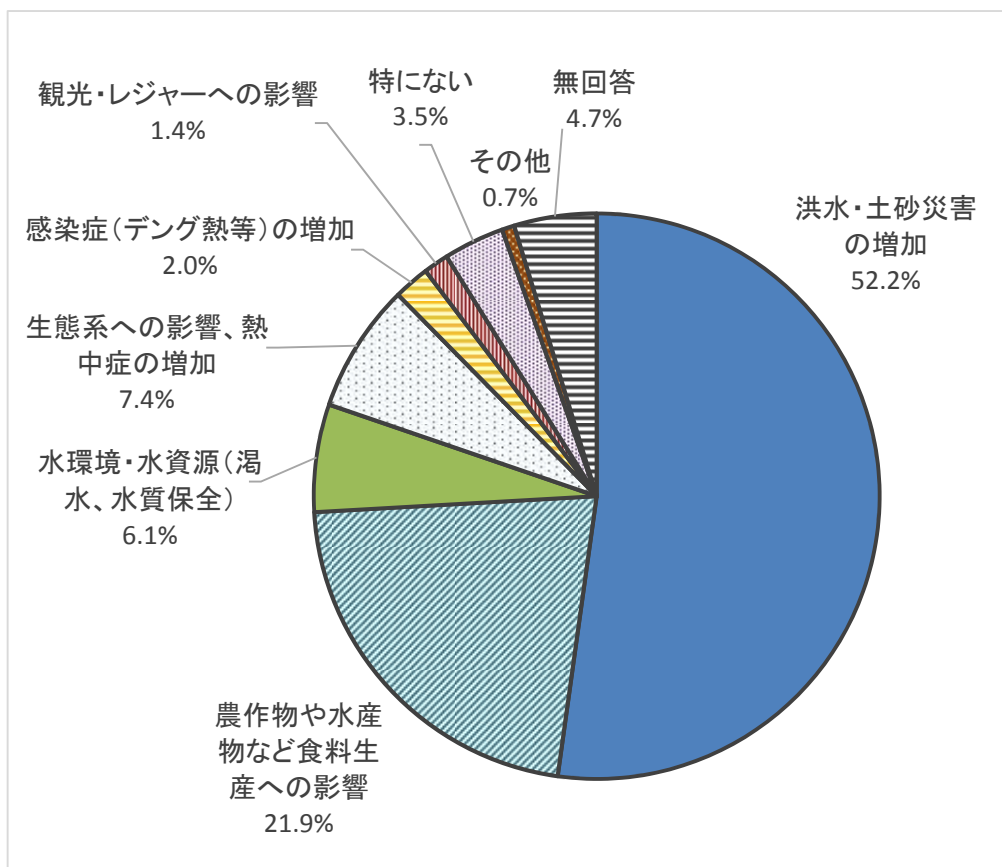


図 30 安来市が優先的に対策すべきもの

その他の自由記述

- ・水源、池に屋根がない(60代男性)
- ・安来市が外国製品を導入しないか。特に中国製太陽パネル等(女性)

表 31 不安に感じる影響と、安来市が優先的に対策すべきもの

	洪水・土砂災害の増加	農作物や水産物など食料生産への影響	水環境・水資源(湧水、水質保全)	生態系への影響、熱中症の増加	感染症(デング熱等)の増加	観光・レジャーへの影響	特になし	その他	無回答
一番不安に感じる影響	44.8%	21.2%	5.4%	18.0%	3.3%	0.4%	0.9%	0.6%	5.3%
安来市が優先的に対策すべきもの	52.2%	21.9%	6.1%	7.4%	2.0%	1.4%	3.5%	0.7%	4.7%

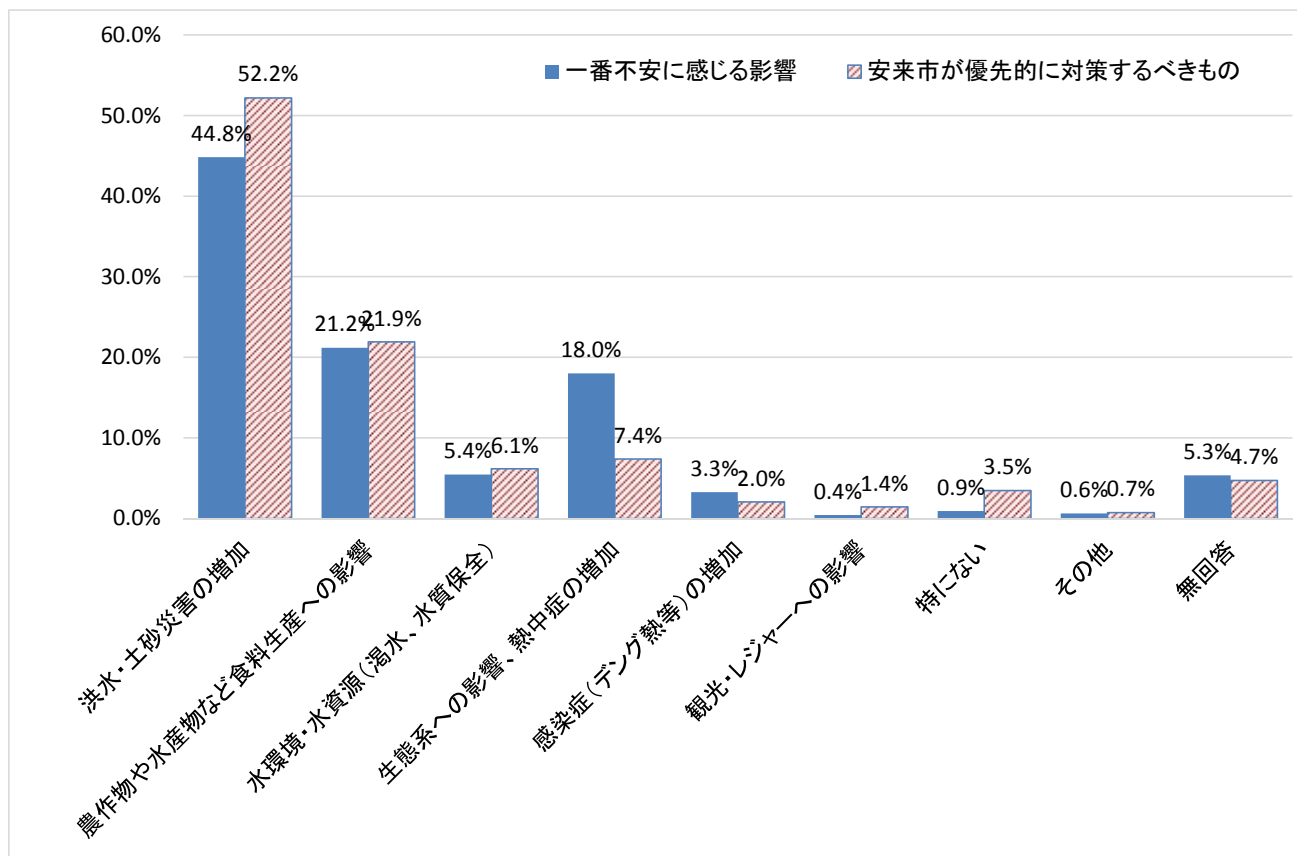


図 31 不安に感じる影響と、安来市が優先的に対策すべきもの

(4) 安来市として「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」の宣言をするかどうかについて、どう思いますか

「足並みをそろえて宣言してもいい」とする回答が46.1%と最も多かったが、「宣言して取り組むべき」とする回答も23.4%あった。合わせると、69.5%が宣言してもいいとの結果となった。

表 32 安来市として「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」の宣言をするかどうか

	宣言して取り組むべき	大部分の自治体に取り組むようなら、足並みをそろえて宣言してもいい	現実的でないので、しないほうがいい	その他	無回答
合計	229	450	188	51	59
	23.4%	46.1%	19.2%	5.2%	6.0%

(上段回答数、下段割合)

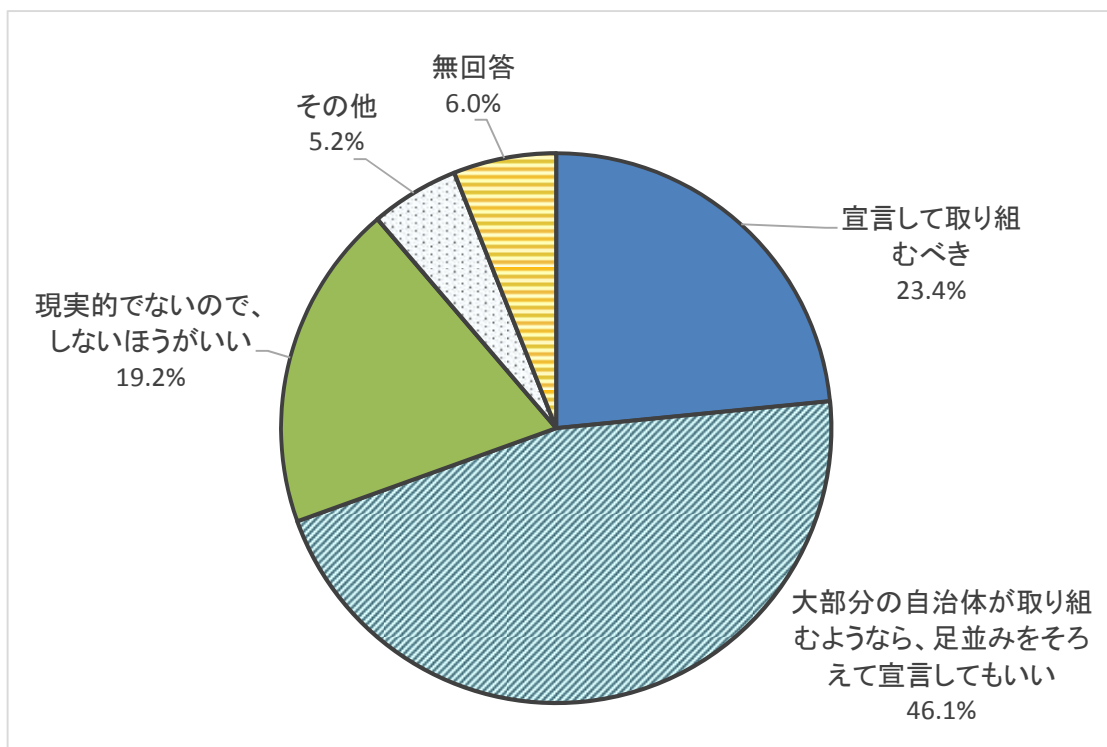


図 32 安来市として「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」の宣言をするかどうか

その他の自由記述

賛成、反対の両面から意見が出された。

(賛成)

- 現実的ではないが、目標に向かって進むべき。ゼロには不可能。(70代男性)
- ゼロは難しいと思うが、努力はすべきだと思う。(60代女性)
- 宣言して可能な限り取り組む。(60代女性)
- 目標が大きいが取り組むべきだと思う。(60代女性)
- 目標とする取り組みは必要だと思う。(40代女性)

(条件つき)

- 具体的な事例を参考にして、実現可能なら宣言してもいいと思います。(50代男性)
- するなら補助が必要。(30代男性)
- 宣言したその後が問題だと思う。(40代男性)
- 宣言すべきと思うが、具体的な方法を提示すべき。絵に描いた餅にならないように。(60代男性)
- 残り30年でどれだけゼロになるのか想像できない。宣言してもいいが、きちんとした計画や対策をはっきりしりたい。(20代女性)
- まず、市民への理解を深めるよう、PRするのが先決かと思います。(30代女性)
- 方法(確証)を検証してから判断。(60代男性)
- 宣言そのものに意味がない。実行に移すことが重要。(40代男性)

(できる範囲で)

- 安来市で出来ることに取り組むべき。(60代女性)
- 可能であれば計画したらよいと思う。(50代女性)
- 具体的に何をするのか、何ができるかが分からない。出来るという確証があれば宣言してもいいと思う。(40代女性)
- 達成できるビジョンがあるなら宣言してもいい(30代男性)
- 出来そうなものから優先した方がよい。(60代男性)
- できることをするべき(できる範囲でできるなら宣言してもいいと思う)。(20代女性)
- できることから少しずつ。(30代女性)
- 費用対効果として、現実的な市民生活が送れるのであれば宣言すべき。無理そうなら努力目標でよい。(40代男性)

(反対)

- 安来市を支える企業への負荷を増やし過ぎることは、多方面から考えてデメリットが多い。時期尚早だと思う。(30代女性)
- 今はわからない。けど現実的にきびしそうと思います。(10代女性)
- 空気中には0.03%くらいしかないので、無理しない。(50代男性)
- 具体的にどの部分をどうするかを決定してできないのであればやらない方がよい。(60代男性)
- 自治体が予算を使えるのか。一部だけに偏るのか疑問。(60代女性)
- 実現可能なのか難しいと思う。段階的な指標があれば取り組んでもいいと思う。(50代女性)

- 将来の人に任せる。(60代男性)
- すべきでない！！(40代男性)
- ゼロにできるか否か疑問に思う。出来ない事は言ってはいけない。(50代女性)
- 宣言をしても、そんなバカげたことができるはずがない。(60代男性)
- 出来もしないことを言わないでほしい。(30代男性)
- どうやってやるのでしょうか？具体例が知りたいです。無理だと思います。(30代男性)
- よそに横並びしてまですることではない。(40代男性)

3.6. 情報源

(主な集計結果)

・テレビ (84.4%)、新聞 (47.2%)、インターネット (37.4%) などから情報を得る人が多かった。

(1) 地球温暖化や省エネの方法に関する情報をどこから得ていますか

情報源としては「テレビ」が 84.4%と多く、続いて「新聞」の 47.2%、インターネットの 37.4%であった。自治体の広報誌は 17.9%であった。

表 33 地球温暖化や省エネの方法に関する情報をどこから得ていますか

	テレビ	ラジオ	新聞	書籍や雑誌	自治体の広報誌	ポスターやちらし	インターネット	ソーシャルネットワークサービス(SNS)	知人からのくちこみ	特にな
合計	977	131	461	144	175	118	365	114	56	18
	100%	13.4%	47.2%	14.7%	17.9%	12.1%	37.4%	11.7%	5.7%	1.8%

(上段回答数、下段割合)

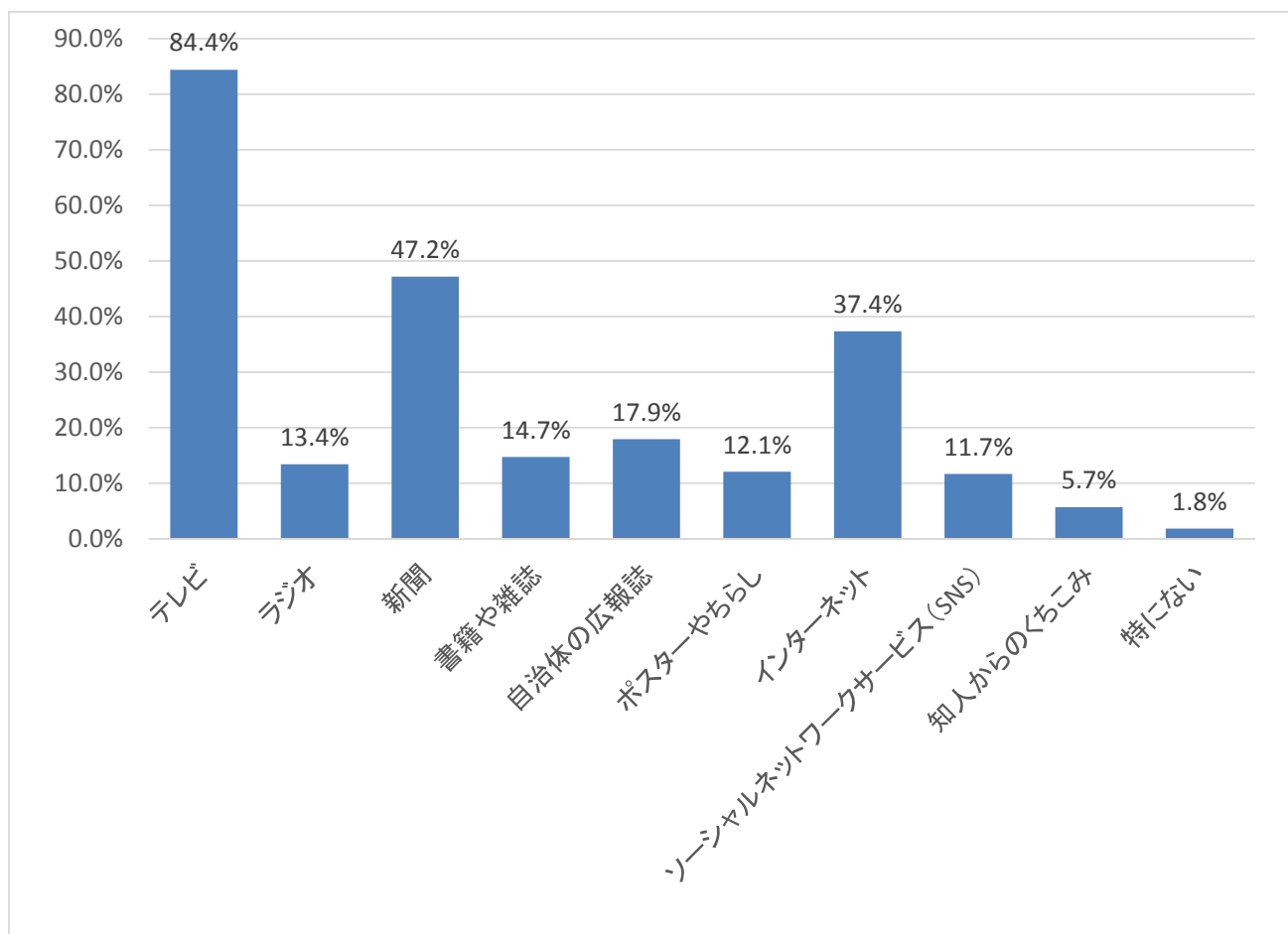


図 33 地球温暖化や省エネの方法に関する情報をどこから得ていますか

3.7. 地球温暖化対策のために取り組んでいること（自由記述）

関心が高く、301件の自由記述が寄せられた。

○生活スタイル

- スローライフの取り組み。(60代男性)
- 「もったいない」と口に出し、物を大切に使い、使い切ることにしている。(70代女性)
- 高齢者世帯なので、今あるものを手入れしながら使っている。新しいものを作ろうにもエネルギーを消費するので省エネ家電にしるということはおかしいと感じている。「もったいない」の心がけが大切ではと思う。(70代男性)
- 早く寝る。(40代女性)
- 早寝早起き。節電・節水。直して使う。(40代女性)
- 早寝早起き。(70代男性)
- 全てにエコ生活を心がけている。(60代女性)
- 広報がされていて知り得る事は出来る限り取り組むようにしている。(40代男性)
- できると思うことは全て実践している。(70代男性)
- 市民皆が無駄な部分を見直して、自分たちの身近なところから、エコや自然への接し方を考えていくこと。(60代女性)
- 「つけっぱなし、あけっぱなし」はやめようねと子供と話して実践しています。(30代女性)
- 質素な暮らし方を追求。(60代男性)
- 分をわきまえて生活する。得なこと、便利なことにすぐいつかない。(40代女性)

○情報・教育

- 地球温暖化対策を言い続けること。(30代男性)
- 地球温暖化になった原因を考え、その原因を改善していく努力が必要ではないでしょうか。色々な角度から物事をみたくて現実的に可能(不利になることはないか?)か見極めて行う必要があると思います。(50代女性)
- TVやマスコミの報道は疑ってかかる。自分から能動的に情報をもとめるようにする。(40代女性)
- テレビのワイドショーのバカげた扇動に乗らないようにしている。(60代男性)
- 温暖化に対する幅広い知識の習得。(60代男性)

○買い物の配慮、無駄な物を買わない

- エシカル消費を心掛けている。(60代女性)
- エシカル消費。(70代女性)
- 地産地消。(30代女性)
- 地産地消(フードマイレージ)。(50代男性)
- 地元産食品の購入。(40代男性)
- 買物も移動距離の短い所です。(60代女性)
- なるべく地元の野菜を買う。(60代女性)

- 肉食をなるべくしない。魚や野菜を中心に食べている。(飼育エネルギーをなくす)。(50代男性)
- 不要なものを買わない。
- ゴミを減らすために不要な外出や買い物を控えている。(40代女性)
- ごみをあまり出さないように買い物をする。買ったものをちゃんと確認し、使い切るようにしてロスをなくす。(30代女性)
- 買い物の時にペットボトルの製品等をたくさん買わない。(50代女性)
- 断捨離をして、よけいなものを買わない。(40代男性)
- 無駄をなくす。使わない、買わない。(30代女性)
- 無駄な動きをしない(車で)。化学製品を使用しない。(70代女性)
- 不要なものを買わない。(60代男性)
- 不要なものは買わない。使えるものを大切にする。ゴミの分別。エネルギーの利用の減量化。(50代女性)
- 必要のない買い物をしない！ゴミを減らすため、使える物は人にまわす。(50代女性)
- 余分なものは買わない。ごみを減らす。(40代女性)
- 必要な物だけ購入することを考え、食品ロスもなくすようにする。(40代女性)
- 買い物をする時に無駄なものを買わないようにしている。(40代女性)

○マイボトル・プラスチック減量

- マイボトルの利用。(30代女性)
- 水筒を持ち歩く。(40代女性)
- 運動の時はマイボトルを持ち歩く。(70代男性)
- マイボトルの携行。(60代女性)
- お茶をわかしてマイボトルで過ごしている。(20代女性)
- テイクアウトのプラスチック容器を紙に変更して貰う。(又は食器を家から持参する。スーパーの惣菜の買い控え)。(50代女性)
- 食品ロスを少しでも減らせるようにすぐ消費してしまうものは賞味期限の近いものをできるだけ買うようにしている。(30代女性)
- 今はプラスチック問題が気になるので、なるべくプラ使用のものは買わないか、他の素材でできたものがあれば、そちらを優先する。洋服はなるべく古着、その他の物もリサイクル品で良いものを(環境にとって)があればそちらを選ぶ。それか、持続可能な社会への取り組みをしている会社のものをできるだけ買う。(40代女性)
- プラスチック製品を極力使わない。(30代女性)
- 使い捨てカトラリーの不使用。(30代女性)

○レジ袋・マイバック

- レジ袋→マイバッグに。(30代女性)
- レジ袋はもらわない。(40代女性)
- エコバック持参。(30代女性)

- エコバッグ持参。(10代女性)
- エコバッグ使用。(40代女性)
- エコバッグを持ち歩いている。(30代女性)
- エコバッグを使用する。(50代女性)
- エコバッグを使う。(60代女性)
- エコバッグの使用。(60代女性)
- エコバッグの使用。(10代女性)
- エコバックの活用。(60代男性)
- エコバッグ。(60代女性)
- エコバッグ。(30代女性)
- エコバッグ。(20代女性)
- エコバッグ。(40代男性)
- マイバッグの利用。(50代女性)
- マイバッグの使用や紙ストローなどゴミを減らすようにしています。(40代女性)
- マイバッグ。(40代男性)
- マイバッグ。(40代男性)
- マイバッグ。(10代女性)
- マイバッグを常に使用している。(60代女性)
- かばんの中に常にマイバッグを入れて、レジ袋がいらないように気をつけています。(60代女性)
- できるだけマイバッグで買い物をするように心掛けている。(40代女性)
- プラスチックの袋などなるべく使わずエコバッグ等利用している。(70代男性)
- マイバッグ持参。(30代女性)
- マイバッグ持参。(60代女性)
- マイバッグを持ち歩く。(40代女性)
- 買い物もマイバッグを持って行く。(70代男性)
- 買い物はマイバッグ使用。(20代女性)
- 買い物はマイバッグを使用。(50代女性)
- 買い物はマイバッグ。(60代女性)
- 買物の袋 ナイロン袋からエコバッグに変えている。(60代女性)
- 買い物袋を持ち歩く。(店でナイロン袋をもらわない)。(60代女性)
- 買い物袋(エコバッグ)を持参する。(50代女性)
- 店で買い物袋をもらわない(マイバッグの持参)。(30代女性)

○ごみ減量

- ゴミを少なく。(30代女性)
- ゴミの廃棄を少なくする(生ゴミ、プラスチック)。(60代男性)
- ごみを少なく。分別処理。(70代女性)
- ごみの量を少なくする工夫をする。(70代女性)

- ゴミを減らす。(40代女性)
- ゴミは燃えるゴミを含め、極力出さないことも意識しています。(60代男性)
- 廃棄物をできるだけ出さないようにする。(70代男性)
- 家庭ごみを出来るだけ少なくするようにしている。(70代男性)
- ゴミを増やさない。不要なものは買わない。→ゴミが増えるので。(30代女性)

○ごみ分別・リサイクル

- ゴミの分別。(30代女性)
- ゴミの分別、節電、節水。(30代男性)
- ゴミの分別。(30代男性)
- ごみの分別。(30代女性)
- ゴミの分別。(30代女性)
- ゴミのリサイクル。(40代女性)
- ゴミのしわけ。(60代女性)
- ごみ分別。(30代女性)
- おそうざいパックなどは洗って器として再利用する。(ゴミを少なくする目的と災害の時に使用する)
(40代女性)
- ごみの分別を心がけている。(30代女性)
- ゴミの分別をしっかりと守ります。(70代男性)
- ゴミの分別をこまめに。電気をこまめに消す。(70代男性)
- ゴミの分別をきちんと仕分けています。(20代男性)
- ゴミの分別に注意している。(60代男性)
- ゴミの分別に協力している。個人では判りにくいので行政の方より指示があった方が良いのでは？
(70代女性)
- ごみの分別。(30代女性)
- ゴミをリサイクルに出す。(20代男性)
- ゴミをできるだけ出さないようにする。出た場合は分別をしっかりとする。(特にプラスチック) (60代女性)
- ゴミをきちんと分別して捨てている。(20代女性)
- ごみは家庭で燃やさない。捨てないで分別どおりにまとめて決められた場所に出す。(70代女性)
- ゴミの分別。(70代男性)
- 分別をきちんとしています。(70代女性)
- 分別しています。(20代男性)
- リサイクルできるものはできるだけする。(40代女性)
- ごみを減らす。(60代女性)
- 再利用。(30代男性)
- リサイクルを心がけて、ごみはこまかく分別しています。(40代女性)
- ペットボトル、食品トレー、牛乳パックはリサイクルしてくれる所に出しています。(20代女性)

- プラスチック等分別ゴミに出している。(70代女性)
- プラスチックゴミの分別をしっかりとやる。(70代男性)
- ごみの分別の徹底。(40代男性)
- ゴミの分別。(60代女性)
- 安来市のゴミの分別に協力している。(安来市はだいぶ細かいと思う)(ごみ袋の値段も高いので)。(50代女性)
- ゴミはリサイクルにできるだけ持って行く。(50代女性)
- ゴミの分別処理。(60代男性)
- ゴミの分別を正しく行い、資源に結び付ける。(60代女性)
- ペットボトルやトレーのリサイクル。(60代女性)
- リサイクル。(ダンボールや雑誌等) リユース。(20代女性)
- 分別ゴミのルールへの厳守。できるだけゴミの出ないように買い方を心掛ける。(60代男性)
- ゴミ排出時、カサを減らす等。(60代男性)
- 利用できるものはなるべく再利用する。(50代女性)
- 日々の生活でゴミ分別など、できることからするようにしています。(30代女性)

○生ごみ減量・食品ロス

- 生ごみの水分減量。(30代女性)
- 食品ロスの低減(買い過ぎない、食べきるなど)。(30代女性)
- 食べ物を残さない。(60代男性)
- 生ゴミ、食品ロスをできるだけ出さない。(70代女性)
- 食品ロスをなくす(計画的に買う)。(40代女性)
- 食事を残さず食べている。(10代女性)
- 生ゴミはなるべく水を切る。(50代女性)
- 食品ロスを出さない。ゴミの分別。ポイ捨てしない、ゴミ箱へ。(30代女性)
- 食事は作りすぎず、食べきれぬ量で準備する。(60代女性)

○生ごみ処理

- EM菌。(70代女性)
- 市の指導に従い、ゴミは完全に分別している。もやすゴミは減らし、生ゴミ等はほぼ再生して肥料にしている。(70代女性)
- 生ゴミをコンポスターで処理。畑の肥料。井戸の有効活用。(70代男性)
- 生ごみは家庭内でコンポスト処理。(60代男性)
- 生ごみの堆肥化。(70代男性)

○ごみを燃やさない

- 焚火をしない。(70代男性)
- 数年前まで家庭(個人)のゴミを焼却していたが、当時ダイオキシン発生が問題があり、それ以来、

温暖化に関心を持つようになった。ゴミの減少化に努めている。(70代男性)

- プラスチックごみを少なくしたり、野焼きをするのをやめました。(50代女性)
- ゴミを燃やさない。(60代男性)

○ごみ拾い

- 釣りに行った際、釣り場に落ちているごみの回収をしている。(20代男性)

○太陽光

- 10年前から太陽光発電を導入している。(50代男性)
- 10年前に太陽光発電設置。(70代女性)
- 太陽光発電を10年前から利用し、日中の電気は賄っている。(50代女性)
- 太陽光パネル。(70代女性)
- 太陽光発電パネル設置。(70代男性)
- 太陽光発電バッテリー。(40代男性)
- 太陽光発電ができるようにしました。省エネ、光熱費が削減できればいいなと思い、設置しました。これから蓄電池？がもっと安く、良いものがでてきたら将来購入したいです。(20代女性)
- 太陽光発電、蓄電池、太陽熱、照明は全てLEDに取り替え、車はeパワー車。(60代男性)
- 太陽光発電、蓄電池。(60代女性)
- 太陽光発電、ガス発電、必要のない照明を消すetc。(50代女性)
- 太陽光発電、エコ給湯、パワーコンディショナー。(50代男性)
- 太陽光発電、LED、エコキュート、ハイブリッド車、冷房、暖房の温度。(70代男性)
- 太陽光パネル取付。省エネの車。(60代男性)
- 独立循環型ソーラーシステムの勉強。停電時、災害時使用可能なシステム(電気)。LED灯(工作)ソーラー充電器(製作)ー電池用。(60代男性)
- 太陽光発電。(10代女性)

○住宅設備・断熱

- リフォームした時、二重ガラスや二重サッシにした。(70代女性)
- 家の断熱。井戸水利用。(40代男性)
- 建物の天井、壁、床に断熱性の高い材料を使用している。全部の窓ガラスに複層ガラスを使用している。(70代男性)
- 遮熱アスファルの導入。(40代男性)
- 窓・壁・屋根・床etc.リフォームで断熱済。瓦については防災瓦に替える予定あり。(40代男性)
- 省エネ住宅を建てた、太陽光発電を設置している(36枚)、蓄電池取り付け申請中。(60代男性)
- 省エネ住宅。(30代男性)
- 省エネ型設備の設置(太陽光発電・エコ給湯・LED・省エネ家電)。(60代男性)
- 屋根の上の太陽ヒーター(お風呂の湯)など。(60代女性)
- 新築して3年がたちました。いろいろと省エネのことを考えて設計したつもりだけど、もっとああ

すればよかった、こうすればよかったと思うことがあります。毎日の生活の中で出来るかぎりして
こうと思います。(60代女性)

- LED照明、太陽熱温水器、ハイブリッド車、インプラス窓。(60代女性)
- 新築時は普通のサッシ窓の為、3～4年前より一部ペアガラスに変更。(60代女性)
- 二重サッシ。御簾をたてる。太陽熱温水器を随分古いものですが、使っている。(70代女性)
- オール電化をなくす。(70代男性)
- 太陽熱温水器を使用している。(70代男性)
- 電気はエコキュートにしている。(70代女性)

○省エネ機器

- LEDに替えて行っています。(60代女性)
- リビングキッチンもLEDに替えた。(70代女性)
- LED電球に交換した。クーラーを省エネにした。(70代男性)
- LED照明の利用。(30代女性)
- 照明はLEDに替えている。(70代男性)
- 照明をLEDに替えている。不必要な電気を消す。(40代女性)
- 照明はLEDにしたり、家電は省エネタイプにしたり。(50代女性)
- CO2排出量を減らす為、家庭はエアコン、温水器等新たに購入する家電等省エネタイプ、エコキュート、LEDに順次替えている。(50代女性)
- 省エネ、電灯をLED化、太陽光発電のセンサー付照明を利用。窓ガラスに直射日光を防ぐシートを取付。台所・風呂のIH化。(60代男性)
- 省エネ型の冷蔵庫、エアコン、LED電燈。(60代女性)
- 省エネ家電を積極的に使用する。(50代女性)
- 照明、家電製品、給湯器 etc. 10年以上前から省エネ製品を選び、買替の時も数社のカタログから選んでいる。(40代男性)
- 出来るだけ省エネ電気製品の使用。(70代男性)
- 電気製品等、省エネ製品への買替。省エネを実感しており、今後すべて替えていきたいと思っている。(60代女性)
- 省エネ型の設備はしています。(70代女性)
- 省エネ製品の購入。(40代男性)
- 省エネの家電を買う。(70代女性)
- 電化製品は故障でもしないと交換しませんが、コストが少し上がっても省エネタイプを選ぶようにしています。(60代男性)
- 交換する家電は省エネを重要条件の一つに入れている。他は1～2割を目標に節電。(60代男性)
- なるべく家電を買い替えるときは省エネタイプ、待機電力を使わない。(50代男性)
- 車、家電、熱源等は省エネの物を選ぶ。(40代女性)

○エコカー

- ハイブリッドカーの導入。(70代女性)
- 車をハイブリッドにしている。(60代女性)
- 自動車をハイブリッド車に買い替えた。(40代女性)
- 車はハイブリット。(40代女性)
- 車のハイブリッド化→電気へ。(70代男性)
- ハイブリッド車に乗っている。(60代男性)
- 車をハイブリッドカーにし、アイドリングストップありの運転にする。(50代女性)
- 地球に優しい車に乗っている事。(60代女性)

○冷暖房の使い方の工夫

- エアコン+扇風機してエアコンの設定温度を調整する。(70代男性)
- エアコン28℃(夏)設定。(30代女性)
- エアコンなどもあまり温度を下げすぎないようにしている。(70代女性)
- エアコンの、電気のこまめな消灯。(20代男性)
- エアコンの温度。一つの部屋に長く集まる。(30代女性)
- エアコン等の温度設定、近くに移動する時はなるべく車を使わない。(60代女性)
- エアコン使用しないで扇風機を使用するようにしている。(70代男性)
- エアコンをなるべく使用せず自然の風で対処していますが、今年の夏は無理でした。(60代女性)
- エアコンをつけない。(20代女性)
- エアコンの温度設定。(30代男性)
- エアコンの温度設定。(30代女性)
- エアコンの温度を考えて使用している。(50代女性)
- エアコンの温度設定。熱中症対策。(40代女性)
- なるべく冷暖房をつけないようにしている。(10代男性)
- サーキュレーターで、エアコンは使用せず。(50代女性)
- エアコンをつけない。(50代男性)
- クーラーを使わずに外の風のみでやりくりしています。(20代男性)
- 微々たることだが、なるべくエアコンをつけずに過ごすとかゴミの量を減らすぐらいです。(40代女性)
- エアコンと扇風機を兼用し、効率よく部屋を冷やす。遮光・遮熱カーテンを使う(実家ではグリーンカーテンを設置)。(30代女性)
- こまめにカーテンを閉めて太陽光を遮断する。(60代女性)
- 一人の時はエアコンをつけない。冬は湯たんぽを使うとか?特に大掛かりなことはしていません。自分ができる範囲で出来ることをしています。(50代女性)
- 冷房は26℃以上、暖房は20度くらいに設定。(70代男性)
- 冷房、暖房の設定温度。(50代女性)
- 冷暖房は最小限に。(30代女性)
- 冷暖房使用時の温度調節。(60代女性)

- 冷暖房の室温設定等節電。(60代女性)
- 冷暖房の温度設定。風呂の残り湯の活用。(70代女性)
- 冷暖房の温度を下げ過ぎない上げ過ぎない。(30代女性)
- 冷暖房の温度に気をつける。アイドリングストップを使う。(50代女性)
- 冷暖房の温度。(60代女性)
- 適温で冷暖房をする。(10代女性)
- 冷暖房(エアコン)使用をなるべく減らす。(50代女性)
- 室内温度調節時にむやみにエアコンを使用しない。(60代男性)
- 灯油をあまり使わないようにしている→こまめに消したり、あまりつけないようにしている。(30代女性)
- クールビズ。エアコンの省エネ。(50代女性)
- 家内のウォームビズ、クールビズ対応。(50代男性)
- 楽な服装。(40代男性)
- 気温等に気を使い、エアコンを上手に利用する。(70代男性)
- 石油・ガス・電気エネルギー消費の節約。(70代男性)
- 冷暖房のエコ。(40代男性)
- 冷暖房はがまん出来る範囲で我慢する。(60代女性)
- エアコンは夏場は温度出来るだけ下げないで扇風機を使っている。(60代女性)
- 年々厚さや寒さが異常ともいえることが多く、冷暖房などを使いすぎたりしていますが、電気の使いすぎに気を付けたいと思います。(60代女性)
- エアコンの温度設定には気を遣っています。(50代男性)
- 夏は熱中症にならない程度にエアコンなどの使い分けをした。(20代女性)
- 夏は図書館など涼しくしている所に行く。冬は着るものを増やす。もしくは運動をする。(40代女性)
- エアコンの節電。(60代男性)

○緑のカーテン

- 「緑のカーテン」を毎年育てている。(70代女性)
- 実家ではグリーンカーテンを設置。
- グリーンカーテン。(30代男性)
- 夏にはよしずをかける。グリーンカーテン、ゴミの分別。(60代女性)

○風呂の工夫

- 風呂水の交換を2日に一回にしている。(70代女性)
- お風呂は続いて入るようにしている。(70代男性)
- お風呂は5分であがります。(20代男性)
- プロパンガスを電化に。また、風呂の灯油ボイラーを電気温水器に。(70代男性)
- ふろの残り湯を洗濯に使う。(60代女性)
- 家事などで浴槽のお湯をためず、シャワーのみを使う。(50代男性)

○掃除洗濯の工夫

- 洗剤使用の減量。(70代女性)
- こまめにそうじで電気のききをよく節電に心掛ける。(40代女性)

○節電・省エネ全般の工夫

- テレビを消す。がまん。(60代女性)
- こまめに電気を消す。(20代女性)
- こまめに電気を消す。むだに水を使わない。(40代女性)
- こまめに照明消す。(60代男性)
- こまめな消灯。(60代男性)
- ごみの分別、電気の節電。(50代男性)
- ゴみの分別、節電等、小さなことでも個人としてできることをまじめに毎日続ける、そう心掛けて日々取り組んでいます。(50代女性)
- 家の中ではできるだけ使わない電気は消す、など。節電タップを使う。(60代女性)
- なるべく節電を心掛けている。(20代女性)
- 基本はCO₂ガスを出さない。ガスが出る機械類の使い方の調整。例)車、電気の使用削減。水道の水等の節約。(70代男性)
- 節約と無駄なことをしない。(70代男性)
- 節電を心がけている。(30代女性)
- 節電に気をつけている。(70代女性)
- 節電・節水程度です。(40代男性)
- 節電・節水・各ゴミを少なく。(50代男性)
- 節電。無駄な電気は使用しない。(70代男性)
- 節電。細かなゴミ分別。(60代女性)
- 節電。エコドライブ。(50代女性)
- 節電、節水。(60代男性)
- 節電、エコドライブ。(50代男性)
- 節電。(40代男性)
- 節電。(30代女性)
- 節電。(20代男性)
- 節電。(10代男性)
- 節水、節電、エコ運転等。(60代男性)
- 生活に無駄を出さないように若い時から取り組んでいる。ゴミや温度にも気をつけている。(60代女性)
- 省エネ生活。(50代男性)
- 省エネ生活。(30代女性)
- 省エネ、電気をこまめに消す。麦茶をこまめに家族で飲むようにしている。(50代女性)

- 省エネ。(70代男性)
- 省エネはやってます。(30代男性)
- 省エネの励行。(50代男性)
- 照明や使っていないコンセントなどの電気をこまめに消す。(20代男性)
- 使わず過ごせるようなら冷暖房を使わず、身の回りの物で体温調節して過ごす。(20代男性)
- 夜玄関の照明は点けっぱなしにしない。(70代男性)
- 油・電気などの節約。(70代男性)
- 電力消費量の減少→照明のLED化など。(60代男性)
- 電源はこまめに消す。(70代女性)
- 電気代削減の取り組み。(50代男性)
- 電気をこまめに消す。(70代女性)
- 電気をこまめに消す。(60代女性)
- 電気はこまめに消す。(30代男性)
- 照明の節電。(70代女性)
- 日常生活ではテレビのつけっぱなし。人がいない部屋の電気(LED)は気が付いたら消すように心がけている。風呂に湯を溜めてから2時間以内に家族全員が風呂に入るようにしている。(なるべく追い炊きしないように)。(60代女性)
- 無駄な電気等使わない。(60代男性)
- 無駄な電気、水を使わない。(30代女性)
- 使わない電気は消す。(10代女性)
- ごく一般的ですが、省エネ(電気をこまめに消す、扇風機を有効利用)。(60代男性)
- 電気の使用もムダ使いはしません。(40代女性)
- できるだけ節電。(50代女性)
- スイッチのこまめなOFF、ホットカーペットをやめてこたつ。扇風機の活用。(50代男性)
- 光源・熱源の節約、外出時の節約。(60代男性)
- できるだけ家族同じ部屋で過ごし、電気のコストをなくすようにしている。(30代女性)
- 節電を心掛けている。(40代女性)
- エネルギーの無駄遣いをしないようにしている。(10代男性)
- 電気をこまめに消す、など。(30代女性)
- 電気のコストを削減しないよう心掛ける。(50代女性)
- 自分のできる範囲の省エネ(こまめに照明を消す。エコバッグの使用。家族でなるべく1つの部屋で過ごす、など)を実施しています。(40代女性)
- 自分でできる省エネに取り組んでいる。食品ロスを減らす。無駄な物を買わない。ごみを減らす。(70代女性)
- 使っていない時はコンセントからプラグを抜いておく。蛇口やシャワーから水を出しっぱなしにしない。部屋の電気をこまめに消す。(20代女性)
- 昼間は部屋の照明を点けず、窓からの光で過ごす。(30代男性)
- 家庭、会社での電気のスイッチをこまめに切る。(50代女性)

○車の利用の工夫

- なるべく自転車に乗るようにしています。(70代女性)
- 家庭では車を1台のみ。通勤は自転車としています。休日にも市内はなるべく自転車を使用。(30代男性)
- 近場への外出は車両を使用せず、徒歩移動。(20代男性)
- 近所のスーパーへの買い物は車ではなく徒歩で行くようにしている。(30代男性)
- 無駄な車での外出をしない。(60代男性)
- 無駄な外出は一切しない。旅行に行かない。(40代男性)
- 可能ならば公共の乗り物に乗りたい。(山間部、勤務的に無理)。(30代女性)
- 公共交通機関を利用する。歩く。(60代男性)
- 自動車に乗らず自転車に乗る。(40代男性)
- 自家用車を売って普段から公共交通か自転車を利用している。(60代男性)
- 近い所には、車を利用しないで歩いていくようにしている。(50代女性)
- 車を使わず、なるべく徒歩や自転車を利用している。(50代男性)
- 天気の日にはできるだけ自転車。(60代女性)
- 自家用車・社用車の相乗り、徒歩通勤。(60代男性)
- 車未使用またはシェアまたは自転車。(40代女性)
- できる範囲で徒歩・自転車の移動を！！(60代男性)

○エコドライブ

- アイドリングを減らす。(40代女性)
- 運転中はアイドリングストップしている。
- エコドライブをしている。(50代男性)
- エコドライブ。(40代男性)
- エコドライブ。(30代男性)
- 車のエンジンをかけたまま離れない(離れるならエンジンを切る)。(20代女性)
- 同じ方向への用事なら、車1台で行くようにしている。車内でエアコンをつけるまででなければ、なるべく窓の開閉で調整している。(30代女性)
- 化石燃料の消費量減少→エコ運転など。(60代男性)
- 車の運転は急加速急減速しないように注意しています。(安全運転が温暖化対策なので) (60代男性)
- 車の省エネ運転をしている。(60代男性)
- 車の空ふかしをやめる。(女性)
- むだに車で出あるかない。(30代男性)
- 私は車が好きですが、なるべく燃料を使わないようにしています。(60代男性)
- 自動車の省エネ運転。(60代男性)
- アイドリングストップ。(30代男性)
- 運転中はアイドリングストップしている。(30代女性)

- 車のエンジンをかけっぱなしにしない。(20代女性)
- エコドライブ。(30代女性)
- 車のアイドリングストップ。(60代男性)

○農地・山林

- 田舎暮らしですので、農地や山林を守っていききたい。
- 山林の保護。(50代男性)
- 緑化。(40代男性)
- 家庭菜園とかはしています。(50代男性)
- 自給自足して畑で野菜栽培。食育。(40代女性)
- 雨が降らない日が続いたとき、庭の木が枯れないように時々気になった時は水まきをしています。植物は二酸化炭素を吸って酸素を出してくれるので、庭の木を大切にして、日々眺めながら自然の恵みを感謝して枯らさないように努めています。
- 田畑を荒地にせず、耕作を続けている。(50代男性)
- 田舎暮らしですので、農地や山林を守っていききたい。(70代男性)
- わき水の利用。自然にふれる。(30代女性)

○適応策

- 将来(向けて)、我が家は農家なので、夏には稲の消毒(カメムシ)等で対策を行っています。(高温の…)(60代男性)

3.8. 地球温暖化対策について今後どうしたらいいと思いますか（自由記述）

関心が高く、278 件の自由記述が寄せられた。

1) 考え方

○将来世代の視点

- 次世代の人々のために思い切った決断を!!(70 代男性)
- 国民のモラル低下が目に見えてきた。(今が良ければ後はどうなっても良いという姿勢) コロナに対する取り組みと同じように、今までの生活を変える必要があることを根気強く啓蒙するしかない。今まで通りの「これ位なら大丈夫。自分一人位なら大丈夫」という考え方を変えさせなければ、50 年後には地球に住めなくなる。その危機意識を全国民に持たせなければいけない。50 年後は今生まれた子供の時代です。すぐ目の前です!! 地球はモロイ。すでに壊れ始めているのです。これからあっという間にグシャグシャになります。(70 代男性)
- 子孫のためにもしっかりと個人が意識を高める必要があると思います。些細なことでも日常において気をつけて生活すること。未来のために今生きている私たちの役目だと思います。(70 代男性)
- 次世代のことも考慮に入れて、実践しつつ生活していく (脱プラスチック etc.)。生活をシンプルにし、不要なものは持たない生活を心がける (不用品引き取り小販売所があると喜ばれると思う)。便利さを優先せず、時々をあえて不便な方法を試してみる。1 人 1 台の車社会を変えられる公共交通機関を実現する。(60 代女性)
- 下山の心得→善い加減でそろそろ上昇をやめませんか? どこまで発展したら満足するのでしょうか? (60 代男性)

○自給自足・大量生産の見直し

- 必要のない物は買わない。できるだけ自給自足の生活をする。(60 代男性)
- 大量に作って大量に消費する仕組みを改めるべきだと思います。(40 代女性)
- 物を大事にする。無駄を少なく、使い捨ての心を変える。食品ロスに繋がることを中止する。外国の森林に頼らず、日本の山を見直す。(70 代女性)
- 前近代的な生活に戻るとしかないと。 (CO2 排出ゼロにするためには) 人間の経済活動・社会活動と CO2 排出とは相反する事柄と考えます。(40 代男性)

○危機感の必要性

- 各家庭、会社等で小さいことからこつこつ取り組んでいく。(しかし、世界を見ていくと温暖化はスピードアップしているように思われる。かなり手遅れではないのか? 次世代の人達は今よりもっと厳しい環境の中で生きていかないとはいけなくなりそうで、考えるとつらい。)(50 代女性)
- 本当は問 17 で 3 番の「現実的でない」の所がどの自治体も本音ではないかと思いますが、目指さなければ何もはじまらないので、前向きに取り組むのはいいことだと思います。日本は危機感がなさすぎる。島根という田舎の自然豊かな所だからこそ、取り組む価値があるようにも思います。(30 代女

性)

2) 温暖化対策の視点

○道路・交通（公共交通、エコカー、ノーマイカーデー）

- 山陰自動車道の無料化。（渋滞を緩和させることでCO2を減らす） 電車、バスの利用を推進する。（駅等の自転車の停置料の無料化）。(20代男性)
- ハイブリッド車、電気自動車の普及。(60代男性)
- 公共交通手段を便利に！(70代女性)
- 公共交通機関を充実させ、公共交通機関を使うようにする。ハイブリッドカーや電気自動車への買替えに補助金をするか、車の値下げしてもらうようにする。（車が高すぎる）。(40代女性)
- 古いディーゼルは車はやめましょう。(40代男性)
- 温暖化対策の一つに車のCO2がありますが、自分も高齢となりいつか車を手放す時がくると思いますが、それだからというわけではないですが、公共交通機関、バス、タクシーを拡充すべきだと思います。種々の問題はあることは想像できますが、免許返納を含めた対応が今後進むであろうバス、タクシーの電動化と自家用車の削減で温暖化対策と地域疲弊対策になればと思います。(60代男性)
- なるべく自家用車は使わず、公共交通等を使いようにした方がいいと思う。(60代男性)
- 安来市は海、山、川が身近にあるのでそれらを活かした対策を。個人的にはサイクリングロードの整備や拡大をして、安来市の色々な所に行きたいです。若い世代はきれいな場所や物、カフェだったり、めずらしい食べ物やイベントには敏感なので、それらを利用したエコなイベントもありだと思います。(20代女性)
- 車を（電気自動車）購入しやすい価格で普及させる。国の補助などを検討してみる。(50代女性)
- 排気ガスのより出ない車、重機の開発。(50代女性)
- 安来市全体としてはマイカーを使わなくても移動できる公共交通の拡充。(50代男性)
- 車は電気自動車が安く買えるようにして欲しい。(60代女性)
- 電気自動車化（税過措置と市場化）（バッテリーの開発）。(40代女性)
- 電気自動車を安く買えるようにする。自転車通勤するとお金がもらえる仕組みを作る。(20代男性)
- 電気自動車の普及を急いで欲しいです。(50代男性)
- 地球にやさしい車にしていく。(40代女性)
- 週1日はノーマイカーデーに取り組む。（安来市民一斉が望ましいがなかなか難しい？） 先ずは市長の号令の下、職員が取り組む。その日を車番の奇数・偶数で分けるとか、カーシェアリングをするとか。結構な荒療治ではあるが、その位の気概をみせないで情けないかな。市民はついてこないかな。ゴミの分別はもっと細分化して、利用できるものはほとんど利用する。そして、これは安来全体を引き込まないとできないが、商品の過剰包装をやめ、量り売りできるものから実行していく。(60代男性)
- 企業の積極的な取り組み。市として車（ノーマイカーデー）の実施。(50代女性)
- 自家用車を減らすためには、イエローバスの便数を増やして、不便さを解消してほしい。(70代女性)

○再生可能エネルギーの補助

- 太陽光の補助金をあげるべきだと思います。故障時、大金がかかると聞きました。アフターメンテナンスにも補助金ができるといいと思います。新築を考えている人たちは、いろいろ断熱だったり、勉強もしていると思うので、安来市も支援金、補助金を見直すといいと思います。(30代女性)
- 太陽光発電（蓄電池を含む）の設置への補助金の拡充等の支援案。(50代男性)
- ソーラーシステム化に市の資金援助、要望します。(60代男性)
- 補助金を出して、全家庭に太陽光発電を取り付けるとよいと思っております。(70代男性)
- 個人向けの太陽光発電の市補助を大きく取り入れるべき。(70代男性)
- オール電化に補助金を出さない。風呂など薪を利用しているところに金を出す。(70代男性)
- 将来的には全家族、ソーラーシステムにする。それには、蓄電システム採用。行政はシステム設置の補助金を出し、設置者は、発電した費用で補助金を10～20年単位で返済するようにする。また空き地を利用し小規模蓄電型発電所を沢山作る。(できるだけ高い場所。水害時有効となるから)。(60代男性)
- 各種助成金制度を充実させ、ハード的な温暖化対策ができるようにして、安来市として住民への応援をして欲しい。(50代男性)
- 太陽光発電の高価買取り。補助金の充実（太陽光、蓄電池）。(40代男性)

○太陽光

- ソーラー発電を増やす。天気が悪くても発電できる何かをつくる。(20代女性)
- ソーラー発電を。(50代男性)
- ソーラー発電を進めるべきと考えるか国の買取価格に制限があり、これを緩和の必要がある。(60代男性)
- 太陽光発電、風力発電が有力ですが、これからの台風の勢力を考えないと設置したものが壊れたりして、管理費が増加して負担になるので補助金を増やしてほしい。(60代男性)
- 太陽光発電設置での電気の買い取り価格を下げないでもっと長期にするべき。(70代女性)
- 太陽光発電に力を入れる。(10代女性)
- 全世帯太陽光発電設備を導入して、火力発電所を減らす。(50代男性)
- 市立太陽光発電を建設（休遊地を活用する）。(70代男性)
- 市で発電すること。市が電気事業者になって市民に再生可能エネルギーを売る→今は中電ありきななので、市だけでやっていくことができる。(40代男性)
- 太陽光発電。水の自給。車の電気化（太陽光発電機の）。自然エネルギー開発に力を入れてください。自給するのが理想。国の責任がある。(70代男性)
- 極端な太陽光発電、風力発電などの計画もろくなことにならないと思います。(40代女性)
- 太陽光パネルは廃棄の問題が解決されていない。処分できそうもないものは生み出すべきではないと思います。(30代女性)
- 太陽光発電、風力発電等（省エネ等）発電量はしれており、やはり現実的ではない。(70代男性)

○太陽光以外の再生可能エネルギー・脱化石燃料

- 水力発電を増やしてはどうか。(70代男性)
- 省エネ再生エネルギーにする。(60代男性)
- 自然エネルギーの取り込み。(太陽、水力)。(70代男性)
- 自然エネルギー、電気自動車、自動車のフェア。(30代男性)
- 自然エネルギー、再生可能エネルギーを増やす。但し、原発は廃止すべき。(60代男性)
- 再生可能エネルギーの導入。(40代男性)
- 再生可能エネルギーの早急な導入拡大。①地熱、洋上風力、太陽光発電への設備投資（行政と温泉・漁業組合の相互協力） ②揚水式ダム発電、バイオマス発電への設備投資（地域新電力の需給調整電源への参入)。(30代男性)
- 再生エネルギーを使う。ソーラーの取り付け。次は電気自動車。(40代女性)
- 再生エネルギーの拡大適用。(50代男性)
- 風車（発電）は、巨大な垂直方向に回転するものではなく、水平方向に回転するものがメンテナンスからしても良いと思います（日本製であったと思う)。(30代女性)
- 自然エネルギーの推進（含む風力、小型水力、地熱など)。(50代男性)
- 発電の方法を考える。(70代男性)
- 電気は必要なので、原子力、水力、火力から再生可能エネルギーのバランスをとりながら拡大していくべき。(60代男性)
- 脱石炭発電。生ごみ焼却中止。(70代男性)
- 石油石炭に代わるエネルギーといっても今の段階ではコストがかかり過ぎるので所得の低い人にとっては難しいと思う。とはいっても、ほとんどの人が自分でできることは協力したいと思っていると思うので、立場を超えてアイデアを出し合ったらいいのではないのでしょうか。(60代女性)
- 国策として地球規模で影響の大きい原発や石炭火力発電への依存を早急に改め、各国と連携して地球温暖化対策を推進すべきである。そのための国内におけるタイムスケジュール、行政（国と自治体）と民間の役割分担、施策推進のための財源対策と税財政改革を早急に打ち出し、国民のコンセンサスづくりを急ぐ必要がある。(70代男性)
- 個人で出来ることはすべきだが、CO₂を減らすのは限界があるので、大きな取り組みも必要だと思う。水力発電はあるので、太陽光発電など。(70代女性)
- 原子力発電は海水温を上げるため廃止すべき。高齢者は自家用車を持たず、公共交通機関を利用する→排気ガス抑制、地域交通機関の発展、交通事故防止につながる。(30代男性)
- 原子力発電の容認。(70代男性)
- 経済の活性化と燃料エネルギーは切り離すことが出来ず、世界的に見て、日本では自然エネルギーの効率（可動）悪いが、災害も多いことから、設備に投資しても費用対効果が望めない。残念ではあるが、早急に原子力発電を稼働させるべきと考える。(50代女性)
- 火力発電所が問題になっているので、大きな案件から整理すべきと思います。(70代女性)
- 強風（災害等）で、大きな風車が破壊され地面に落ちている映像をテレビで視ると、小さな人間としては不安になります。太陽光発電のパネルも災害によって破壊することもあります。大きな自然エネ

ルギーを得ることは魅力的ですが、安全・安心が伴わないと心が向きかねます。誰もが対策に取り組もうと思える説明を子どもや年寄りにもわかりやすく続けることが大事だと思います。(50代女性)

- 普段使っている電気や熱、燃料などのエネルギーの中に、二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギー源を増やしていく。(10代女性)

○水素

- 水素を使うべき。(40代男性)
- 水素エネルギーがよいと聞いたことがあります。それがよいと考えます。(50代男性)

○省エネ・エコ製品の開発、補助

- エコ家電やエコカーをどんどん開発する。(30代男性)
- プラスチックトレイなど燃やして良いものを考えて作って欲しい。(海を守るため)(60代女性)
- エコキュート、エアコン、断熱材など暮らしていく上で大切なので、リフォーム、新築など取り組もうとしている世帯に補助金、パンフレットなど宣伝した方がもっと関心を持てると思います。(30代女性)

○デジタル化

- この紙が無駄だと思うのでアンケート等もデジタル化した方がよい。(10代女性)
- このようなアンケートで紙を使用するのをやめるといいと思う。ネットでのアンケートに切り替えるべき。(20代男性)

○工場・企業・経済

- 工場のCO₂の排出規制の可視化の推進。(60代男性)
- ゴミ削減のためには先ずメーカーへ過剰包装をやめるべく働きかけるのがスジ。消費者が減らすのは限界がある。そして使い捨てを無くして修理可能にすべく部品保有年数を長期化する←これららエコロジーの観点から。(60代男性)
- 循環型の産業を作り経済を回す。(50代男性)
- 新製品を短期間でどんどん作らない。(40代男性)
- 食品の包装をすくなくする。(10代女性)

○クールビズ

- 市内の中高生、市役所の職員の夏の服装は男性ハーフパンツ、Tシャツ、アロハシャツ、サンダル。女性 ワンピース、サンダル or ハーフパンツ、Tシャツ、ポロシャツ。日南市や茅ヶ崎市はアロハシャツ！ クールビズ！！(40代男性)

○適応策

- 温暖化として水害が発生することが考えられるが、安来市の伯太川、飯梨川、ハード面とソフト面があるが、ソフト面が大きく欠落している。(60代男性)

- 国・市においては洪水や土砂災害の発生時のシミュレーションを行って、しっかりと対策をお願い致します。(60代男性)
- 洪水・土砂災害対策や、避難先の確保を行政にお願いしたいです。(70代女性)
- 学校にエアコンをつけてくださってありがとうございました。校内に冷たい水が飲める浄水器が欲しいです。猛暑すぎて子どもが学校で(家庭用エアコンではすずしくならないよう)勉強するのがつらそうです。今後、すすむ温暖化対策として、子どもたちの学習環境をまず保障して欲しいのです。(30代女性)
- 職場が暑く働くには過酷です。年々暑くなっているのが熱中症になる人が多いです。対策として企業に補助金を出して働く職場を改善して欲しいです。特に調理関係！！温暖化対策に各家庭にも補助金下さい！！(50代男性)
- 省エネも大切だが、今年のような猛暑ではエアコンも必要。太陽光とかも良いが、安来市は財政が苦しいはず。まずは必要な施設とかの整備から(病院とか)。(50代男性)
- 熱中症 人 大事こと 予防のため。(70代男性)
- 伯太川や飯梨川が決壊した時に安来市指定の避難場所に避難しても大丈夫なのか疑問が残る。(30代男性)

3) ごみ対策

○ごみリサイクル

- ゴミを削減する等、リサイクルして生活できる社会にしていくと良いと思います。(70代女性)
- 20年位前でしょうか。安来市のゴミ分別は全国的なモデルになっていたと記憶しています。市内でもゴミのポイ捨てがあり、最近ではプロギングをされている方もおられます。なかうみでマラソンも人気の大会になっていますが、プロギングのイベントはどうでしょうか。安来市から環境に関するイベントを発信してもいいかと。一人ではなかなかできないが、イベントになると多くの方が参加すると思います。(30代男性)
- ゴミ処分から出る熱量、それに係るエネルギー大変なのでゴミの量を少なくする事。特に日本の製品は過剰な包装でゴミの排出多く、これを少なくする事。(70代男性)
- ゴミ処理施設を安来市はお金をかけ作った方がいいと思う。温暖化対策にあった施設が作れるのではないだろうか。(50代女性)
- リサイクル強化→すぐできる事から(松江市のように、役場などにビン・カン・ペットボトル？など無料で置けるところを作っておく)市が再生利用などをする。(30代女性)
- リサイクルを強く推奨する。(10代女性)
- リサイクルボックスや回収ボックスの増設。京都？のように油の回収、再利用など→バスの燃料。リサイクル項目をわかりやすくして促進する。(20代女性)
- まだ使える物を自由に人にまわせるような場所を作る。(ゴミ削減) (50代女性)
- 廃棄物の有効活用。(70代男性)
- リサイクルのごみ袋代を無料にして欲しい。(紙もどこか回収場所を設けるとか)可燃ごみの袋に隙

間があったら、つい紙ごみやプラスチックを詰め込んで捨ててしまいます。(30代女性)

- 昔、生ごみからエネルギーを作っているという村がテレビでやっていました。コスト面がどうなのか？、全く分からないのですが、山陰は太陽があまり照らないので、これならできるかも、と思ったのを覚えています。詳しくなくてすみません。(40代女性)
- 地球温暖化とは関係ないかもしれませんが、ゴミの分別についてわからないことがあるので教えてもらいたいです。プラスチックゴミを家では分別して捨てていますが、実際のところ、それがリサイクルされているのか知りたいです。例えば義母はもやしの袋とか、ねぎの袋とかまでプラスチックゴミに入れていますが、それがリサイクルされているのか？もしわざわざまた処分場で分けられて燃えるゴミになっているとすれば、家での分別は無駄だと思うので。安来のプラゴミがどこに運ばれ、どう処理されているのか、わかれば分別もきちんとされると思います。米子のように、ハサミで切れないものはプラスチックゴミで、くらのほうが、分かりやすくてよいです。(50代女性)

○プラスチック

- プラスチックの包装ではなく、紙を使うようにすると日本の林業や再生紙をつくる興業なども経済的に回るようになるのでは。(30代女性)
- プラスチック類を減らし、竹や木材に変える。(例) ストロー 車のスピードダウン (最速 100 キロで良い) そういう車種を増やす。 高速道路や新たな新幹線設営検討。(70代女性)
- プラスチックに代わる容器の開発。(50代女性)
- レジ袋の有料化より、プラスチック製品全体を削減することが必要。(60代男性)

○野焼き

- 安来市内での野焼きが多い、消防へ通報・許可されていないのが目立つ。(70代男性)
- 焼却ゴミ(木・草・ナイロン・プラスチック)等焼却する姿を見ることがある。規制を厳しくしたらと思います。(70代男性)
- 畑の草や木くずなどを焼いている人がいますが、温暖化につながりませんか？(70代女性)
- 中にはゴミ等を家の方で燃やしている人もいるので気になります。わずかな事ですが、多人数になるとよくないと思います。(60代女性)

4) 情報・議論・市民の取組み

○専門家・情報

- あらゆる方面の専門家にまかせたい。(70代女性)
- 何事にも一長一短あるので、情報の共有、透明性を持って決断してほしい。(40代男性)
- 何が温暖化につながるのか、具体的によくわからないことも多いので、教えてもらいたい。(30代女性)
- 地球温暖化については、まだわからないことがあるので、今後も関心を持って情報を得たいと思う。省エネや環境汚染の改善は地球温暖化対策以外の目的のためにも大切なことと思うので、日々の生

活の中で気をつけていかないといけないと思う。(40代女性)

- 地球温暖化対策についてもっといろいろな情報が欲しいと思いました。(50代女性)
- 見込みや対策が間違っていた時、恐れずにそのまま伝えた方がよい。真剣に取り組めば、多数の意見を
得ることは必ずできます。本当のことを言う事。(40代女性)

○議論

- 結果的に豊かさにつながるかもしれないが、それまでに市民同士のいざこざが増えそう。(40代男性)
- 人間が便利さ、楽をすることを求めた結果であると思います。(道路を作るための森林伐採、アスファルト化、そして車社会など) 安来市内は病院、買い物に行くことが近くになり、歩いていくことが可能な場所もあるが、地域から店がなくなったり、病院もなかったりすると車が必要になる、ということが起きるため、色々な方向から考えていく必要があると思います。(50代女性)

○政治・市の行うべきこと

- 政府、自治体の首長自ら主張して取り組むべき問題であり、コロナ対策と同じ感覚で取り組んで欲しい。水害対策は急務であり、”明日は我が身”である。(60代男性)
- 全国県市全体で取り組むべき。個人へ共有していく仕組み作りを。(50代男性)
- 今回アンケート記入にあたって、改めて考えること、取り組むことの重要性を感じました。安来市として重点目標を掲げ、具体的な取り組みを提案して市民に広く意識づけし、行動を促していくことで、地域の活性化、特色ある地域づくりを推進してほしいと思いました。(40代女性)
- 国民ひとりひとりの意識改革なしには改善出来ない。各行政(地区ごと)での目標設定にて徹底する。(60代女性)
- 大変大きなテーマであり、人類にとって大切なことであるので、それぞれ(国レベル)のリーダーの意思統一が必要であると思います。(20代男性)
- 対策するのであれば、中途半端ではなく、とことんして欲しいです。(40代男性)
- 対策…具体的な計画(国民が納得できるような内容)。一人ひとりが負担しても良いと考える気運づくり、世論政策、対策に必要な資金…地球温暖化対策税を新設、徴収する。(70代男性)
- 対策があまい国に対策をさせる。(30代男性)
- 個人はもとより、地域や市町村単位等全ての立場で取り組まないと手遅れになると思います。特に国会議員一人ひとりの意識の大小、浅深を機会ある毎に公表し、取組を強くすることが大切だと思います。(70代男性)
- 結局、中国のCO2や海洋プラスチックをどうにかしない限り、日本の中で小手先の運動をしても意味がない。自治体には税金を預かる身として、きちんと客観的な効果評価があることに取り組んでもらいたい。自己満足のお心満足は必要ない。(40代男性)
- 基本的な理念が必要です!!世の流れに流されない対策が必要。(60代男性)
- 紛争や戦争のない平和な世界をまずつくること。(60代男性)

○啓発

- メディア、広報活動にて言い続けること。(30代男性)
- 行政がわかりやすく指導すればよいと思います。(70代女性)
- このアンケートにより、もっと真剣に地球温暖化対策について勉強したり、考えたりしようと思いました。(50代女性)
- 生活の見直し。教育。(60代男性)
- まず温暖化が”進んでいる””生活に影響がでる”ことを広く知ってもらうことが大切だと思います。(30代女性)
- 安来市全体の自然環境が悪化している状態を市報等で市民に認識してもらい、温暖化を身近に感じてもらうことで市民の意識改革を行う。市民講座等の議題として開講する。(60代男性)
- 安来市民全体が温暖化について勉強すべきで、公民館活動などで勉強会を開いてください。まず自分達でできることから取り組むことです。(60代女性)
- 省エネ導入拡大を急ぐべきです。大型台風など昔では考えられなかった自然災害が多発しており、将来の子供たちのためにも、今できることは全てやっていく覚悟が必要ではないのでしょうか。市としても全力で取り組んで頂きたい。市職員としての義務であるとも考えます。(60代男性)
- 省エネ製品とか、設備に対して補助金 etc.の発想が遅いし、アピールも乏しいので、もっと迅速に提案があれば市民は少しは進んで行動できるかも。(40代男性)
- 社会の気運を高める。自治体としての方針を明確化&PR。(40代男性)
- 何かしなければいけないと思うが、何をしたいのかわからない。(60代女性)
- 意識改革から行ってみる。(30代男性)
- 普段の生活で一人ひとりが意識して取り組むことをやっていくためにも、温暖化に対する危機感をもって皆で取り組むべき対策を行政主導で行って欲しいです。この数年で、夏の異常な高温や、大雨による被害等、心配です。(50代女性)
- 田舎に住んでいる人たち、高齢者など、「私は関係ない」と、むかしながらの生活を続けていると思います。とてもよいこともあります。電気つけっぱなし、ごみはいくらでも出す。昔の物をそのまま使うなど、エコではないこと、生活を変える事をとて嫌がります。エコな生活がイヤみたい。それをしたくてもできない人もいることを分かってほしい。一緒にくらすことで出来ない事もあります。エコな事を当たり前にする、義務化でもしてくれたらいいのに。(30代女性)
- 地球温暖化のことを理解し、どのようなことをすればよいのか広報誌、どじょっこテレビなどで知ってもらい、協力してもらおう。(70代女性)
- 省エネの情報をこまめに出すことだと思う。(50代女性)
- 大きなことはすぐに出来ないで、今できることをみんな(市民)に知らせる。少しのことでも大きな効果が出るとわかるとやってみたくなると思う。(40代女性)
- 啓発活動でしょうか…温暖化と気象災害、生態系破壊、感染症の増加・変異などの因果関係を分かりやすく説くもの。(60代男性)
- 具体的には何から始めていいのかわからない。(60代女性)
- 具体的な対策を打ち出し市民に周知。(50代女性)
- 地球温暖化の影響で、今後具体的に世界や自分たちの町がどうなってしまうのか、また、対策のため

に取り組んでいけば、どんなメリットが得られるのか、などを一人ひとりが知ることができるようにすれば暮らしの中で意識していけるのではないかと思う。(一人ひとりの意識・行動が大切なので)
(30代女性)

- 身近に出来ることを広報などで紹介してほしい。(70代女性)
- 大規模な対策等の事はあまり分からないのですが、個々で出来る小さな仕事を広報等で教えてもらえると良いです。(60代女性)
- 大手企業さんに考えていただいて、一人ひとりが自覚する。(70代女性)
- 市民に地球温暖化の取り組みについて広報を出してもらいたい。(50代男性)
- 自治体としての取組も大事なこと。でも住民一人ひとりの考えが変わっていかなくては、変化はないのでは…?(60代女性)
- 温暖化になるとどうなるか!ということを広めて、皆に関心を持たせる。(30代男性)

○環境教育・体験

- 小学生、中学生時より、(義務教育に於いても)授業等、深刻化している現状を学び、”何が出来るか”という具体的目標を意識させ、実行させる。その目標を家庭に持ち帰り、実行し、地域ぐるみとして発展させていく。(50代女性)
- 物があふれ、便利なことに慣れてしまっていて、不自由な生活にはなかなか慣れない。子供の頃、育った環境で不自由な生活でもアイデアを出し合って楽しく育ってきた私には、便利になった生活が不安になってしまう。次の世代に渡せていけるのだろうか、と思う。小さい頃から生きていくための体験をさせることで、電気、水の大切さがわかっていくんだろうと思います。(50代女性)
- 子供達に温暖化による影響などを伝えていく。温暖化対策における取り組み方法など具体的に伝えていく。(30代女性)
- 今後地球温暖化対策について、若い世代が今後の世界を作っていくことは間違いないのであるから、若い世代に対して理解を求めていくことが重要。温暖化対策の必要性を理解してもらえれば、対策として何も意味がないことから、温暖化対策をしないとどうなるのか、なぜ対策すべきなのかを噛み砕いて分かりやすく伝えていくべきである。(20代男性)
- 一人ひとりが小さなことから取り組めるよう、市が中心となり例を示して欲しい。子どもたちに小さいうちから、このことの重要性の教育をして欲しい。(30代女性)

○一人ひとりのとりくみ

- ひとりひとりの努力によって、少しでも温暖化になるのを防ぎたい。もっと国や市政がアピールして問題に取り組むべきだと思う。(40代女性)
- ひとりひとりの意識の向上への取り組み(具体的には言えませんが…) 個人や一部企業だけの利益がない社会。本当の意味での経済活動がある社会。(経世済民)。(40代女性)
- ひとりひとりの意識・心がけだと考えています。(70代女性)
- ひとりひとりが自覚し行動すること。(50代男性)
- まずは個人でできることをしっかり行う。行政はしっかりと啓発活動を行う。(60代女性)
- CO2を出さないよう一人ひとりの意識が必要。リサイクルも人により全くしない人もいるため、意

識の統一の必要性を浸透させる地域の働きかけ。(40代女性)

- すでに影響があらわれている現実を受け止め、一人ひとりの心がけが重要で必要であると共に、地球温暖化に対して知識を深め、理解し、実施（実行）することが大切だと思う。(50代女性)
- 多くの人の意識の向上。(60代女性)
- 早急にするべき。既に温暖化は始まっている。個々ができることに対しては政府や自治体が補助を出し、促進するべき。(40代女性)
- 市民一人ひとりの意識が大切だと思うが、すぐに変化するものではないので、常に市民に呼び掛けて欲しい。(60代女性)
- 市民一人ひとりの認識を変えることから始めるべきだと思う。”地球温暖化対策をするので協力してください”と言っても他人事のように伝わったら、効果が薄いと思うので、今後市民にどのような影響があって、どのような事が起こるのかを認知させることが大事だと思う。(20代男性)
- 市民ひとりひとりが地球温暖化に危機感を持てるように働きかける必要がある。意識面を改変していかなければ、対策を打ち出しても良い方向に動かないと思う。(20代女性)
- 市民が協力してゆく。(20代女性)
- 温暖化対策をしたから急によくなるものじゃないとっていて、今やっている事が5年後、10年後・・30年後の地球を守っていると思います。限りある資源や、動物、人類、今後の子どもたちの「地球を守る」行動を一人ひとりが出来たら良いです。(40代男性)
- 一人ひとり意識をもてるようにする。(30代女性)
- 一人ひとりの思いやりで地球温暖化対策が役立つと思います。市の職員の方々、議員の方々も常日頃から関心を持って取り組んでいただければよりよい安来市になると思います。(20代男性)
- 一人ひとりの意識の問題なので有線放送を使ってなどして、市民への地球温暖化対策への提案などを流して欲しい。(30代男性)
- 一人ひとりの意識が必要。(60代男性)
- 一人ひとりが問題を意識すること。(50代女性)
- 一人ひとりが小さなことから始めて、それが大きくなると思います。(50代女性)
- 一人ひとりが取り組む必要があると思う。(20代男性)
- 一人ひとりが自分の事として考えることが大事だと思います。(60代男性)
- 一人ひとりが自覚した行動をする。(30代女性)
- 一人ひとりが環境について関心を持ち、意識した行動をとること。そのため、広報、啓発、教育などが必要だと思う。(40代男性)
- 一人ひとりが家庭や日常生活の中でできる対策法を具体的にポスターやSNS,CMや広報誌などで広く知らせていくことが大切だと思います。また、車を使っての移動が多い点に着目し、アイドリングストップや公共交通機関を利用する機会を増やす取り組みを多くしていくのも有効だと考えます。(30代女性)
- 一人ひとりが意識をして省エネを実行する。市民の意識が高まるような対策考案を。(30代女性)
- 一人ひとりがルールを守り、思いやりの気持ちを持ちたいです。どうしたらよいのか、生活の中で取り組めることを教えて頂きたいです。(40代女性)
- 一人ひとりが1日にひとつでもいいので地球にやさしいことをする。(50代男性)

- 一人ひとり意識が高まるように、このような取り組みや広報を地道に続けていくことが必要ではないかと思います。(20代男性)
- 一人ひとりの心がけで大きな力となりますので、自分でも心がけするようにしたいと思います。(女性)
- 一人が気をつけるだけでは追い付かないが、だからといってじゃあ私も何も気をつけない、ではなく、一人又一人と地球温暖化対策をおこなう人を増やしていくのが大事だと思います。(40代女性)
- みんなが少しずつ気をつけていくこと。(70代男性)
- ミニマムな生活。豊かさの意味を変える意識。(50代女性)
- 自分ファーストの意見が多く目立ったことをする連中が多くなってきた。燃やす芥入で蒸気を作って電気をつくれば…etc。(70代男性)
- 何百年もかけて蓄積された原因により今異常気象となっている状況下です。私達ができることは個人個人が家庭でできる省エネを中心とした対策を意識して取り組むことで、少しでも温暖化の速度を減らすことでしょうか。※京都議定書「家庭でできる10の温暖化対策」を完全実施すると、CO2を年間13%削減し、4万1千円の節約になり、国民の3割が定着すれば1.8%、16%になるといわれています。(60代男性)
- 温暖化について決められたことを皆で守り、温暖化対策に協力する。(70代男性)
- 対策しようと思ってもどうしたらいいのかわからない人もいると思うので、例えば各家庭の例をシェアして、身近なことから取り組んでいけたらいいなと思う。(30代女性)
- 個々で省エネに心掛けていく。(40代女性)
- 身近なことからごみを作らない、出さない。省エネに心掛ける。(70代男性)
- 身近なところからやっていきたい。エアコンの適正な温度設定、テレビ、照明のこまめなスイッチ管理、ゴミの分別の徹底管理。(70代男性)
- 今後、地球温暖化はさらに進んでいくと思われます。これ以上の便利や得を求める限り、それは止められないと思います。出来ることはすべてささやかなことです。一人ひとりが気をつけることだけが未来を繋げるでしょう。節電(ケチになれということではなく、とにかく不必要なものは損得をおいとも使用しない。身の丈を知ってつつましく暮らすことです)。(40代女性)
- 個人の意識の差で大きく変わっていくと思うので、大きな変化より一人ひとりの小さな行動が変わることの方が大事な気がします。温暖化温暖化と言われ始めて結構なりますが、歯止めがかかってないですよ？より悪化している気がしませんか？エアコンの温度設定や食品ロス、水の流しっぱなしもちろん気をつけなければならないのですが、田舎ゆえ、自家用車は必須ですよ？公共バスの便、ルートとても不便だと思っています。スマートフォン、太陽光発電、LED電球…本当に安全なのでしょうか？便利なものの中にこと不都合な物が隠されてないですか？(50代女性)
- 空虚なスローガン、できもしない無茶な理想論を振りかざすのではなく、極力生活の質を落とさない範囲からできることをやっていくのが良いと考える。(40代男性)
- 皆が少しずつ我慢するとよい。(10代女性)
- 各人が温暖化対策について関心を持つことだと思います。(70代女性)

○世界規模の視点・共同実施

- これは地球全体、全世界で考えていかなければならない問題です。日本だけががんばっても、なかなか温暖化対策は難しいと思います。全世界の人達が危機感を持って対策をしていかななくてはダメだと思います。(60代女性)
- 全世界の国々が温暖化対策を真剣に取り組んで欲しいです。(70代女性)
- 全世界で取り組むべき課題であり、そのことをすべての国々に理解してもらえるように積極的に動いていかないといけないのではないかと思います。(40代男性)
- 一人だけでは駄目で全体で考える必要がある。(70代男性)
- みんなで話し合い意見を出す(サミット形式など)。(30代男性)
- ひとりひとりの心がけ。しかし、企業の大規模な施設も心掛けないと焼け石に水では?(40代男性)
- いろいろな対策があると思うが、日本として堂々と取り組んで欲しいと思う。他の国の良い所は足並みを揃えて…米国がしないから、しないと、後手後手にならないよう、対策のリーダーシップがとれるように頑張ってもらいたい。夏の酷暑、冬の大雪、豪雪など「これまでに経験したことのない…」が常に聞かれるようになってきた。危機は既に目前にある!日本、地球全体で頑張らなくては!(60代女性)
- TPPは地球温暖化抑止に矛盾する事。そうした貿易が盛んになる事でより温暖化が促進される・対策を怠っている大国にも世界中が厳しく働きかける。以上はCO2が気温上昇に関与していると仮定した対策です。(60代男性)
- 小さな地方が取り組むより、国中の一人ひとりが少しずつでも関心を持つこと。(70代女性)
- 日本だけの問題ではないと思います。地球規模で温暖化にならないように話し合ったらよいと思います。(50代男性)
- 世界各国が官民一体となり、早急に対応できる体制づくりをし、対策を実行することが急務であると思います。(60代男性)
- 日本単体ではあまりできることは多くなく、CO2多量生産国の方針に左右されるのでは?(40代男性)

○経費削減・経済性の配慮

- 無駄な経費を削減、対策へ経費を回すべき。本当にするのであればの話。現実的に進められないのであれば、アンケートが資源の無駄の1つであると考えます。(30代女性)
- 早急に取り組むべき事項だが、各家庭で費用が発生するようなことは絶対に合ってはならない。負担が増えて、手間も増えるのであれば誰もしません。(30代女性)
- 税金の有効利用。(20代男性)
- 税金のあまり高くない程度に対策してほしい。(70代女性)
- 環境問題だけでなく、経済も大切なこと。その両方のバランスをとること!(30代男性)
- 地球温暖化対策を進めることは良いことだとは思いますが、費用やその後のどれだけ効果があるのかも考えて進めて欲しい。取り組むことは大切だけれど、市民の生活の負担が増えるような政策はよく考えてもらいたい。建物を建てるのは良いが、エコなのかを考えて建てるべきだと思う。新しい役場は外観は良くできているが、空調の効きが悪いつくりになっていると思う。1階は良いが上の階は悪い

等。これから先、何か新たに始めるときは、見た目、デザインなどのほかに、もっと考えて省エネなものを造るべきだと思う。(20代女性)

- 自分もちろん危機意識。ただ自宅に設備となればお金がかかるのでむずかしい。(50代女性)
- 昔のような生活をしたらCO2は少なくなるのはわかっているが…。昔の生活に戻れない…。でも少し不自由な生活なら我慢できる。個人でできることをしていきたい。年々増す自然の変化に恐怖を感じます。(50代男性)
- 市民の電気代を安くしてほしい。(60代男性)

○出来る範囲で実行

- 無理がない程度に少しずつ進めていけたらいいと思います。(40代女性)
- 無駄をなくせばいいと思う。(30代女性)
- 未来の子ども達につけが回らないように一人ひとりが心掛けることが大切。そんな思いを共有できるような場を提供する…お金を掛けずにまず一步進む方法かな？(50代女性)
- なかなか今は答えが出せない。ゴミの分別とか、小さな問題からやっていくしかないのかな？(60代男性)

5) 自然・緩和策

○農業

- 今、農業全般が不振です。不耕作地問題を早く取り組んで農業の振興を計らなくては後継者不足で大変なことになります。→田んぼにソーラーを設置し、農家を救う。2. 大掛かりな設備投資ではなく、各家庭にストーブ等の設備を補助→荒れた竹林、山の木を再生することができる。3. 農業ファームを作り、農業振興を市で取り組む→他県に出荷。(農家支援、若者の意欲を駆り立てる)(70代女性)

○自然・森・水

- 緑を増やす。自然の風を使って涼をとる。エアコンをみんなが使わない。(50代男性)
- 里山、河川の整備。(50代男性)
- 水環境について安来市のきれいな水を…。(60代男性)
- 森林保護。(40代男性)
- 森林伐採をしないで欲しい！(50代女性)
- 森林整備を進め、健全な森林環境に再生させる。(50代男性)
- 森林を利用できるものに変えて欲しい。(木で遊戯、遊具になれば) 世界で必要としている方にもっと送ってほしい。(衣類、食料品、家電製品、紙束)(20代男性)
- 森を守る。(40代男性)
- 森を育てる。冷房、暖房の温度の設定…こまめな管理。(60代男性)
- 植樹。(30代女性)
- 山林火災の防止。緑地面積を増す活動。電気自動車の普及。ガソリン車、ディーゼル車の廃止。パリ

協定（京都議定書）を世界中の人々が実践する。世界のリーダーが地球温暖化を強く認識する。（ex
トランプ大統領）（70代男性）

- 山林が荒れて、手入れする人がいません。（70代男性）
- 山森（林）の整備、保全（緑を守る方策）。田畑の荒廃。（70代女性）
- 山間部の資源を利用。同時に開発を進めて欲しい！（70代女性）
- 山林の下枝切り・整備して欲しいです。崖崩れ防止に。（50代男性）
- CO₂は増える分、植林など緑地帯を増やすようにすると、排出と吸収が相殺に近づくのでは。（30代女性）
- 自然をなるべく残す。山、林などを守っていく。（50代女性）
- 農地を守ることが大切である。（60代男性）
- 地熱を家の中で取入れたい。開墾畑に水をあげるために、雨水をためることを考える。（山のとっぺん）（70代女性）
- 森林を大切にしていく。（40代女性）
- 新しい市長になられている人が山の中まで来てほしい。いまの市長は全く山間地に足を運んでいないから嫌です。（40代男性）
- そういう考え方自体が生態系のあり方に反していますから。もっと緑を大切に。農地を大切に。（40代女性）
- 花と緑の豊かな街、きれいな水の流れる街、にして欲しい。（60代女性）
- 経済重視でありながら自然環境も維持して欲しい。（30代男性）
- 地中や海中の微生物を増やして、良い循環サイクルを取り戻す。（バクチャーで検索してみてください）。（30代女性）
- 暮らし製品の自然素材の活用。（木、竹、等々）（50代男性）

○地球以外

- 火星への移住。人間は増えすぎた。自らの手で地球を汚している。なぜそれが解らない。アクシズを落とすのだ！（30代男性）

○人口

- 地球上の人口の減少。（70代男性）

6) 懐疑論

○温暖化対策をすべきでない・必要ない

- そもそも温暖化などしていない。むしろ寒冷化している。（40代男性）
- 地球温暖化をマスコミを利用して煽る勢力がある。またそれをビジネスにする輩や新たに増税を企む者もいる。全て庶民への負担増、締め付けである。レジ袋有料化などその最たる例。環境大臣自らが無意味と発言。現代社会は地球温暖化理論誘導圧力があり、全ての話はそれを前提に創作されてい

る。グラフは都合の良いように極めて短いスパンのもので、しかも縦軸の縮尺を任意に大きさに表現している。ネットで「地球温暖化は本当か」というキーワードで検索してみると、温暖化論者がいかに非科学的なことを言っているかよく分かります。(60代男性)

- 温暖化の原因は CO2 ではないと思います。平安時代は今より CO2 も気温も高いです。(50代男性)
- ある程度はあったかくなつた方が安来市としてはプラスになると思います。最近では雪が少なくていい。除雪費用が減っているのではないのでしょうか・雪が減れば交通事故も減る。水不足が心配ならダムを増やせばいい。(発電量もアップする)(30代男性)
- 温暖化と CO2 は関係ないこととして温暖化対策を進めていく。(60代男性)
- 温暖化しているというエビデンスがない中で、取組む意義が分からない。(50代男性)
- 表面は環境の為と見せかけ、天下り役人のヒマ潰しではないか？封筒も再生紙との表記もない。実にバカバカしい資源の消費である。一時期、グreta氏も話題になったが、両親が環境活動家であること、中国に対して一切発言しないところ。すべてが金目当てであることは明白だ。(女性)

4. 基本属性とのクロス集計

関係性の認められる項目間について、抽出して示した。

4.1. 基本属性間の関係

(主な集計結果)

- ・ 40代以下は同居人数が多く、住宅も築20年以内が半数近くと比較的新しい。
- ・ 地域別では、安来地域が比較的新しい住宅が多く、伯太地域が古い住宅が多くみられた。
- ・ 同居人数が多く、持ち家戸建て住宅のほうの冬の光熱費が高い傾向がみられた。
- ・ 築20年未満の新しい住宅では、冬の光熱費が安くなる傾向がみられた。

(1) 回答者の年代と同居人数

高年齢になるほど2人以下世帯が多い一方、40代以下では3人以上の世帯が6割を超えている。

表 34 回答者の年代と同居人数

年代	合計	あなたを含めた同居人数							
		1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	
20代以下	94 100.0%	8 8.5%	5 5.3%	19 20.2%	24 25.5%	24 25.5%	14 14.9%	0 0.0%	
30代	125 100.0%	4 3.2%	9 7.2%	31 24.8%	33 26.4%	21 16.8%	26 20.8%	1 0.8%	
40代	146 100.0%	6 4.1%	22 15.1%	34 23.3%	39 26.7%	19 13.0%	26 17.8%	0 0.0%	
50代	185 100.0%	19 10.3%	34 18.4%	48 25.9%	42 22.7%	23 12.4%	17 9.2%	2 1.1%	
60代	201 100.0%	22 10.9%	57 28.4%	57 28.4%	29 14.4%	10 5.0%	25 12.4%	1 0.5%	
70代以上	222 100.0%	28 12.6%	76 34.2%	50 22.5%	28 12.6%	12 5.4%	25 11.3%	3 1.4%	

(上段回答数、下段割合)

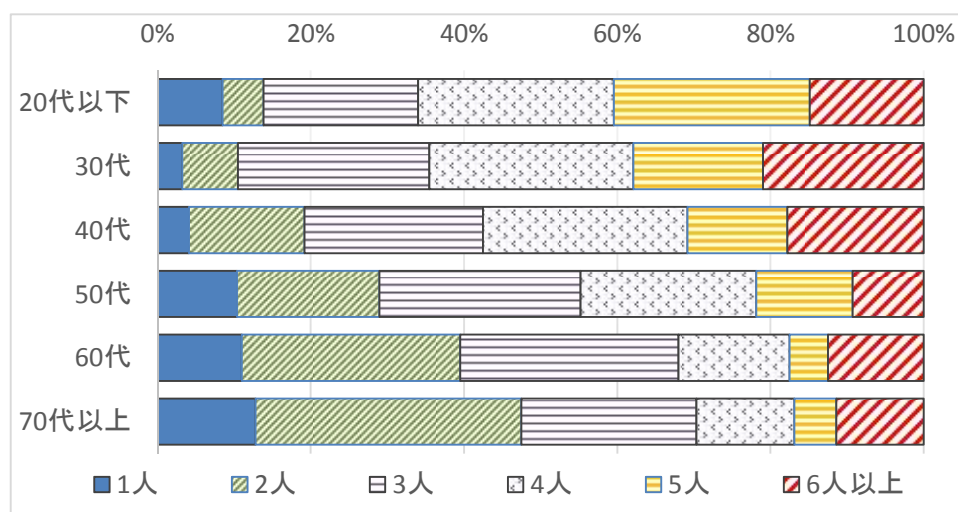


図 34 回答者の年代と同居人数

(2) 回答者の年代と子ども（18歳未満）の同居

30～40代世代が子育て世代にあたり、子どもと同居する割合が高くなっている。

表 35 回答者の年代と子ども（18歳未満）の同居

		合計	子どもの同居		
			あり	なし	無回答
年代	20代以下	94 100.0%	22 23.4%	71 75.5%	1 1.1%
	30代	125 100.0%	71 56.8%	54 43.2%	0 0.0%
	40代	146 100.0%	82 56.2%	64 43.8%	0 0.0%
	50代	185 100.0%	41 22.2%	141 76.2%	3 1.6%
	60代	201 100.0%	40 19.9%	155 77.1%	6 3.0%
	70代以上	222 100.0%	34 15.3%	178 80.2%	10 4.5%

(上段回答数、下段割合)

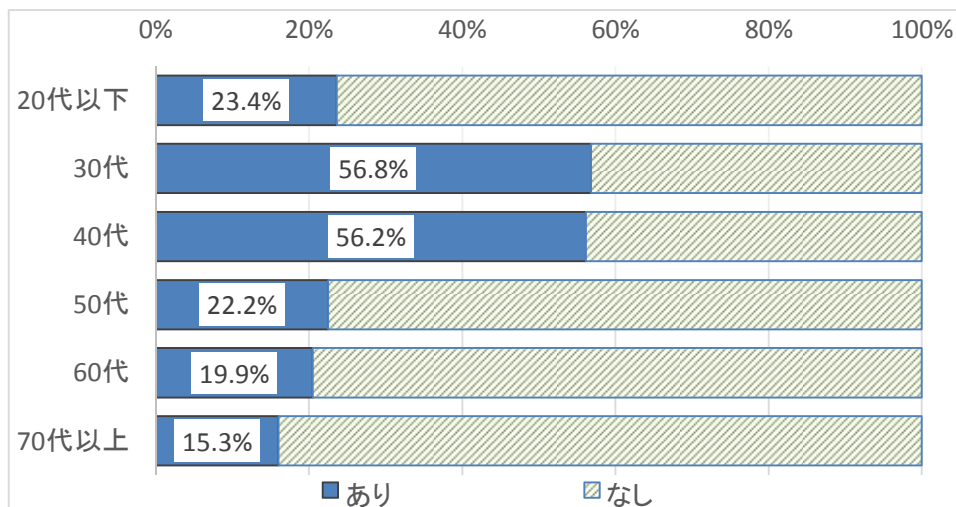


図 35 回答者の年代と子ども（18歳未満）の同居

(3) 回答者の年代とお住まいの築年数

40代以下では築20年未満の世帯が半数近くあるのに対し、50代以上では年代があがるほど築年数が長くなり、70代以上では築50年以上が3割に達している。

表 36 回答者の年代とお住まいの築年数

		合計	お住まいの築年数							
			10年未満	10～20年未満	20～30年未満	30～40年未満	40～50年未満	50年以上	わからない	無回答
年代	20代以下	94 100.0%	21 22.3%	21 22.3%	13 13.8%	6 6.4%	8 8.5%	7 7.4%	14 14.9%	4 4.3%
	30代	125 100.0%	36 28.8%	17 13.6%	18 14.4%	9 7.2%	9 7.2%	23 18.4%	11 8.8%	2 1.6%
	40代	146 100.0%	30 20.5%	40 27.4%	16 11.0%	15 10.3%	16 11.0%	20 13.7%	8 5.5%	1 0.7%
	50代	185 100.0%	12 6.5%	34 18.4%	34 18.4%	19 10.3%	33 17.8%	43 23.2%	8 4.3%	2 1.1%
	60代	201 100.0%	7 3.5%	22 10.9%	41 20.4%	30 14.9%	38 18.9%	54 26.9%	7 3.5%	2 1.0%
	70代以上	222 100.0%	9 4.1%	12 5.4%	21 9.5%	51 23.0%	47 21.2%	68 30.6%	9 4.1%	5 2.3%

(上段回答数、下段割合)

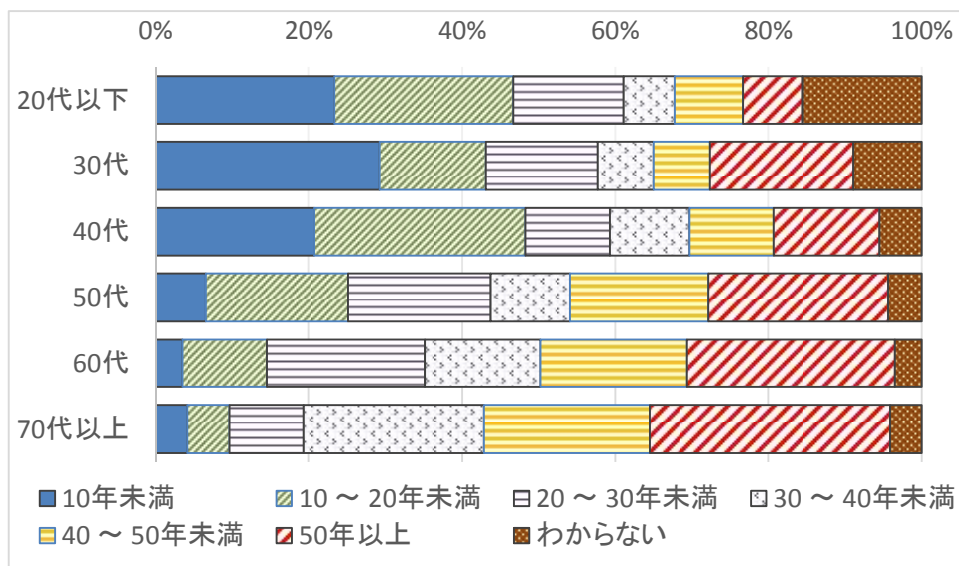


図 36 回答者の年代とお住まいの築年数

(4) 地域と年代

伯太地域では、70歳以上の世帯が32.1%と、ほかの地区より多くなっている。

表 37 地域と年代

		合計	年代							
			10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
お住まいの地域	安来地域	679	17	56	93	107	126	139	140	1
		100.0%	2.5%	8.2%	13.7%	15.8%	18.6%	20.5%	20.6%	0.1%
	広瀬地域	177	3	10	19	22	42	38	42	1
		100.0%	1.7%	5.6%	10.7%	12.4%	23.7%	21.5%	23.7%	0.6%
	伯太地域	109	2	6	12	16	16	22	35	0
		100.0%	1.8%	5.5%	11.0%	14.7%	14.7%	20.2%	32.1%	0.0%

(上段回答数、下段割合)

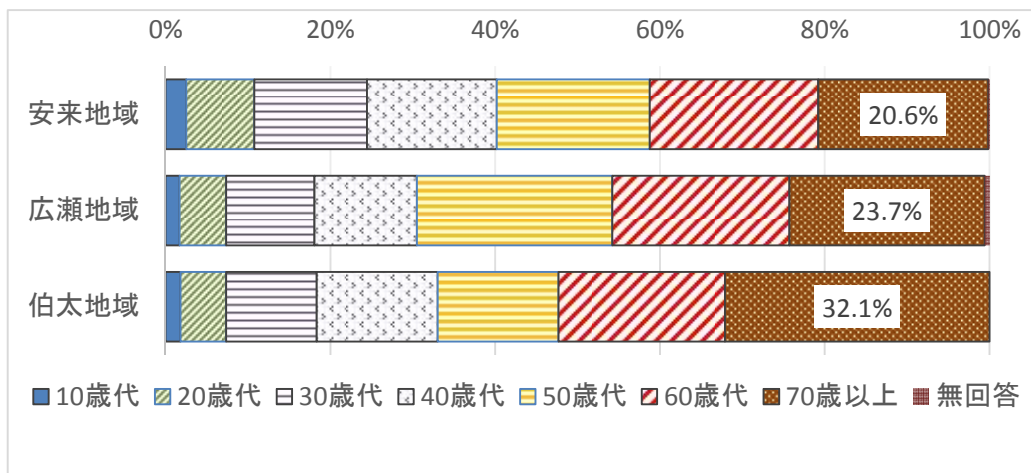


図 37 地域と年代

(5) 地域とお住まいの築年数

地域ごとでみると、伯太地域の築年数が長く、安来地域では比較的新しい住宅が多くなっている。

表 38 地域とお住まいの築年数

		合計	お住まいの築年数							わからな い	無回答
			10年未満	10～20 年未満	20～30 年未満	30～40 年未満	40～50 年未満	50年以上			
お住まいの地域	安来地域	679	98	105	98	97	109	127	36	9	
		100.0%	14.4%	15.5%	14.4%	14.3%	16.1%	18.7%	5.3%	1.3%	
	広瀬地域	177	12	26	31	21	24	46	14	3	
		100.0%	6.8%	14.7%	17.5%	11.9%	13.6%	26.0%	7.9%	1.7%	
	伯太地域	109	5	13	15	13	16	41	5	1	
		100.0%	4.6%	11.9%	13.8%	11.9%	14.7%	37.6%	4.6%	0.9%	

(上段回答数、下段割合)

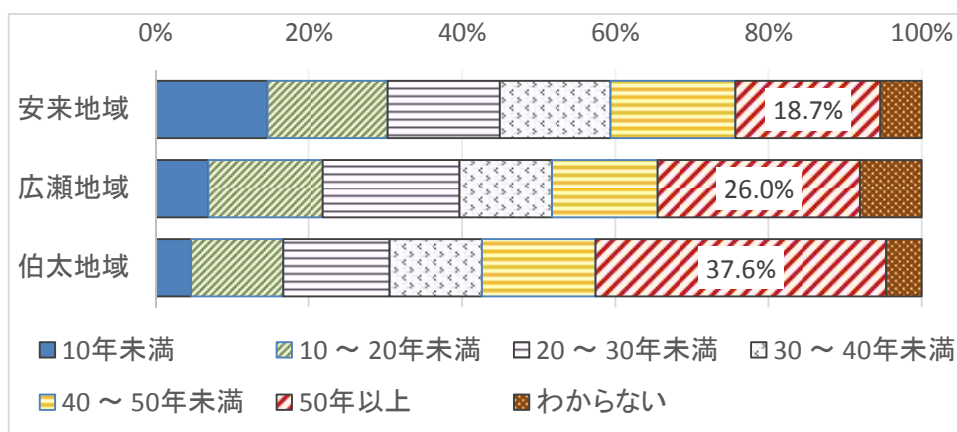


図 38 地域とお住まいの築年数

(6) 同居人数と冬季の1ヶ月の光熱費

同居人数が多いほど、冬の光熱費は高くなる傾向がある。1人世帯では1ヶ月1万円未満で過ごす世帯も25.8%あるが、2人以上世帯ではほとんどない。一方6人以上世帯では、6割以上の世帯が1ヶ月3万円以上の光熱費がかかっている。

各範囲の中央値をとり、1万円未満は7,500円、5万円以上は55,000円として、回答者の平均値をとったところ、1人世帯は15,227円、6人以上世帯は35,108円となった。

表 39 同居人数と冬季の1ヶ月の光熱費

		合計	冬季の1ヶ月のおおよその光熱費(電気、ガス、灯油)								
			1万円未満	1～1.5万円	1.5～2万円	2～3万円	3～4万円	4～5万円	5万円以上	わからない	無回答
同居人数	1人	89	23	32	17	11	4	0	1	1	0
		100.0%	25.8%	36.0%	19.1%	12.4%	4.5%	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%
	2人	203	6	49	62	55	16	5	1	2	7
		100.0%	3.0%	24.1%	30.5%	27.1%	7.9%	2.5%	0.5%	1.0%	3.4%
	3人	239	7	32	51	73	35	7	6	21	7
		100.0%	2.9%	13.4%	21.3%	30.5%	14.6%	2.9%	2.5%	8.8%	2.9%
4人	195	1	20	48	55	30	7	6	18	10	
	100.0%	0.5%	10.3%	24.6%	28.2%	15.4%	3.6%	3.1%	9.2%	5.1%	
5人	109	3	15	21	20	22	5	5	17	1	
	100.0%	2.8%	13.8%	19.3%	18.3%	20.2%	4.6%	4.6%	15.6%	0.9%	
6人以上	133	0	4	13	30	26	23	20	11	6	
	100.0%	0.0%	3.0%	9.8%	22.6%	19.5%	17.3%	15.0%	8.3%	4.5%	

(上段回答数、下段割合)

表 40 同居人数と冬季の1ヶ月の光熱費平均額(円)

1人	15,227
2人	20,399
3人	23,886
4人	24,955
5人	25,797
6人以上	35,108
平均	24,089

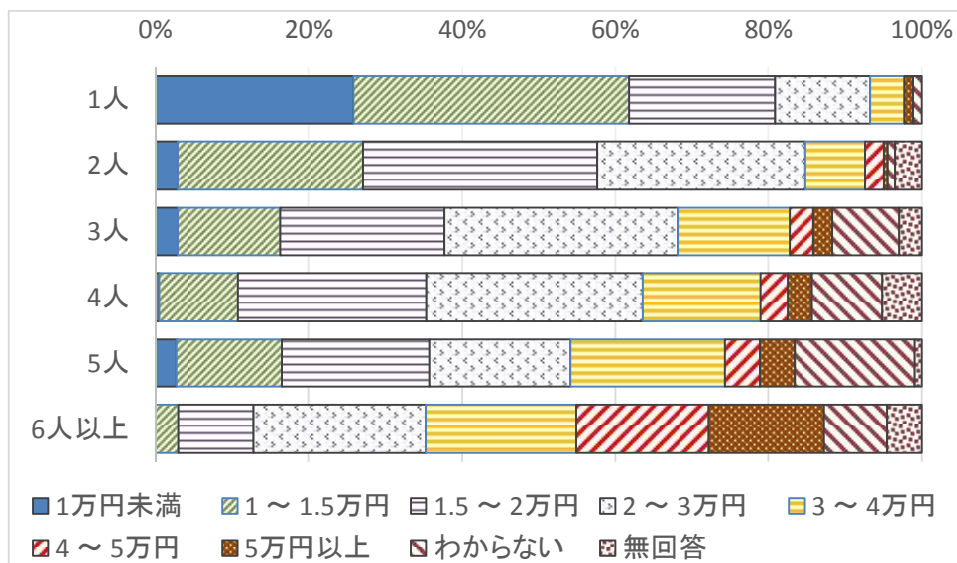


図 39 同居人数と冬季の1ヶ月の光熱費

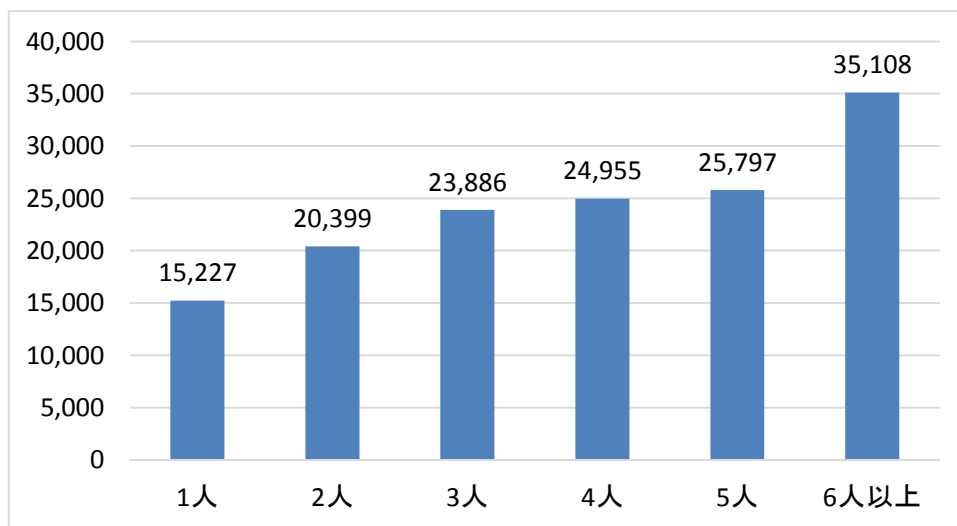


図 40 同居人数と冬季の1ヶ月の光熱費平均額 (円)

(7) お住まいと冬季の1ヶ月の光熱費

持ち家の戸建て住宅のほうが、賃貸の集合住宅より光熱費が高い傾向がみられた。

表 41 お住まいと冬季の1ヶ月の光熱費

		合計	冬季の1ヶ月のおおよその光熱費(電気、ガス、灯油)								
			1万円未満	1～1.5万円	1.5～2万円	2～3万円	3～4万円	4～5万円	5万円以上	わからない	無回答
お住まい	持ち家の戸建て住宅	859 100.0%	24 2.8%	122 14.2%	186 21.7%	222 25.8%	126 14.7%	47 5.5%	39 4.5%	63 7.3%	30 3.5%
	賃貸の戸建て住宅	27 100.0%	2 7.4%	5 18.5%	12 44.4%	6 22.2%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%
	賃貸の集合住宅	83 100.0%	14 16.9%	25 30.1%	15 18.1%	18 21.7%	6 7.2%	0 0.0%	0 0.0%	5 6.0%	0 0.0%

(上段回答数、下段割合)

表 42 お住まいと冬季の1ヶ月の光熱費平均（円）

持ち家の戸建て住宅	25,039
賃貸の戸建て住宅	18,173
賃貸の集合住宅	17,179
平均	24,089

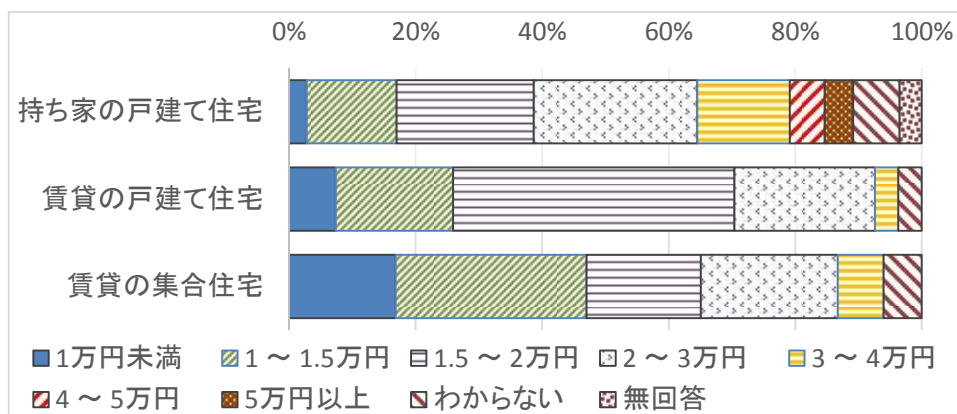


図 41 お住まいと冬季の1ヶ月の光熱費

(8) 築年数と冬季の1ヶ月の光熱費

築年数が20年未満の短い住宅のほうが、光熱費が安い傾向がみられる。断熱性能が上がっていることも一つの理由として考えられる。

表 43 築年数と冬季の1ヶ月の光熱費

		合計	冬季の1ヶ月のおおよその光熱費(電気、ガス、灯油)								
			1万円未満	1～1.5万円	1.5～2万円	2～3万円	3～4万円	4～5万円	5万円以上	わからない	無回答
築年数	10年未満	115	7	36	27	26	6	1	2	7	3
		100.0%	6.1%	31.3%	23.5%	22.6%	5.2%	0.9%	1.7%	6.1%	2.6%
	10～20年未満	146	10	25	39	42	10	6	4	8	2
		100.0%	6.8%	17.1%	26.7%	28.8%	6.8%	4.1%	2.7%	5.5%	1.4%
	20～30年未満	144	2	21	29	36	27	11	7	9	2
		100.0%	1.4%	14.6%	20.1%	25.0%	18.8%	7.6%	4.9%	6.3%	1.4%
	30～40年未満	131	5	22	24	36	24	8	5	3	4
	100.0%	3.8%	16.8%	18.3%	27.5%	18.3%	6.1%	3.8%	2.3%	3.1%	
40～50年未満	151	4	23	31	39	25	12	4	7	6	
	100.0%	2.6%	15.2%	20.5%	25.8%	16.6%	7.9%	2.6%	4.6%	4.0%	
50年以上	215	8	14	48	60	37	9	15	16	8	
	100.0%	3.7%	6.5%	22.3%	27.9%	17.2%	4.2%	7.0%	7.4%	3.7%	

(上段回答数、下段割合)

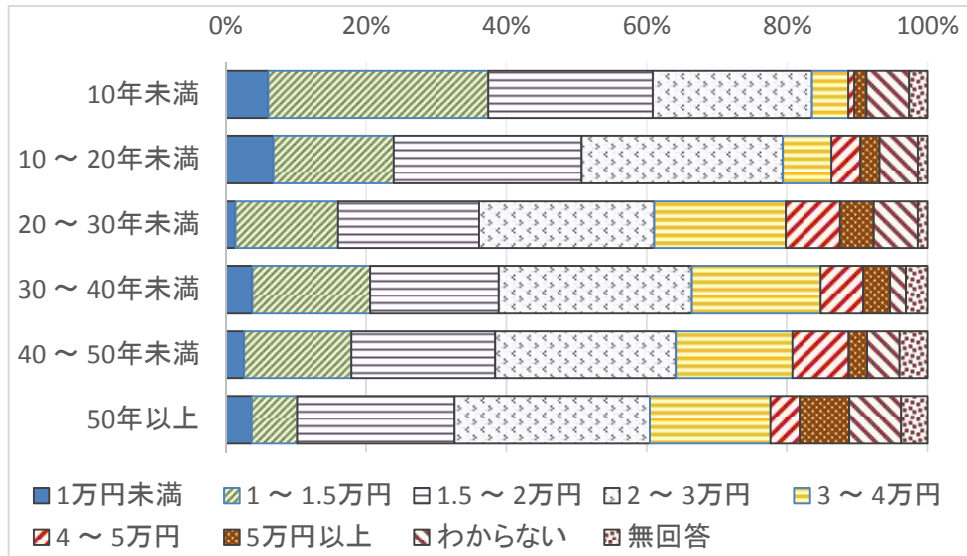


図 42 築年数と冬季の1ヶ月の光熱費

表 44 築年数と冬季の1ヶ月の光熱費平均 (円)

10年未満	18,952
10～20年未満	21,765
20～30年未満	26,391
30～40年未満	25,060
40～50年未満	25,145
50年以上	26,702
平均	24,089

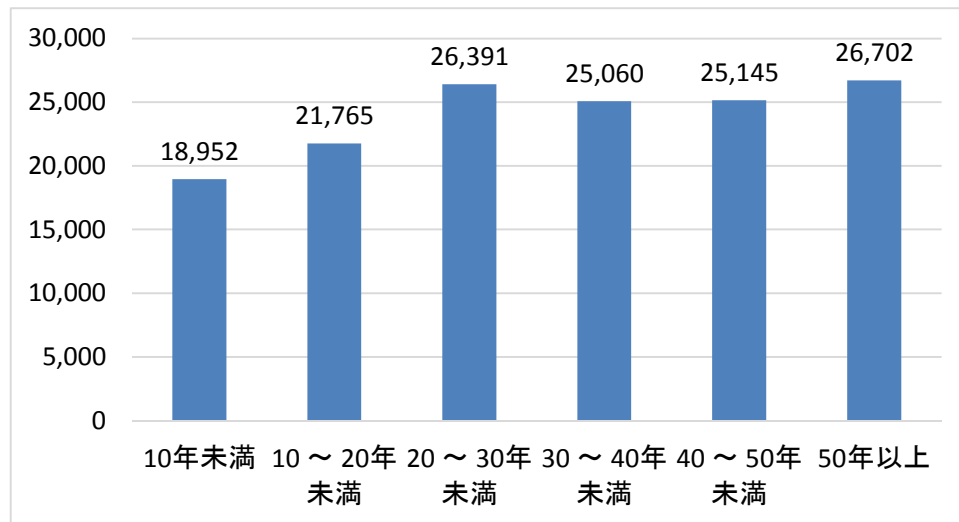


図 43 築年数と冬季の1ヶ月の光熱費平均 (円)

4.2. 環境問題の深刻さと基本属性

(主な集計結果)

- ・男性よりも女性のほうが、全般的に地球環境問題を深刻と考える人の割合が高い。
- ・職業別では、学生や主婦（主夫）が深刻と考える人の割合が高く、無職の人が低い。
- ・地域別では違いがみられなかった。

(1) 「性別」と地球環境問題の影響の深刻さ

男性より女性のほうが地球環境問題の影響を深刻と考える傾向がみられた。

表 45 「性別」と地球環境問題の影響の深刻さ

	合計	地球温暖化とその影響						
		深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻でない	わからない	無回答	
性別	男性	460 100.0%	284 61.7%	131 28.5%	27 5.9%	4 0.9%	12 2.6%	2 0.4%
	女性	507 100.0%	370 73.0%	99 19.5%	6 1.2%	0 0.0%	24 4.7%	8 1.6%

(上段回答数、下段割合)

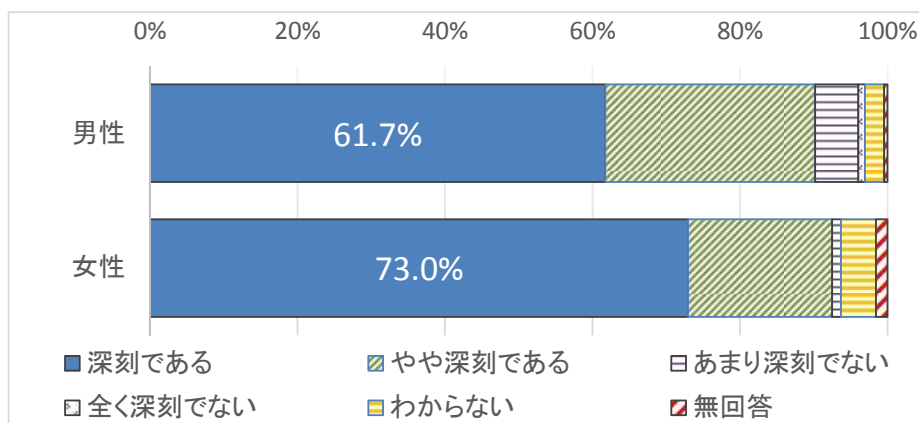


図 44 「性別」と地球環境問題の影響の深刻さ

表 46 「性別」と深刻だと考える地球環境問題

性別	対象者数	「深刻である」と答えた人						
		地球温暖化とその影響	プラスチックなど海洋汚染	食品ロスなど廃棄物問題	石油などの資源の枯渇	森林破壊や砂漠化	安来市内の自然環境や汚染	
性別	男性	460 100.0%	284 61.7%	265 57.6%	200 43.5%	138 30.0%	193 42.0%	55 12.0%
	女性	507 100.0%	370 73.0%	333 65.7%	283 55.8%	205 40.4%	244 48.1%	54 10.7%

(上段回答数、下段割合。各問の回答数と割合を示す。)

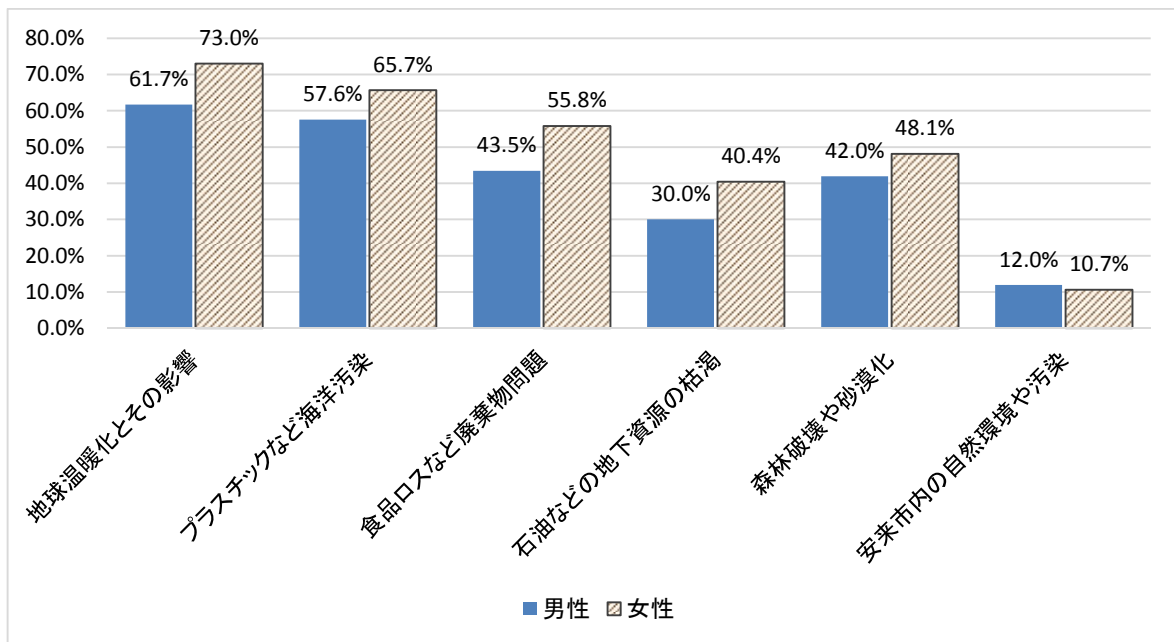


図 45 「性別」と深刻だと考える地球環境問題

(2) 「同居人数」と地球環境問題の影響の深刻さ

同居人数が多いほど、地球温暖化やその影響が深刻であると回答する割合が高かった。ただし「やや深刻である」を加えると、同居人数による差はみられなかった。

表 47 「同居人数」と地球環境問題の影響の深刻さ

		合計	地球温暖化とその影響					
			深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻でない	わからない	無回答
同居人数	1人	89 100.0%	52 58.4%	27 30.3%	5 5.6%	0 0.0%	4 4.5%	1 1.1%
	2人	203 100.0%	134 66.0%	48 23.6%	8 3.9%	1 0.5%	9 4.4%	3 1.5%
	3人	239 100.0%	157 65.7%	65 27.2%	5 2.1%	2 0.8%	5 2.1%	5 2.1%
	4人	195 100.0%	137 70.3%	41 21.0%	4 2.1%	0 0.0%	13 6.7%	0 0.0%
	5人	109 100.0%	80 73.4%	20 18.3%	6 5.5%	1 0.9%	2 1.8%	0 0.0%
	6人以上	133 100.0%	95 71.4%	29 21.8%	4 3.0%	0 0.0%	3 2.3%	2 1.5%

(上段回答数、下段割合)

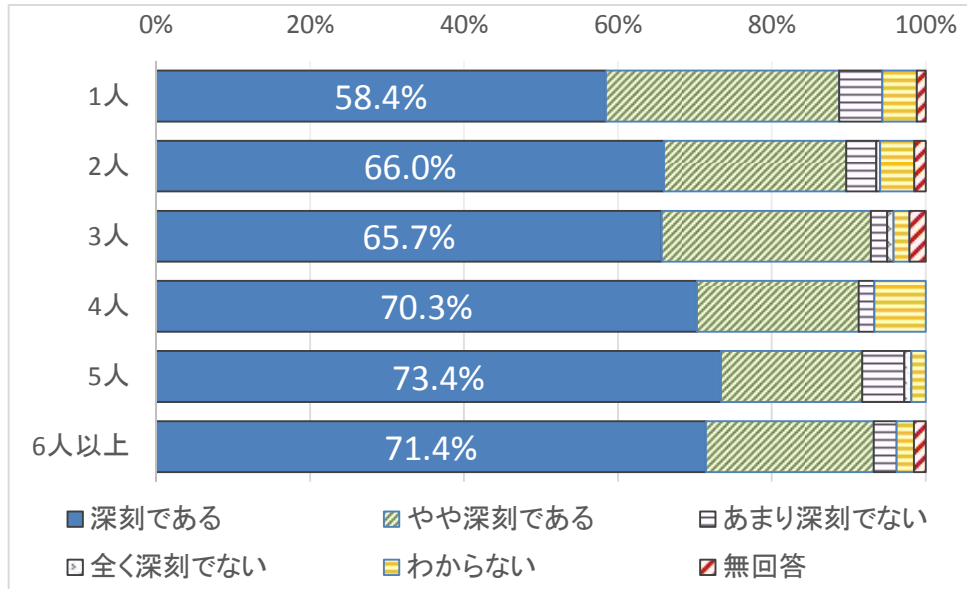


図 46 「同居人数」と地球環境問題の影響の深刻さ

(3) 「あなたのお仕事」と地球環境問題の影響の深刻さ

「学生」や「主婦（主夫）」が深刻と考える人の割合が高く、「無職」は 58.2%と低かった。

表 48 「あなたのお仕事」と地球環境問題の影響の深刻さ

		合計	地球温暖化とその影響					
			深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻でない	わからない	無回答
あなたのお仕事	会社員	341	235	87	12	0	5	2
		100.0%	68.9%	25.5%	3.5%	0.0%	1.5%	0.6%
	自営業	83	55	18	4	2	3	1
		100.0%	66.3%	21.7%	4.8%	2.4%	3.6%	1.2%
	公務員	54	38	9	3	2	2	0
		100.0%	70.4%	16.7%	5.6%	3.7%	3.7%	0.0%
	パート・アルバイト	133	93	34	2	0	4	0
		100.0%	69.9%	25.6%	1.5%	0.0%	3.0%	0.0%
主婦（主夫）	89	65	14	2	0	6	2	
	100.0%	73.0%	15.7%	2.2%	0.0%	6.7%	2.2%	
学生	30	23	6	1	0	0	0	
	100.0%	76.7%	20.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
無職	194	113	52	6	0	17	6	
	100.0%	58.2%	26.8%	3.1%	0.0%	8.8%	3.1%	

(上段回答数、下段割合)

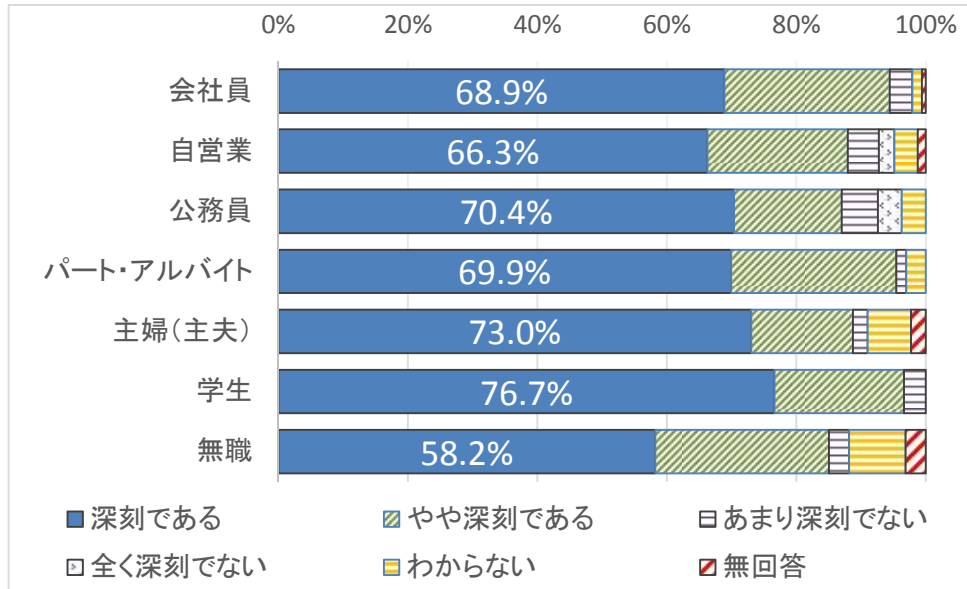


図 47 「あなたのお仕事」と地球環境問題の影響の深刻さ

4.3. 環境問題の影響への不安と基本属性

(主な集計結果)

- ・「洪水・土砂災害」については、年代が高いほど不安に感じ、また公務員や主婦（主夫）が不安に感じている割合が高かった。
- ・「生態系への影響・熱中症の増加」では、学生を中心に、若い層で不安に感じる割合が高かった。
- ・性別、地域別ではあまり違いがみられなかった。

(1) 「年代」と不安に感じている影響

不安に感じている影響については、年代別に一部の項目で違いがみられた。「洪水・土砂災害の増加」については、年代が高いほうが不安に感じる率が高く、若い世代ほど低かった。一方で「生態系への影響・熱中症の増加」については、年代が低いほど、不安に感じる率が高かった。

表 49 「年代」と不安に感じている影響

		合計	一番不安に感じる影響は何ですか。								
年代			洪水・土砂災害の増加	農作物や水産物など食料生産への影響	水環境・水資源（湯水、水質保全）	生態系への影響、熱中症の増加	感染症（デング熱等）の増加	観光・レジャーへの影響	特に不安に感じることはない	その他	無回答
年代	20代以下	94	27	21	5	29	5	2	0	0	5
		100.0%	28.7%	22.3%	5.3%	30.9%	5.3%	2.1%	0.0%	0.0%	5.3%
	30代	125	47	20	9	35	4	1	2	1	6
		100.0%	37.6%	16.0%	7.2%	28.0%	3.2%	0.8%	1.6%	0.8%	4.8%
	40代	146	67	24	8	33	6	0	2	1	5
		100.0%	45.9%	16.4%	5.5%	22.6%	4.1%	0.0%	1.4%	0.7%	3.4%
	50代	185	90	37	6	35	4	1	2	2	8
	100.0%	48.6%	20.0%	3.2%	18.9%	2.2%	0.5%	1.1%	1.1%	4.3%	
60代	201	99	48	14	26	6	0	1	1	6	
	100.0%	49.3%	23.9%	7.0%	12.9%	3.0%	0.0%	0.5%	0.5%	3.0%	
70代以上	222	107	57	11	18	7	0	2	1	19	
	100.0%	48.2%	25.7%	5.0%	8.1%	3.2%	0.0%	0.9%	0.5%	8.6%	

(上段回答数、下段割合)

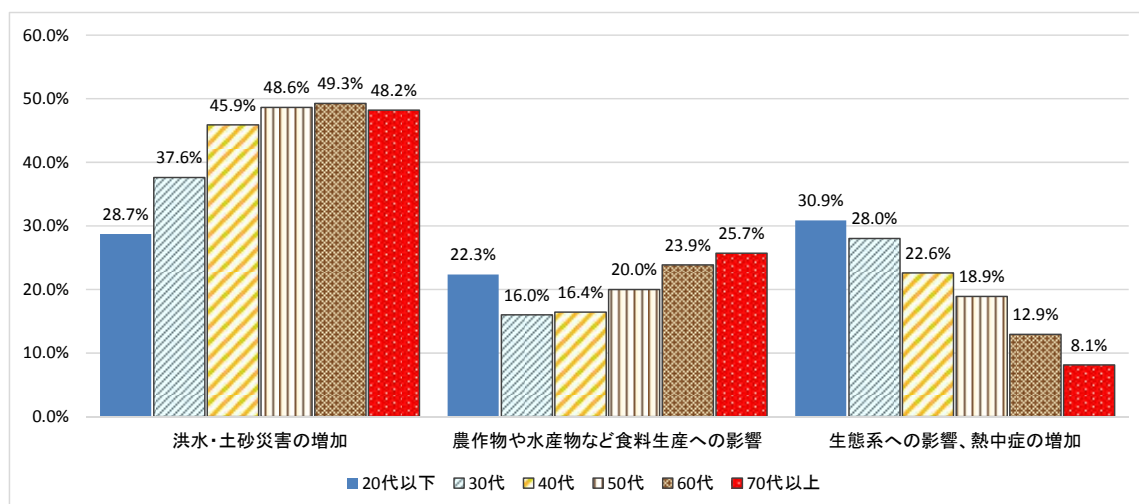


図 48 「年代」と不安に感じている影響

(2) 「あなたのお仕事」と不安に感じている影響

公務員や主婦（主夫）は、「洪水・土砂災害の増加」に対して不安を感じており、「農作物や水産物など食料生産への影響」については、あまり不安を感じていない。一方で、学生は、「生態系への影響・熱中症の増加」を不安と感じており「洪水・土砂災害の増加」にはあまり不安を感じていない。

表 50 「あなたのお仕事」と不安に感じている影響

	あなたのお仕事	合計	一番不安に感じる影響は何ですか。								
			洪水・土砂災害の増加	農作物や水産物など食料生産への影響	水環境・水資源（渇水、水質保全）	生態系への影響、熱中症の増加	感染症（デング熱等）の増加	観光・レジャーへの影響	特に不安に感じることはない	その他	無回答
	会社員	341	152	61	25	65	16	1	4	3	14
		100.0%	44.6%	17.9%	7.3%	19.1%	4.7%	0.3%	1.2%	0.9%	4.1%
	自営業	83	30	25	7	11	2	0	3	0	5
		100.0%	36.1%	30.1%	8.4%	13.3%	2.4%	0.0%	3.6%	0.0%	6.0%
	公務員	54	36	2	2	9	0	0	0	0	5
		100.0%	66.7%	3.7%	3.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.3%
	パート・アルバイト	133	55	38	6	29	2	2	0	1	0
		100.0%	41.4%	28.6%	4.5%	21.8%	1.5%	1.5%	0.0%	0.8%	0.0%
	主婦（主夫）	89	51	13	3	15	4	0	0	0	3
		100.0%	57.3%	14.6%	3.4%	16.9%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%
	学生	30	5	8	1	13	1	0	0	0	2
		100.0%	16.7%	26.7%	3.3%	43.3%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
	無職	194	83	48	9	24	7	0	2	1	20
		100.0%	42.8%	24.7%	4.6%	12.4%	3.6%	0.0%	1.0%	0.5%	10.3%

(上段回答数、下段割合)

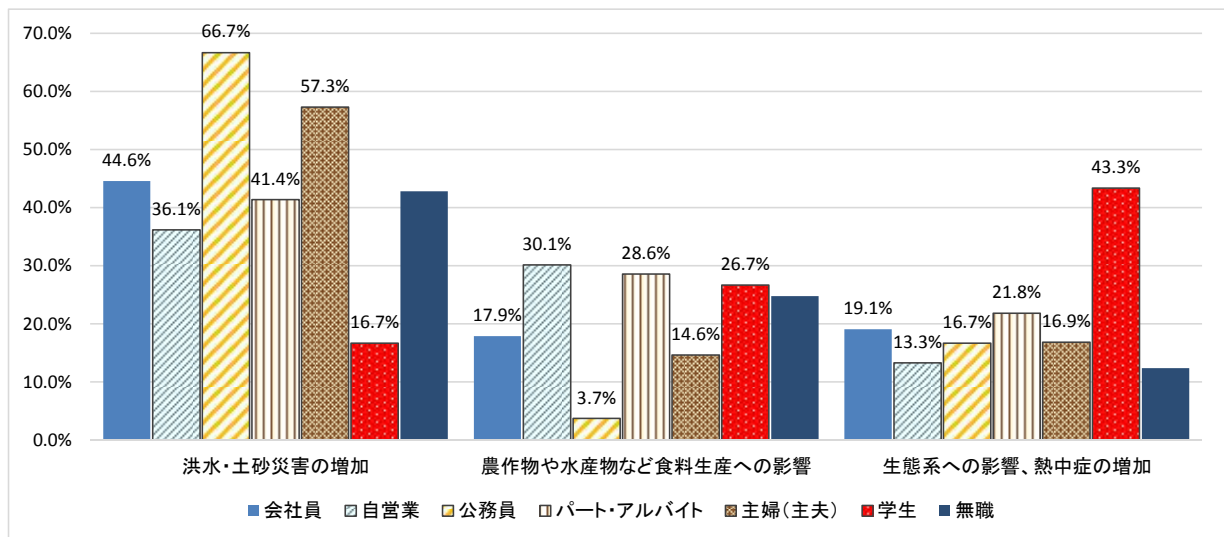


図 49 「あなたのお仕事」と不安に感じている影響

4.4. 言葉の知識と基本属性

(主な集計結果)

- ・若い世代ではLEDをよく知っているが、それ以外はあまり高くない。高年齢層では、メガソーラー・洋上風力などがよく知られている。
- ・職業別では、公務員が知っている割合が高い。
- ・性別、地域別ではあまり違いが認められなかった。

(1) 「年代」と言葉を知っていると回答した人

LEDについては、40代以下では8割を超えており、若い人ほど認知度が高い。メガソーラー・洋上風力・パリ協定については、60代など高齢者のほうが知っている割合が高い。

表 51 「年代」と言葉を知っていると回答した人

年代	20代以下	合計	「知っている」と回答した人									
			クールシェア・ウォームシェア	クール・チョイス	省エネラベル	LED(エディー)	ZEH(ゼッチ)	メガソーラー	洋上風力発電	パリ協定	適応策	SDGs(エスディーズ)
		94	9	5	30	76	5	33	26	31	6	11
		100.0%	9.6%	5.3%	31.9%	80.9%	5.3%	35.1%	27.7%	33.0%	6.4%	11.7%
	30代	125	41	19	37	103	15	50	38	37	5	10
	30代	100.0%	32.8%	15.2%	29.6%	82.4%	12.0%	40.0%	30.4%	29.6%	4.0%	8.0%
	40代	146	38	22	34	118	14	73	53	54	14	21
	40代	100.0%	26.0%	15.1%	23.3%	80.8%	9.6%	50.0%	36.3%	37.0%	9.6%	14.4%
	50代	185	38	17	42	140	13	102	84	75	9	19
	50代	100.0%	20.5%	9.2%	22.7%	75.7%	7.0%	55.1%	45.4%	40.5%	4.9%	10.3%
	60代	201	34	16	48	141	10	121	109	95	15	10
	60代	100.0%	16.9%	8.0%	23.9%	70.1%	5.0%	60.2%	54.2%	47.3%	7.5%	5.0%
	70代以上	222	19	9	32	105	5	90	102	76	15	5
	70代以上	100.0%	8.6%	4.1%	14.4%	47.3%	2.3%	40.5%	45.9%	34.2%	6.8%	2.3%

(上段回答数、下段割合)

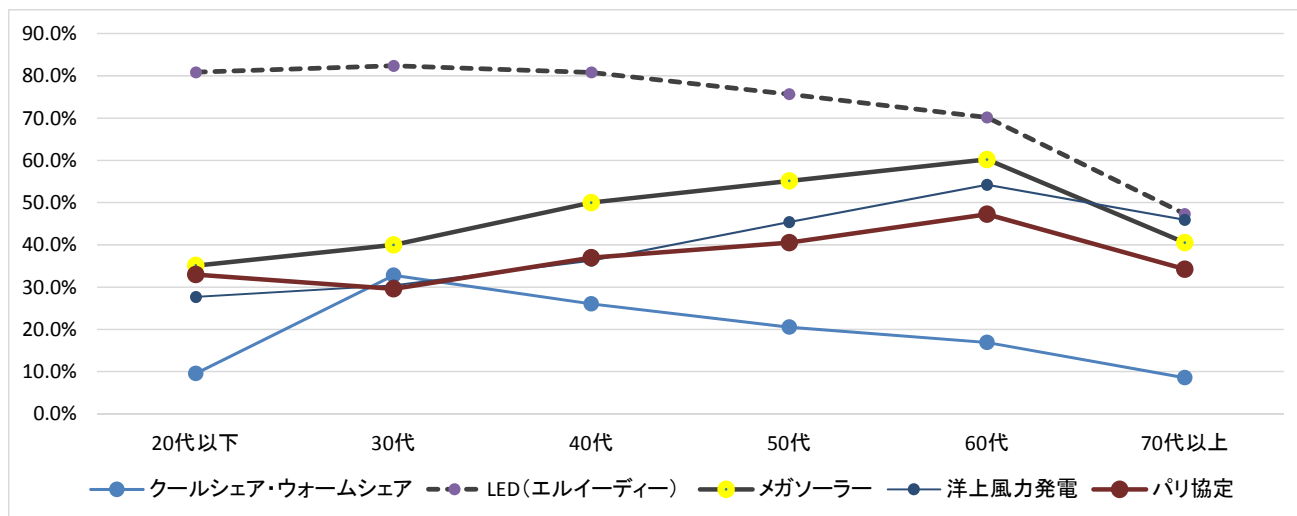


図 50 「年代」と言葉を知っていると回答した人

(2) 「あなたのお仕事」と言葉を知っていると回答した人

全般的に公務員が知っている割合が高い。「クールチョイス」については、公務員以外にはあまり定着していない様子が見え、主婦・学生・無職にはほとんど認知されていない。SDGsは公務員と学生、自営業を除くと、1割以下しか認知されていない。

学生は、LED、パリ協定、SDGsについて比較的知っている人が多いが、メガソーラーやクールチョイス、クールシェア・ウォームシェアなどの言葉が知られていない。

表 52 「あなたのお仕事」と言葉を知っていると回答した人

あなたのお仕事	合計	「知っている」と回答した人										
		クールシェア・ウォームシェア	クールチョイス	省エネラベル	LED(エディー)	ZEH(ゼッチ)	メガソーラー	洋上風力発電	パリ協定	適応策	SDGs(エスディー)	
あなたのお仕事	会社員	341	79	33	87	267	27	171	138	132	27	24
		100.0%	23.2%	9.7%	25.5%	78.3%	7.9%	50.1%	40.5%	38.7%	7.9%	7.0%
	自営業	83	19	10	20	59	3	46	44	36	10	10
		100.0%	22.9%	12.0%	24.1%	71.1%	3.6%	55.4%	53.0%	43.4%	12.0%	12.0%
	公務員	54	16	20	20	46	7	36	23	30	7	17
		100.0%	29.6%	37.0%	37.0%	85.2%	13.0%	66.7%	42.6%	55.6%	13.0%	31.5%
	パート・アルバイト	133	22	14	29	99	7	57	47	43	9	9
	100.0%	16.5%	10.5%	21.8%	74.4%	5.3%	42.9%	35.3%	32.3%	6.8%	6.8%	
主婦(主夫)	89	14	1	14	53	4	47	32	35	0	3	
	100.0%	15.7%	1.1%	15.7%	59.6%	4.5%	52.8%	36.0%	39.3%	0.0%	3.4%	
学生	30	1	1	7	26	1	8	11	15	2	7	
	100.0%	3.3%	3.3%	23.3%	86.7%	3.3%	26.7%	36.7%	50.0%	6.7%	23.3%	
無職	194	19	7	36	102	10	77	90	59	7	3	
	100.0%	9.8%	3.6%	18.6%	52.6%	5.2%	39.7%	46.4%	30.4%	3.6%	1.5%	

(上段回答数、下段割合)

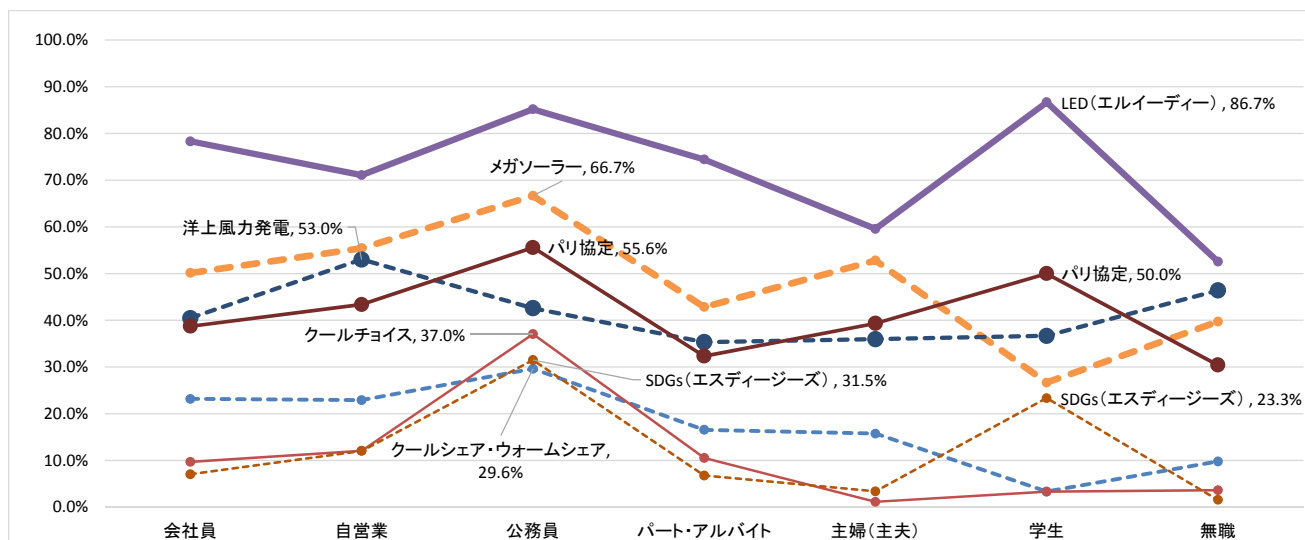


図 51 「あなたのお仕事」と言葉を知っていると回答した人

(3) 「築年数」と言葉を知っていると回答した人

築年数が新しい家庭ほど、ZEH（ゼッチ）、クールシェア・ウォームシェアといった言葉を知っている割合が高かった。

表 53 「築年数」と言葉を知っていると回答した人

築年数	合計	「知っている」と回答した人										
		クールシェア・ウォームシェア	クール・チョイス	省エネラベル	LED(エディー)	ZEH(ゼッチ)	メガソーラー	洋上風力発電	パリ協定	適応策	SDGs(エスディージーズ)	
築年数	10年未満	115 100.0%	33 28.7%	14 12.2%	34 29.6%	92 80.0%	21 18.3%	57 49.6%	44 38.3%	31 27.0%	6 5.2%	6 5.2%
	10～20年未満	146 100.0%	25 17.1%	9 6.2%	34 23.3%	111 76.0%	9 6.2%	72 49.3%	64 43.8%	63 43.2%	9 6.2%	15 10.3%
	20～30年未満	144 100.0%	29 20.1%	21 14.6%	43 29.9%	99 68.8%	10 6.9%	72 50.0%	54 37.5%	60 41.7%	11 7.6%	19 13.2%
	30～40年未満	131 100.0%	20 15.3%	6 4.6%	22 16.8%	85 64.9%	4 3.1%	60 45.8%	59 45.0%	52 39.7%	9 6.9%	8 6.1%
	40～50年未満	151 100.0%	21 13.9%	14 9.3%	28 18.5%	97 64.2%	6 4.0%	78 51.7%	69 45.7%	57 37.7%	11 7.3%	14 9.3%
	50年以上	215 100.0%	42 19.5%	20 9.3%	48 22.3%	153 71.2%	8 3.7%	107 49.8%	100 46.5%	86 40.0%	16 7.4%	10 4.7%

(上段回答数、下段割合)

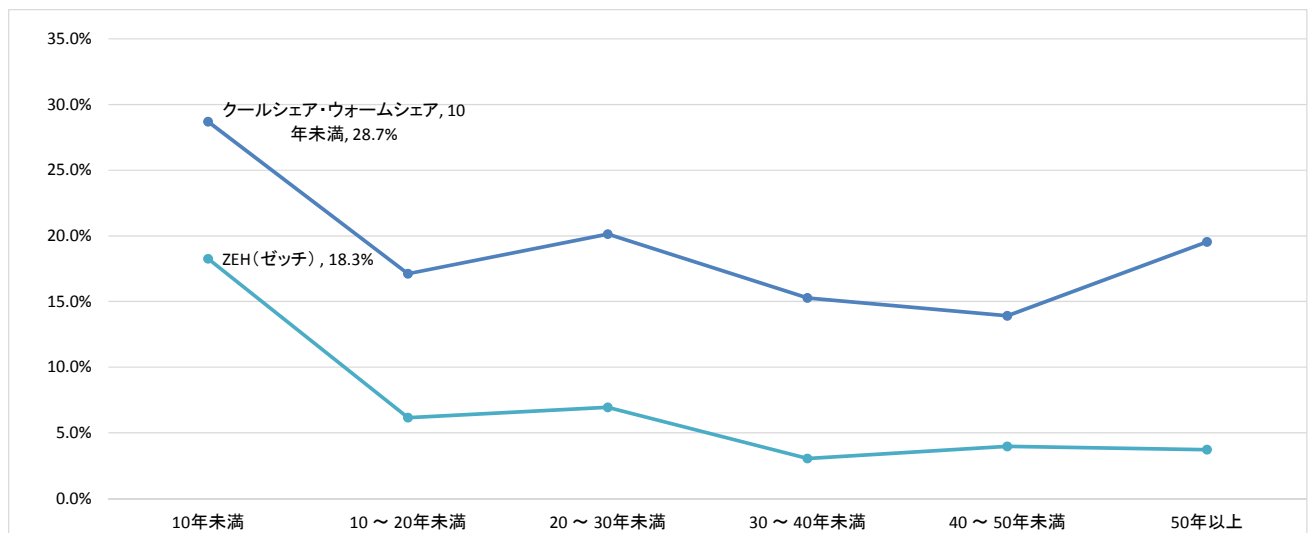


図 52 「築年数」と言葉を知っていると回答した人

4.5. 地球温暖化対策による生活の質や地域の豊かさの向上と基本属性

(主な集計結果)

- ・女性の方が、暮らしの質の向上・地域の豊かさの向上につながると考える割合が高い。
- ・職業別では、公務員や学生が、暮らしの質の向上・地域の豊かさの向上につながると考える割合が高い。
- ・地域別、年代別ではあまり認識の差は認められなかった。

(1) 「性別」と地球温暖化対策による生活の質や地域の豊かさの向上

女性は、暮らしの質の向上につながると思う人が 42.0%、地域の豊かさの向上につながると思う人が 51.3%と、いずれも男性よりも 10%以上高かった。

表 54 「性別」と地球温暖化対策による生活の質や地域の豊かさの向上

性別	合計	暮らしの質の向上につながると思いますか。						地域の豊かさの向上につながると思いますか。					
		そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思う	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思う	そう思わない	わからない	無回答
男性	460 100.0%	147 32.0%	139 30.2%	49 10.7%	41 8.9%	74 16.1%	10 2.2%	186 40.4%	130 28.3%	36 7.8%	33 7.2%	57 12.4%	18 3.9%
女性	507 100.0%	213 42.0%	174 34.3%	16 3.2%	8 1.6%	79 15.6%	17 3.4%	260 51.3%	137 27.0%	14 2.8%	8 1.6%	65 12.8%	23 4.5%

(上段回答数、下段割合)

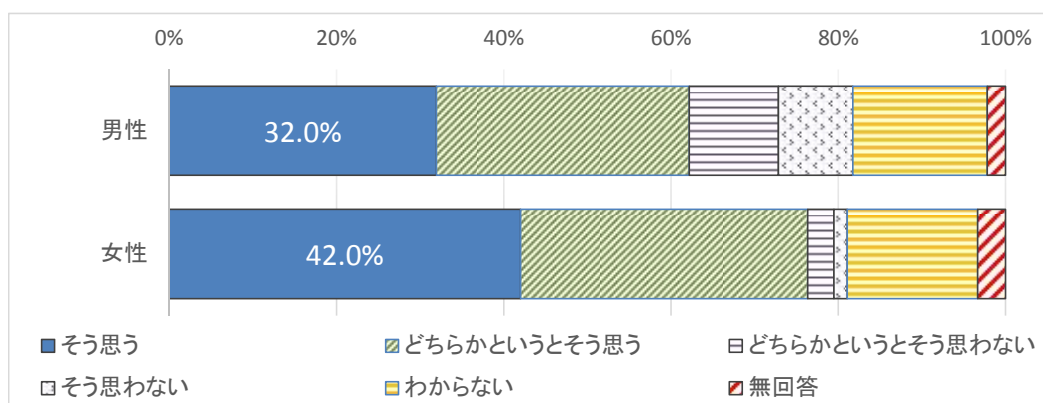


図 53 「性別」と地球温暖化対策による生活の質の向上

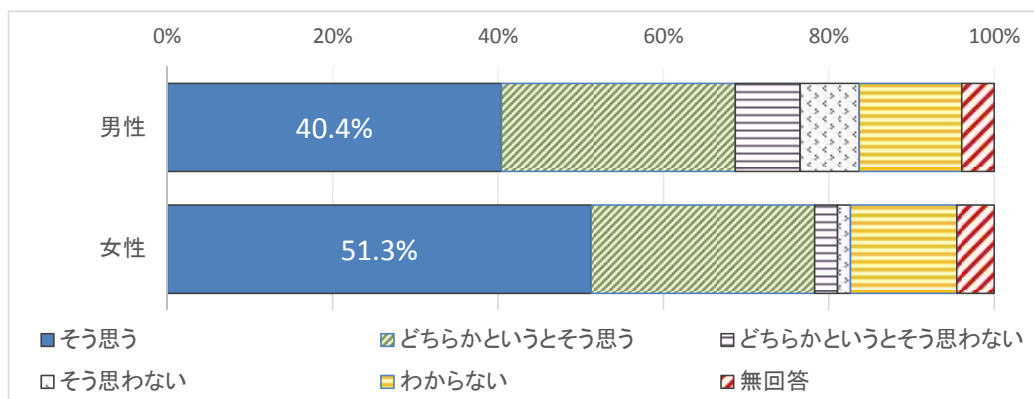


図 54 「性別」と地球温暖化対策による地域の豊かさの向上

(2) 「あなたのお仕事」と地球温暖化対策による生活の質や地域の豊かさの向上

職業別では、公務員と学生が、暮らしの質や地域の豊かさの向上につながると回答する人の割合が高くなっている。一方で、公務員や学生は、地域の豊かさの向上について「そう思わない」と回答する率もほかの職業の人と比べて高くなっており、意見に幅がある傾向がある。

表 55 「あなたのお仕事」と地球温暖化対策による生活の質や地域の豊かさの向上

	合計	暮らしの質の向上につながるといいますか。							地域の豊かさの向上につながるといいますか。					
		そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない	わからない	無回答	
あなたのお仕事	会社員	341	117	120	25	24	46	9	147	99	20	20	42	13
		100.0%	34.3%	35.2%	7.3%	7.0%	13.5%	2.6%	43.1%	29.0%	5.9%	5.9%	12.3%	3.8%
	自営業	83	27	25	8	8	14	1	33	26	5	6	10	3
		100.0%	32.5%	30.1%	9.6%	9.6%	16.9%	1.2%	39.8%	31.3%	6.0%	7.2%	12.0%	3.6%
	公務員	54	25	12	5	3	8	1	28	11	0	5	8	2
		100.0%	46.3%	22.2%	9.3%	5.6%	14.8%	1.9%	51.9%	20.4%	0.0%	9.3%	14.8%	3.7%
	パート・アルバイト	133	47	48	7	1	27	3	67	37	7	1	18	3
		100.0%	35.3%	36.1%	5.3%	0.8%	20.3%	2.3%	50.4%	27.8%	5.3%	0.8%	13.5%	2.3%
主婦(主夫)	89	35	33	2	2	13	4	40	29	3	1	10	6	
	100.0%	39.3%	37.1%	2.2%	2.2%	14.6%	4.5%	44.9%	32.6%	3.4%	1.1%	11.2%	6.7%	
学生	30	14	9	3	1	3	0	17	7	3	1	2	0	
	100.0%	46.7%	30.0%	10.0%	3.3%	10.0%	0.0%	56.7%	23.3%	10.0%	3.3%	6.7%	0.0%	
無職	194	76	55	11	7	35	10	88	52	9	4	26	15	
	100.0%	39.2%	28.4%	5.7%	3.6%	18.0%	5.2%	45.4%	26.8%	4.6%	2.1%	13.4%	7.7%	

(上段回答数、下段割合)

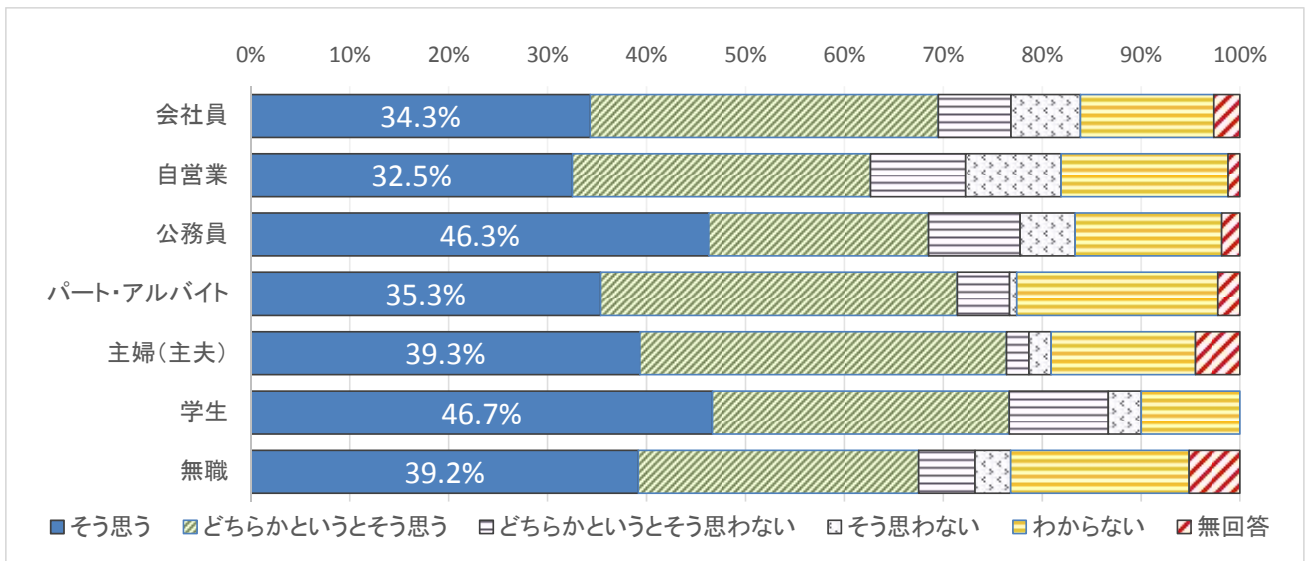


図 55 「あなたのお仕事」と地球温暖化対策による暮らしの質の向上

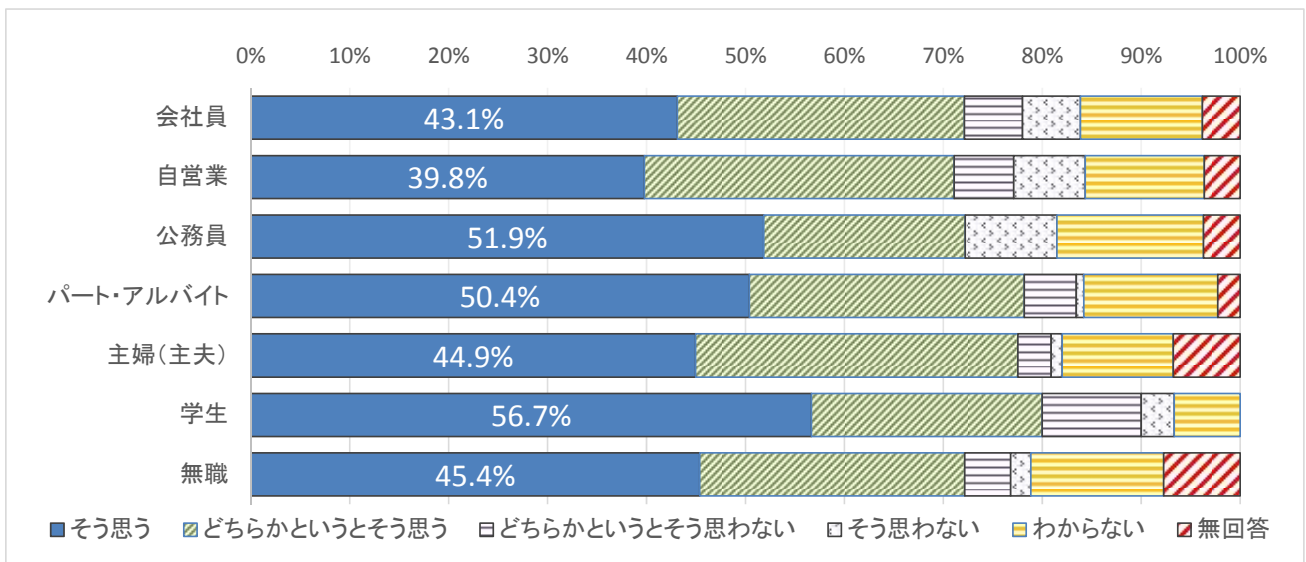


図 56 「あなたのお仕事」と地球温暖化対策による地域の豊かさの向上

4.6. 現在の行動と基本属性

(主な集計結果)

- ・暑さ対策の取組みについては、高齢層のほうが実施している割合が高い。
- ・同居人数が少ないほど、空調温度設定や風呂のお湯利用削減が取組みやすい。
- ・住宅の省エネ考慮については、年代では40代、築年数では10年未満、職業では公務員が高かった。
- ・性別、地域別については、あまり違いは認められなかった。

(1) 「年代」と行動を「いつもしている」と回答した人

室温設定や緑のカーテン、打ち水など、暑さ対策については、高齢層のほうが行動している率が高い傾向がみられた。20代以下の取組みが全般的に低くなっている。

表 56 「年代」と行動を「いつもしている」と回答した人

年代	合計	「いつもしている」と回答した人										
		冷房28℃以上、暖房20℃以下の室温	シャワーを使う時間を短くしている	浴槽にお湯を少なくするよう気をつけている	必要のない照明をこまめに消している	冷蔵庫の開け閉めの時間を短くしている	エコドライブを心がけている	外出時には水筒(マイボトル)を持ち歩いている	夏場は水分補給に気を付けている	暑さ指数や、熱中症の注意報などを参考にしている	つる性の植物で「緑のカーテン」を育てている	打ち水を行っている
20代以下	94	11.7%	29.8%	26.6%	58.5%	47.0%	37.0%	33.0%	68.0%	24.0%	5.3%	6.4%
30代	125	16.8%	35.2%	37.6%	65.6%	49.6%	35.2%	44.0%	73.6%	48.0%	5.6%	2.4%
40代	146	15.1%	34.2%	37.7%	65.8%	44.5%	35.6%	52.0%	64.4%	41.8%	8.9%	2.1%
50代	185	19.5%	43.2%	40.0%	61.1%	47.0%	35.1%	65.0%	71.9%	45.9%	5.4%	3.8%
60代	201	21.9%	46.3%	36.3%	60.2%	57.2%	35.3%	71.0%	72.1%	54.7%	14.9%	8.0%
70代以上	222	30.2%	42.3%	38.7%	62.2%	55.0%	30.6%	68.0%	70.3%	55.9%	14.4%	9.9%

(上段回答数、下段割合)

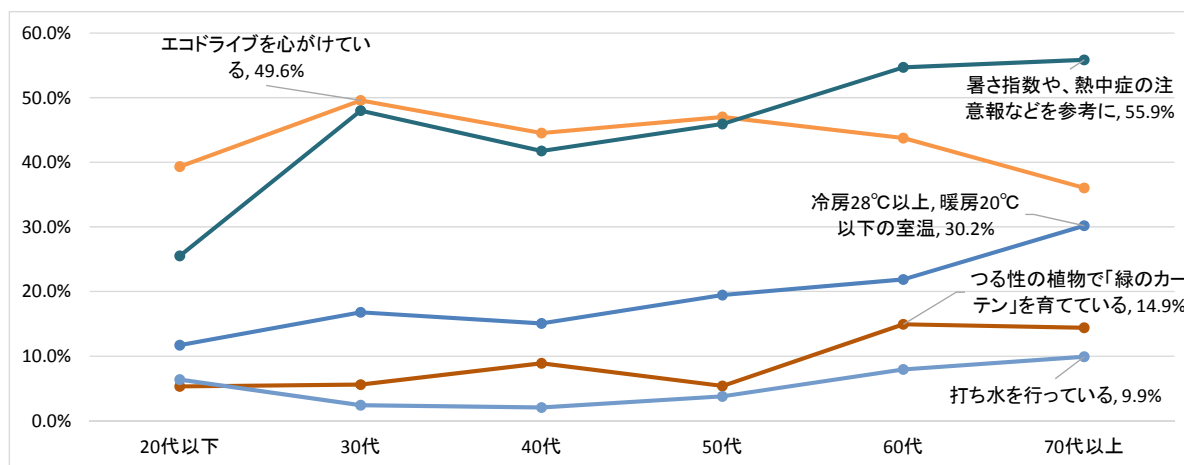


図 57 「年代」と行動を「いつもしている」と回答した人

(1) 「同居人数」と行動を「いつもしている」と回答した人

同居人数が少ないほど、シャワーを使う時間を短く、浴槽のお湯の量を少なくといった、給湯の対策や、空調温度などでの取り組み率が高くなった。これは、家族が多いことで消費が多くなる傾向があるものであり、また家族が多いことで使い方や考え方に差が生じて、省エネに取り組むべきと考えても思うように全員で取り組めないといった面があると考えられる。

表 57 「同居人数」と行動を「いつもしている」と回答した人

		合計	「いつもしている」と回答した人										
同居人数			冷房 28℃以上、 暖房20℃ 以下の 室温	シャ ワーを 使う時 間を短 くするよ うにして いる	浴槽に お湯を 少なく するよ う気を 付けて いる	必要の ない照 明をこ まめに 消して いる	冷蔵庫 の開け 閉めの 時間を 短く気 を付け ている	エコドラ イブを 心がけ ている	外出時 には水 筒(マイ ボトル) を持ち 歩いて いる	夏場は 水分補 給にこ まめに 気を付 ける	暑さ指 数や、 熱中症 の注意 報など を参考 に	つる性 の植物 で「緑 のカー テン」を 育てて いる	打ち水 を行っ ている
1人	89	100.0%	23	44	42	61	50	37	34	62	42	6	5
			25.8%	49.4%	47.2%	68.5%	56.2%	41.6%	38.2%	69.7%	47.2%	6.7%	5.6%
2人	203	100.0%	47	91	97	130	119	88	70	136	112	20	16
			23.2%	44.8%	47.8%	64.0%	58.6%	43.3%	34.5%	67.0%	55.2%	9.9%	7.9%
3人	239	100.0%	52	100	100	145	143	107	76	170	114	31	18
			21.8%	41.8%	41.8%	60.7%	59.8%	44.8%	31.8%	71.1%	47.7%	13.0%	7.5%
4人	195	100.0%	43	67	57	116	109	90	77	141	90	14	6
			22.1%	34.4%	29.2%	59.5%	55.9%	46.2%	39.5%	72.3%	46.2%	7.2%	3.1%
5人	109	100.0%	18	48	30	72	63	49	38	82	41	10	6
			16.5%	44.0%	27.5%	66.1%	57.8%	45.0%	34.9%	75.2%	37.6%	9.2%	5.5%
6人以上	133	100.0%	18	40	35	76	68	46	36	92	62	14	6
			13.5%	30.1%	26.3%	57.1%	51.1%	34.6%	27.1%	69.2%	46.6%	10.5%	4.5%

(上段回答数、下段割合)

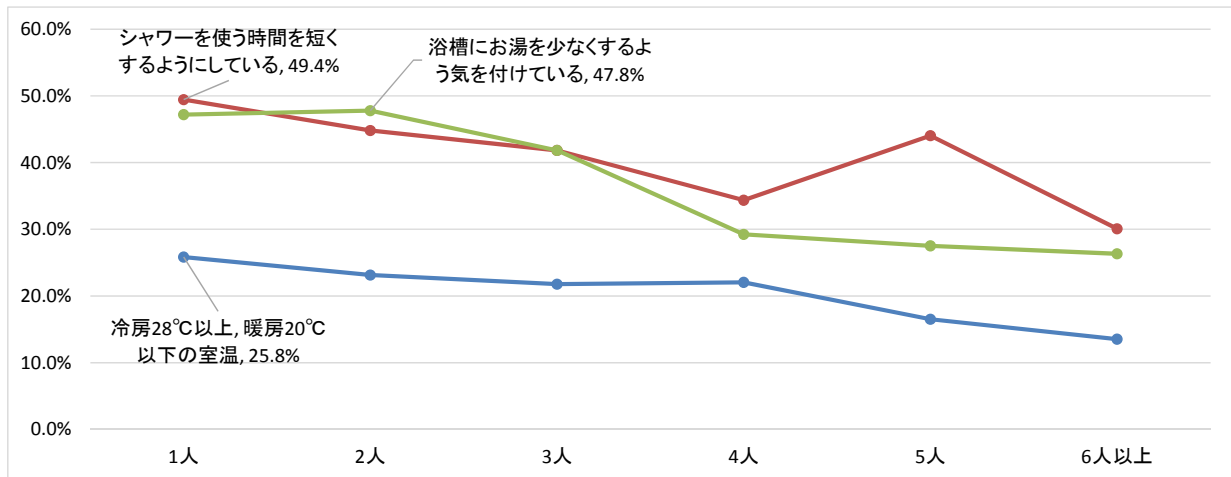


図 58 「同居人数」と行動を「いつもしている」と回答した人

(2) 「年代」と省エネ設備や仕組みをすでに導入した人

給湯器については、50代が最も多く、自宅の建設時の省エネ、窓ガラスやサッシの断熱については、40代が最も多くなっている。太陽光発電設備については若い世代ほど多く、20代が最も多かった。設備関係については、高年齢層になるほど、住宅が古いこともあり対応が難しいことが推測される。

表 58 「年代」と省エネ設備や仕組みをすでに導入した人

		合計	省エネ型の設備や仕組みをすでに導入した人						
			居間の照明はLED	エアコン・冷蔵庫は省エネ型	給湯器は省エネ型	自宅に太陽光発電を設置した	自宅の建設時に省エネを考慮した	窓ガラスやサッシは断熱タイプ	CO2排出が少ない電気小売事業者
年代	20代以下	94 100.0%	55 58.5%	54 57.4%	29 30.9%	21 22.3%	16 17.0%	23 24.5%	3 3.2%
	30代	125 100.0%	71 56.8%	94 75.2%	58 46.4%	23 18.4%	29 23.2%	47 37.6%	2 1.6%
	40代	146 100.0%	94 64.4%	101 69.2%	78 53.4%	32 21.9%	43 29.5%	66 45.2%	15 10.3%
	50代	185 100.0%	105 56.8%	130 70.3%	108 58.4%	36 19.5%	35 18.9%	55 29.7%	10 5.4%
	60代	201 100.0%	123 61.2%	137 68.2%	92 45.8%	34 16.9%	32 15.9%	52 25.9%	7 3.5%
	70代以上	222 100.0%	130 58.6%	137 61.7%	111 50.0%	22 9.9%	26 11.7%	35 15.8%	11 5.0%

(上段回答数、下段割合)

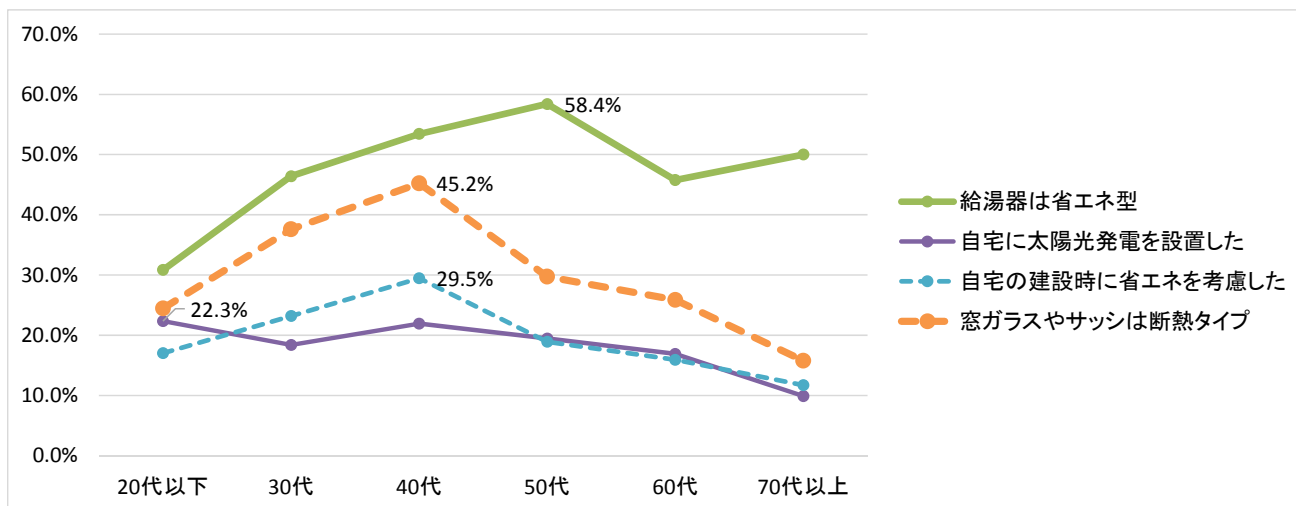


図 59 「年代」と省エネ設備や仕組みをすでに導入した人

(3) 「築年数」と省エネ設備や仕組みをすでに導入した人

築年数と省エネ設備の関係では、10年未満の住宅では「窓ガラスやサッシは断熱タイプ」が56.5%、「自宅の建設時に省エネを考慮した」が47.8%と、おおむね20年以内で高くなっている。太陽光や給湯器についても築年数が新しいほど割合が高いが、後から設置できることもあり、50年以上前の住宅でも一定割合の導入がみられる。

表 59 「築年数」と省エネ設備や仕組みをすでに導入した人

		合計	省エネ型の設備や仕組みをすでに導入した人						
			居間の照明はLED	エアコン・冷蔵庫は省エネ型	給湯器は省エネ型	自宅に太陽光発電を設置した	自宅の建設時に省エネを考慮した	窓ガラスやサッシは断熱タイプ	CO2排出が少ない電器小売事業者
築年数	10年未満	115 100.0%	86 74.8%	86 74.8%	73 63.5%	30 26.1%	55 47.8%	65 56.5%	7 6.1%
	10～20年未満	146 100.0%	76 52.1%	96 65.8%	72 49.3%	27 18.5%	47 32.2%	75 51.4%	8 5.5%
	20～30年未満	144 100.0%	91 63.2%	110 76.4%	75 52.1%	28 19.4%	21 14.6%	41 28.5%	5 3.5%
	30～40年未満	131 100.0%	70 53.4%	86 65.6%	64 48.9%	20 15.3%	11 8.4%	26 19.8%	7 5.3%
	40～50年未満	151 100.0%	87 57.6%	104 68.9%	68 45.0%	18 11.9%	14 9.3%	26 17.2%	7 4.6%
	50年以上	215 100.0%	128 59.5%	134 62.3%	105 48.8%	35 16.3%	29 13.5%	35 16.3%	10 4.7%

(上段回答数、下段割合)

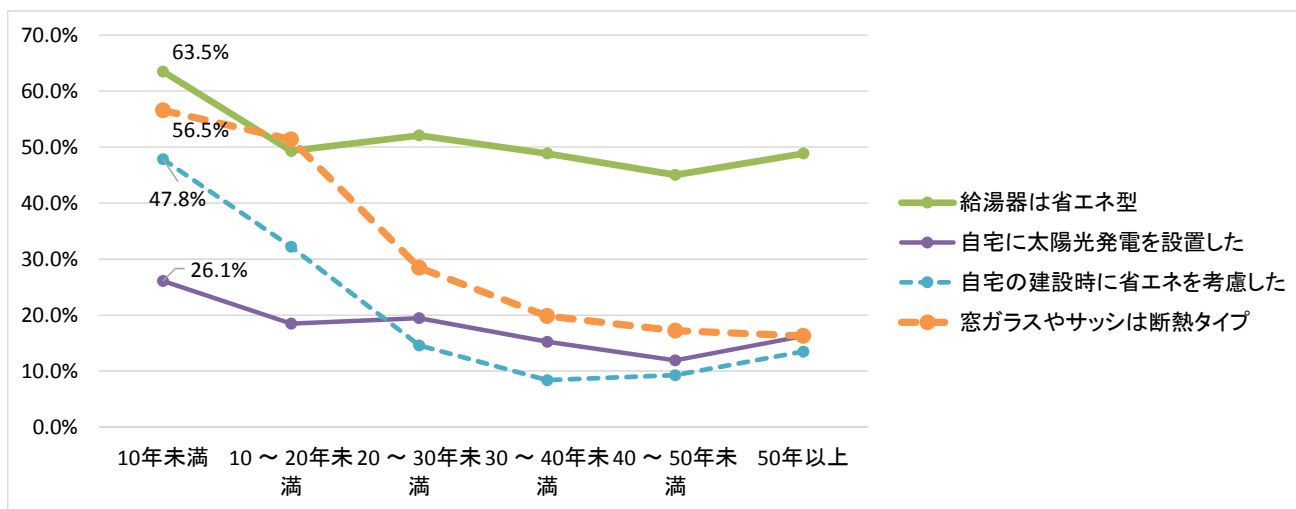


図 60 「築年数」と省エネ設備や仕組みをすでに導入した人

(4) 「あなたのお仕事」と省エネ設備や仕組みをすでに導入した人

「自宅に太陽光発電を設置した」のは、学生 30.0%、公務員 27.8%が高かった。「自宅の建設時に省エネを考慮した」のは、公務員が 33.3%と高かった。「窓ガラスやサッシは断熱タイプ」なのは、「会社員」「自営業」「公務員」などフルタイムで働いている人の割合が比較的高かった。

表 60 「あなたのお仕事」と省エネ設備や仕組みをすでに導入した人

	あなたのお仕事	合計	省エネ型の設備や仕組みをすでに導入した人						
			居間の照明はLED	エアコン・冷蔵庫は省エネ型	給湯器は省エネ型	自宅に太陽光発電を設置した	自宅の建設時に省エネを考慮した	窓ガラスやサッシは断熱タイプ	CO2排出が少ない電器小売事業者
	会社員	341 100.0%	187 54.8%	240 70.4%	171 50.1%	58 17.0%	67 19.6%	117 34.3%	17 5.0%
	自営業	83 100.0%	54 65.1%	54 65.1%	47 56.6%	19 22.9%	16 19.3%	29 34.9%	5 6.0%
	公務員	54 100.0%	34 63.0%	39 72.2%	29 53.7%	15 27.8%	18 33.3%	18 33.3%	1 1.9%
	パート・アルバイト	133 100.0%	75 56.4%	89 66.9%	57 42.9%	22 16.5%	23 17.3%	39 29.3%	7 5.3%
	主婦(主夫)	89 100.0%	61 68.5%	61 68.5%	45 50.6%	13 14.6%	15 16.9%	23 25.8%	3 3.4%
	学生	30 100.0%	18 60.0%	15 50.0%	7 23.3%	9 30.0%	4 13.3%	6 20.0%	1 3.3%
	無職	194 100.0%	117 60.3%	120 61.9%	95 49.0%	22 11.3%	30 15.5%	35 18.0%	11 5.7%

(上段回答数、下段割合)

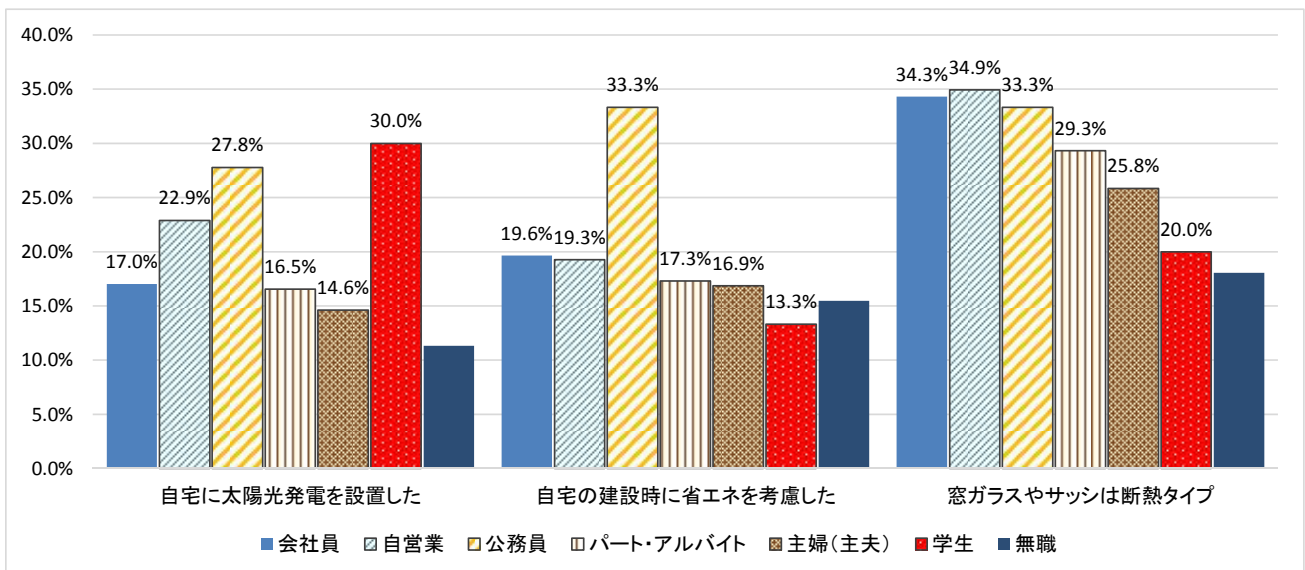


図 61 「あなたのお仕事」と省エネ設備や仕組みをすでに導入した人

4.7. 今後の行動と基本属性

(主な集計結果)

- ・ 20代以下の若い人、学生で、次回省エネ性能を重視すると回答する人の割合が低かった。
- ・ 建物の省エネ化については、若い世代、同居人数が5人程度、公務員が、希望する割合が高かった。
- ・ 建物の省エネ化や再生可能エネルギーの導入をしたくない理由については、基本属性との間では、あまり関連が認められなかった。
- ・ 性別、地域別については、あまり違いは認められなかった。

(1) 「年代」と次回省エネ性能を重視する人

年代が低いほど「省エネ性能を重視する」割合が低かった。ただし、家族と同居しており、自分で判断して選択ができない立場にあることも考えられる

表 61 「年代」と次回省エネ性能を重視する人

年代	合計	次回省エネ性能を重視する人			
		照明器具	家電製品(エアコン、冷蔵庫など)	給湯器	自家用車
20代以下	94 100.0%	61 64.9%	66 70.2%	42 44.7%	42 44.7%
30代	125 100.0%	87 69.6%	104 83.2%	88 70.4%	65 52.0%
40代	146 100.0%	103 70.5%	118 80.8%	99 67.8%	69 47.3%
50代	185 100.0%	146 78.9%	160 86.5%	144 77.8%	112 60.5%
60代	201 100.0%	157 78.1%	161 80.1%	151 75.1%	119 59.2%
70代以上	222 100.0%	163 73.4%	176 79.3%	150 67.6%	118 53.2%

(上段回答数、下段割合)

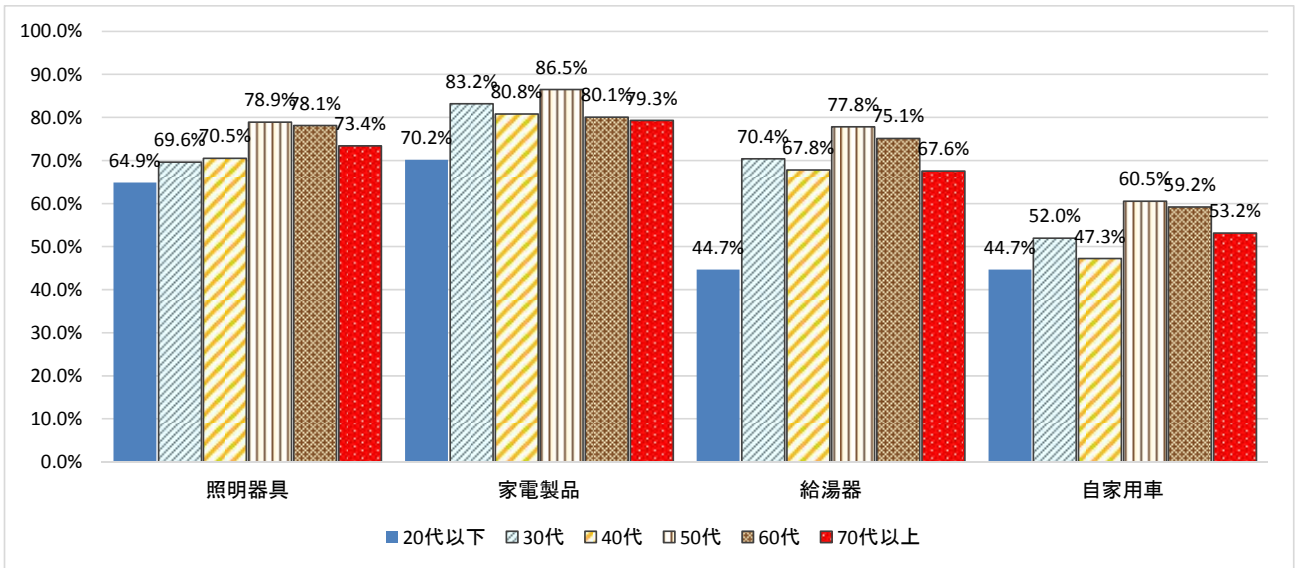


図 62 「年代」と次回省エネ性能を重視する人

(2) 「同居人数」と次回省エネ性能を重視する人

1人世帯の場合には「省エネ性能を重視する」割合が低かった。給湯器について特に低くなっているのは、1人世帯の約3分の2が集合住宅であることも影響していると考えられる。

表 62 「同居人数」と次回省エネ性能を重視する人

		合計	次回省エネ性能を重視する人			
			照明器具	家電製品(エアコン、冷蔵庫など)	給湯器	自家用車
同居人数	1人	89 100.0%	59 66.3%	65 73.0%	47 52.8%	47 52.8%
	2人	203 100.0%	154 75.9%	170 83.7%	147 72.4%	108 53.2%
	3人	239 100.0%	180 75.3%	196 82.0%	168 70.3%	134 56.1%
	4人	195 100.0%	142 72.8%	160 82.1%	139 71.3%	107 54.9%
	5人	109 100.0%	89 81.7%	89 81.7%	78 71.6%	57 52.3%
	6人以上	133 100.0%	89 66.9%	101 75.9%	91 68.4%	70 52.6%

(上段回答数、下段割合)

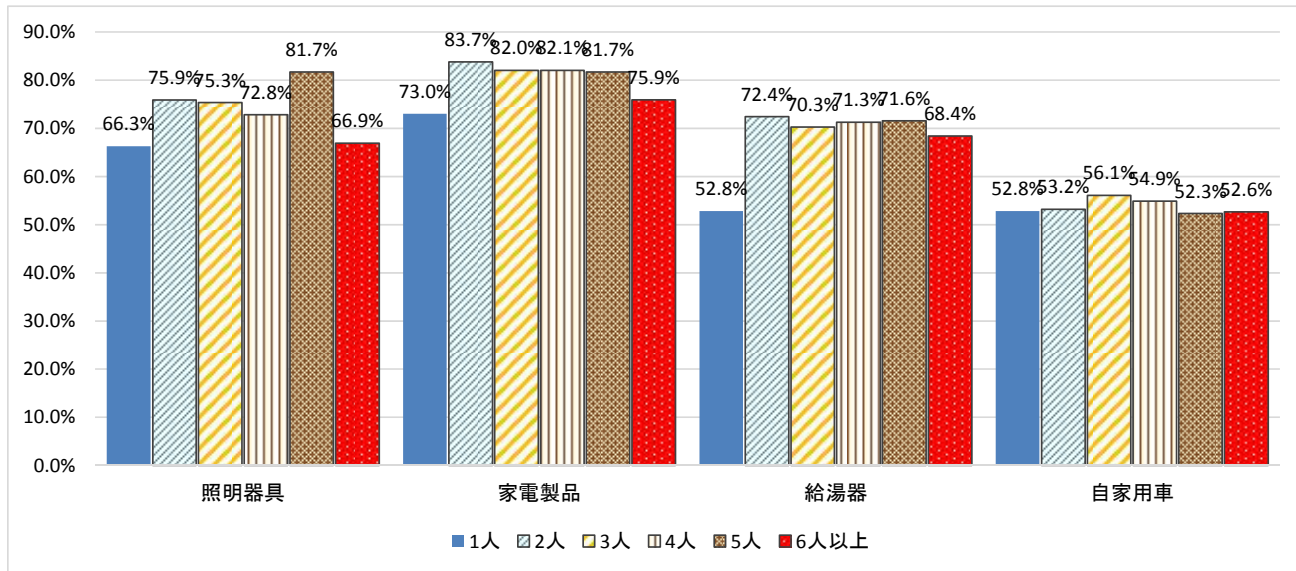


図 63 「同居人数」と次回省エネ性能を重視する人

(3) 「お住まい」と次回省エネ性能を重視する人

考え方に大きな違いはみられないが、賃貸の集合住宅では、設備導入が居住者の立場でできないこともあり、「給湯器」については重視するという回答が少なくなっている。

表 63 「お住まい」と次回省エネ性能を重視する人

		合計	次回省エネ性能を重視する人			
			照明器具	家電製品(エアコン、冷蔵庫など)	給湯器	自家用車
お住まい	持ち家の戸建て住宅	859 100.0%	639 74.4%	690 80.3%	613 71.4%	467 54.4%
	賃貸の戸建て住宅	27 100.0%	19 70.4%	23 85.2%	19 70.4%	13 48.1%
	賃貸の集合住宅	83 100.0%	55 66.3%	68 81.9%	38 45.8%	44 53.0%

(上段回答数、下段割合)

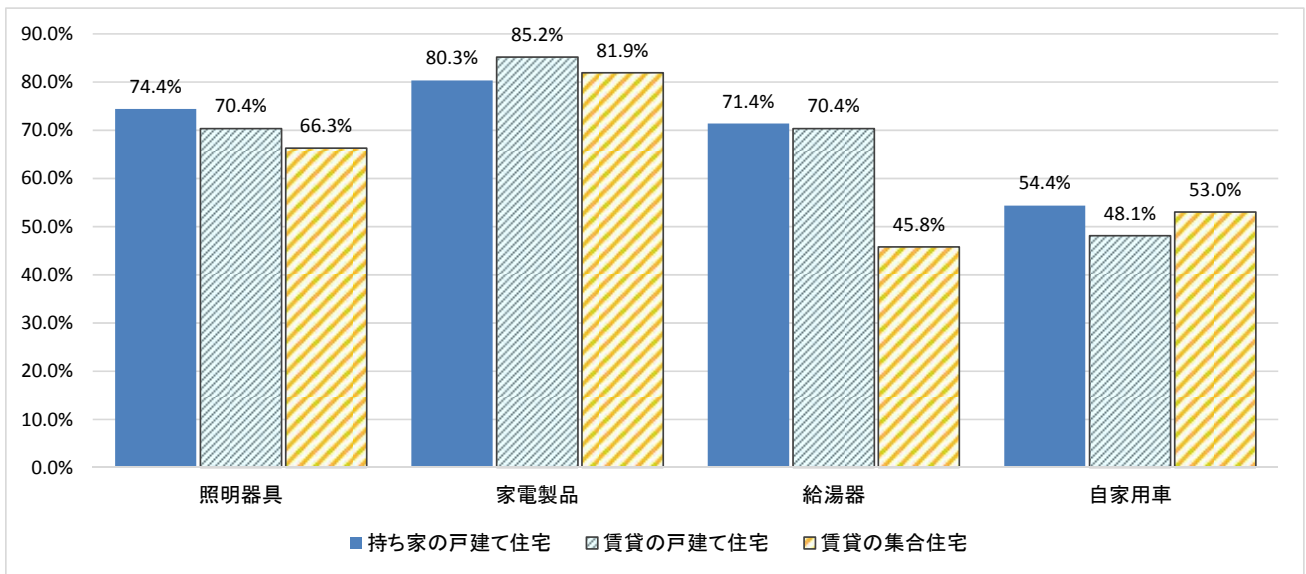


図 64 「お住まい」と次回省エネ性能を重視する人

(4) 「あなたのお仕事」と次回省エネ性能を重視する人

職業別にみると、全ての項目で主婦（主夫）が次回省エネ性能を重視すると回答する割合が最も高くなっており、学生が低くなっている。

表 64 「あなたのお仕事」と次回省エネ性能を重視する人

		合計	次回省エネ性能を重視する人			
			照明器具	家電製品(エアコン、冷蔵庫など)	給湯器	自家用車
あなたのお仕事	会社員	341 100.0%	240 70.4%	273 80.1%	230 67.4%	179 52.5%
	自営業	83 100.0%	65 78.3%	67 80.7%	58 69.9%	45 54.2%
	公務員	54 100.0%	39 72.2%	42 77.8%	37 68.5%	32 59.3%
	パート・アルバイト	133 100.0%	105 78.9%	113 85.0%	97 72.9%	82 61.7%
	主婦(主夫)	89 100.0%	71 79.8%	78 87.6%	69 77.5%	52 58.4%
	学生	30 100.0%	21 70.0%	21 70.0%	14 46.7%	12 40.0%
	無職	194 100.0%	138 71.1%	149 76.8%	132 68.0%	100 51.5%

(上段回答数、下段割合)

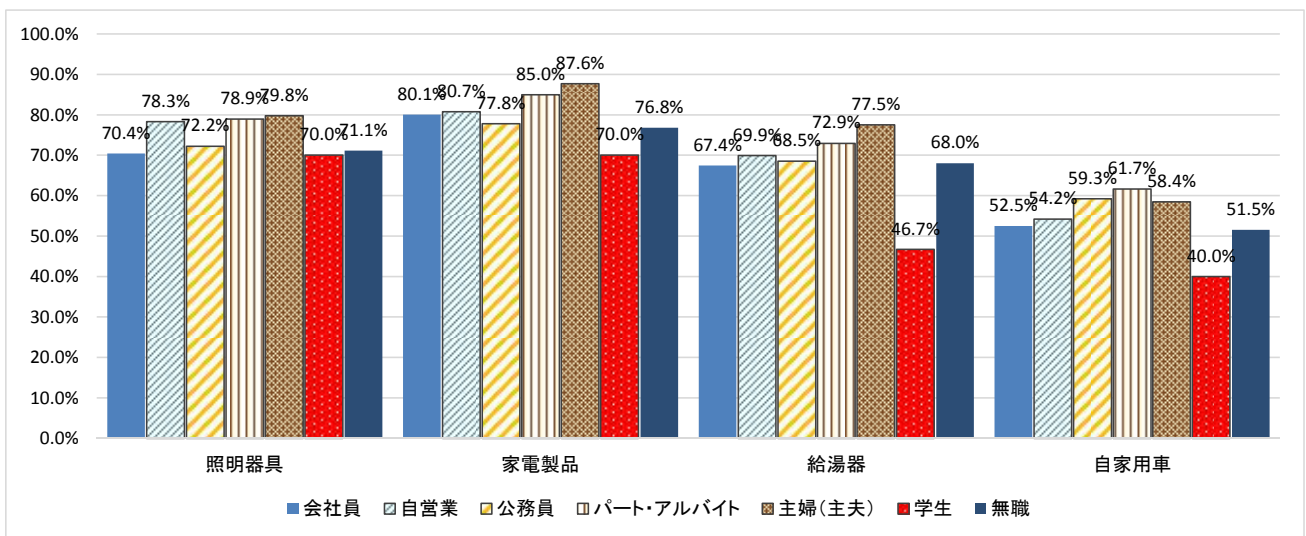


図 65 「あなたのお仕事」と次回省エネ性能を重視する人

(5) 「年代」と今後の自家用車の購入・買い替えについて

既存のガソリン車を選ぶ割合が比較的高いのは30代と70代以上になっている。20代以下は電気自動車への関心がやや高い。70代以上については「自家用車は持たず主に公共交通機関を使いたい」とする回答が増えている。

表 65 「年代」と今後の自家用車の購入・買い替えについて

		合計	今後の自家用車の購入・買い替えについて									
			ガソリン車を選びたい	ハイブリッド自動車を選びたい	ディーゼル（軽油）車を選びたい	電気自動車を選びたい	燃料電池自動車（FCV）を選びたい	自家用車は持たず主にカーシェアリングを使いたい	自家用車は持たず主に公共交通機関を使いたい	特に考えていない	無回答	
年代	20代以下	94 100.0%	11 11.7%	36 38.3%	1 1.1%	7 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.1%	37 39.4%	0 0.0%	
	30代	125 100.0%	24 19.2%	52 41.6%	4 3.2%	5 4.0%	2 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	38 30.4%	0 0.0%	
	40代	146 100.0%	24 16.4%	51 34.9%	5 3.4%	10 6.8%	0 0.0%	2 1.4%	2 1.4%	49 33.6%	3 2.1%	
	50代	185 100.0%	27 14.6%	91 49.2%	1 0.5%	7 3.8%	2 1.1%	0 0.0%	3 1.6%	48 25.9%	6 3.2%	
	60代	201 100.0%	28 13.9%	73 36.3%	3 1.5%	15 7.5%	2 1.0%	2 1.0%	11 5.5%	52 25.9%	15 7.5%	
	70代以上	222 100.0%	45 20.3%	28 12.6%	2 0.9%	15 6.8%	2 0.9%	2 0.9%	21 9.5%	71 32.0%	36 16.2%	

(上段回答数、下段割合)

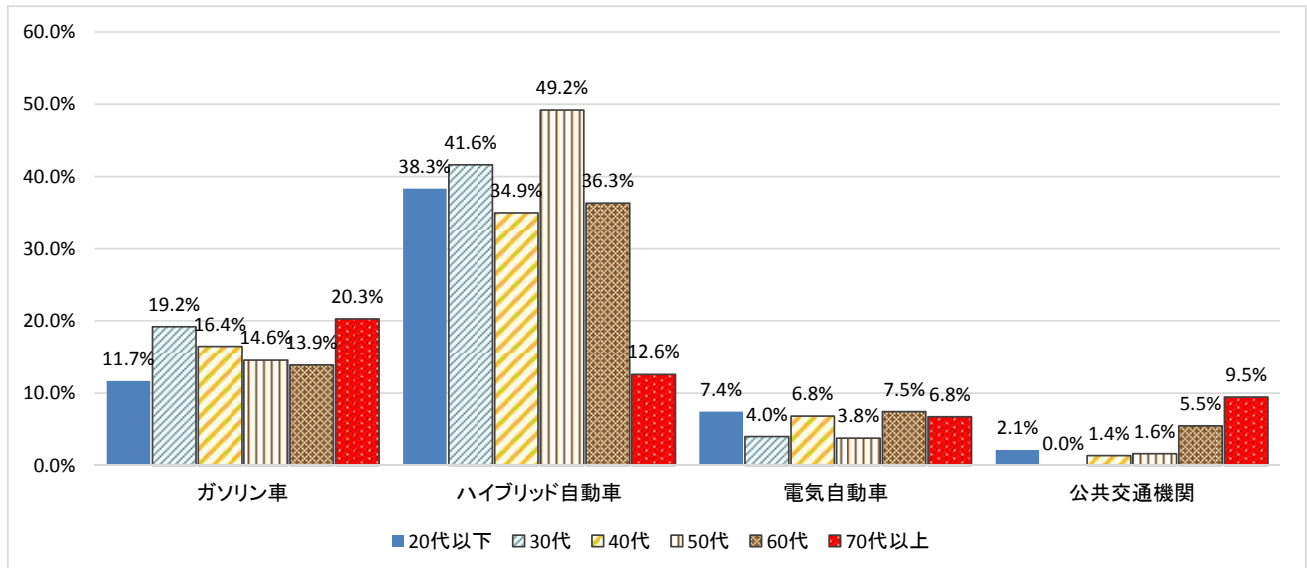


図 66 「年代」と今後の自家用車の購入・買い替えについて

(6) 「同居人数」と今後の自家用車の購入・買い替えについて

同居人数で見ると4人以上の世帯で、ハイブリッド自動車を希望する率が高くなっており、既存のガソリン車を選ぶ割合は2人世帯が高くなっている。

表 66 「同居人数」と今後の自家用車の購入・買い替えについて

		合計	今後の自家用車の購入・買い替えについて								
			ガソリン車を選びたい	ハイブリッド自動車を選びたい	ディーゼル(軽油)車を選びたい	電気自動車を選びたい	燃料電池自動車(FCV)を選びたい	自家用車は持たず主にカーシェアリングを使い	自家用車は持たず主に公共交通機関を使い	特に考えていない	無回答
同居人数	1人	89 100.0%	11 12.4%	30 33.7%	0 0.0%	3 3.4%	1 1.1%	0 0.0%	10 11.2%	26 29.2%	8 9.0%
	2人	203 100.0%	43 21.2%	55 27.1%	6 3.0%	13 6.4%	3 1.5%	1 0.5%	15 7.4%	55 27.1%	12 5.9%
	3人	239 100.0%	41 17.2%	71 29.7%	2 0.8%	15 6.3%	4 1.7%	3 1.3%	6 2.5%	80 33.5%	17 7.1%
	4人	195 100.0%	25 12.8%	78 40.0%	1 0.5%	10 5.1%	0 0.0%	1 0.5%	2 1.0%	66 33.8%	12 6.2%
	5人	109 100.0%	15 13.8%	47 43.1%	1 0.9%	11 10.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 3.7%	29 26.6%	2 1.8%
	6人以上	133 100.0%	23 17.3%	49 36.8%	6 4.5%	7 5.3%	0 0.0%	1 0.8%	3 2.3%	37 27.8%	7 5.3%

(上段回答数、下段割合)

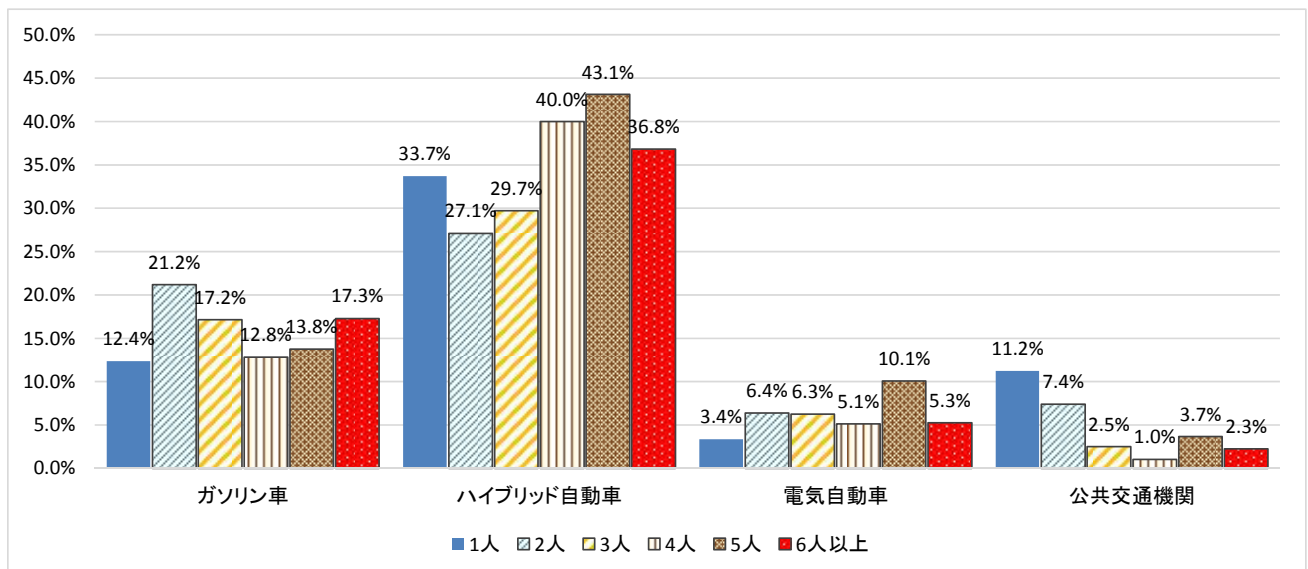


図 67 「同居人数」と今後の自家用車の購入・買い替えについて

(7) 「あなたのお仕事」と今後の自家用車の購入・買い替えについて

職業別にみると、ハイブリッド自動車については、公務員と会社員が高く 4 割を超えている。電気自動車については学生が最も高く 13.3%となっている。

表 67 「あなたのお仕事」と今後の自家用車の購入・買い替えについて

あなたのお仕事	合計	今後の自家用車の購入・買い替えについて									
		ガソリン車を選びたい	ハイブリッド自動車・プラグインハイブリッド自動車を選びたい	ディーゼル（軽油）車を選びたい	電気自動車を選びたい	燃料電池自動車（FCV）を選びたい	自家用車は持たず主にカーシェアリングを使い	自家用車は持たず主に公共交通機関を使い	特に考えていない	無回答	
会社員	341 100.0%	56 16.4%	153 44.9%	8 2.3%	21 6.2%	3 0.9%	2 0.6%	6 1.8%	84 24.6%	8 2.3%	
自営業	83 100.0%	12 14.5%	27 32.5%	4 4.8%	7 8.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.6%	26 31.3%	4 4.8%	
公務員	54 100.0%	8 14.8%	27 50.0%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 31.5%	1 1.9%	
パート・アルバイト	133 100.0%	25 18.8%	41 30.8%	2 1.5%	4 3.0%	1 0.8%	2 1.5%	1 0.8%	52 39.1%	5 3.8%	
主婦(主夫)	89 100.0%	22 24.7%	22 24.7%	0 0.0%	7 7.9%	1 1.1%	1 1.1%	5 5.6%	25 28.1%	6 6.7%	
学生	30 100.0%	2 6.7%	9 30.0%	0 0.0%	4 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.7%	13 43.3%	0 0.0%	
無職	194 100.0%	27 13.9%	34 17.5%	2 1.0%	13 6.7%	2 1.0%	1 0.5%	22 11.3%	62 32.0%	31 16.0%	

(上段回答数、下段割合)

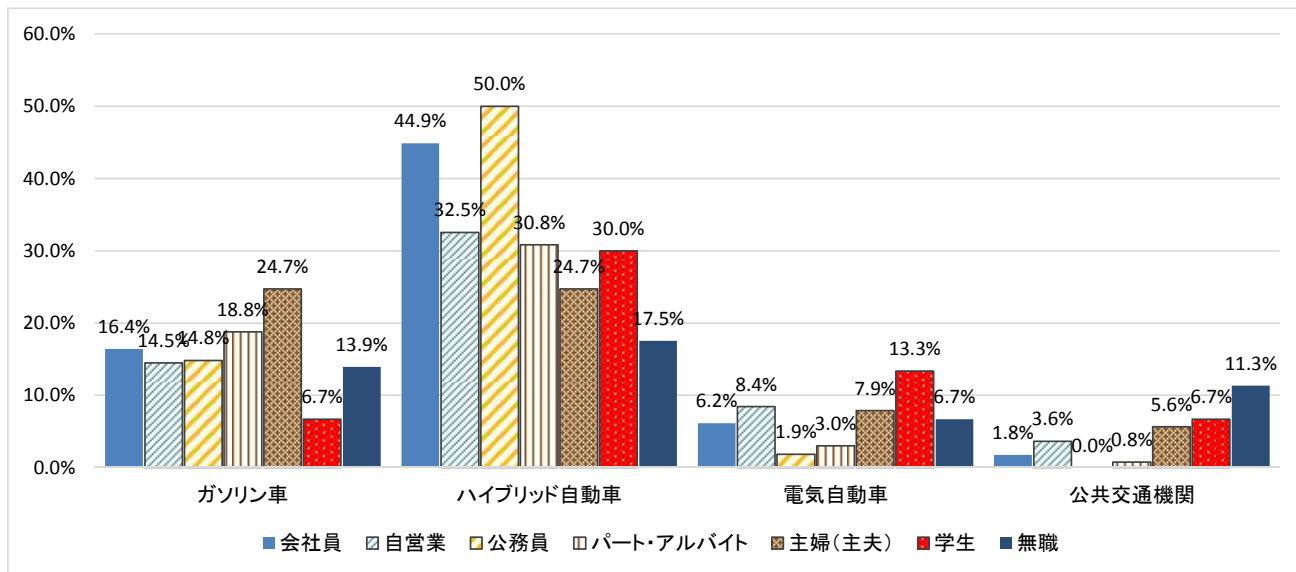


図 68 「あなたのお仕事」と今後の自家用車の購入・買い替えについて

(8) 「年代」と今後住宅を建て替えるときの省エネ等設備について

表 68 「年代」と今後住宅を建て替えるとき省エネ等の設備について「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」人の割合

		合計	「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」人					
年代			窓の断熱	壁や屋根・床の断熱	太陽光発電の設置	太陽熱温水器の設置	薪ストーブやペレットストーブの設置	CO2排出が少ない電気小売事業者の設置
年代	20代以下	94 100.0%	40 42.6%	39 41.5%	23 24.5%	21 22.3%	12 12.8%	19 20.2%
	30代	125 100.0%	68 54.4%	70 56.0%	40 32.0%	40 32.0%	25 20.0%	32 25.6%
	40代	146 100.0%	73 50.0%	73 50.0%	44 30.1%	41 28.1%	27 18.5%	36 24.7%
	50代	185 100.0%	81 43.8%	77 41.6%	53 28.6%	50 27.0%	25 13.5%	40 21.6%
	60代	201 100.0%	68 33.8%	70 34.8%	37 18.4%	39 19.4%	21 10.4%	26 12.9%
	70代以上	222 100.0%	60 27.0%	56 25.2%	30 13.5%	31 14.0%	20 9.0%	23 10.4%

(上段回答数、下段割合)



図 69 「年代」と今後住宅を建て替えるとき省エネ等の設備について「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」人の割合

(9) 「同居人数」と今後住宅を建て替えするときの省エネ等設備について

比較的大人数の世帯で「実施したい」「検討したい」という回答が多く、5人世帯がすべての項目で最も高かった。

表 69 「同居人数」と今後住宅を建て替えするとき省エネ等の設備について「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」人の割合

同居人数	合計	「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」人の割合					
		窓の断熱	壁や屋根・床の断熱	太陽光発電の設置	太陽熱温水器の設置	薪ストーブやペレットストーブの設置	CO2排出が少ない電気小売事業者の設置
1人	89	27	26	18	20	13	12
	100.0%	30.3%	29.2%	20.2%	22.5%	14.6%	13.5%
2人	203	77	75	37	34	24	35
	100.0%	37.9%	36.9%	18.2%	16.7%	11.8%	17.2%
3人	239	96	90	48	48	22	39
	100.0%	40.2%	37.7%	20.1%	20.1%	9.2%	16.3%
4人	195	88	88	50	44	31	40
	100.0%	45.1%	45.1%	25.6%	22.6%	15.9%	20.5%
5人	109	51	51	38	36	25	29
	100.0%	46.8%	46.8%	34.9%	33.0%	22.9%	26.6%
6人以上	133	50	53	34	38	15	21
	100.0%	37.6%	39.8%	25.6%	28.6%	11.3%	15.8%

(上段回答数、下段割合)

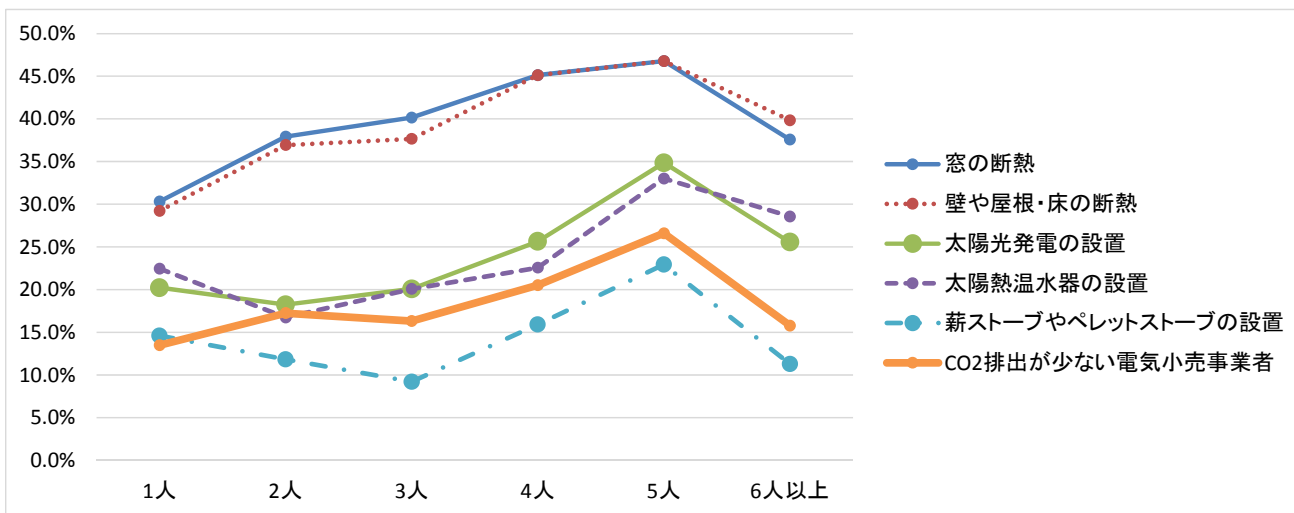


図 70 「同居人数」と今後住宅を建て替えするとき省エネ等の設備について「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」人の割合

(10) 「築年数」と今後住宅を建て替えするときの省エネ等設備について

薪・ペレットストーブを除き、築年数が短いほうが「実施したい」「検討したい」という回答が多かった。本来であれば、「窓の断熱」や「壁や屋根・床の断熱」は、断熱性能が低く補修が必要となる築年数の長い住宅のほうが求められるが、希望する人は少なくなっている。

表 70 「築年数」と今後住宅を建て替えするとき省エネ等の設備について「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」人の割合

		合計	「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」人					
			窓の断熱	壁や屋根・床の断熱	太陽光発電の設置	太陽熱温水器の設置	薪ストーブやペレットストーブの設置	CO2排出が少ない電気小売事業者の設置
築年数	10年未満	115 100.0%	57 49.6%	57 49.6%	39 33.9%	33 28.7%	16 13.9%	29 25.2%
	10～20年未満	146 100.0%	69 47.3%	67 45.9%	37 25.3%	32 21.9%	26 17.8%	26 17.8%
	20～30年未満	144 100.0%	66 45.8%	62 43.1%	30 20.8%	31 21.5%	15 10.4%	28 19.4%
	30～40年未満	131 100.0%	44 33.6%	44 33.6%	24 18.3%	27 20.6%	20 15.3%	23 17.6%
	40～50年未満	151 100.0%	55 36.4%	56 37.1%	34 22.5%	33 21.9%	16 10.6%	25 16.6%
	50年以上	215 100.0%	78 36.3%	75 34.9%	48 22.3%	52 24.2%	25 11.6%	35 16.3%

(上段回答数、下段割合)

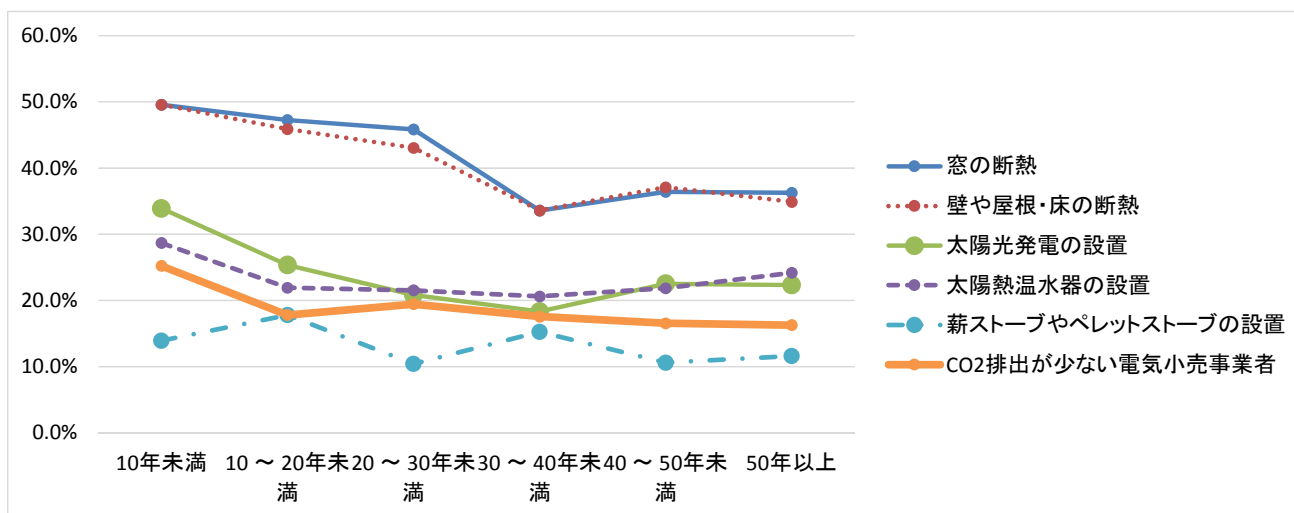


図 71 「築年数」と今後住宅を建て替えするとき省エネ等の設備について「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」人の割合

(11) 「あなたのお仕事」と今後住宅を建て替えするときの省エネ等設備について

職業別にみると、一般的に公務員が「実施したい」「検討したい」という回答が多く、主婦（主夫）や無職は少なくなっている。

表 71 「あなたのお仕事」と、今後住宅を建て替えするとき省エネ等の設備について「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」人の割合

あなたのお仕事	合計	「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」人					
		窓の断熱	壁や屋根・床の断熱	太陽光発電の設置	太陽熱温水器の設置	薪ストーブやペレットストーブの設置	CO2排出が少ない電気小売事業者の設置
会社員	341 100.0%	156 45.7%	153 44.9%	87 25.5%	78 22.9%	43 12.6%	69 20.2%
自営業	83 100.0%	33 39.8%	34 41.0%	21 25.3%	23 27.7%	17 20.5%	15 18.1%
公務員	54 100.0%	37 68.5%	38 70.4%	25 46.3%	23 42.6%	15 27.8%	19 35.2%
パート・アルバイト	133 100.0%	55 41.4%	55 41.4%	37 27.8%	34 25.6%	22 16.5%	24 18.0%
主婦(主夫)	89 100.0%	30 33.7%	27 30.3%	13 14.6%	16 18.0%	6 6.7%	11 12.4%
学生	30 100.0%	13 43.3%	13 43.3%	8 26.7%	8 26.7%	7 23.3%	8 26.7%
無職	194 100.0%	48 24.7%	45 23.2%	26 13.4%	29 14.9%	14 7.2%	18 9.3%

(上段回答数、下段割合)

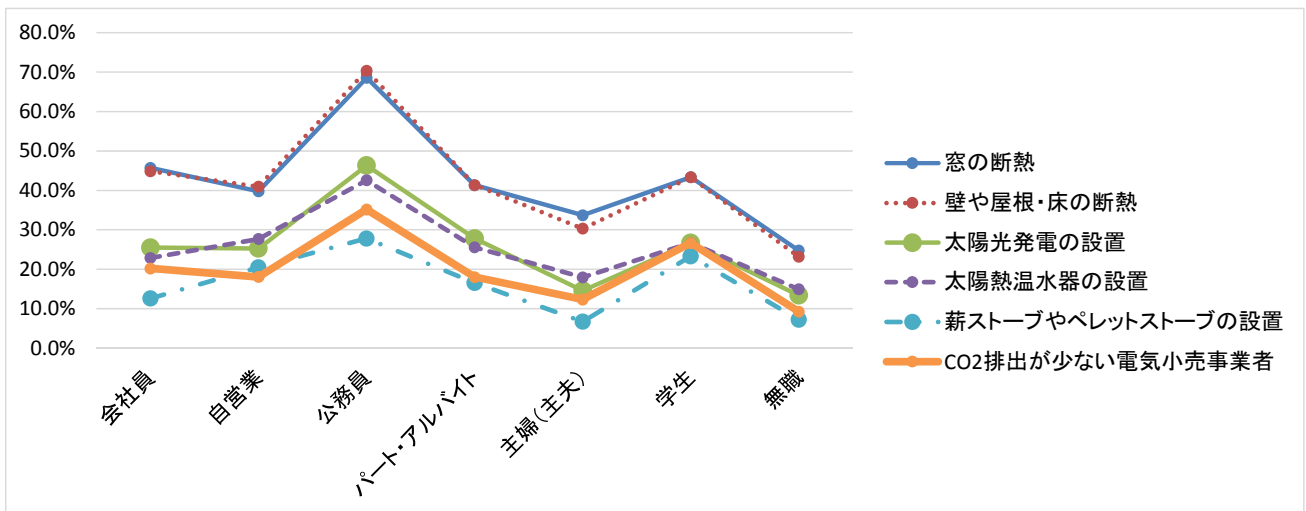


図 72 「あなたのお仕事」と、今後住宅を建て替えをするとき省エネ等の設備について「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」人の割合

4.8. 安来市内に再生可能エネルギー設備を作るべきと思うかと基本属性

(主な集計結果)

- ・若い世代ほど、積極的に再生可能エネルギー設備を推進する傾向がみられた。
- ・性別では、男性のほうが女性よりも積極的な導入を求める率が高かった。
- ・伯太地区では、風力発電や水力発電に対する導入の声が、やや低めだった。
- ・公務員や学生が、再生可能エネルギー設備を推進する人の割合が高かった。

(1) 「性別」と今後の安来市内に作るべきもの

再生可能エネルギー設備に関しては、いずれの設備についても、男性の方が女性よりも作るべきという回答が多かった。

表 72 「性別」と今後の安来市内に作るべきもの

		合計	安来市内に作るべきだと思いますか					
			太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	太陽光発電(どのお家にも太陽光発電が設置されている街並み)	風力発電(高さ100m以上の巨大風車)	風力発電(高さ10m程度の風車群)	水力発電(山間部のダム)	水力発電(水路や川に設置した水車)
性別	男性	460 100.0%	175 38.0%	126 27.4%	84 18.3%	116 25.2%	141 30.7%	159 34.6%
	女性	507 100.0%	132 26.0%	85 16.8%	70 13.8%	92 18.1%	109 21.5%	101 19.9%

(上段回答数、下段割合)

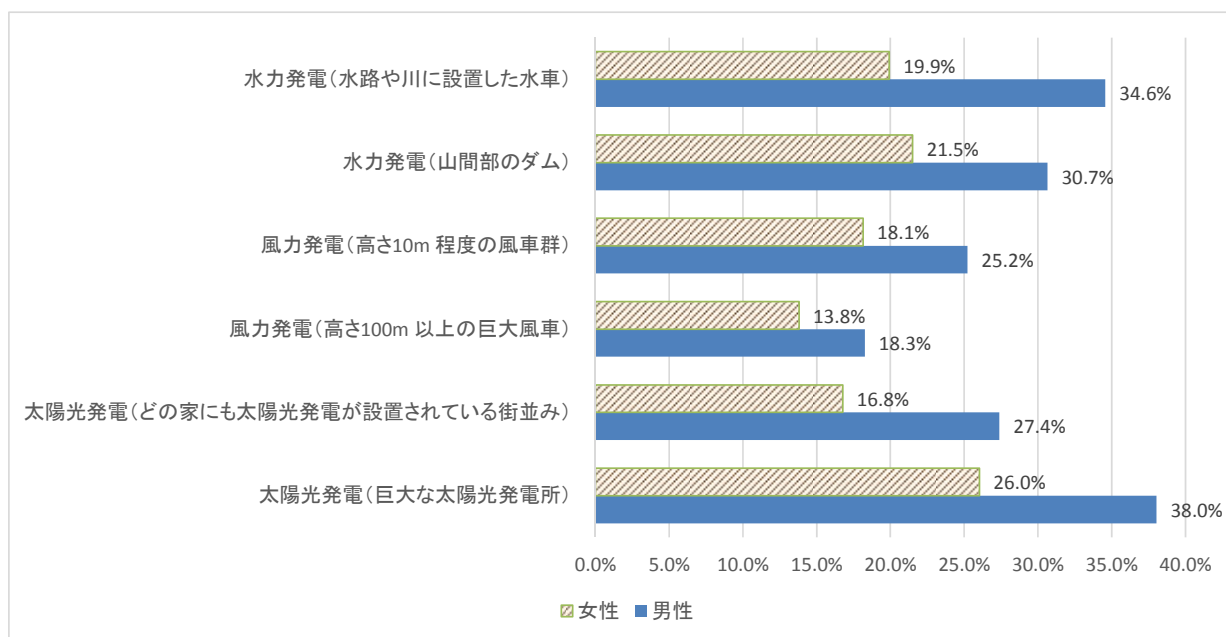


図 73 「性別」と今後の安来市内に作るべきもの

(2) 「年代」と今後の安来市内に作るべきもの

再生可能エネルギー施設の建設については、どの発電施設であっても、若い世代ほど、作るべきとする回答が多い傾向がみられた。

表 73 「年代」と今後の安来市内に作るべきもの

年代		合計	安来市内に作るべきだと思いますか					
			太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	風力発電(高さ100m以上の巨大風車)	風力発電(高さ10m程度の風車群)	水力発電(山間部のダム)	水力発電(水路や川に設置した水車)
20代以下		94	40	24	29	35	32	42
		100.0%	42.6%	25.5%	30.9%	37.2%	34.0%	44.7%
30代		125	40	32	32	38	43	47
		100.0%	32.0%	25.6%	25.6%	30.4%	34.4%	37.6%
40代		146	41	29	19	30	39	40
		100.0%	28.1%	19.9%	13.0%	20.5%	26.7%	27.4%
50代		185	62	47	34	40	60	57
		100.0%	33.5%	25.4%	18.4%	21.6%	32.4%	30.8%
60代		201	65	40	19	32	43	38
		100.0%	32.3%	19.9%	9.5%	15.9%	21.4%	18.9%
70代以上		222	62	41	21	34	33	37
		100.0%	27.9%	18.5%	9.5%	15.3%	14.9%	16.7%

(上段回答数、下段割合)

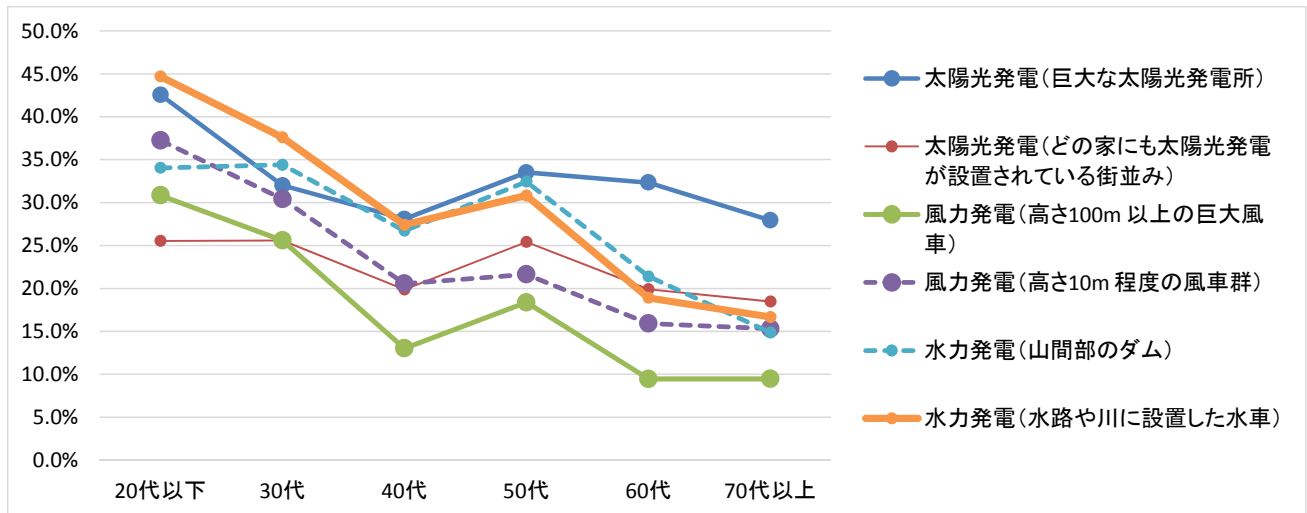


図 74 「年代」と今後の安来市内に作るべきもの

(3) 「同居人数」と今後の安来市内に作るべきもの

同居人数との関係では、「どの家にも太陽光発電が設置されている街並み」について差がみられ、5人以上の世帯でこれを支持する意見が多かった。

表 74 「同居人数」と今後の安来市内に作るべきもの

		合計	安来市内に作るべきだと思いますか					
			太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	風力発電(高さ100m以上の巨大風車)	風力発電(高さ10m程度の風車群)	水力発電(山間部のダム)	水力発電(水路や川に設置した水車)
同居人数	1人	89 100.0%	32 36.0%	18 20.2%	17 19.1%	19 21.3%	19 21.3%	24 27.0%
	2人	203 100.0%	58 28.6%	40 19.7%	22 10.8%	38 18.7%	52 25.6%	51 25.1%
	3人	239 100.0%	71 29.7%	36 15.1%	30 12.6%	50 20.9%	49 20.5%	58 24.3%
	4人	195 100.0%	70 35.9%	40 20.5%	38 19.5%	48 24.6%	60 30.8%	56 28.7%
	5人	109 100.0%	33 30.3%	38 34.9%	22 20.2%	28 25.7%	31 28.4%	32 29.4%
	6人以上	133 100.0%	44 33.1%	40 30.1%	23 17.3%	25 18.8%	37 27.8%	40 30.1%

(上段回答数、下段割合)

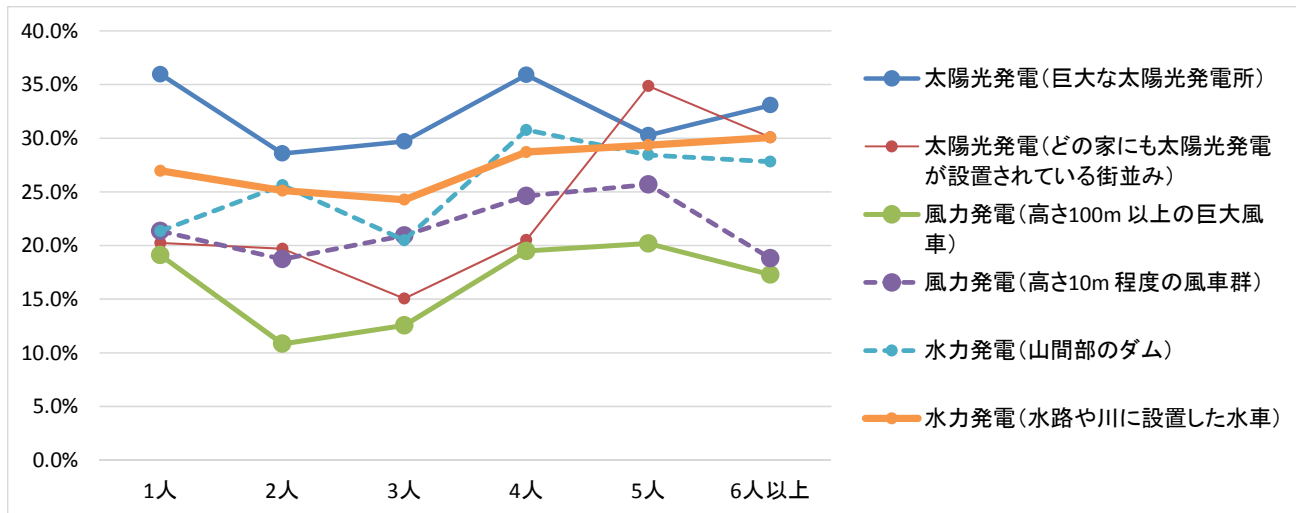


図 75 「同居人数」と今後の安来市内に作るべきもの

(4) 「地域」と今後の安来市内に作るべきもの

地域別にみると、太陽光については地域差がみられなかったものの、風力や水力発電については、伯太地区で作るべきとする回答が少なかった。

表 75 「地域」と今後の安来市内に作るべきもの

お住まいの地域	安来地域	合計	安来市内に作るべきだと思いますか					
			太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	風力発電(高さ100m以上の巨大風車)	風力発電(高さ10m程度の風車群)	水力発電(山間部のダム)	水力発電(水路や川に設置した水車)
	安来地域	679	213	146	117	151	179	184
		100.0%	31.4%	21.5%	17.2%	22.2%	26.4%	27.1%
	広瀬地域	177	62	42	30	42	53	55
		100.0%	35.0%	23.7%	16.9%	23.7%	29.9%	31.1%
	伯太地域	109	35	25	7	15	18	23
		100.0%	32.1%	22.9%	6.4%	13.8%	16.5%	21.1%

(上段回答数、下段割合)

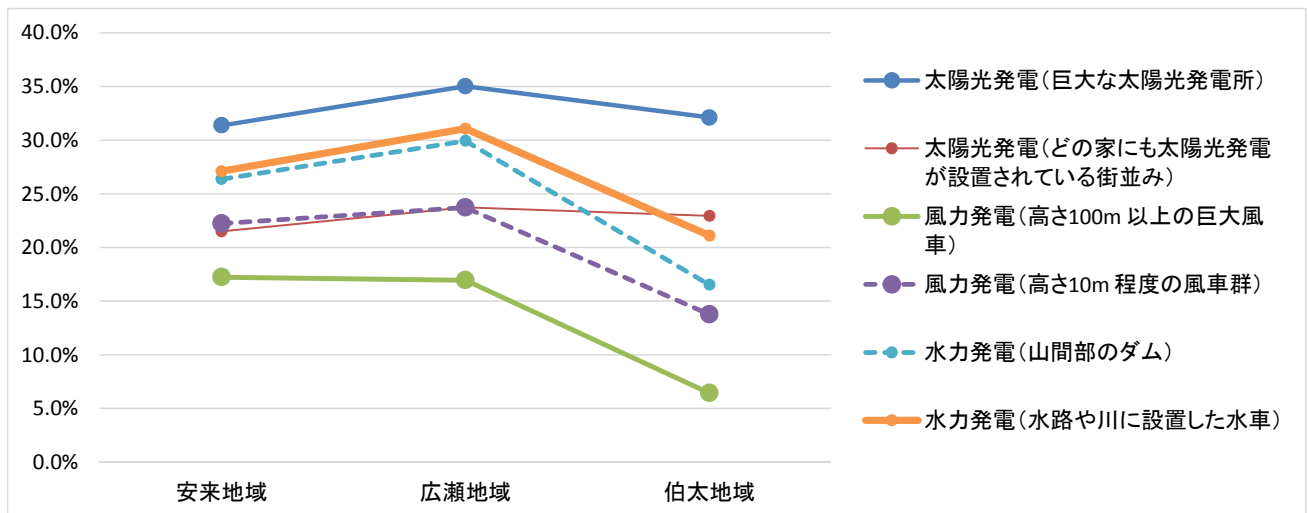


図 76 「地域」と今後の安来市内に作るべきもの

(5) 「あなたのお仕事」と今後の安来市内に作るべきもの

比較的公務員や学生が作るべきとする回答が高めとなっており、その中で公務員は小型水力を作るべきとする回答が多く、学生は大規模な太陽光発電所を作るべきという回答が多かった。全般的に主婦（主夫）は、どの項目についても作るべきとする回答は少なかった。

表 76 「あなたのお仕事」と今後の安来市内に作るべきもの

	あなたのお仕事	合計	安来市内に作るべきだと思いますか					
			太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	風力発電(高さ100m以上の巨大風車)	風力発電(高さ10m程度の風車群)	水力発電(山間部のダム)	水力発電(水路や川に設置した水車)
	会社員	341	112	84	65	82	105	113
		100.0%	32.8%	24.6%	19.1%	24.0%	30.8%	33.1%
	自営業	83	28	22	13	18	26	24
		100.0%	33.7%	26.5%	15.7%	21.7%	31.3%	28.9%
	公務員	54	17	21	14	21	22	26
		100.0%	31.5%	38.9%	25.9%	38.9%	40.7%	48.1%
	パート・アルバイト	133	48	25	22	24	31	30
		100.0%	36.1%	18.8%	16.5%	18.0%	23.3%	22.6%
	主婦(主夫)	89	16	10	9	11	15	11
		100.0%	18.0%	11.2%	10.1%	12.4%	16.9%	12.4%
	学生	30	14	9	6	8	10	12
		100.0%	46.7%	30.0%	20.0%	26.7%	33.3%	40.0%
	無職	194	58	31	20	32	29	31
		100.0%	29.9%	16.0%	10.3%	16.5%	14.9%	16.0%

(上段回答数、下段割合)

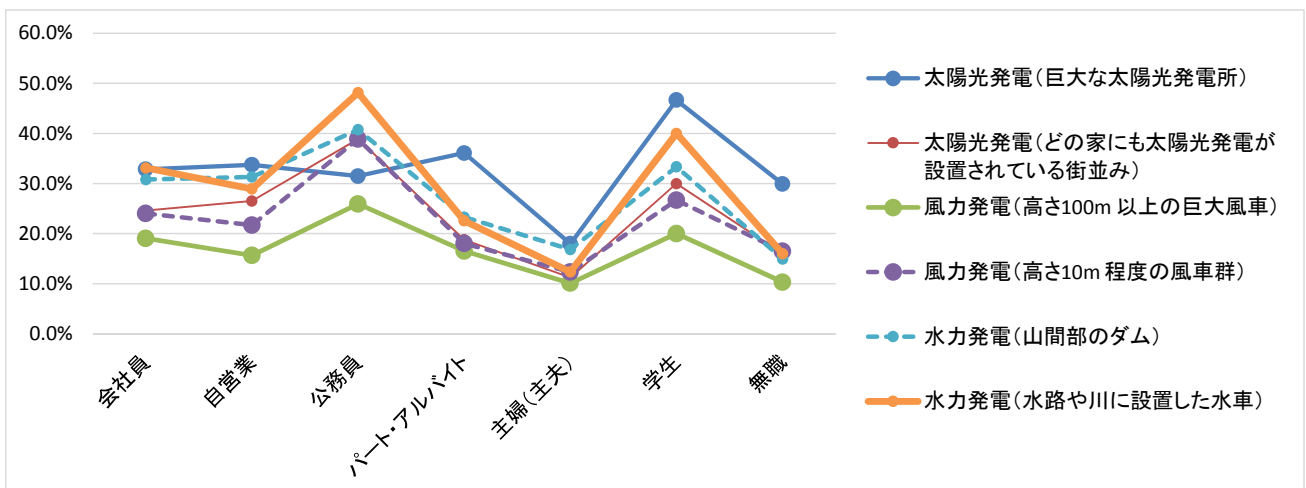


図 77 「あなたのお仕事」と今後の安来市内に作るべきもの

4.9. 再生可能エネルギーの導入をしてほしくない理由と基本属性

(主な集計結果)

- ・若い世代ほど、また学生、パート・アルバイト、会社員が、「お金がかかり地域に回るお金が減る」ことを危惧する意見が多かった。
- ・性別、年代別、地域別では、あまり違いがみられなかった。

(1) 「年代」と再生可能エネルギーの導入をしてほしくない理由

費用がかかって地域に回るお金が少なくなることについては、若い世代ほど理由として挙げている割合が高い。農地や山林が減ってしまうことについて、40代以下で高くなっている。

表 77 「年代」と再生可能エネルギーの導入をしてほしくない理由

年代	合計	してほしくないと思う理由					
		費用がかかって、地域に回るお金が少なくなる	風景や自然が壊されてしまう、目障りになる	農地や山林が減ってしまう	風車の騒音や振動が心配	災害による事故を引き起こしやすくなる	事業者の顔が見えずに、問題があった時など
20代以下	94 100.0%	49 52.1%	22 23.4%	24 25.5%	14 14.9%	23 24.5%	17 18.1%
30代	125 100.0%	59 47.2%	33 26.4%	30 24.0%	19 15.2%	23 18.4%	23 18.4%
40代	146 100.0%	74 50.7%	38 26.0%	44 30.1%	29 19.9%	44 30.1%	32 21.9%
50代	185 100.0%	77 41.6%	37 20.0%	22 11.9%	42 22.7%	31 16.8%	32 17.3%
60代	201 100.0%	70 34.8%	39 19.4%	21 10.4%	43 21.4%	42 20.9%	54 26.9%
70代以上	222 100.0%	67 30.2%	45 20.3%	30 13.5%	46 20.7%	43 19.4%	40 18.0%

(上段回答数、下段割合)

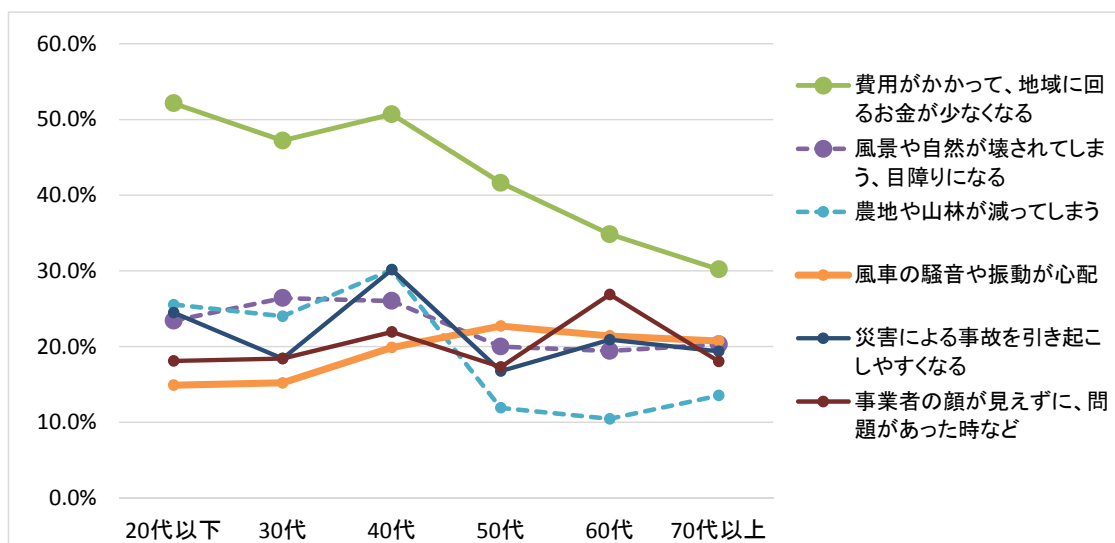


図 78 年代と再生可能エネルギーの導入をしてほしくない理由

(2) 「あなたのお仕事」と再生可能エネルギーの導入をしてほしくない理由

「費用がかかって地域に回るお金が少なくなる」に関しては、自営業の人が回答率が低く、会社員、学生、パート・アルバイトが高い傾向にあった。

表 78 「あなたのお仕事」と再生可能エネルギーの導入をしてほしくない理由

		合計	してほしくないと思う理由					
			費用がかかって、地域に回るお金が少なくなる	風景や自然が壊されてしまう、目障りになる	農地や山林が減ってしまう	風車の騒音や振動が心配	災害による事故を引き起こしやすくなる	事業者の顔が見えずに、問題があった時など
あなたのお仕事	会社員	341 100.0%	164 48.1%	95 27.9%	75 22.0%	65 19.1%	71 20.8%	77 22.6%
	自営業	83 100.0%	21 25.3%	13 15.7%	8 9.6%	16 19.3%	20 24.1%	23 27.7%
	公務員	54 100.0%	19 35.2%	13 24.1%	10 18.5%	10 18.5%	7 13.0%	6 11.1%
	パート・アルバイト	133 100.0%	62 46.6%	20 15.0%	26 19.5%	27 20.3%	32 24.1%	23 17.3%
	主婦(主夫)	89 100.0%	33 37.1%	14 15.7%	18 20.2%	21 23.6%	26 29.2%	22 24.7%
	学生	30 100.0%	15 50.0%	9 30.0%	5 16.7%	5 16.7%	5 16.7%	6 20.0%
	無職	194 100.0%	63 32.5%	37 19.1%	25 12.9%	38 19.6%	41 21.1%	38 19.6%

(上段回答数、下段割合)

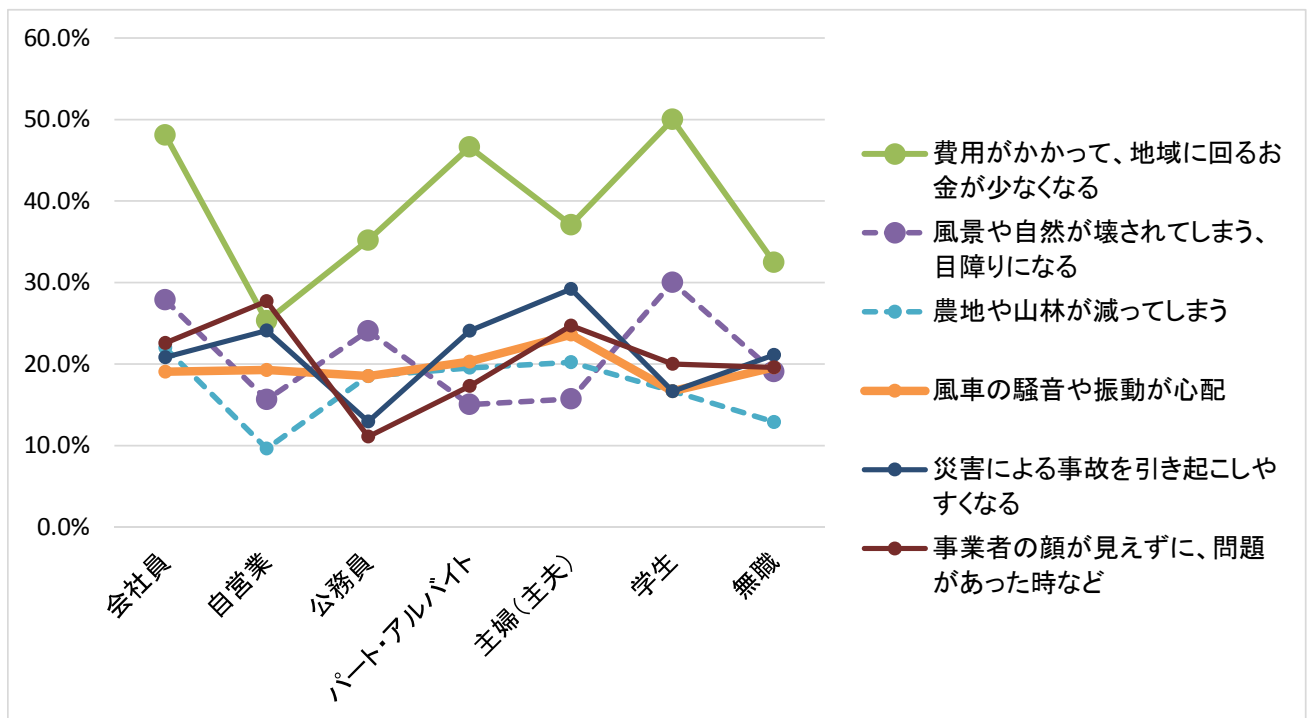


図 79 「あなたのお仕事」と再生可能エネルギーの導入をしてほしくない理由

4.10. 安来市が優先的に対策すべきことと基本属性

(主な集計結果)

- ・公務員は「洪水・土砂災害の増加」を優先して取り組むべきとする率が高く、「農作物などへの影響」は低かった。
- ・性別、地域別では、あまり違いがみられなかった。

(1) 年代と安来市が優先的に対策すべきもの

20代以下については、「洪水・土砂災害の増加」が比較的少なく、「生態系への影響、熱中症の増加」を回答する割合が比較的高かった。

表 79 年代と安来市が優先的に対策すべきもの

年代	20代以下	合計	安来市が優先的に対策すべきもの							
			洪水・土砂災害の増加	農作物や水産物など食料生産への影響	水環境・水資源(湧水、水質保全)	生態系への影響、熱中症の増加	感染症(Dengue 等)の増加	観光・レジャーへの影響	特にない	その他
		94	36	21	7	15	4	3	5	0
		100.0%	38.3%	22.3%	7.4%	16.0%	4.3%	3.2%	5.3%	0.0%
	30代	125	71	25	6	9	2	3	5	1
	30代	100.0%	56.8%	20.0%	4.8%	7.2%	1.6%	2.4%	4.0%	0.8%
	40代	146	87	27	10	9	1	4	5	1
	40代	100.0%	59.6%	18.5%	6.8%	6.2%	0.7%	2.7%	3.4%	0.7%
	50代	185	108	38	6	15	4	1	6	1
	50代	100.0%	58.4%	20.5%	3.2%	8.1%	2.2%	0.5%	3.2%	0.5%
	60代	201	109	45	17	10	5	2	4	1
	60代	100.0%	54.2%	22.4%	8.5%	5.0%	2.5%	1.0%	2.0%	0.5%
	70代以上	222	97	58	14	13	4	1	9	2
	70代以上	100.0%	43.7%	26.1%	6.3%	5.9%	1.8%	0.5%	4.1%	0.9%

(上段回答数、下段割合)

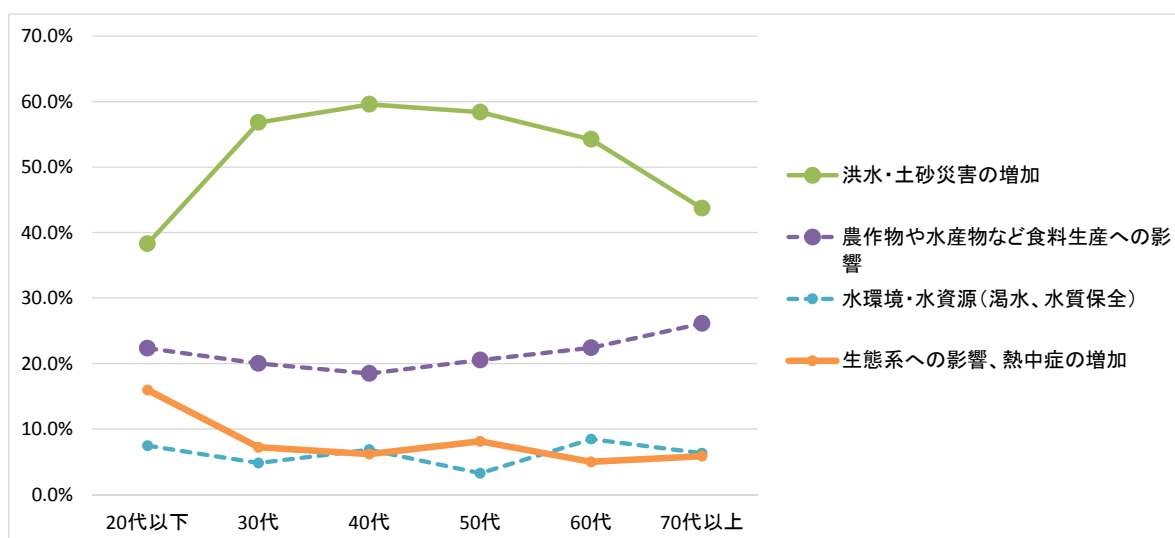


図 80 年代と安来市が優先的に対策すべきもの

(2) 「あなたのお仕事」と安来市が優先的に対策すべきもの

洪水・土砂災害の増加については、公務員が挙げる率が高く、学生は低めだった。また公務員は「農作物や水産物などの食料生産への影響」を挙げる率が低かった。

表 80 「あなたのお仕事」と安来市が優先的に対策すべきもの

	あなたのお仕事	合計	安来市が優先的に対策すべきもの							
			洪水・土砂災害の増加	農作物や水産物などの食料生産への影響	水環境・水資源(湧水、水質保全)	生態系への影響、熱中症の増加	感染症(Dengue 熱)の増加	観光・レジャーへの影響	特にな	その他
	会社員	341	193	64	14	31	11	9	6	4
		100.0%	56.6%	18.8%	4.1%	9.1%	3.2%	2.6%	1.8%	1.2%
	自営業	83	40	25	4	6	0	0	4	0
		100.0%	48.2%	30.1%	4.8%	7.2%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%
	公務員	54	40	2	3	6	0	0	2	0
		100.0%	74.1%	3.7%	5.6%	11.1%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%
	パート・アルバイト	133	62	39	9	8	1	3	8	0
		100.0%	46.6%	29.3%	6.8%	6.0%	0.8%	2.3%	6.0%	0.0%
	主婦(主夫)	89	49	20	8	2	1	1	1	1
		100.0%	55.1%	22.5%	9.0%	2.2%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%
	学生	30	9	10	3	4	3	0	1	0
		100.0%	30.0%	33.3%	10.0%	13.3%	10.0%	0.0%	3.3%	0.0%
	無職	194	92	44	14	9	3	1	11	0
		100.0%	47.4%	22.7%	7.2%	4.6%	1.5%	0.5%	5.7%	0.0%

(上段回答数、下段割合)

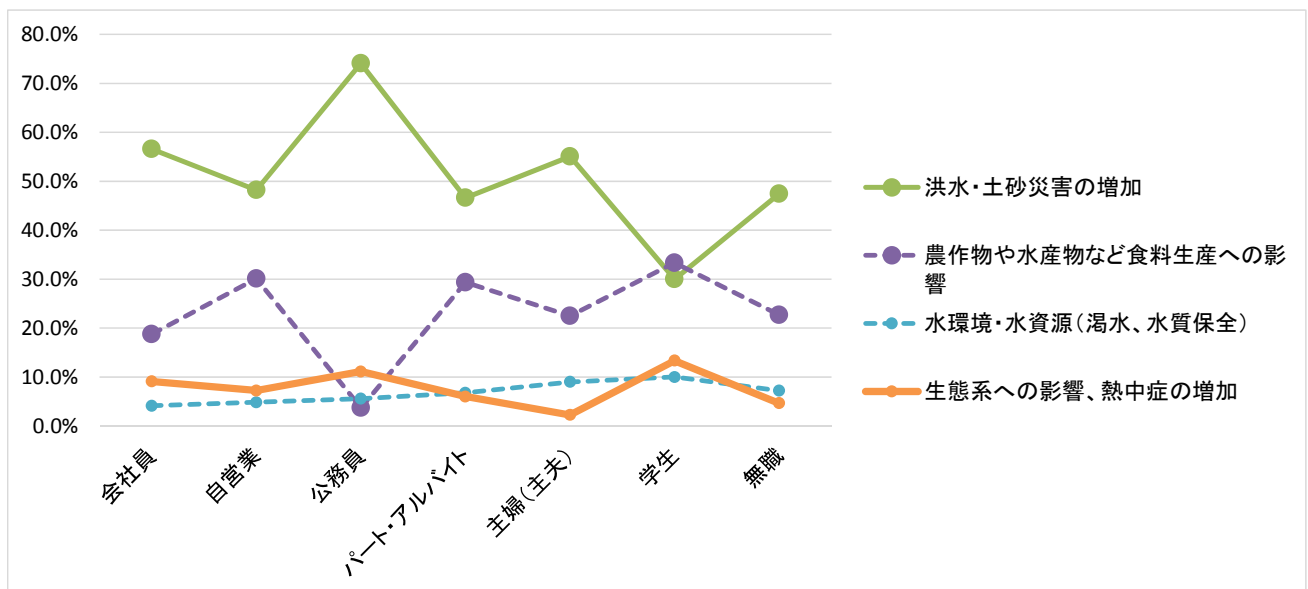


図 81 「あなたのお仕事」と安来市が優先的に対策すべきもの

4.11. 情報源と基本属性

(主な集計結果)

- ・若い世代ほどインターネットがよく使われ、年代が高いほど新聞の割合が高まっている。

(1) 「年代」と情報源

テレビはどの年代でも安定しているが、インターネットと新聞が対照的で、40代以下がインターネットが多いのに対し、新聞は40代以下はあまり読まれていない。

表 81 「年代」と情報源

		合計	地球温暖化や省エネの方法に関する情報をどこから得ていますか。									
			テレビ	ラジオ	新聞	書籍や雑誌	自治体の広報誌	ポスターやチラシ	インターネット	ソーシャルネットワークサービス(SNS)	知人からのくちこみ	特にな
年代	20代以下	94	79	10	26	12	9	13	54	32	6	2
		100.0%	84.0%	10.6%	27.7%	12.8%	9.6%	13.8%	57.4%	34.0%	6.4%	2.1%
	30代	125	101	13	26	15	20	19	73	37	8	4
		100.0%	80.8%	10.4%	20.8%	12.0%	16.0%	15.2%	58.4%	29.6%	6.4%	3.2%
	40代	146	114	17	50	26	14	12	77	23	6	5
		100.0%	78.1%	11.6%	34.2%	17.8%	9.6%	8.2%	52.7%	15.8%	4.1%	3.4%
	50代	185	159	21	90	29	32	20	85	13	8	3
	100.0%	85.9%	11.4%	48.6%	15.7%	17.3%	10.8%	45.9%	7.0%	4.3%	1.6%	
60代	201	175	34	125	36	48	25	57	6	10	1	
	100.0%	87.1%	16.9%	62.2%	17.9%	23.9%	12.4%	28.4%	3.0%	5.0%	0.5%	
70代以上	222	194	36	143	26	51	28	18	3	18	3	
	100.0%	87.4%	16.2%	64.4%	11.7%	23.0%	12.6%	8.1%	1.4%	8.1%	1.4%	

(上段回答数、下段割合)

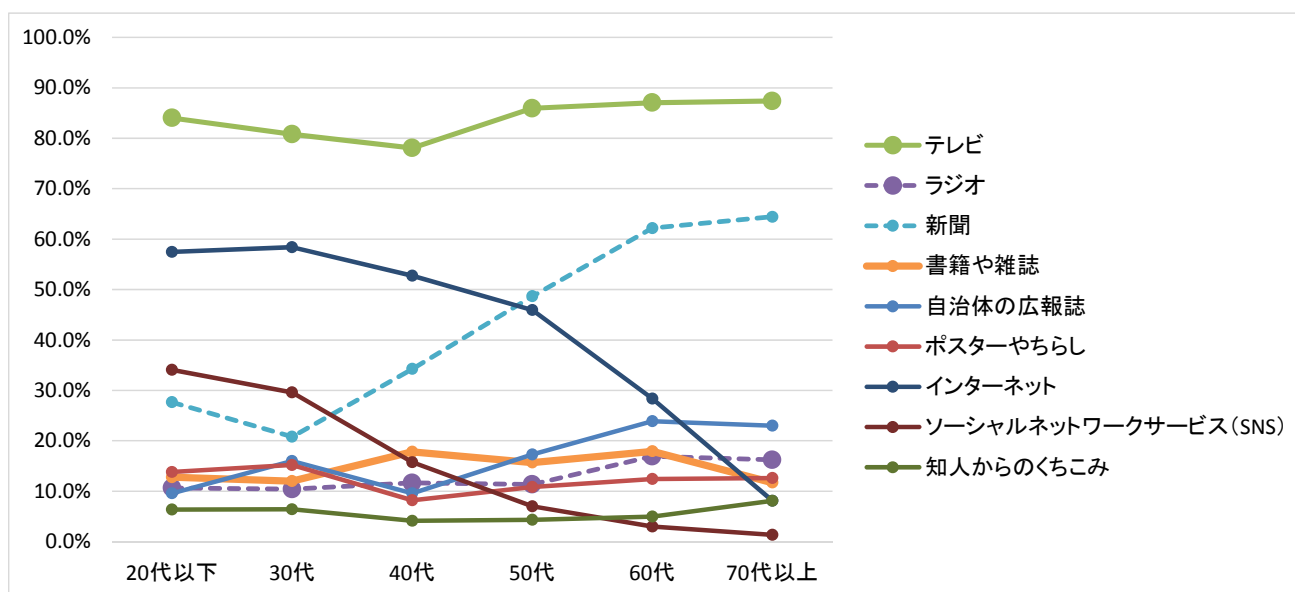


図 82 「年代」と情報源

(2) 「あなたのお仕事」と情報源

公務員、学生がインターネットから情報を得る割合が高い。学生は SNS から得る例も多いが、新聞から得ることは極端に少ない。

表 82 「あなたのお仕事」と情報源

	合計	地球温暖化や省エネの方法に関する情報をどこから得ていますか。										
		テレビ	ラジオ	新聞	書籍や雑誌	自治体の広報誌	ポスターやちらし	インターネット	ソーシャルネットワークサービス(SNS)	知人からのくちこみ	特にな	い
あなたのお仕事	会社員	341 100.0%	284 83.3%	53 15.5%	120 35.2%	47 13.8%	42 12.3%	40 11.7%	166 48.7%	56 16.4%	23 6.7%	9 2.6%
	自営業	83 100.0%	71 85.5%	12 14.5%	52 62.7%	17 20.5%	20 24.1%	9 10.8%	22 26.5%	4 4.8%	7 8.4%	1 1.2%
	公務員	54 100.0%	42 77.8%	5 9.3%	23 42.6%	15 27.8%	20 37.0%	8 14.8%	37 68.5%	7 13.0%	3 5.6%	1 1.9%
	パート・アルバイト	133 100.0%	117 88.0%	13 9.8%	64 48.1%	21 15.8%	21 15.8%	18 13.5%	48 36.1%	16 12.0%	4 3.0%	0 0.0%
	主婦(主夫)	89 100.0%	80 89.9%	14 15.7%	61 68.5%	9 10.1%	22 24.7%	10 11.2%	19 21.3%	7 7.9%	6 6.7%	1 1.1%
	学生	30 100.0%	24 80.0%	2 6.7%	7 23.3%	5 16.7%	1 3.3%	3 10.0%	20 66.7%	10 33.3%	0 0.0%	2 6.7%
	無職	194 100.0%	164 84.5%	27 13.9%	111 57.2%	22 11.3%	39 20.1%	23 11.9%	31 16.0%	7 3.6%	12 6.2%	4 2.1%

(上段回答数、下段割合)

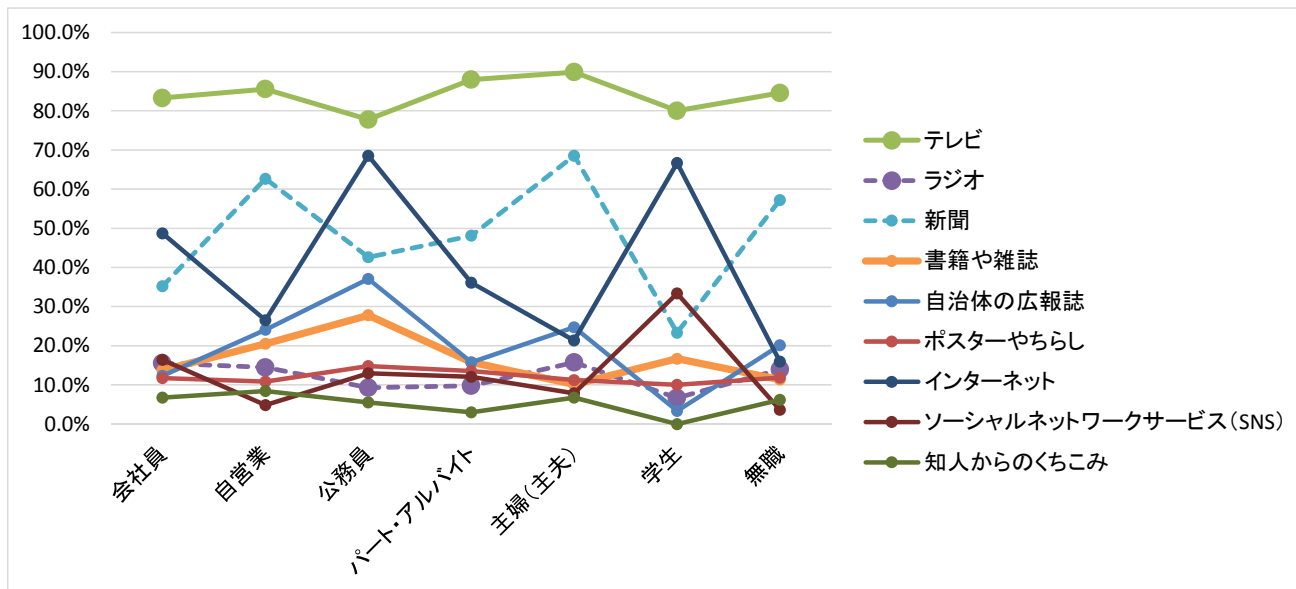


図 83 「あなたのお仕事」と情報源

5. 考え方や知識とのクロス集計

5.1. 考え方や知識の中の関連

(主な集計結果)

- ・地球温暖化問題を深刻と考える人は、他の問題も同様に深刻と考える傾向がある。
- ・地球温暖化が深刻だと考えている人ほど、地球温暖化対策による生活の質や地域の豊かさの向上があると回答する割合が高い。
- ・地球温暖化が深刻だと考えている人ほど、対策の言葉を知っているという傾向は明確に見いだされなかった。

(1) 地球温暖化の深刻さの認識と、そのほかの環境問題の深刻さの認識

地球温暖化問題と、他の環境問題について、深刻さの認識度合いには大きな相関がみられ、地球温暖化問題を深刻と考える人は、他の問題も同様に深刻と考えている。

今後の解析では、問題認識を代表する指標として「地球温暖化の深刻さ」を取り上げ、他との関連を示す。

表 83 地球温暖化の深刻さの認識と、プラスチックなど海洋汚染の深刻さ

		合計	プラスチックなど海洋汚染					無回答
			深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻でない	わからない	
地球温暖化とその影響	深刻である	658 100.0%	521 79.2%	121 18.4%	1 0.2%	1 0.2%	7 1.1%	7 1.1%
	やや深刻である	232 100.0%	63 27.2%	140 60.3%	17 7.3%	0 0.0%	11 4.7%	1 0.4%
	深刻でない・わからない	75 100.0%	17 22.7%	21 28.0%	11 14.7%	3 4.0%	21 28.0%	2 2.7%

(上段回答数、下段割合)

表 84 地球温暖化の深刻さの認識と、食品ロスなど廃棄物問題の深刻さ

		合計	食品ロスなど廃棄物問題					無回答
			深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻でない	わからない	
地球温暖化とその影響	深刻である	658 100.0%	414 62.9%	210 31.9%	13 2.0%	2 0.3%	9 1.4%	10 1.5%
	やや深刻である	232 100.0%	53 22.8%	140 60.3%	28 12.1%	0 0.0%	8 3.4%	3 1.3%
	深刻でない・わからない	75 100.0%	19 25.3%	27 36.0%	9 12.0%	3 4.0%	15 20.0%	2 2.7%

(上段回答数、下段割合)

表 85 地球温暖化の深刻さの認識と、石油などの地下資源の枯渇の深刻さ

		合計	石油などの地下資源の枯渇					無回答
			深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻でない	わからない	
地球温暖化とその影響	深刻である	658 100.0%	314 47.7%	237 36.0%	46 7.0%	7 1.1%	43 6.5%	11 1.7%
	やや深刻である	232 100.0%	30 12.9%	129 55.6%	42 18.1%	1 0.4%	26 11.2%	4 1.7%
	深刻でない・わからない	75 100.0%	2 2.7%	9 12.0%	17 22.7%	15 20.0%	31 41.3%	1 1.3%

(上段回答数、下段割合)

表 86 地球温暖化の深刻さの認識と、森林破壊や砂漠化の深刻さ

		合計	森林破壊や砂漠化					無回答
			深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻でない	わからない	
地球温暖化とその影響	深刻である	658 100.0%	402 61.1%	193 29.3%	20 3.0%	3 0.5%	29 4.4%	11 1.7%
	やや深刻である	232 100.0%	31 13.4%	146 62.9%	34 14.7%	1 0.4%	17 7.3%	3 1.3%
	深刻でない・わからない	75 100.0%	8 10.7%	18 24.0%	12 16.0%	8 10.7%	28 37.3%	1 1.3%

(上段回答数、下段割合)

表 87 地球温暖化の深刻さの認識と、安来市内の自然環境や汚染の深刻さ

		合計	安来市内の自然環境や汚染					無回答
			深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻でない	わからない	
地球温暖化とその影響	深刻である	658 100.0%	100 15.2%	246 37.4%	199 30.2%	12 1.8%	88 13.4%	13 2.0%
	やや深刻である	232 100.0%	6 2.6%	83 35.8%	102 44.0%	6 2.6%	32 13.8%	3 1.3%
	深刻でない・わからない	75 100.0%	4 5.3%	6 8.0%	26 34.7%	10 13.3%	28 37.3%	1 1.3%

(上段回答数、下段割合)

(2) 地球温暖化の深刻さの認識と、生活に及ぼす影響への不安

地球温暖化の問題を深刻であると考えている人ほど、生活に及ぼす影響に「不安を感じる」と回答する率が高い。

表 88 地球温暖化の深刻さの認識と、生活に及ぼす影響への不安

		合計	生活に及ぼす影響について、不安を感じていますか。						
			不安を感じる	どちらかといえ ば不安を感じ る	どちらともい えない	どちらかとい え不安を感じ ない	不安を感じな い	わから ない	無回答
地球温暖化 とその影響	深刻である	658 100.0%	499 75.8%	144 21.9%	7 1.1%	2 0.3%	0 0.0%	2 0.3%	4 0.6%
	やや深刻である	232 100.0%	48 20.7%	148 63.8%	27 11.6%	5 2.2%	2 0.9%	2 0.9%	0 0.0%
	深刻でない・わから ない	75 100.0%	7 9.3%	19 25.3%	16 21.3%	4 5.3%	15 20.0%	12 16.0%	2 2.7%

(上段回答数、下段割合)

(3) 地球温暖化の深刻さの認識と、地球温暖化対策による生活の質や地域の豊かさの向上

地球温暖化の問題を深刻であると考えている人ほど、対策により暮らしの質や地域の豊かさの向上につながると思っている。

表 89 地球温暖化の深刻さの認識と、地球温暖化対策による生活の質や地域の豊かさの向上

		合計	暮らしの質の向上につながると思いますか。						地域の豊かさの向上につながると思いますか。					
			そう思う	どちらか かとい うとそ う思う	どちらか かとい うとそ う思わ ない	そう思 わない	わから ない	無回答	そう思 う	どちら かとい うとそ う思う	どちら かとい うとそ う思わ ない	そう思 わない	わから ない	無回答
地球温暖化 とその影響	深刻である	658 100.0%	305 46.4%	196 29.8%	37 5.6%	21 3.2%	87 13.2%	12 1.8%	365 55.5%	155 23.6%	27 4.1%	16 2.4%	72 10.9%	23 3.5%
	やや深刻である	232 100.0%	48 20.7%	109 47.0%	16 6.9%	10 4.3%	41 17.7%	8 3.4%	68 29.3%	106 45.7%	16 6.9%	5 2.2%	29 12.5%	8 3.4%
	深刻でない・わから ない	75 100.0%	5 6.7%	10 13.3%	12 16.0%	19 25.3%	25 33.3%	4 5.3%	11 14.7%	9 12.0%	7 9.3%	21 28.0%	22 29.3%	5 6.7%

(上段回答数、下段割合)

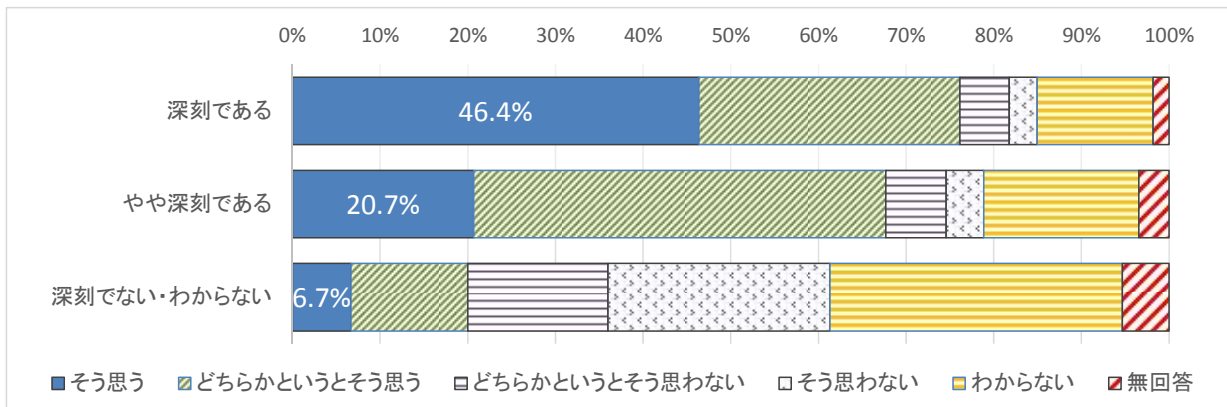


図 84 地球温暖化の深刻さの認識と、地球温暖化対策による暮らしの質の向上

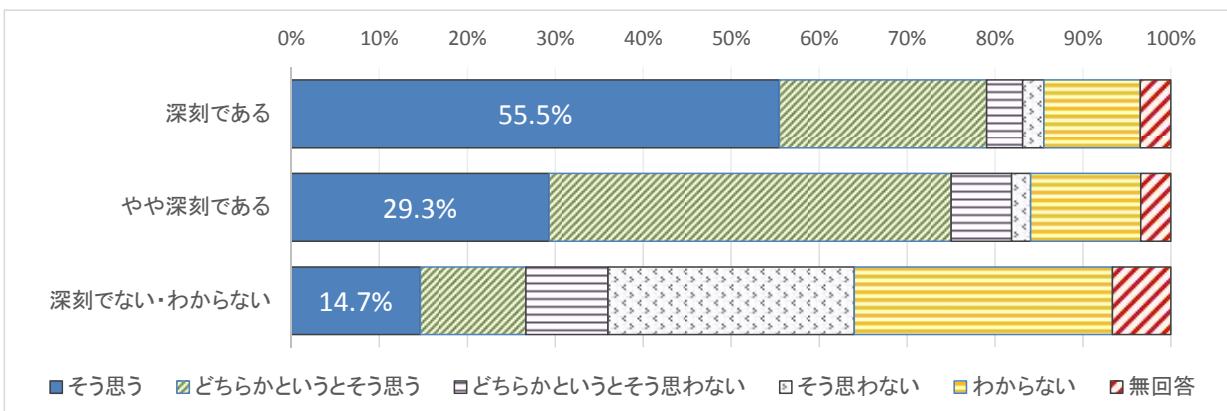


図 85 地球温暖化の深刻さの認識と、地球温暖化対策による地域の豊かさの向上

(4) 地球温暖化の深刻さの認識と、対策に関する言葉を「知っている」と回答した人

地球温暖化を「深刻である」と考えている人ほど、対策に関する言葉を「知っている」わけではない。LED、メガソーラー、洋上風力発電については、深刻である人ほど知っている傾向がみられたが、クールチョイス、ZEH、パリ協定など明確な関連がみられないものも多かった。

表 90 地球温暖化の深刻さの認識と、対策に関する言葉を「知っている」と回答した人

		合計	「知っている」と回答した人									
			クールシェア・ウォームシェア	クールチョイス	省エネラベル	LED(エロイデー)	ZEH(ゼッチ)	メガソーラー	洋上風力発電	パリ協定	適応策	SDGs(エスディーゼ)
地球温暖化とその影響	深刻である	658	137	66	159	487	44	338	297	270	46	58
		100.0%	20.8%	10.0%	24.2%	74.0%	6.7%	51.4%	45.1%	41.0%	7.0%	8.8%
	やや深刻である	232	23	15	52	156	12	103	91	71	16	11
	100.0%	9.9%	6.5%	22.4%	67.2%	5.2%	44.4%	39.2%	30.6%	6.9%	4.7%	
	深刻でない・わからない	75	19	8	13	40	5	28	23	27	3	7
	100.0%	25.3%	10.7%	17.3%	53.3%	6.7%	37.3%	30.7%	36.0%	4.0%	9.3%	

(上段回答数、下段割合)

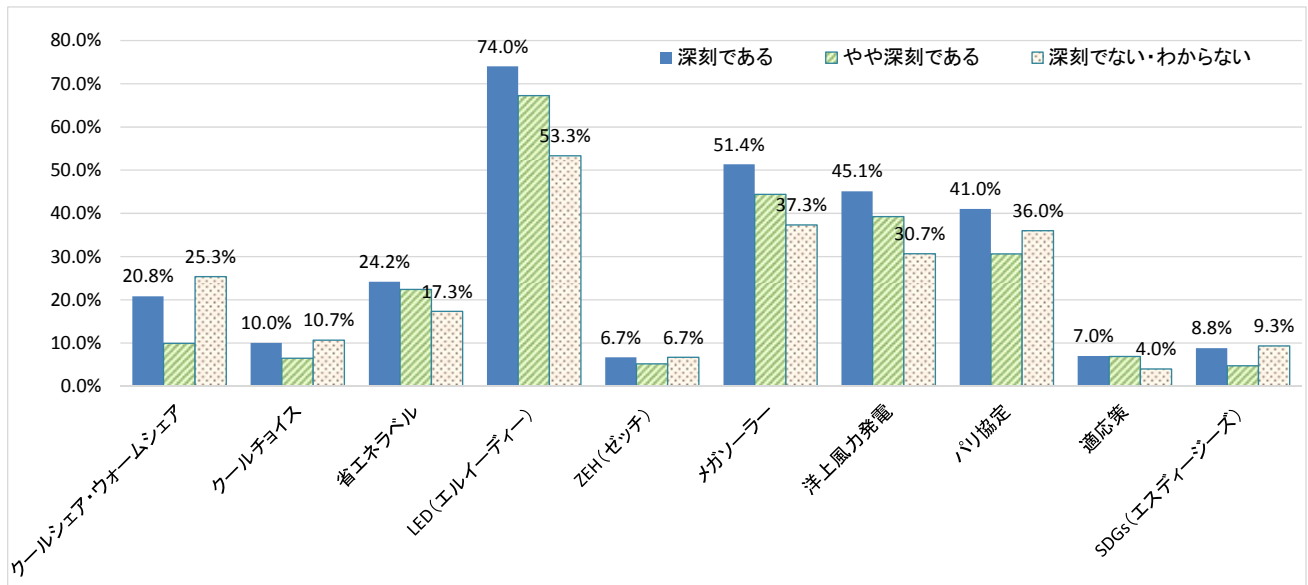


図 86 地球温暖化の深刻さの認識と、対策に関する言葉を「知っている」と回答した人

5.2. 考え方や知識と行動

考え方や知識の分析の中で、「地球温暖化の深刻さの認識」が、他の環境問題の深刻さの認識、地球温暖化の影響への心配度だけでなく、地球温暖化対策により生活の質や地域の豊かさについても向上するという点と大きな相関がみられた。このため、「考え方や知識」を代表する指標として以降は、「地球温暖化の深刻さの認識」をとりあげて分析を行った。

(主な集計結果)

・地球温暖化問題を深刻と考える人は、次回の購入にあたって省エネ性能を重視したいと考え、家の断熱改修や再生可能エネルギーの導入についても積極的に考える傾向がある。ただし、現状で導入された省エネ設備については、必ずしもすべての項目について意識しているとおりに導入が進んでいるわけではない。

(1) 地球温暖化の深刻さの認識と、行動を「いつもしている」と回答した人

地球温暖化問題を深刻と考えている人は、省エネに配慮した行動を「いつもしている」割合が、いずれの行動についても1割程度高い。

表 91 地球温暖化の深刻さの認識と、行動を「いつもしている」と回答した人

		合計	「いつもしている」と回答した人										
			冷房28℃以上、暖房20℃以下の室温	シャワーを使う時間を短くするようにしている	浴槽にお湯を少なくするよ	必要のない照明をこまめに消している	冷蔵庫の開け閉めの時間を短く気をつけている	エコドライブを心がけている	外出時には水筒(マイボトル)を持ち歩いている	夏場は水分補給に気を付けている	暑さ指数や、熱中症の注意報などを参考にしている	つる性の植物で「緑のカーテン」を育てている	打ち水を行っている
地球温暖化とその影響	深刻である	658 100.0%	155 23.6%	294 44.7%	277 42.1%	430 65.3%	405 61.6%	313 47.6%	248 37.7%	495 75.2%	343 52.1%	75 11.4%	43 6.5%
	やや深刻で	232 100.0%	30 12.9%	69 29.7%	60 25.9%	130 56.0%	115 49.6%	84 36.2%	65 28.0%	143 61.6%	95 40.9%	18 7.8%	11 4.7%
	深刻でない・わからない	75 100.0%	16 21.3%	26 34.7%	22 29.3%	41 54.7%	36 48.0%	22 29.3%	20 26.7%	50 66.7%	25 33.3%	4 5.3%	3 4.0%

(上段回答数、下段割合)

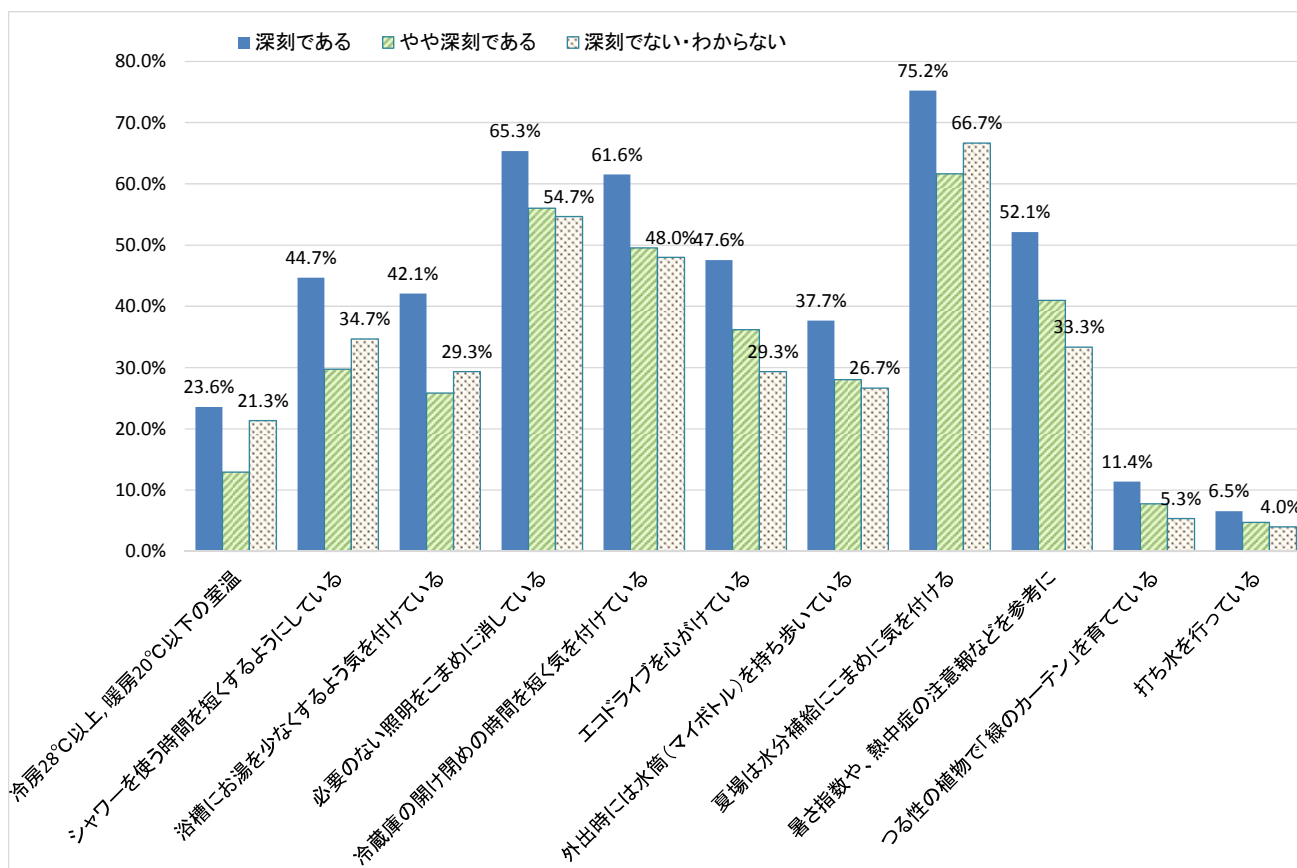


図 87 地球温暖化の深刻さの認識と、行動を「いつもしている」と回答した人

(2) 地球温暖化の深刻さの認識と、自宅での省エネ設備の導入

地球温暖化の深刻さを認識している人については、「エアコン・冷蔵庫などの家電」「給湯器は省エネ型」「窓ガラスやサッシの断熱タイプ」については、導入する割合がやや高い傾向がうかがえるが、「居間の照明」「太陽光発電装置」「建設時の省エネ性考慮」などは、あまり明確な関連は見出されなかった。

表 92 地球温暖化の深刻さの認識と、省エネ型の設備や仕組みをすでに導入した人

		合計	省エネ型の設備や仕組みをすでに導入した人						
			居間の照明はLED	エアコン・冷蔵庫などは省エネ型	給湯器は省エネ型	自宅に太陽光発電を設置した	自宅の建設時に省エネを考慮した	窓ガラスやサッシは断熱タイプ	CO2排出が少ない電気小売事業者
地球温暖化とその影響	深刻である	658 100.0%	403 61.2%	462 70.2%	347 52.7%	120 18.2%	128 19.5%	210 31.9%	37 5.6%
	やや深刻である	232 100.0%	128 55.2%	147 63.4%	100 43.1%	35 15.1%	39 16.8%	48 20.7%	8 3.4%
	深刻でない・わからない	75 100.0%	43 57.3%	41 54.7%	27 36.0%	14 18.7%	12 16.0%	18 24.0%	3 4.0%

(上段回答数、下段割合)

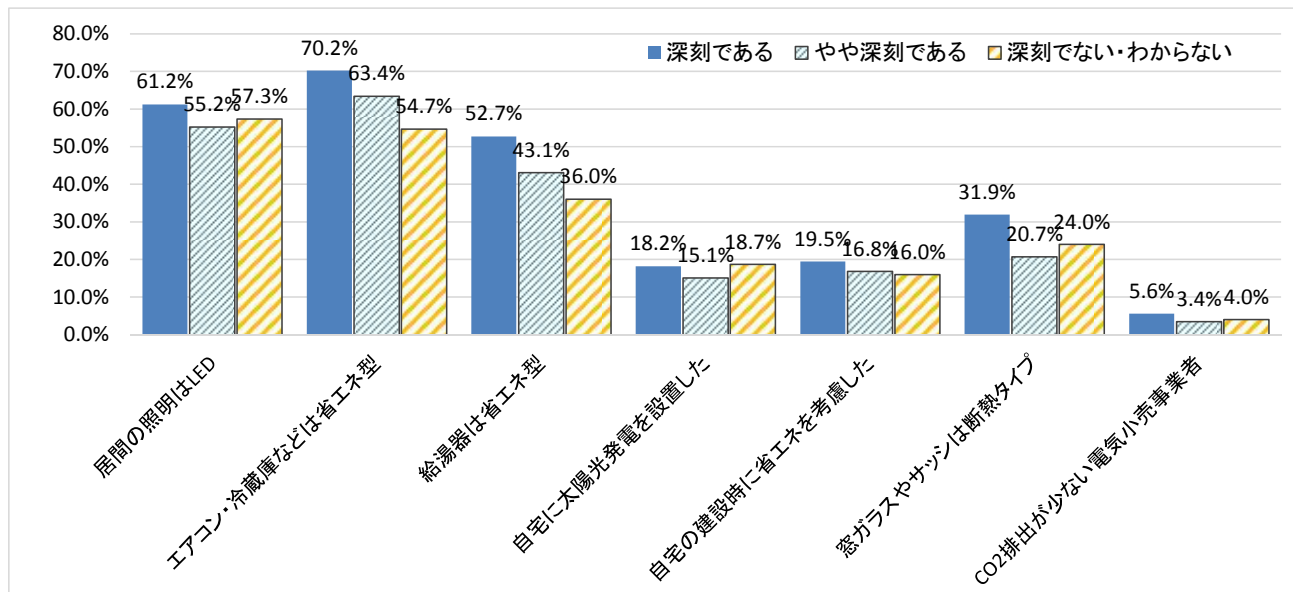


図 88 地球温暖化の深刻さの認識と、省エネ型の設備や仕組みをすでに導入した人

(3) 地球温暖化の深刻さの認識と、次回省エネ性能を重視する人

地球温暖化が深刻であると認識している人ほど、次回省エネ性能を重視して購入すると回答する傾向がみられた。現在の導入状況では一部明確な関連が出なかったが、「今後重視したい」かどうかは、意識のみに基づいて決定ができる選択であり、関連が見いだされたものと考えられる。

表 93 地球温暖化の深刻さの認識と、次回省エネ性能を重視する人

		合計	次回省エネ性能を重視する人			
			照明器具	家電製品(エアコン、冷蔵庫など)	給湯器	自家用車
地球温暖化とその影響	深刻である	658 100.0%	525 79.8%	568 86.3%	495 75.2%	379 57.6%
	やや深刻である	232 100.0%	147 63.4%	166 71.6%	140 60.3%	119 51.3%
	深刻でない・わからない	75 100.0%	43 57.3%	48 64.0%	37 49.3%	28 37.3%

(上段回答数、下段割合)

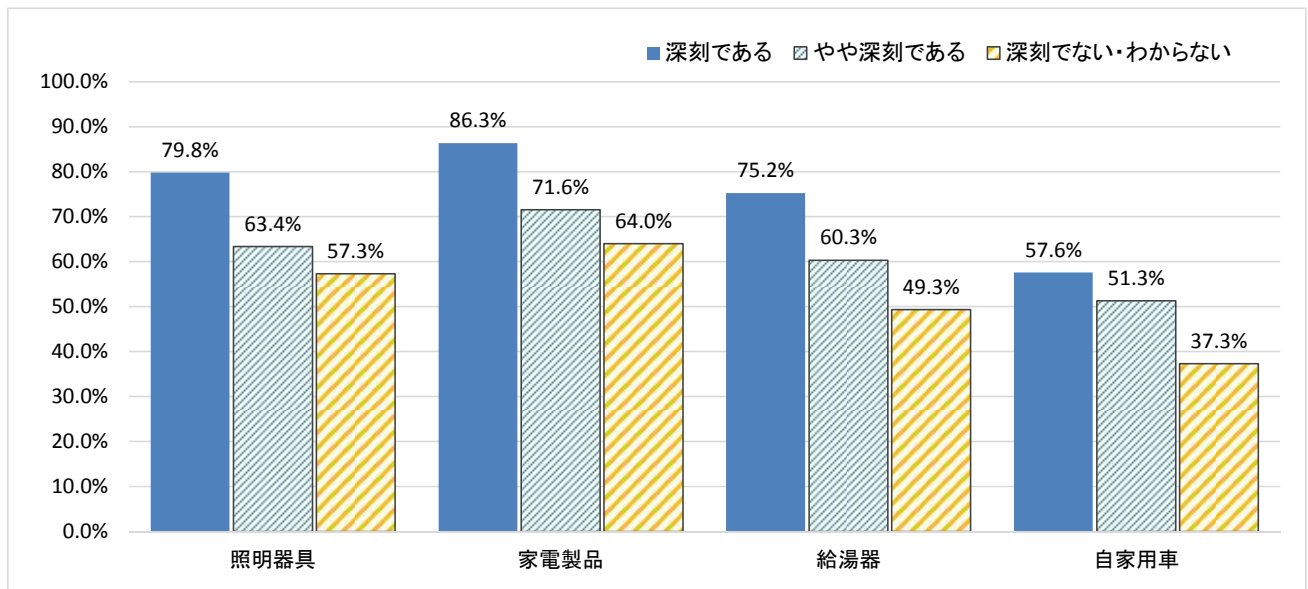


図 89 地球温暖化の深刻さの認識と、次回省エネ性能を重視する人

(4) 地球温暖化の深刻さの認識と、家の対策を「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」と回答する人

地球温暖化問題を深刻と考えている人は、家の対策について「早く実施したい」もしくは「費用をみながら検討したい」と前向きな人の割合が、いずれの対策についても1割程度高い。

表 94 地球温暖化の深刻さの認識と、家の対策を「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」と回答する人

地球温暖化とその影響	深刻さの認識	合計	「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」人					
			窓の断熱	壁や屋根・床の断熱	太陽光発電の設置	太陽熱温水器の設置	薪ストーブやペレットストーブの設置	CO2排出が少ない電気小売事業者の設置
地球温暖化とその影響	深刻である	658	289	287	176	166	101	134
		100.0%	43.9%	43.6%	26.7%	25.2%	15.3%	20.4%
	やや深刻である	232	77	74	41	45	22	34
		100.0%	33.2%	31.9%	17.7%	19.4%	9.5%	14.7%
	深刻でない・わからない	75	24	23	10	11	7	7
		100.0%	32.0%	30.7%	13.3%	14.7%	9.3%	9.3%

(上段回答数、下段割合)

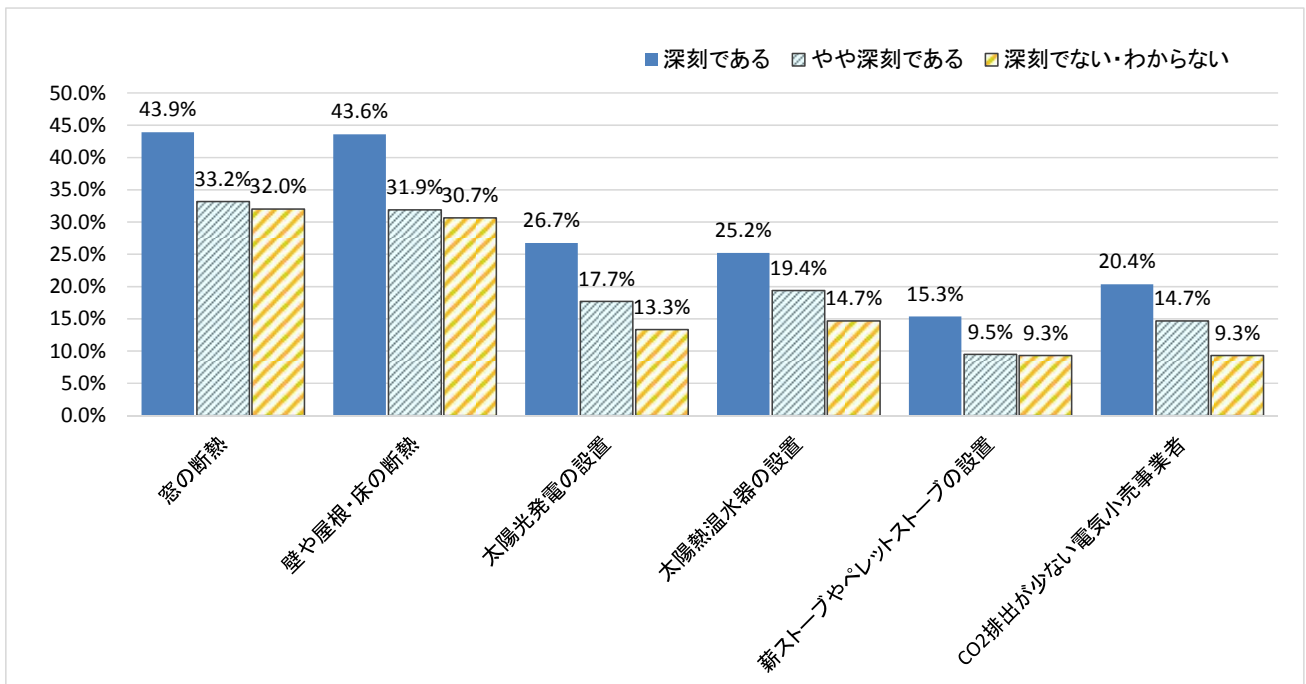


図 90 地球温暖化の深刻さの認識と、家の対策を「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」と回答する人

5.3. 考え方や知識と地域の対策

(主な集計結果)

・地球温暖化問題を深刻と考える人は、安来市内に再生可能エネルギー施設を建設すべきとする回答が多く、CO2 ゼロ宣言をすべきという回答も多かった。

(1) 地球温暖化の深刻さの認識と、行動を「いつもしている」と回答した人

地球温暖化問題を深刻と考えている人は、再生可能エネルギーの発電設備を作るべきとする回答が、どの設備についても1割程度高く、特に大規模な太陽光発電所については「作るべき」とする回答が36.0%に達した。

表 95 地球温暖化の深刻さの認識と、安来市内に再生可能エネルギー施設をつくるべきか

		合計	安来市内に作るべきだと思いますか					
			太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	風力発電(高さ100m以上の巨大風車)	風力発電(高さ10m程度の風車群)	水力発電(山間部のダム)	水力発電(水路や川に設置した水車)
地球温暖化とその影響	深刻である	658 100.0%	237 36.0%	164 24.9%	110 16.7%	152 23.1%	187 28.4%	189 28.7%
	やや深刻である	232 100.0%	61 26.3%	39 16.8%	33 14.2%	45 19.4%	46 19.8%	55 23.7%
	深刻でない・わからない	75 100.0%	9 12.0%	10 13.3%	10 13.3%	12 16.0%	17 22.7%	18 24.0%

(上段回答数、下段割合)

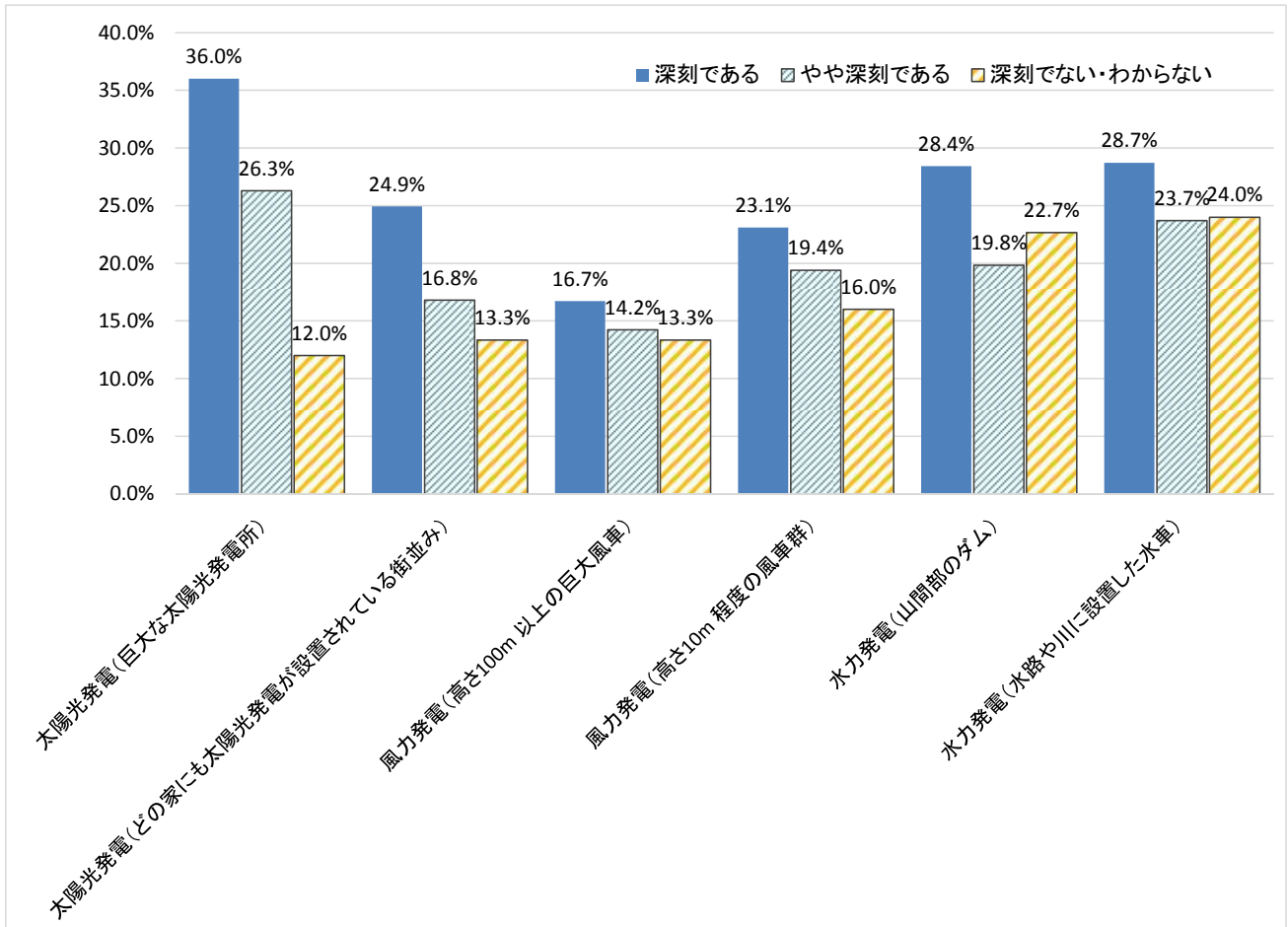


図 91 地球温暖化の深刻さの認識と、安来市内に再生可能エネルギー施設をつくるべきか

(2) 地球温暖化の深刻さの認識と、CO2 ゼロ宣言をすることについて

地球温暖化問題を深刻と考えている人は、CO2 ゼロ宣言をすることについても「取り組むべき」とする回答が 28.6%と多かった。

表 96 地球温暖化の深刻さの認識と、CO2 ゼロ宣言をすることについて

		合計	CO2ゼロ宣言をすることについて				
			宣言して取 り組むべき	大部分の自 治体が取 り組むよ うなら、 足並みを そろえて 宣言して もいい	現実的で ないので、 しないほ うがいい	その他	無回答
地球温暖化と その影響	深刻である	658 100.0%	188 28.6%	296 45.0%	108 16.4%	36 5.5%	30 4.6%
	やや深刻である	232 100.0%	32 13.8%	129 55.6%	50 21.6%	10 4.3%	11 4.7%
	深刻でない・わ からない	75 100.0%	8 10.7%	21 28.0%	29 38.7%	4 5.3%	13 17.3%

(上段回答数、下段割合)

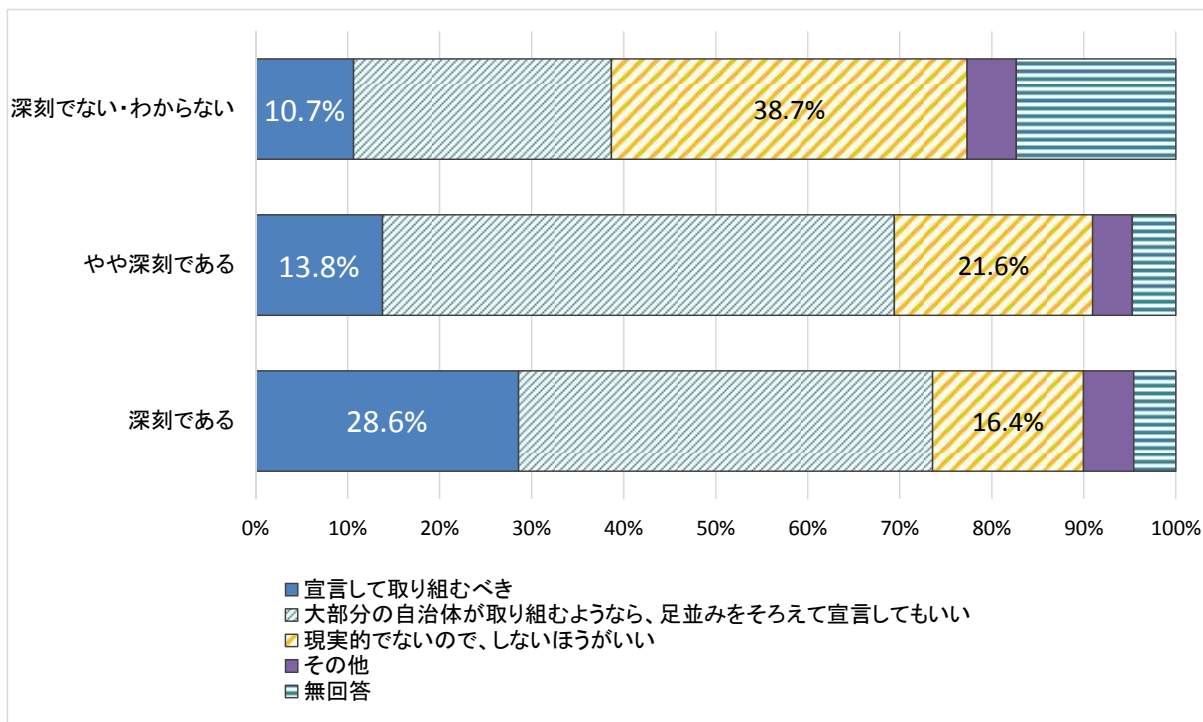


図 92 地球温暖化の深刻さの認識と、CO2 ゼロ宣言をすることについて

5.4. 考え方や知識と情報源の関連

(1) 地球温暖化の深刻さの認識と情報源

地球温暖化を深刻だと考えている人は、情報源として相対的に新聞の割合が高くなっている。

表 97 地球温暖化の深刻さの認識と情報源

		合計	地球温暖化や省エネの方法に関する情報をどこから得ていますか。									
			テレビ	ラジオ	新聞	書籍や雑誌	自治体の広報誌	ポスターやちらし	インターネット	ソーシャルネットワーク	知人からのちこみ	特にな
地球温暖化とその影響	深刻である	658	571	92	341	104	127	85	262	81	38	9
		100.0%	86.8%	14.0%	51.8%	15.8%	19.3%	12.9%	39.8%	12.3%	5.8%	1.4%
	やや深刻である	232	202	32	95	25	38	25	76	25	13	4
	100.0%	87.1%	13.8%	40.9%	10.8%	16.4%	10.8%	32.8%	10.8%	5.6%	1.7%	
	深刻でない・わからない	75	46	5	21	14	9	7	25	8	5	4
	100.0%	61.3%	6.7%	28.0%	18.7%	12.0%	9.3%	33.3%	10.7%	6.7%	5.3%	

(上段回答数、下段割合)

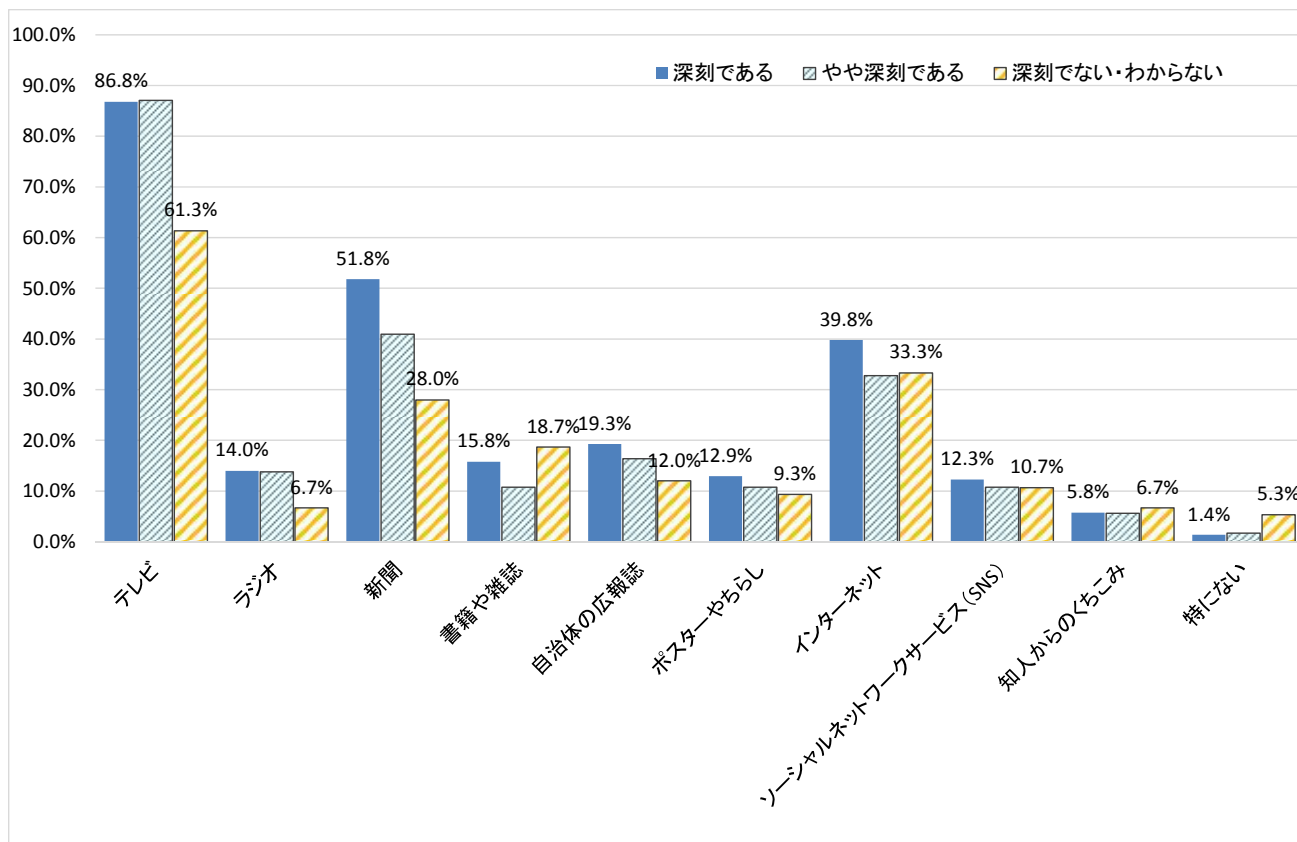


図 93 地球温暖化の深刻さの認識と情報源

6. 行動と地域の対策

6.1. 「行動」と再生可能エネルギー施設を安来市内に作るべきかどうか

(主な集計結果)

- ・日ごろの省エネの取組みをしているかどうかは、市内の再生可能エネルギー施設の建設への関心に関連は見出されなかった。
- ・家の省エネ設備導入をしている人は、市内の再生可能エネルギー施設についても作るべきとする意見が多く、特に自宅の断熱や太陽光を設置している人は「太陽光のある街並み」を求める傾向が強かった。

(1) 現在の行動と、再生可能エネルギー施設を安来市内に作るべきかどうか

省エネの行動を「いつもしている」かどうかは、再生可能エネルギー施設を安来市内に作るべきかどうかと明確な関連は見出されなかった。

表 98 現在の行動と、再生可能エネルギー施設を安来市内に作るべきかどうか

		合計	安来市内に作るべきだと思いますか					
			太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	風力発電(高さ100m以上の巨大風車)	風力発電(高さ10m程度の風車群)	水力発電(山間部のダム)	水力発電(水路や川に設置した水車)
あなたは省エネにどの程度取り組んでいますか。	十分取り組んでいる	19	8	7	3	6	7	9
		100.0%	42.1%	36.8%	15.8%	31.6%	36.8%	47.4%
	ある程度取り組んでいる	611	207	144	111	148	173	181
		100.0%	33.9%	23.6%	18.2%	24.2%	28.3%	29.6%
あまり取り組んでいない	あまり取り組んでいない	273	81	53	35	49	62	64
		100.0%	29.7%	19.4%	12.8%	17.9%	22.7%	23.4%
	全く取り組んでいない	16	2	0	2	1	2	1
		100.0%	12.5%	0.0%	12.5%	6.3%	12.5%	6.3%
冷房28℃以上、暖房20℃以下の室温	いつもしている	204	74	54	36	43	53	61
		100.0%	36.3%	26.5%	17.6%	21.1%	26.0%	29.9%
	それ以外	773	236	159	118	166	197	201
		100.0%	30.5%	20.6%	15.3%	21.5%	25.5%	26.0%
シャワーを使う時間を短くするようにしている	いつもしている	392	142	96	71	101	114	127
		100.0%	36.2%	24.5%	18.1%	25.8%	29.1%	32.4%
	それ以外	585	168	117	83	108	136	135
		100.0%	28.7%	20.0%	14.2%	18.5%	23.2%	23.1%
浴槽にお湯を少なくするよう気を付けている	いつもしている	362	120	85	65	86	99	113
		100.0%	33.1%	23.5%	18.0%	23.8%	27.3%	31.2%
	それ以外	615	190	128	89	123	151	149
		100.0%	30.9%	20.8%	14.5%	20.0%	24.6%	24.2%
必要のない照明をこまめに消している	いつもしている	607	201	143	96	133	156	170
		100.0%	33.1%	23.6%	15.8%	21.9%	25.7%	28.0%
	それ以外	370	109	70	58	76	94	92
		100.0%	29.5%	18.9%	15.7%	20.5%	25.4%	24.9%
冷蔵庫の開け閉めの時間を短く気を付けている	いつもしている	558	179	128	93	117	159	163
		100.0%	32.1%	22.9%	16.7%	21.0%	28.5%	29.2%
	それ以外	419	131	85	61	92	91	99
		100.0%	31.3%	20.3%	14.6%	22.0%	21.7%	23.6%
エコドライブを心がけている	いつもしている	421	141	94	75	107	119	123
		100.0%	33.5%	22.3%	17.8%	25.4%	28.3%	29.2%
	それ以外	556	169	119	79	102	131	139
		100.0%	30.4%	21.4%	14.2%	18.3%	23.6%	25.0%
外出時には水筒(マイボトル)を持ち歩いている	いつもしている	335	121	76	60	79	94	100
		100.0%	36.1%	22.7%	17.9%	23.6%	28.1%	29.9%
	それ以外	642	189	137	94	130	156	162
		100.0%	29.4%	21.3%	14.6%	20.2%	24.3%	25.2%
夏場は水分補給にこまめに気を付ける	いつもしている	691	239	161	124	164	199	207
		100.0%	34.6%	23.3%	17.9%	23.7%	28.8%	30.0%
	それ以外	286	71	52	30	45	51	55
		100.0%	24.8%	18.2%	10.5%	15.7%	17.8%	19.2%
暑さ指数や、熱中症の注意報などを参考に	いつもしている	466	170	112	88	111	140	135
		100.0%	36.5%	24.0%	18.9%	23.8%	30.0%	29.0%
	それ以外	511	140	101	66	98	110	127
		100.0%	27.4%	19.8%	12.9%	19.2%	21.5%	24.9%
つる性の植物で「緑のカーテン」を育てている	いつもしている	98	35	18	16	19	25	29
		100.0%	35.7%	18.4%	16.3%	19.4%	25.5%	29.6%
	それ以外	879	275	195	138	190	225	233
		100.0%	31.3%	22.2%	15.7%	21.6%	25.6%	26.5%
打ち水を行っている	いつもしている	58	22	8	12	12	20	17
		100.0%	37.9%	13.8%	20.7%	20.7%	34.5%	29.3%
	それ以外	919	288	205	142	197	230	245
		100.0%	31.3%	22.3%	15.5%	21.4%	25.0%	26.7%

(上段回答数、下段割合)

(2) 自宅の省エネ設備と、再生可能エネルギー施設を安来市内に作るべきかどうか

自宅で省エネ設備を導入している家庭については、安来市内に再生可能エネルギー施設を作るべきという回答が比較的高かった。自宅に太陽光発電を設置したり、建設時に省エネを考慮した家庭については特に、「どの家にも太陽光発電が設置されている街並み」に対して賛同する意見が相対的に多くみられた。また、エアコンや冷蔵庫で省エネ型を選んでいる家庭では、「どの家にも太陽光発電が設置されている街並み」以外のものを作るべきとする回答が多かった。

表 99 自宅の省エネ設備と、再生可能エネルギー施設を安来市内に作るべきかどうか

		合計	安来市内に作るべきだと思いますか					
			太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	太陽光発電(どの家にも太陽光発電が設置されている街並み)	風力発電(高さ100m以上の巨大風車)	風力発電(高さ10m程度の風車群)	水力発電(山間部のダム)	水力発電(水路や川に設置した水車)
居間の照明はLED	はい	580	199	135	89	128	148	158
	それ以外	397	111	78	65	81	102	104
		100.0%	34.3%	23.3%	15.3%	22.1%	25.5%	27.2%
		100.0%	28.0%	19.6%	16.4%	20.4%	25.7%	26.2%
エアコン・冷蔵庫などは省エネ型	はい	655	229	153	123	161	194	195
	それ以外	322	81	60	31	48	56	67
		100.0%	35.0%	23.4%	18.8%	24.6%	29.6%	29.8%
		100.0%	25.2%	18.6%	9.6%	14.9%	17.4%	20.8%
給湯器は省エネ型	はい	476	163	118	85	113	133	135
	それ以外	501	147	95	69	96	117	127
		100.0%	34.2%	24.8%	17.9%	23.7%	27.9%	28.4%
		100.0%	29.3%	19.0%	13.8%	19.2%	23.4%	25.3%
自宅に太陽光発電を設置した	はい	169	62	53	35	43	52	53
	それ以外	808	248	160	119	166	198	209
		100.0%	36.7%	31.4%	20.7%	25.4%	30.8%	31.4%
		100.0%	30.7%	19.8%	14.7%	20.5%	24.5%	25.9%
自宅の建設時に省エネを考慮した	はい	181	64	57	40	47	58	63
	それ以外	796	246	156	114	162	192	199
		100.0%	35.4%	31.5%	22.1%	26.0%	32.0%	34.8%
		100.0%	30.9%	19.6%	14.3%	20.4%	24.1%	25.0%
窓ガラスやサッシは断熱タイプ	はい	278	93	74	51	70	85	86
	それ以外	699	217	139	103	139	165	176
		100.0%	33.5%	26.6%	18.3%	25.2%	30.6%	30.9%
		100.0%	31.0%	19.9%	14.7%	19.9%	23.6%	25.2%
CO2排出が少ない電気小売事業者	はい	48	18	13	10	12	14	15
	それ以外	929	292	200	144	197	236	247
		100.0%	37.5%	27.1%	20.8%	25.0%	29.2%	31.3%
		100.0%	31.4%	21.5%	15.5%	21.2%	25.4%	26.6%

(上段回答数、下段割合)

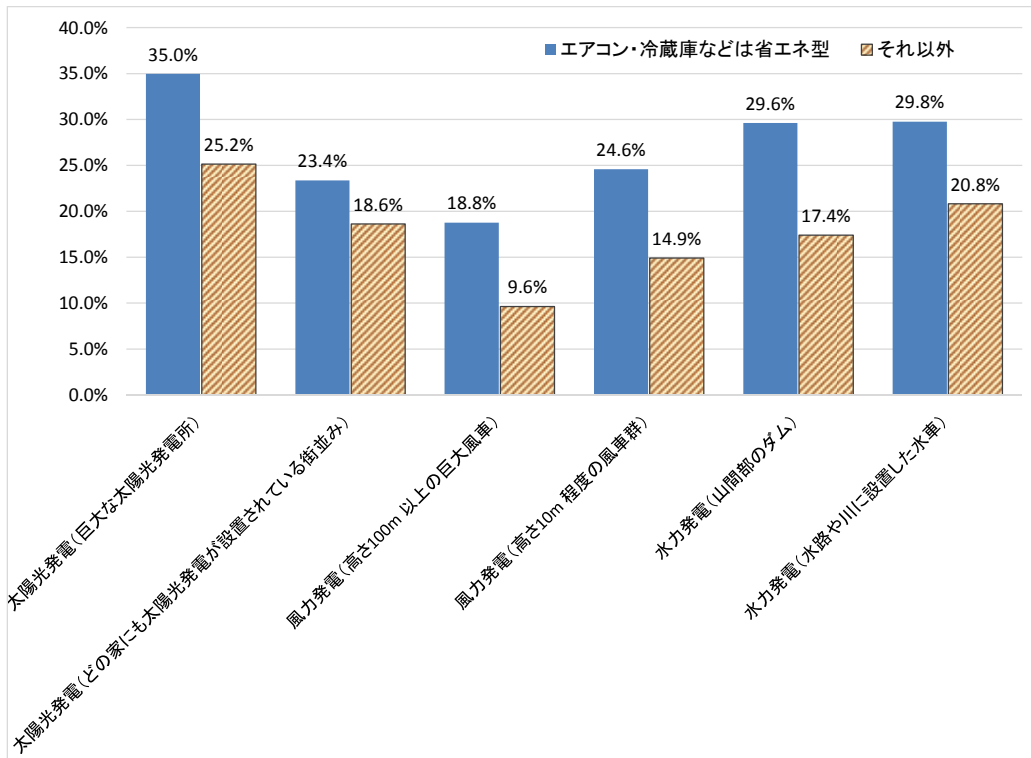


図 94 自宅の省エネエアコン・冷蔵庫と、再生可能エネルギー施設を安来市内に作るべきかどうか

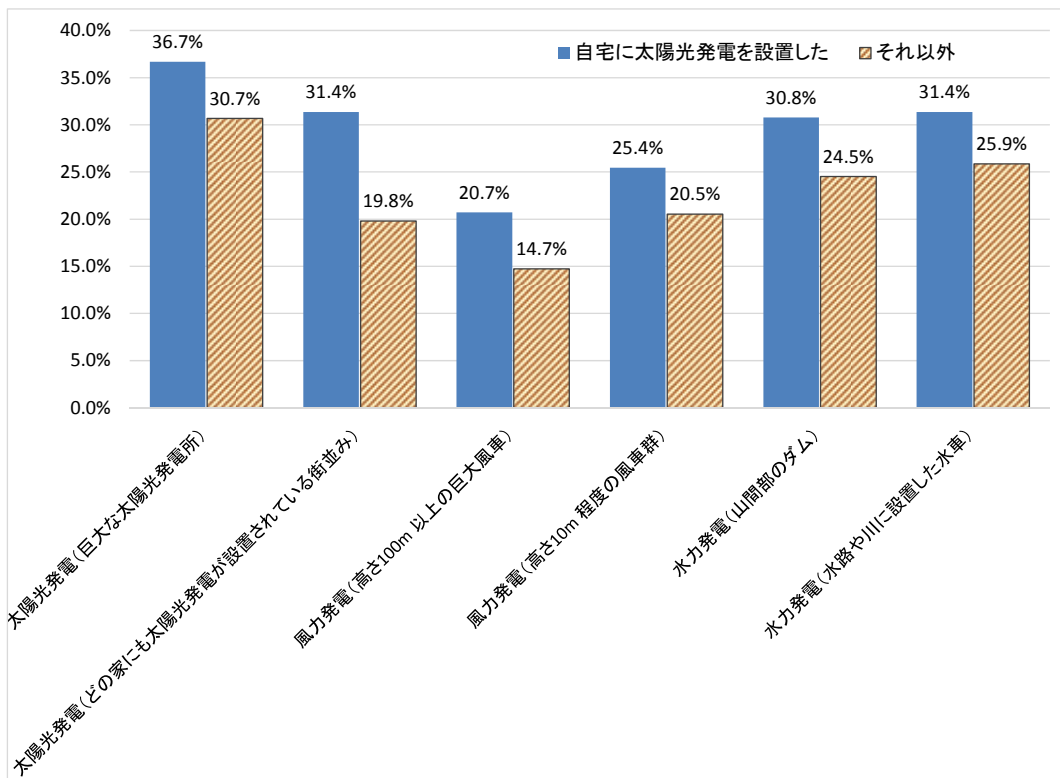


図 95 自宅の太陽光発電設置と、再生可能エネルギー施設を安来市内に作るべきかどうか

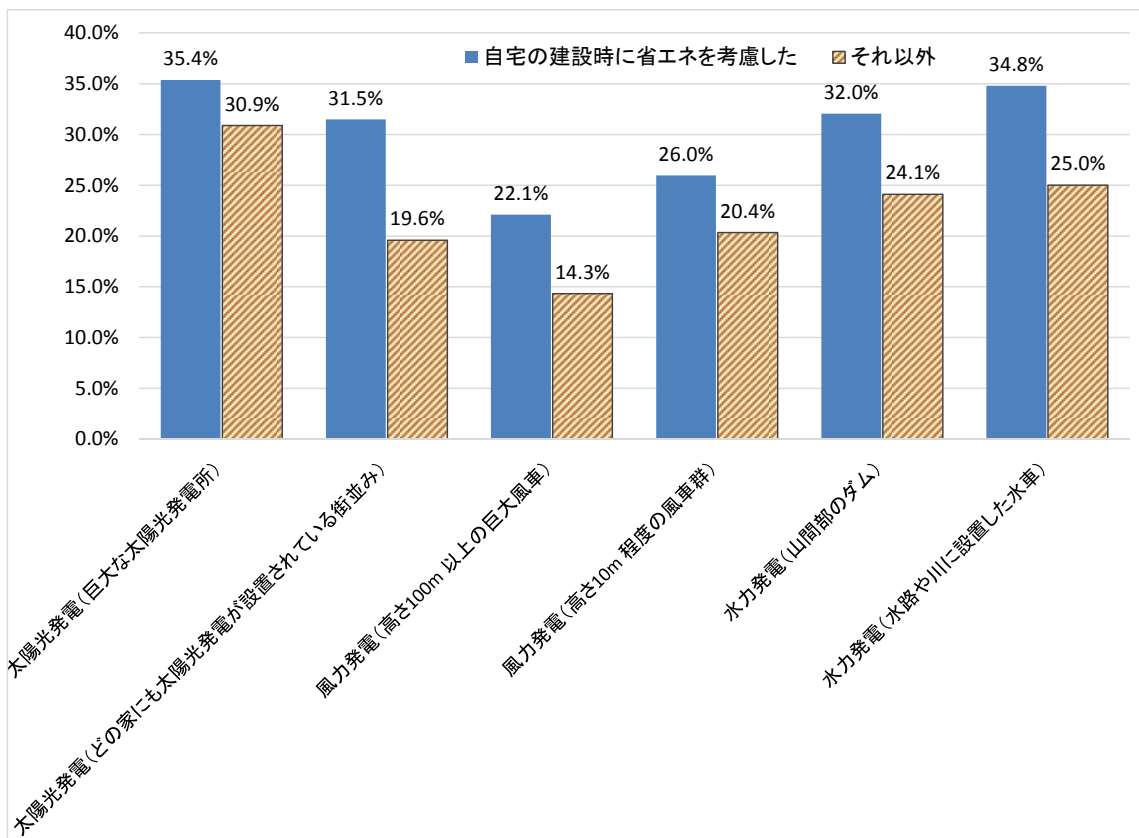


図 96 自宅の建設時の省エネ考慮と、再生可能エネルギー施設を安来市内に作るべきかどうか

6.2. 「行動」と安来市が優先的に対策すべきこと

(主な集計結果)

・日ごろの省エネの取組み、自宅の省エネ設備とも、安来市が優先的に対策すべきものとの関連はみられなかった。

(1) 現在の行動と、安来市が優先的に対策すべきこと

表 100 現在の行動と、安来市が優先的に対策すべきこと

		合計	安来市が優先的に対策すべきもの								
			洪水・土砂災害の増加	農作物や水産物の増産への影響	水環境・水資源の水質保全	生態系への影響	感染症(Dengue 熱等)の増加	観光・レジャーへの影響	特にない	その他	
あなたは省エネにどの程度取り組んでいますか。	十分取り組んでいる	19	8	3	0	1	2	0	0	2	
	ある程度取り組んでいる	611	326	133	45	45	11	8	22	2	
	あまり取り組んでいない	273	142	63	12	23	6	5	9	2	
	全く取り組んでいない	16	8	4	0	1	0	0	1	1	
		100.0%	50.0%	25.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	6.3%	
冷房28℃以上、暖房20℃以下の室温	いつもしている	204	100	50	14	16	5	4	2	1	
	それ以外	773	410	164	46	56	15	10	32	6	
		100.0%	53.0%	21.2%	6.0%	7.2%	1.9%	1.3%	4.1%	0.8%	
シャワーを使う時間を短くするようにしている	いつもしている	392	216	78	30	27	5	6	11	5	
	それ以外	585	294	136	30	45	15	8	23	2	
		100.0%	50.3%	23.2%	5.1%	7.7%	2.6%	1.4%	3.9%	0.3%	
浴槽にお湯を少なくするよう気を付けている	いつもしている	362	187	82	30	28	7	4	10	3	
	それ以外	615	323	132	30	44	13	10	24	4	
		100.0%	52.5%	21.5%	4.9%	7.2%	2.1%	1.6%	3.9%	0.7%	
必要のない照明をこまめに消している	いつもしている	607	320	130	42	44	13	7	19	6	
	それ以外	370	190	84	18	28	7	7	15	1	
		100.0%	51.4%	22.7%	4.9%	7.6%	1.9%	1.9%	4.1%	0.3%	
冷蔵庫の開け閉めの時間を短く気を付けている	いつもしている	558	302	110	38	42	12	7	20	5	
	それ以外	419	208	104	22	30	8	7	14	2	
		100.0%	49.6%	24.8%	5.3%	7.2%	1.9%	1.7%	3.3%	0.5%	
エコドライブを心がけている	いつもしている	421	232	80	27	38	7	4	16	5	
	それ以外	556	278	134	33	34	13	10	18	2	
		100.0%	50.0%	24.1%	5.9%	6.1%	2.3%	1.8%	3.2%	0.4%	
外出時には水筒(マイボトル)を持ち歩いている	いつもしている	335	172	75	23	24	7	5	10	4	
	それ以外	642	338	139	37	48	13	9	24	3	
		100.0%	52.6%	21.7%	5.8%	7.5%	2.0%	1.4%	3.7%	0.5%	
夏場は水分補給にこまめに気を付ける	いつもしている	691	379	137	41	58	16	9	22	5	
	それ以外	286	131	77	19	14	4	5	12	2	
		100.0%	45.8%	26.9%	6.6%	4.9%	1.4%	1.7%	4.2%	0.7%	
暑さ指数や、熱中症の注意報などを参考に	いつもしている	466	259	90	31	37	11	7	12	4	
	それ以外	511	251	124	29	35	9	7	22	3	
		100.0%	49.1%	24.3%	5.7%	6.8%	1.8%	1.4%	4.3%	0.6%	
つる性の植物で「緑のカーテン」を育てている	いつもしている	98	51	18	6	10	1	1	3	1	
	それ以外	879	459	196	54	62	19	13	31	6	
		100.0%	52.2%	22.3%	6.1%	7.1%	2.2%	1.5%	3.5%	0.7%	
打ち水を行っている	いつもしている	58	31	13	6	5	0	0	1	0	
	それ以外	919	479	201	54	67	20	14	33	7	
		100.0%	52.1%	21.9%	5.9%	7.3%	2.2%	1.5%	3.6%	0.8%	

(上段回答数、下段割合)

(2) 自宅の省エネ設備と、安来市が優先的に対策すべきこと

表 101 自宅の省エネ設備と、安来市が優先的に対策すべきこと

		合計	安来市が優先的に対策すべきもの								
			洪水・土砂災害の増加	農作物や水産物など食料生産への影響	水環境・水資源(渇水、水質保全)	生態系への影響、熱増加	感染症(Dengue 等)の増加	観光・レジャーへの影響	特になし	その他	
居間の照明はLED	はい	580	314	122	29	47	13	8	21	3	
	それ以外	397	196	92	31	25	7	6	13	4	
		100.0%	54.1%	21.0%	5.0%	8.1%	2.2%	1.4%	3.6%	0.5%	
エアコン・冷蔵庫などは省エネ型	はい	655	350	137	40	55	16	8	22	6	
	それ以外	322	160	77	20	17	4	6	12	1	
		100.0%	49.7%	23.9%	6.2%	5.3%	1.2%	1.9%	3.7%	0.3%	
給湯器は省エネ型	はい	476	268	97	33	37	6	6	13	2	
	それ以外	501	242	117	27	35	14	8	21	5	
		100.0%	48.3%	23.4%	5.4%	7.0%	2.8%	1.6%	4.2%	1.0%	
自宅に太陽光発電を設置した	はい	169	93	28	12	16	1	2	7	2	
	それ以外	808	417	186	48	56	19	12	27	5	
		100.0%	51.6%	23.0%	5.9%	6.9%	2.4%	1.5%	3.3%	0.6%	
自宅の建設時に省エネを考慮した	はい	181	110	26	12	14	4	2	8	1	
	それ以外	796	400	188	48	58	16	12	26	6	
		100.0%	50.3%	23.6%	6.0%	7.3%	2.0%	1.5%	3.3%	0.8%	
窓ガラスやサッシは断熱タイプ	はい	278	159	47	19	25	6	3	11	1	
	それ以外	699	351	167	41	47	14	11	23	6	
		100.0%	50.2%	23.9%	5.9%	6.7%	2.0%	1.6%	3.3%	0.9%	
CO2排出が少ない電気小売事業者	はい	48	28	6	3	2	1	2	1	1	
	それ以外	929	482	208	57	70	19	12	33	6	
		100.0%	51.9%	22.4%	6.1%	7.5%	2.0%	1.3%	3.6%	0.6%	

(上段回答数、下段割合)

6.3. 「行動」と安来市が CO2 ゼロ宣言をすることについて

(主な集計結果)

- ・日ごろの省エネの取組みをしている人ほど、安来市が CO2 ゼロ宣言をすることに積極的だった。

(1) 現在の行動と、安来市が CO2 ゼロ宣言をすることについて

日ごろの省エネの取組みをしている人ほど、CO2 ゼロ宣言について「宣言して取り組むべき」とする積極的な回答が多くみられた。特に、「冷房 28℃以上暖房 20℃以下の室温」「つる性の植物で緑のカーテンを育てる」「打ち水を行っている」など、夏の暑さ対策を地道に行っている人について「宣言して取り組むべき」とする割合が高かった。

表 102 現在の行動と、安来市が CO2 ゼロ宣言をすることについて

		合計	CO2ゼロ宣言をすることについて				
			宣言して取 り組むべき	大部分の自 治体を取り 組むような ら、足並みを そろえて宣 言してもい い	現実的でな いので、しな いほうがいい	その他	無回答
あなたは省エネにどの程度取り組んでいますか。	十分取り組んでいる	19	5	6	4	1	3
		100.0%	26.3%	31.6%	21.1%	5.3%	15.8%
	ある程度取り組んでいる	611	179	275	98	34	25
		100.0%	29.3%	45.0%	16.0%	5.6%	4.1%
	あまり取り組んでいない	273	31	140	75	11	16
	100.0%	11.4%	51.3%	27.5%	4.0%	5.9%	
	全く取り組んでいない	16	0	5	6	3	2
		100.0%	0.0%	31.3%	37.5%	18.8%	12.5%
冷房28℃以上、暖房20℃以下の室温	いつもしている	204	73	81	32	7	11
		100.0%	35.8%	39.7%	15.7%	3.4%	5.4%
	それ以外	773	156	369	156	44	48
		100.0%	20.2%	47.7%	20.2%	5.7%	6.2%
シャワーを使う時間を短くするようにしている	いつもしている	392	110	160	77	27	18
		100.0%	28.1%	40.8%	19.6%	6.9%	4.6%
	それ以外	585	119	290	111	24	41
		100.0%	20.3%	49.6%	19.0%	4.1%	7.0%
浴槽にお湯を少なくするよう気を付けている	いつもしている	362	94	158	66	24	20
		100.0%	26.0%	43.6%	18.2%	6.6%	5.5%
	それ以外	615	135	292	122	27	39
		100.0%	22.0%	47.5%	19.8%	4.4%	6.3%
必要のない照明をこまめに消している	いつもしている	607	161	273	109	31	33
		100.0%	26.5%	45.0%	18.0%	5.1%	5.4%
	それ以外	370	68	177	79	20	26
		100.0%	18.4%	47.8%	21.4%	5.4%	7.0%
冷蔵庫の開け閉めの時間を短く気を付けている	いつもしている	558	143	255	106	28	26
		100.0%	25.6%	45.7%	19.0%	5.0%	4.7%
	それ以外	419	86	195	82	23	33
		100.0%	20.5%	46.5%	19.6%	5.5%	7.9%
エコドライブを心がけている	いつもしている	421	117	184	78	25	17
		100.0%	27.8%	43.7%	18.5%	5.9%	4.0%
	それ以外	556	112	266	110	26	42
		100.0%	20.1%	47.8%	19.8%	4.7%	7.6%
外出時には水筒(マイボトル)を持ち歩いている	いつもしている	335	98	144	61	19	13
		100.0%	29.3%	43.0%	18.2%	5.7%	3.9%
	それ以外	642	131	306	127	32	46
		100.0%	20.4%	47.7%	19.8%	5.0%	7.2%
夏場は水分補給にこまめに気を付ける	いつもしている	691	181	314	126	34	36
		100.0%	26.2%	45.4%	18.2%	4.9%	5.2%
	それ以外	286	48	136	62	17	23
		100.0%	16.8%	47.6%	21.7%	5.9%	8.0%
暑さ指数や、熱中症の注意報などを参考に	いつもしている	466	132	205	85	20	24
		100.0%	28.3%	44.0%	18.2%	4.3%	5.2%
	それ以外	511	97	245	103	31	35
		100.0%	19.0%	47.9%	20.2%	6.1%	6.8%
つる性の植物で「緑のカーテン」を育てている	いつもしている	98	40	34	19	1	4
		100.0%	40.8%	34.7%	19.4%	1.0%	4.1%
	それ以外	879	189	416	169	50	55
		100.0%	21.5%	47.3%	19.2%	5.7%	6.3%
打ち水を行っている	いつもしている	58	27	20	8	1	2
		100.0%	46.6%	34.5%	13.8%	1.7%	3.4%
	それ以外	919	202	430	180	50	57
		100.0%	22.0%	46.8%	19.6%	5.4%	6.2%

(上段回答数、下段割合)

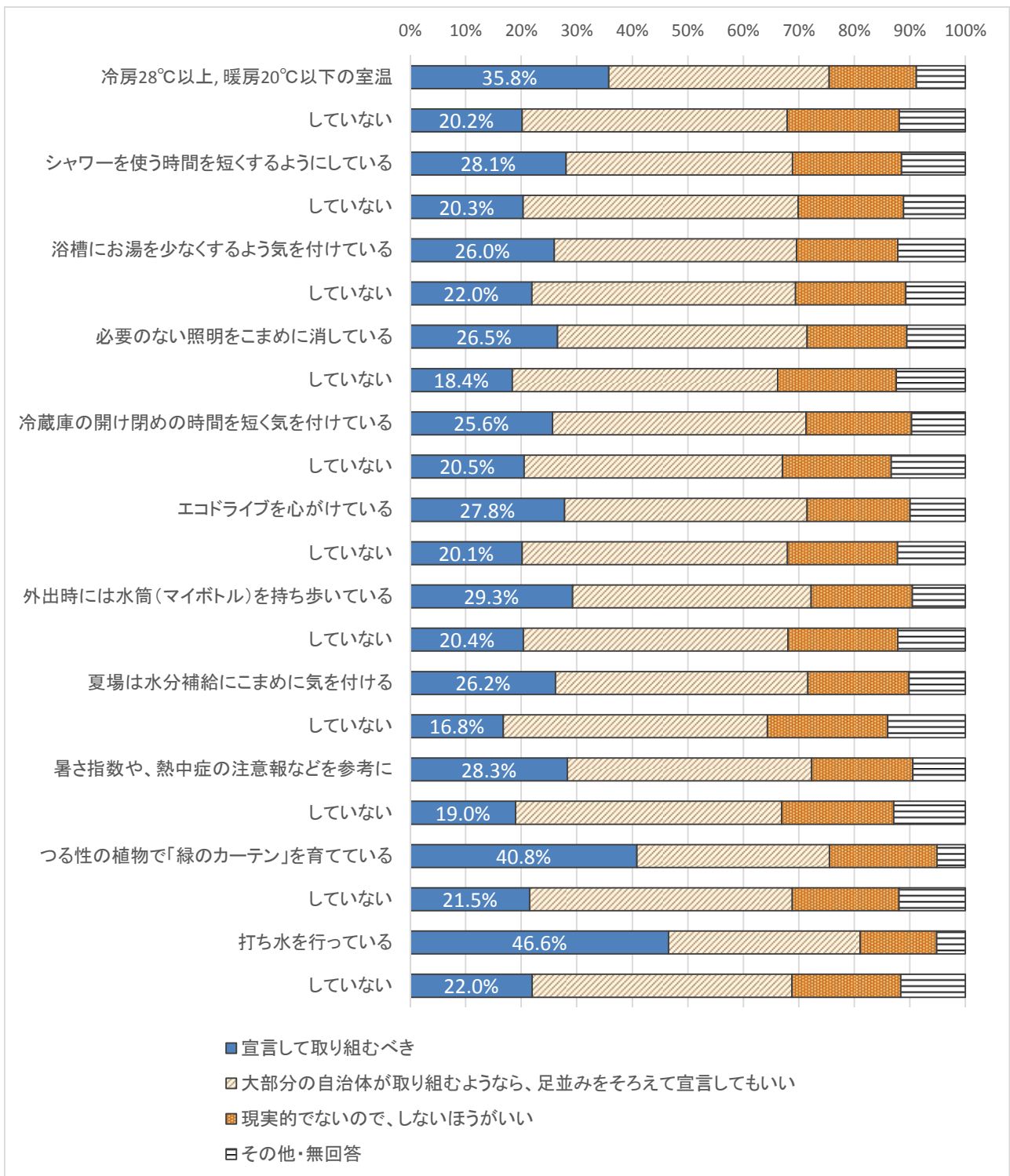


図 97 現在の行動と、安来市が CO2 ゼロ宣言をすることについて

(2) 自宅の省エネ設備と、安来市がCO2ゼロ宣言をすることについて

自宅の省エネ設備との関連では、CO2排出が少ない電力小売事業者を選択している方については、「宣言して取り組むべき」という意見が多くみられたが、それ以外では大きな関連がみられなかった。

表 103 自宅の省エネ設備と、安来市がCO2ゼロ宣言をすることについて

		合計	CO2ゼロ宣言をすることについて				
			宣言して取 り組むべき	大部分の自 治体が取 組むよう な、足並 みをい そろえて 宣言し てもい い	現実的で ないので 、しな いほう がい	その他	無回答
居間の照明はLED	はい	580	136	288	99	31	26
	それ以外	397	93	162	89	20	33
		100.0%	23.4%	49.7%	17.1%	5.3%	4.5%
エアコン・冷蔵庫などは省エネ型	はい	655	165	310	121	37	22
	それ以外	322	64	140	67	14	37
		100.0%	19.9%	43.5%	20.8%	4.3%	11.5%
給湯器は省エネ型	はい	476	127	215	88	29	17
	それ以外	501	102	235	100	22	42
		100.0%	20.4%	46.9%	20.0%	4.4%	8.4%
自宅に太陽光発電を設置した	はい	169	44	78	31	7	9
	それ以外	808	185	372	157	44	50
		100.0%	22.9%	46.0%	19.4%	5.4%	6.2%
自宅の建設時に省エネを考慮した	はい	181	51	82	30	14	4
	それ以外	796	178	368	158	37	55
		100.0%	22.4%	46.2%	19.8%	4.6%	6.9%
窓ガラスやサッシは断熱タイプ	はい	278	69	119	60	23	7
	それ以外	699	160	331	128	28	52
		100.0%	22.9%	47.4%	18.3%	4.0%	7.4%
CO2排出が少ない電気小売事業者	はい	48	18	20	7	0	3
	それ以外	929	211	430	181	51	56
		100.0%	22.7%	46.3%	19.5%	5.5%	6.0%

(上段回答数、下段割合)

7. 行動と情報に関するクロス集計

行動と、情報をどこから得ているのかについては、明確な関連は見出されなかった。